

赤十字概論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：○

○角田 敦彦

■ 授業の目的

日本赤十字看護大学の建学精神である赤十字の理念、諸原則の学びを通して、人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養うことを目的とする。

■ 到達目標

- ①国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について説明できる。
- ②赤十字と国際人道法の基本原則、赤十字標章の正しい使い方、有事の行動規範等について理解する。
- ③人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化の担い手としての自覚を養う。
- ④学習した内容をもとに他者に赤十字の概要を説明できる。

■ 学習の進め方

- ・ Glexa を使用し、オンデマンドの PPT スライド教材を使用した授業を進めます。オンデマンドではありますが、授業計画の日に受講を終えることを基本とします。
- ・ (一部を除き)講義ごとに小テストを掲載していますので、講義スライドで学修したあと振り返りを行ってください。
- ・ 質問やコメントがある場合は、Glexa のフォーラム機能を活用して書き込みをしてください。【各講義後 1 週間以内】
- ・ 全体で共有した方がよいコメントや質問があった場合は、必要に応じて教員からのコメントを掲載します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
2	自宅学習課題 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
3	自宅学習課題 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
4	国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン、国際赤十字のしくみと活動 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
5	日本赤十字社のしくみと活動、赤十字運動の基本原則 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
6	戦争の歴史と国際人道法、現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
7	赤十字標章の意味と適正な使用 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
8	国際社会における赤十字の役割 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田

■ 教科書

講義資料は Glexa に掲載する。ダウンロードしたり、各自が必要に応じてプリントアウトするなどして授業に取り組む。

■ 参考書、参考資料等

「戦争と国際人道法」(井上忠男、東信堂、2015)「解説赤十字基本原則」(ピクテ、東信堂、2013)、「ソルフェリーノの思い出」(日本赤

字社刊)、「赤十字のしくみと活動」(日本赤十字社刊)、その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

■ フィードバックの仕方

試験実施後、Glexa 上に正答を公開する。

■ 他の授業科目との関連

赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 試験または課題レポートの提出 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月曜日 ② 12:30～13:00 ③ 410 研究室

■ 受講上の注意事項

- ・ 講義資料は、著作物です。講義を受講する学生以外に複製などして配布することは禁止する。

■ その他

HBRC100

赤十字国際活動論

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」国際貢献 「3」探求 実務経験がある教員：○

○角田 敦彦

■ 授業の目的

グローバル化が進む現代の国際社会が抱える多様な問題を理解するとともに、これらの解決に取り組む赤十字や国際機関、その他 NGO 等の活動の現状と課題について、赤十字の国際活動の歴史とその特色などを中心に考察し理解を深めることを目的とする。

■ 到達目標

1. 地球規模の諸問題、特に戦争、自然災害、健康に関する諸問題の概要を理解し、説明できる。
2. 1 の諸問題の犠牲者救済のため赤十字がどのように活動してきたのか理解し、説明することができる。
3. 人道支援の現場が抱える問題について、自分なりの意見を持ち説明できる。

■ 学習の進め方

- ・ PPT スライド等の教材を使用したオンデマンド講義を中心に進めますが、15 回のうち 2 回の講義は外部講師による講演とします。(第 3・10 回)
- ・ 講師の都合により、実施回が変更になることがあります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 赤十字の人道支援とは：救援と開発 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
2	赤十字の国際活動：政策決定と課題 事前学修：[30 分] 赤十字や国際機関の政策決定プロセスについて検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	講義・討論	角田・外部講師
3	頻発する人道危機と人道支援機関 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田・外部講師
4	赤十字と人道思想の系譜：歴史的概観 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[20 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
5	トルコ軍艦遭難～日清戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
6	ポーランド孤児救済～日露戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
7	二つの大戦時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
8	第二次世界大戦後の国際社会：国際人道法と赤十字の基本原則 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
9	冷戦後の紛争と国際問題 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
10	核兵器と赤十字 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	講義・討論	角田・外部講師

No	内容	形式	教員
11	人道支援に関する様々な行動規範 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
12	国際赤十字・赤新月運動の実際 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
13	その他人道上の諸問題 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田
14	関心を持った救援・開発協力活動 事前学修：[30 分] これまでの講義を振り返り、関心を持ったり自分で挑戦してみたい活動をまとめる。 事後学修：[30 分] 他の受講生の意見にコメントし、意見を交換する。	オンデマンド	角田
15	グローバル社会の諸課題 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] 講義内容に関するコメント・質問を書き込む	オンデマンド	角田

■ 教科書

講義資料は Glexa に掲載しています。ダウンロードしたり、各自が必要に応じてプリントアウトするなどして授業に取り組んでください。

■ 参考書、参考資料等

「戦争と国際人道法」(井上忠男、東信堂、2015)、日本赤十字社HP

■ フィードバックの仕方

試験またはレポートのフィードバックは、レポート採点后 7 日目以降 21 日以内に Glexa 上で返却する。

■ 他の授業科目との関連

本授業は、赤十字概論ならびに国際関係論を基礎に発展的な内容を取り扱う。

また、本科目は、赤十字国際活動論演習(2020 開講、以後隔年開催)の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 試験または課題レポートの提出状況 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月曜日 ② 12:30～13:00 ③ 410 研究室

■ 受講上の注意事項

外部講師による講演は、講師の都合により実施コマを変更することがある。

■ その他

HBRC300

赤十字国際活動論演習

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」関係 実務経験がある教員：○

○角田 敦彦

■ 授業の目的

赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を体験するためのイタリア・ソルフェリーノ、スイス・ジュネーブ等への海外研修により、赤十字運動のダイナミズムを体験的に理解し、将来、国内外において人道事業を牽引する人材としての国際的素養を養うことを目指す。

■ 到達目標

1. 赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を説明できる。
2. アンリ・デュナンの業績を理解し、説明することができる。
3. 主要な国際機関の活動を理解し、説明することができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：

赤十字概論、赤十字国際活動論で習得した内容を基礎に赤十字発祥の地を訪ね、体験的に学ぶ演習である。8 月下旬に概ね 8 泊 9 日の日程でソルフェリーノ(北イタリア)、ジュネーブ(スイス)を中心とする赤十字ゆかりの地において赤十字機関のほか WHO や UNHCR など(予定)の研修を実施する。本研修には教員が同行する。

2. 参考資料の提示：

事前に関連する資料等を提示するので熟読し、実りある演習となるよう事前準備を行う。

3. 求められる姿勢：

学生各自の主体的な参加による研修とするために本演習期間中は担当役割を担い、互いに研修成果を上げるためにチームスピリットを持って行動することが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. オリエンテーション
2. 実施時期は、8 月 23 日(土)～8 月 30 日(日)の 9 日間の予定である。
3. 学習内容：研修での訪問先は、赤十字思想誕生の地であるイタリア・ソルフェリーノの古戦場跡、赤十字国際博物館(カスティリオーネ)、ミラノ、ジュネーブ(赤十字の創始者アンリ・デュナン生家、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際博物館、WHO、UNHCR、ジュネーブ大学博物館その他)、ローザンヌ(本学提携校 訪問、その他)などを予定。現地での移動は公共交通機関やバスを予定。

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

事前学習において、適宜赤十字の誕生・歴史に関する書籍を提示する。

■ フィードバックの仕方

演習中、各日の終わりにミーティングを実施し、プログラムの振り返りを行い、教員から適宜フィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

1 年次前期の赤十字概論の内容を基礎に実施する。本演習の参加者は赤十字国際活動論の受講が必須となる。

■ 成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 %
2. 報告書(レポート)提出 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

月曜 12:30～13:00 角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

履修資格：「赤十字国際活動論」(2 単位・選択)の単位を修得した者あるいは修得見込みの者

■ その他

HBRC301

哲学と倫理

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年・編入 4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 実務経験がある教員：－

○榊原 哲也

■ 授業の目的

看護師になるための学びの最終年度にあたり、「看護」がどのような人間の営みであるのかを、哲学と倫理の思想を手がかりに見つめ直す。近年、看護研究や看護実践において注目されている「現象学」という哲学について学び、看護の営みとその倫理について考える。

■ 到達目標

1. 看護の営みを考えるための哲学と倫理の思想について、その基本的な論点を説明できる。
2. 現象学的看護理論および「ケアの倫理」について、その基本的な論点を説明できる。
3. 患者を全人的に理解し尊重する「看護」について、自ら考える基礎的能力を身につける。

■ 学習の進め方

- ・授業は自宅学習とオンライン双方向型講義で行い、オンライン講義では適宜、学生同士でディスカッションできる時間も設ける。
- ・毎回、授業終了後に、授業に関する感想や質問をメールで提出してもらうことで、授業内容の振り返りができるようにし、次の授業では感想を紹介したり、質問に回答したりすることで、学生同士が学びを深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：看護のための哲学と倫理——「どのような看護師になりたいのか」「そのためには何が必要か」 (榊原哲也『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の「はじめに」を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	榊原
2	「疾患」と「病い」：人はどのように病気を経験するのか (榊原哲也『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第 1 章を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	榊原
3	医学はどのように人間を見るのか (榊原哲也『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第 1 章を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	榊原
4	医学の見方では見えないもの：自然科学的思考の問題点 (榊原哲也『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第 1 章を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	榊原
5	患者の「病い」体験を理解するために：現象学という哲学の導入 (榊原哲也『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第 1 章を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	榊原

No	内容	形式	教員
6	フッサールの現象学：人は意味の世界に生きている (神原哲也『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第2章第1節を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神原
7	ハイデガーの現象学：人間の本質はケアすることにある (神原哲也『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第2章第2節を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神原
8	ハイデガーの現象学：この世に生まれ、生き、そして死ぬということ (神原哲也『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第2章第2節を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神原
9	メルロ＝ポンティの現象学：普通の生活において私たちの身体はどのような働きをしているのか (神原哲也『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第2章第3節を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神原
10	ベナーの現象学的人間観：身体化した知性 事前学修：[30 分] 自宅学習課題で提出したレポートを読み返す。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	同時双方向型 講義とディスカッション	神原
11	ベナーの現象学的人間観：背景的意味 (神原哲也『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』(ちくま新書、2018年)の第4章第2節を読んで、理解した要点と疑問点を自分の言葉でまとめる。分からない言葉は事典や Web 等で調べる。) 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返す。 事後学修：なし	自宅学習	神原
12	ベナーの現象学的人間観：気遣い・関心 事前学修：[30 分] 自宅学習課題で提出したものを読み返す。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	同時双方向型 講義とディスカッション	神原
13	ベナーの現象学的人間観：状況／時間性 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返す。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	同時双方向型 講義とディスカッション	神原
14	ベナーの現象学的看護理論：well-being を目指す 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返す。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	同時双方向型 講義とディスカッション	神原
15	まとめ：看護ケアのための哲学と倫理 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返す。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	同時双方向型 講義／振り返り／ディスカッション	神原

■ 教科書

神原哲也著 『医療ケアを問いなおす―患者をトータルにみることの現象学』 ちくま新書、2018 年

■ 参考書、参考資料等

西村ユミ／神原哲也編『ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ』(ナカニシヤ出版、2017 年)

ベナー／ルーベル『現象学的人間論と看護』(医学書院、1999 年)

その他は授業中に指示する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

2 年次開講の「生命倫理」と密接な関係にあり、「生命倫理」が看護ケアにおいてどのように位置づけられるのかが、本講義で明らかになります

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 % 2. 筆記試験ないし期末レポート 70 %。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に Zoom で、またはメールで質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

履修前に必要な予備知識は特にありませんが、2 回目以降の授業では、教科書をよく読むとともに、前回の授業内容をよく復習して臨んでください。

■ その他

HBHU400

生命倫理

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 実務経験がある教員：－

○榊原 哲也

■ 授業の目的

医療技術の進歩に伴い、現代の医療現場はさまざまな生命倫理上の諸問題に直面しているが、本講義では、生命倫理をその歴史的・思想的背景から学び、生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植という3つの問題にテーマを絞り、具体的に考察を深める

■ 到達目標

1. 生命倫理の歴史的・思想的背景について説明できる。
2. 生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植というテーマについて、現状がどうであり、そこにどのような生命倫理上の問題があるのかを説明することができる。
3. 生命倫理上の諸問題に対して、看護がどうあるべきかを学生が自ら考える基礎的能力を身につける

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：主として講義形式で授業は進められるが、テーマごとに、学生同士でディスカッションしたり意見交換ができる時間を授業時間内に設ける。また毎回、授業時間終了10分前に配布されるコミュニケーションペーパーに、学生が感想や質問を記入することで、学習内容を振り返ることができるようにし、さらに次回の授業では質問に回答して学生が学びを深められるようにするとともに、主な感想を紹介することによって、学生相互の学びができるように配慮する。
2. 参考資料の提示：授業中に配布される資料や、指示される参考文献、インターネット情報を通じて、事前や事後に学生が自主的に学習を進められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生命倫理とは何か——その歴史的・思想的背景 事前学修：[30 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
2	生殖補助医療をめぐる諸問題——人工授精と体外受精 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
3	生殖補助医療をめぐる諸問題——代理出産 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
4	人工妊娠中絶をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
5	出生前診断をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
6	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——歴史的経緯 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
7	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——臓器移植法の改正をめぐる 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集める 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
8	まとめ——ケアの倫理と正義の倫理 事前学修：[30 分] 指示された参考文献を読んでくる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原

■ 教科書

特に用いない。そのつど、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

赤林朗編『入門・医療倫理Ⅰ』（改訂版）（勁草書房、2017 年）

その他は、授業中に指示する。

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

この授業の学習内容のうち、「生殖補助医療をめぐる諸問題」と「人工妊娠中絶をめぐる諸問題」は、「発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）」と関係している。また「出生前診断をめぐる諸問題」は、「遺伝と遺伝カウンセリング」と関係している。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 25 % 2. 期末の筆記試験 75 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室またはラウンジで質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

自ら積極的に考える主体的な学習態度を望みます。

■ その他

HBHU350

心理学Ⅰ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－

○遠藤 公久

■授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

■到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

■学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想(あれば不明な点)について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

- 1) 事前に配布された授業案に目を通しておく。
- 2) ビデオを視聴する。
- 3) 視聴後、コメントならびに質問等を記入する。
- 4) 理解度チェッククイズに回答する。
- 5) 後日教員から配布される質問への回答を確認する。

No	内容	形式	教員
1	在宅学習課題1「日常生活の人間の不思議な心理・行動」についてレポート(A4版1枚)にまとめる。	自宅学習	遠藤
2	在宅学習課題2「入学前の自己の心理状態について分析しなさい」について、レポート1枚程度(A4版1枚)にまとめる。	自宅学習	遠藤
3	オリエンテーション：心を科学するとは 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
4	心のしくみ1：感覚と知覚(錯覚はなぜ起こるのか) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
5	心のしくみ2：記憶と忘却(どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは)) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
6	心のしくみ3：学習1(人が縁起をかつぐのはなぜか) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
7	心のしくみ4：学習2(人はなぜ攻撃するのか) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
8	心のしくみ5：感情と動機(感情はなぜ生れるか？ 意欲を高めるにはどうすればよいか) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤

No	内容	形式	教員
9	心の発達1と2：発達とは、そして乳児期(赤ちゃんの能力はすごい！) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
10	心の発達3：幼児・児童期(子どもの世界観ってどうなっているの?) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
11	心の発達4：青年期(アイデンティティに悩む若者、悩まない若者) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
12	心の発達5：中年期・老年期(中年期の危機って？ 老いても発達するとは?) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
13	心と社会1：対人関係の心理(発達、維持、深まり) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] 授業でビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。扱った内容でわからないところを確認しておく	オンディマンド型	遠藤
14	心と社会2：集団心理(個人と集団の相互作用プロセス) 事前学修：[10分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[60分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
15	まとめ 事前学修：[15分] レポートに備えてこれまでの授業内容を確認する	自宅学習	遠藤

■教科書

『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』(弘文堂)(遠藤公久編著) 2019年

■参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

■フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

■他の授業科目との関連

心理学Ⅱ、発達看護学概論、

■成績評価の仕方

1. 課題(30%)、2. 理解度確認クイズへの取り組み(20%)、3. レポート(50%)で総合的に判断する。

■オフィスアワー・研究室等

随時 Glexa への質問へ対応する。

■その他

HBHU100

心理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－

○遠藤 公久

■ 授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■ 到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	I-1 自己の心理学1：自己概念と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	I-2 自己の心理学2：自己意識と適応(抑うつと自己注目) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	I-3 自己の心理学3：自己評価と自尊感情 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	I-4 自己の心理学4：社交不安と自己呈示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	I-5 自己の心理学5：心身の健康(トラウマ)と自己開示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	II-1 心の健康の心理学1：性格とは何か (YG 性格検査と Big Five Inventory) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	II-2 心の健康の心理学2：性格のアセスメント 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	II-3 心の健康の心理学3：性格の形成とその人らしさと 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	II-4 心の健康の心理学4：ストレスと心の健康 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	II-5 心の健康の心理学5：心の回復力(レジリエンスについて) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
11	III-1 医療場面の心理学1：医療コミュニケーションの概要 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Ⅲ-2 医療場面の心理学2：医療コミュニケーションの基礎1（コミュニケーションとは何か） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	Ⅲ-3 医療場面の心理学3：医療コミュニケーションの基礎2（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法1） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	Ⅲ-4 医療場面の心理学4：医療コミュニケーションの基礎3（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法2） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	Ⅲ-5 医療場面の心理学5：医療コミュニケーションの基礎4（アサーションの上手な使い方） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 15回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

■ 教科書

適宜配布する。

■ 参考書、参考資料等

『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』（弘文堂）（遠藤公久編著）2019年

■ フィードバックの仕方

レポート結果は、3月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 毎回のコメント(30%) 3. レポート(60%)によって行なう。

■ オフィスアワー・研究室等

木曜日 12:30～13:00 遠藤公久(404 研究室) メール：k-endo@redcross.ac.jp

■ その他

HBHU250

心理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○遠藤 公久

■授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	I-1 自己の心理学1：自己概念と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	I-2 自己の心理学2：自己意識と適応(抑うつと自己注目) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	I-3 自己の心理学3：自己評価と自尊感情 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	I-4 自己の心理学4：社交不安と自己呈示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	I-5 自己の心理学5：心身の健康(トラウマ)と自己開示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	II-1 心の健康の心理学1：性格とは何か (YG 性格検査と Big Five Inventory) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	II-2 心の健康の心理学2：性格のアセスメント 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	II-3 心の健康の心理学3：性格の形成とその人らしさと 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	II-4 心の健康の心理学4：ストレスと心の健康 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	II-5 心の健康の心理学5：心の回復力(レジリエンスについて) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
11	III-1 医療場面の心理学1：医療コミュニケーションの概要 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Ⅲ-2 医療場面の心理学2：医療コミュニケーションの基礎1（コミュニケーションとは何か） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	Ⅲ-3 医療場面の心理学3：医療コミュニケーションの基礎2（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法1） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	Ⅲ-4 医療場面の心理学4：医療コミュニケーションの基礎3（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法2） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	Ⅲ-5 医療場面の心理学5：医療コミュニケーションの基礎4（アサーションの上手な使い方） 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 15回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

■ 教科書

適宜配布する。

■ 参考書、参考資料等

『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』（弘文堂）（遠藤公久編著）2019年

■ フィードバックの仕方

レポート結果は、3月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 毎回のコメント(30%) 3. レポート(60%)によって行なう。

■ オフィスアワー・研究室等

木曜日 12:30～13:00 遠藤公久(404 研究室) メール: k-endo@redcross.ac.jp

■ その他

HBHU250

教育学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

この授業では、教育とは何か、その理念や実践の概要を学びます。

教育学を概観することを通して、主体的に課題を発見し解決する力や、学び続ける態度、グローバル社会で生きる力、看護の専門性を支える幅広い教養を身に付けます。

教育と看護が響き合う領域について、共に考えを深めていきましょう。

■ 到達目標

- 1 教育の思想、歴史、方法、制度、実践について、基本的事項を説明できる。
- 2 教育をめぐる課題について、自ら問いをもち、探究することができる。
- 3 教育と看護との共通点や相違点について、自分なりの考えを表明できる。

■ 学習の進め方

Glexa での、オンデマンド型の遠隔授業です。

Glexa に資料を提示しますので、指定された期間内で都合のよい時間に各自で学習してください。

毎回、課題がありますので、期間内に Glexa で提出してください。それをもって出席とみなします。

また、Glexa 内に受講生間で意見交流する場を設けますので、積極的に参加してください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自らの教育体験を振り返る 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学習	渋谷
2	自らの教育体験を振り返る 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学習	渋谷
3	自らの教育体験を振り返る 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学習	渋谷
4	教育とは何か 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
5	教育の歴史：学校のはじまりと変遷 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
6	教育の思想：さまざまな子ども観 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
7	教育の方法：系統主義と経験主義 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
8	教育の制度：戦前の制度や外国の制度との比較 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
9	教育の実践 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
10	教育の社会学：学歴と階層 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷

No	内容	形式	教員
11	現代の教育問題①：不登校について調べよう 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
12	現代の教育問題②：不登校について調べよう 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
13	グローバル化と教育：多文化を生きる子どもたち 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
14	現代社会で求められる資質・能力 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷
15	まとめ：ふりかえり 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問があれば書き込んでください。	オンデマンド型	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

木村元・小玉重夫・船橋一男(2019 年)『教育学をつかむ [改訂版]』有斐閣

■ フィードバックの仕方

毎回の課題や書き込みには、随時 Glexa 上でコメントするとともに、授業に反映させます。

最終レポートも、Glexa 上でフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

現代教育論、看護教育学ⅠⅡを学ぶ上での基礎知識となります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(78%)：毎回の授業での課題から、授業内容の理解と意欲を評価します。各 6 点で 13 回提出、計 78 点です。

最終レポート(22%)：教育に関する問いについて、どのくらい多角的に考察し(12 点)、論理的に表現できるか(10 点)を評価します(計 22 点)。

最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価しますので、Glexa 上の配点と異なることがあります。

■ オフィスアワー・研究室等

授業に関する質問や意見は、毎回の課題に記してください。e メール m-shibuya@redcross.ac.jp でもけっこうです。

■ その他

HBHU101

現代教育論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

この授業では、現代社会において教育はどのような課題を抱えているのかを学びます。

教育の現代的な課題を学習することを通して、多様な他者と関係を築く力や、学び続ける態度、グローバル社会に貢献する力を身に付けることを目指します。

■ 到達目標

- 1 現代的な教育課題について、基本的事項を説明できる。
- 2 現代的な教育課題の解決のために、多様な他者と関係を築く必要性を理解する。
- 3 現代社会と教育について、自らの問題意識を表明できる。

■ 学習の進め方

AL

講義や討論を通して、さまざまな教育の問題に接近していきましょう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 現代教育論で学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
2	現代社会と教育 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
3	教育を科学する①：保健室という居場所 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
4	教育を科学する②：ジェンダーと教育 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
5	教育を科学する③：教師の仕事・看護の仕事 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
6	教育・平等・公正①：教育と格差 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
7	教育・平等・公正②：子どもの貧困 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
8	教育・平等・公正③：格差は正と教育 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
9	グローバル化と教育①：国境を越えた人の移動 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
10	グローバル化と教育②：開発教育と国際貢献 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
11	グローバル化と教育③：多文化共生のための教育 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	多様性と教育①：インクルーシブ教育 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
13	多様性と教育②：多様な家族のあり方 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
14	多様性と教育③：生きづらさをかかえた人々 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
15	まとめ 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

木村元・小玉重夫・船橋一男(2019 年)『教育学をつかむ [改訂版]』有斐閣

阿部彩(2014 年)『子どもの貧困Ⅱ—解決策を考える—』岩波新書

■ フィードバックの仕方

小レポートは、翌週以降の授業にて、コメントを付して返却するとともに、随時授業に反映させます。

試験のフィードバックは、授業の最終回に、採点基準の解説を通じて行います。その際、採点後の答案用紙の返却方法についても連絡します。

■ 他の授業科目との関連

教育学概論、看護教育学ⅠⅡを学ぶ上での基礎になります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(75%)：授業での発言や小レポートを通して、意欲と理解を評価します。

定期試験(25%)：現代的な教育課題について、どのくらい多角的に考察し、論理的に表現できるかを評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーが決定し次第、お知らせします。また、授業終了後に教室にて受け付けます。

■ その他

HBHU150

身体運動論Ⅰ（理論）

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 実務経験がある教員：－

○梅澤 佳子

■ 授業の目的

皆さんは人生 100 年時代の健康長寿に向けて医療、福祉、地域、教育等の現場でライフステージに適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っています。また、身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・増進することは、皆さんが社会的務めを果たし活躍するためにも、個人として人生を豊かに過ごすためにも必要なことです。

本講義は身体運動やスポーツを安全に、効果的に、楽しく実践するための基本的知識を学ぶことを目的とします。

■ 到達目標

1. 身体運動やスポーツ、レクリエーション、レジャーの正しい知識を修得している。
2. 医療、福祉、地域、教育等の現場で身体運動、スポーツ、レクリエーションが持つ豊かな価値を提供できる。

■ 学習の進め方

講義を中心としますが、ディスカッション、リフレクションシートを用いての対話等、積極的にアクティブラーニングを導入します。履修者数によって講義形式が変わる場合がありますので予めご了承下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義の目的、計画、講義の進め方、到達目標、評価基準等についての説明 事前学修：[15 分] 予めシラバスを読み、講義内容を確認しておいて下さい。 事後学修：次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。	講義と対話	梅澤
2	人生 100 年時代のライフデザインと健康長寿への取組みの重要性について考える 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
3	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ①「身体運動のメカニズムと効果について」 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
4	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ②「身体運動、トレーニング方法の紹介」 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
5	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ③「身体運動、トレーニング方法の紹介」 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
6	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ④ 「ライフ・ステージにあったプログラムの提供を考える」 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
7	教養として学ぶ身体運動、スポーツ、オリンピックの歴史と文化① 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[60 分] 配布資料をもとに講義の復習をして下さい。	講義と対話	梅澤
8	教養として学ぶ身体運動、スポーツ、オリンピックの歴史と文化②、講義のまとめと質疑応答 事前学修：[60 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを提示しますので予習しておいて下さい。 事後学修：[90 分] 定期試験に向けて準備を行って下さい。	講義と対話	梅澤

■ 教科書

教科書は使用しません。講義資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

- 1) 東京大学身体運動科学研究室編『教養としてのスポーツ・身体運動』東京大学出版会.2000 年
- 2) 東京大学医学部健康総合学科編『社会を変える健康のサイエンス』東京大学出版会.2016 年
- 3) 深代千之・内海良子『身体と動きで学ぶスポーツ科学』東京大学出版会.2018 年
- 4) 福田洋・江口泰正編『ヘルスリテラシー』大修館書店.2016 年
- 5) 橋場弦・村田奈々子『学問としてのオリンピック』山川出版社.2016 年
- 6) 広瀬一郎『スポーツマンシップを考える』小学館.2005 年

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に時間を設けて解説を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

前期開講科目「身体運動論Ⅱ(実技)」を履修しておくことを勧めます。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(含講義内ミニレポート等) 40 %、学期末試験 60 %

学期末試験の 60%分の評価については、受講者数等により筆記試験をレポートに変更する場合があります。

■ オフィスアワー・研究室等

講義の前後で対応します。また、質問等はメールでも対応します。

■ その他

HBHU151

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexa でのオンデマンド型)で進めます。授業で学んだ実技を日常生活で活かせるようしっかり身につけてください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題(生活を振り返り、必要な運動処方を調べ、実践する) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	伊藤
2	自宅学習課題(生活を振り返り、必要な運動処方を調べ、実践する) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	伊藤
3	自宅学習課題(生活を振り返り、必要な運動処方を調べ、実践する) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	伊藤
4	ヨガ① ウォーミングアップ、呼吸法と瞑想法 事前学修：[10 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
5	ヨガ② 首、背中、腰をほぐすヨガ 事前学修：[30 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
6	ヨガ③ 肩まわりをほぐすヨガ 事前学修：[30 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
7	ヨガ④ 太もも～腰をほぐすヨガ 事前学修：[30 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
8	ヨガ⑤ 脚まわりを鍛えるヨガ 事前学修：[30 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
9	ヨガ⑥ 太陽礼拝 事前学修：[30 分] ヨガについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
10	ピラティス① イントロダクション(ヨガとの違いなど) 事前学修：[30 分] ピラティスについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
11	ピラティス② 初級 事前学修：[30 分] ピラティスについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤

No	内容	形式	教員
12	ピラティス③ 中級 事前学修：[30 分] ピラティスについて調べてノートに記入する。 事後学修：[30 分] 実践によって得られた感想を Glexa にて提出する。	オンデマンド型	伊藤
13	自宅学習課題(授業の内容を参考に人にヨガやピラティスを教えてみる、また課題図書からレポートをまとめる) 事前学修：[30 分] 日常生活で気になる身体の事や健康について知りたいことをノートにメモする。 事後学修：[30 分] 課題内容の実践と考察をノートにまとめる。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	課題提出	伊藤
14	自宅学習課題(授業の内容を参考に人にヨガやピラティスを教えてみる、また課題図書からレポートをまとめる) 事前学修：[30 分] 日常生活で気になる身体の事や健康について知りたいことをノートにメモする。 事後学修：[30 分] 課題内容の実践と考察をノートにまとめる。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	課題提出	伊藤
15	自宅学習課題(授業の内容を参考に人にヨガやピラティスを教えてみる、また課題図書からレポートをまとめる) 事前学修：[30 分] 日常生活で気になる身体の事や健康について知りたいことをノートにメモする。 事後学修：[30 分] 課題内容の実践と考察をノートにまとめる。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	課題提出	伊藤

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

各オンデマンド授業の感想レポートのフィードバックは全体に対し行う。

また事後学習課題レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論Ⅰ(理論)と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(ノートの内容も含む) 70 % 2. 課題 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

質問等は Glexa にて受け付けます。

■ 受講上の注意事項

講義への理解度や全体の身体能力、習得度等によりシラバスが一部変更になる場合があります。

身体運動論Ⅱ用のノート1冊をオリエンテーションまでに用意してください。

■ その他

HBHU102

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○白井 美穂

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探究し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「身体運動論Ⅱ」に入り、フォルダを開きます。
3. 動画を視聴します。
4. 指定された回の動画を視聴しながらその運動を週3回以上行います。
5. 提示された課題に取り組みます。
6. 指定された期限内に課題を Glexa 内に提出します。
7. 教員は、課題提出を確認し、2 週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
4	ヨガ① 肩こり、リラックス 事前学修：なし 事後学修：[30 分] ヨガの歴史について調べる。また、ヨガを行った感想を Glexa 内にレポートで提出する。	オンデマンド型	白井
5	ヨガ② 朝ヨガ、寝る前のヨガ 事前学修：[30 分] 週3回以上動画を見ながらヨガを行う。 事後学修：[30 分] ヨガを行ってみての感想を Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
6	ヨガ③ 代謝アップヨガ 事前学修：[30 分] 週3回以上動画を見ながらヨガを行う。 事後学修：[30 分] 将来、医療従事者として働く際にヨガがどのような場面で行かされるのか調べて Glexa 上に提出する。	オンデマンド型	白井
7	ピラティス① 体幹を鍛える 事前学修：[30 分] 週3回以上動画を見ながらヨガを行う。 事後学修：[30 分] ピラティスの歴史について調べて Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
8	ピラティス② お腹を鍛える 事前学修：[30 分] 週3回以上動画を見ながらピラティスを行う。 事後学修：[30 分] ピラティスを行ってみての感想を Glexa 上に提出する。	オンデマンド型	白井

No	内容	形式	教員
9	ヨガ実践 事前学修：[30 分] 週3回以上動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30 分] リアルタイムでヨガを行ってみての感想を Glaxa 内に提出する(任意)	同時双方向型	白井
10	ヨガ実践 事前学修：[30 分] 週3回以上、動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30 分] リアルタイムでヨガを行ってみての感想を Glaxa 内に提出する(任意)	同時双方向型	白井
11	ダンベル体操 事前学修：[30 分] 週3回以上、動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30 分] ダンベル体操を行ってみての感想を Glaxa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
12	正しいウォーキング、スロージョギング 事前学修：[30 分] 週3回以上、動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30 分] ウォーキング、スロージョギングなどの有酸素運動を行った感想を Glaxa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
13	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
14	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
15	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glaxa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論Ⅰ(理論)と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

授業の課題 70% 事前課題 15% 事後課題 15%

■ オフィスアワー・研究室等

休日を除く平日 17時まで Glaxa メールで対応します。

■ 受講上の注意事項

無理のない範囲で運動を行ってください。

■ その他

HBHU102

生活環境論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」連携 「3」変化 実務経験がある教員：－

○石田 千絵、井口 理、湯浅 晶子、吉川 悦子、月野木 ルミ

■授業の目的

人の生活を中心に、環境の成立や人の生活との相互作用を含む環境の変化を捉え、環境が健康と生活へ与える影響とその対策について学習を深める。また、人間と環境との関連を身近な生活の問題として捉え、公衆衛生的視点からそれぞれの課題を探究する。

■到達目標

1. 人間の生活と環境の関係、環境が健康にもたらす影響を説明できる。
2. 人間と環境との関連を身近な問題として捉え、公衆衛生的視点から課題と対策を理解する。
3. 特定地域の生活環境をアセスメントし、人びとの健康に影響を与える具体的な視点について説明できる。

■学習の進め方

AL

講義・演習・GW・発表

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康な暮らしと環境/オリエンテーション 事前学修：[15分] 健康な暮らしとは何かを考え、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 配布資料を読み返し学びを深める	講義	石田、湯浅
2	健康と環境のアセスメント① 演習の説明 事前学修：[15分] 健康な暮らしを支える環境について考え、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 配布資料を読み返し、演習の計画を立てる	講義・演習	石田
3	健康と環境のアセスメント② 地区踏査 事前学修：[15分] 地区踏査の方法について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 地区踏査の結果を要約しまとめる	演習.GW	全員
4	健康と環境のアセスメント③ 地区踏査 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地区の特徴について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 地域の特徴としての強みと弱みを抽出する	演習.GW	全員
5	健康と環境のアセスメント④ 地区踏査、まとめ 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)を要約する 事後学修：[30分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)を見直す	演習.GW	全員
6	健康と環境のアセスメント⑤ 地区踏査、発表準備 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)の発表資料原稿を作成する 事後学修：[30分] 発表の配布資料を作成する	演習.GW	全員
7	健康と環境のアセスメント⑥ 発表 事前学修：[20分] パワーポイントでの発表の準備を行う 事後学修：[20分] 発表資料を見直し、学びを深める	演習.GW	全員
8	健康と環境のアセスメント⑦ まとめ 事前学修：[30分] 健康な暮らしと環境について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 演習で得た学びを考察する	講義	全員

■教科書

適宜、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

厚生労働統計協会：国民衛生の動向(最新版)

環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(最新版)

■フィードバックの仕方

グループ発表については、担当の教員がその場で講評をする。また、個々に評価つきのレポートを3年次の授業で返却する。

■他の授業科目との関連

看護全般の基本となる科目である。特に、公衆衛生看護、在宅看護、災害看護の基盤となる。

■ 成績評価の仕方

演習への取り組みと発表(80 %)、提出資料(20 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00

石田(432 研究室) 井口(〇〇研究室) 吉川(425 研究室) 月野木(433 研究室) 湯淺(445 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻・欠席は演習の取り組み不十分とみなし、「評価：演習の取り組みと発表(80 %)」の減点対象となります。

■ その他

HBHU251

障がい論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」連携 「2」擁護 「3」実践 実務
経験がある教員：－

○坂口 千鶴、鷹野 朋実、堀井 湖浪、山内 朋子、井口 理、湯浅 晶子、神谷 美帆、池田 良輔子

■ 授業の目的

国内外の様々な学問領域の視点から障がいを捉え、その基本的内容や枠組みの概要を理解し、わが国における今日的な障がい児・者問題の課題を各自が主体的に考える。

■ 到達目標

1. 国内外の様々な学問領域の視点をもとに障がいを説明することができる。
2. 障がいのある人の尊厳と権利を倫理的な視点から説明することができる。
3. 障がいのある人のもつ能力について理解でき、その能力を活かした看護実践について説明できる。
4. 共生する社会の実現に向けて、新たな看護の役割を説明することができる。

■ 学習の進め方

AL 各看護領域の教員がオムニバスで講義を担当するが、その中でグループ討議や個別の問いかけを随時入れていく。グループ討議等では積極的に学生同士で意見交換をしながら理解を深めていく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション / 障がいって何？ 障がいの喜びと苦悩 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
2	障がいをもちながら成長発達すること / 「自立と共生」 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	未定
3	地域における障がい者 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	井口
4	リハビリテーションの概念と ICF (国際生活機能分類) 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	鷹野
5	発達障がいのある子どもと家族 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	山内
6	障がいを抱える人の自立支援～セルフヘルプグループの視点から～ 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	堀井
7	障がいと雇用 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	湯浅
8	高齢者と障がい 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業で提出)	講義・討論	未定

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜参考文献を紹介する。

■ フィードバックの仕方

事前学習の内容とリフレクションペーパーのフィードバックは、最終授業終了後 1 ヶ月以内に 414 研究室にて、コメントとともに返却を通じて行う。ポータルで連絡するので受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

母性、小児、精神保健、成人、老年、地域等各看護学領域と関連づけながら、障がいに関心をもち、焦点を当てた学習内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 事前学習の内容・リフレクションペーパー 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30～13:00 坂口(414 研究室)・鷹野(428 研究室)・未定(研究室)・堀井(428 研究室)・山内(443 研究室)・未定(研究室)

■ その他

HBHU351

社会学Ⅰ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○鷹田 佳典

■授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

■到達目標

1. 社会学の基礎と思考方法を習得する。
2. 社会学の概念の意味を理解する。
3. 社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

■学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業の終わりにリアクションペーパーを配布し、コメントや質問を書いてもらう時間を設けます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	各回の講義で取り上げる問いの中から一つ選んで、自分なりの考えをまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	鷹田
2	各回の講義で取り上げる問いの中から一つ選んで、自分なりの考えをまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	鷹田
3	各回の講義で取り上げる問いの中から一つ選んで、自分なりの考えをまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	鷹田
4	イントロダクション：社会学への招待 事前学修：[30分] 社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
5	禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？ 事前学修：[30分] 宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
6	アノミー：なぜ人は自殺するのか？ 事前学修：[30分] ここ20年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
7	印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？ 事前学修：[30分] 人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
8	感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？ 事前学修：[30分] バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
9	予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？ 事前学修：[30分] プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
10	ラベリング：なぜ再犯が多いのか？ 事前学修：[30分] 犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田

No	内容	形式	教員
11	相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？ 事前学修：[30 分] 公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
12	社会的性格：なぜ人は自由から逃れようとするのか？ 事前学修：[30 分] 日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
13	モラトリアム：人はいつオトナになるのか？ 事前学修：[30 分] アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
14	マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？ 事前学修：[30 分] ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
15	リスク：なぜ精密検査を受けないのか？ 事前学修：[30 分] 身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田

■教科書

特定の教科書は使用しません。

■参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

■他の授業科目との関連

社会学Ⅱ、家族社会学と関連します。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、学期末レポート(60%)

■オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受けつけます。

■その他

HBSS100

社会学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」変化 実務経験がある教員：－

○鷹田 佳典

■授業の目的

私たちは日常で起こる出来事を、しばしば「個人的な事柄」と考えがちです。しかし、一見何気ない日常の一コマも、実は大きな歴史の流れやマクロな社会構造と深く関わっています。したがって、私たちの生きるこの現実を理解するためには、こうした個人と社会の相互規定関係を捉える姿勢が求められます。このように、個人的な事象を社会全体と結びつけて考える能力を、社会学では「社会学的想像力」(ミルズ)と言います。社会学的想像力は、将来、医療専門職者として働く際にも役に立つはずです。そこで本講義では、さまざまなテーマを取り上げながら、社会学的想像力の涵養を目指します。

■到達目標

1. さまざまな社会領域で起きている事柄についての関心を深める。
2. 社会学の基礎概念を理解する。
3. 個人と社会を結び付けて考える「社会学的想像力」を身につける。

■学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業の終わりにリアクションペーパーを配布し、コメントや質問を書いてもらう時間を設けます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会学的想像力とは何か 事前学修：[30分] 最近の気になるニュース記事を二つ切り抜いておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
2	ガラスの天井：女性の社会進出を阻む見えない壁 事前学修：[30分] 女性の大統領や首相がどれくらいいるか調べ、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
3	男らしさという檻：男はつらいよ？ 事前学修：[30分] どんな行為が男らしいとされているかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
4	きょうだいリスク：リスク化するきょうだい 事前学修：[30分] きょうだいとの関係について考え、気づいたことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
5	やりがい搾取：やりがいに潜む罠とは 事前学修：[30分] 個人事業主という働き方について調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
6	ダウンシフター：減速して生きる 事前学修：[30分] 1か月生活していくのに幾らあれば必要かを内訳も含めてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
7	ベーシックインカム：お金がただでもらえる？ 事前学修：[30分] ベーシックインカムのメリットとデメリットについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
8	いきなり結婚：結婚はコスパが悪い？ 事前学修：[30分] 現代社会における恋愛の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
9	フェイクニュース：火星人が攻めてきたら？ 事前学修：[30分] フェイクニュースについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

No	内容	形式	教員
10	健康至上主義：健康という病 事前学修：[30 分] 健康に気をつけていることをノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
11	バイオグラフィーの混乱：寛解者の社会を生きる 事前学修：[120 分] 闘病記を 1 冊読んで、感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
12	健康格差：不健康は自己責任か？ 事前学修：[30 分] 人々の健康状態に影響を与える要因をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
13	曖昧な喪失：行方不明者遺族の苦しみ 事前学修：[30 分] 悲嘆についてどのようなモデルがあるのかを調べ、特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
14	継続する絆：SNS 上で生き続ける死者 事前学修：[30 分] 自分が亡くなった後の SNS の管理について考えをまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
15	終活：自分らしい死？ 事前学修：[30 分] 終活がなぜこれほど関心を集めているのか、その理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は試用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

社会学 I、家族社会学と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40 %)、定期試験(60 %)

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

■ その他

HBSS250

社会保障論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」変化 実務経験がある教員：－

○奥貫 紀文

■ 授業の目的

「社会保障」は、「個人」という枠を超えて「社会連帯」に皆が参加することで、社会全体の安定性を保つという考えが共有されることで成り立っています。つまり、「社会保障論」を学ぶことは、単なる制度の理解に留まらず、私たちの社会のあり方そのものを考えることでもあります。したがって、まずは社会への幅広い視野と問題意識をもつことが、この授業における最大の目的となります。さらに、看護大学の学生として、将来、医療・福祉現場で働く際に、最低限身につけておくべき社会保障制度を正確に理解したうえで、ケアや当事者の生活の質を高め、社会復帰をより円滑に進められるようになることをめざします。

■ 到達目標

まずは社会保障制度の全体像を把握することが第1の目標となります。第2に、法律用語に慣れ、頻繁に変わる法改正の動向をフォローすること、最後に、現在の社会保障制度に対する自らの見解を持ち、それを客観的、論理的に第三者に伝えられる文章作成能力を身につけることとなります。

■ 学習の進め方

この授業は講義形式で進めていきます。現在進行形で動いている日本の社会保障制度の全体像を学びながら、とりわけ今日的でかつ重要と思われるテーマをピックアップして話をします。

具体的には、学説や裁判例、社会保障に関わる新聞記事やトピックを素材に、問題の所在を明らかにしたうえで、社会保障分野はいかに改善を図るべきか、共に考えます。なお、複雑な制度をなるべくシンプルに理解することができるように、原則として人の誕生から高齢期に至るまでの「人間のライフステージ」に沿いながら授業を進めます。

※原則、課題提出や遠隔授業方法(Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用)ですすめます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会保障論を学ぶ意義・看護師がもつべき社会保障制度の知識とは 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	自宅学習	奥貫
2	総論：社会保障制度の全体像とその理念、目的、意義・社会保障関連法の立法の歴史 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	自宅学習	奥貫
3	児童に関わる法制度：児童手当・児童扶養手当・児童虐待防止法・親権停止制度 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	自宅学習	奥貫
4	年金制度：国民年金・厚生年金 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫
5	健康保険制度：国民健康保険・健康保険 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫
6	高齢者福祉制度：介護保険・介護予防・老老介護の現状・介護労働者の労働問題 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫

No	内容	形式	教員
7	障害のある人に関わる法制度：障害年金、障害者総合支援法、障害者雇用 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫
8	貧困政策：貧困の現状(子どもの貧困、若者の貧困、女性の貧困、高齢者の貧困)・生活保護制度 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫

■ 教科書

使用しません。適宜レジュメを配付します。

■ 参考書、参考資料等

- ・久塚純一・山田省三編『社会保障法解体新書〔第4版〕』(法律文化社、2015年)
- ・健康保険組合連合会編『社会保障年鑑』(東洋経済新報社、各年発行)
- ・独立行政法人福祉医療機構ウェブサイト「WAM NET(ワムネット)」<http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

■ フィードバックの仕方

ポータルにて一定期間解説資料を公開する。

■ 他の授業科目との関連

障がい論、看護関係法規、母性・小児・老年・精神保健看護学とも関連があります。

■ 成績評価の仕方

学期末に、筆記試験実施。筆記試験未受験者は単位取得できません。

平常の授業態度(55%)、筆記試験(45%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後、質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

疑問点は、早い内に解消するように心がけてください。分からないことを分からないまま放置しないよう留意してください。

「社会保障」制度は、社会の成員全体の生活の安定を図るためにあります。社会保障を学ぶということは、私たち一人一人が将来どんな社会を望むのか、常に考え続けることでもあります。ぜひ、幅広い視野と柔軟な心をもって授業に臨んでください。

■ その他

HBSS300

家族社会学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○三具 淳子

■ 授業の目的

家族は私たちにとって、とても身近なものです。そのため、家族について考えるのは簡単なことのように思われがちですが、身近であるからこそ、個人的な経験から離れて家族を客観的に捉えることは難しいともいえます。この授業では、まず、家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学び、そのうえで、地域的・歴史的な比較をとおりて家族が多様なものであり、変化するものであることを学びます。さらに、現代日本の家族が直面しているさまざまな問題を具体的にとりあげ、家族社会学における議論を踏まえながら、問題の構成を考えていきます。

■ 到達目標

1. 現代日本の家族が人口学的にみてどのように位置づけられるかを理解し、説明できる。
2. 現代日本の家族の特徴を具体的に示すことができる。
3. 家族が直面する諸問題を社会との関係から説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、レジュメや資料に沿って講義形式で行います。授業で取り上げるテーマは、簡単に答えの見つかるものではないかもしれませんが、意見や質問を交わすことで考えを深め、新たな関心へと発展させていきましょう。コメントカードも活用します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1. イントロダクション：家族とはなにか？ 事前学修：[15 分] 図書館の社会学関連の書棚をみて、どのようなテーマが扱われているかを調べる。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
2	家族をとらえるキーワード 事前学修：[30 分] 前回授業での課題を調べる。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
3	日本の家族の変容 1：人口構造と家族構造 事前学修：[30 分] 最新の「国民生活基礎調査の概況」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
4	日本の家族の変容 2：近代家族モデル 事前学修：[30 分] 最新の「国民生活基礎調査の概況」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
5	多様な家族：欧米の家族、アジアの家族 事前学修：[30 分] 前回授業での課題を調べる。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
6	現代日本の家族 配偶者選択と結婚 事前学修：[30 分] 最新の「出生動向基本調査」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
7	現代日本の家族 夫婦関係 事前学修：[30 分] 最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
8	現代日本の家族 親子関係 事前学修：[30 分] 最新の「学校基本調査」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
9	現代日本の家族 きょうだい関係 事前学修：[30 分] 前回授業での課題を調べる。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
10	現代日本の家族 ケア(1)子育て 事前学修：[30 分] 最新の「少子化社会対策白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具

No	内容	形式	教員
11	現代日本の家族 ケア(2)介護 事前学修：[30 分] 最新の「高齢社会白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
12	ワーク・ライフ・バランス 事前学修：[30 分] 最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
13	社会政策と家族 事前学修：[30 分] 最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
14	社会福祉と家族 事前学修：[30 分] 最新の「厚生労働白書」を読む。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具
15	まとめ これからの家族 事前学修：[30 分] これまでの講義全体のレジュメを復習する。 事後学修：[30 分] 授業内容を復習する。	講義	三具

■ 教科書

教科書は使用しない。授業時にレジュメおよび資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に紹介する。

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

「社会学」を履修する(している)ことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 30 %、定期試験 70 %により評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

■ その他

HBSS251

世界の文化と宗教

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－

○佐藤 眞

■ 授業の目的

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教など世界の宗教について学ぶ。それぞれの宗教の信仰、価値観、人間観などを理解する。それぞれの宗教によって成立した文化や社会の過去と現在についても理解する。

■ 到達目標

1. さまざまな宗教的背景、文化的背景を持つ人々を理解することができる。
2. 宗教を持つ人々の価値観、人間観、人生観、社会観などを尊重する態度を持つことができる。
3. 日本人、日本、日本の文化や宗教について考えを深める。

■ 学習の進め方

1. 授業展開：
開講時に配布される冊子に挙げられている世界の文化や宗教に関する項目を学生が調べ、「発表」する。
発表に関する「討論」によって理解を深める。
学生の発表後教員によるその宗教の全体像や特徴などの「講義」を聞く。
毎週授業後に配布される「課題」にその授業に関する内容を記述し、提出する（「宿題」）。
 2. 見学：
いくつかの宗教については、その宗教施設を訪問する（「フィールドワーク」）
- ※原則、課題提出や遠隔授業方式（Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用）ですすめます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	宗教と文化の関係を考える 事前学修：[20 分] 現在までの自分と宗教の関わりについて考える。 事後学修：[30 分] 課題 1：配布される「自分自身と宗教文化」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
2	ユダヤ教とその文化(1)「ユダヤ教の聖典」「ユダヤ教の祭儀」「ユダヤ教徒の教え」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 2：配布される「ユダヤ教 1」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
3	ユダヤ教とその文化(2)「ユダヤ教徒の生活」「シナゴグ」「ユダヤ人と学問・芸術」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 3：配布される「ユダヤ教 2」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
4	キリスト教とその文化(1)「キリスト教の聖典」「キリスト教の祭儀」「イエス・キリスト」「キリスト教の教え」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 4：配布される「キリスト教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
5	キリスト教とその文化(2)「パウロ」「キリスト教の諸派」「建築としての教会」「キリスト教芸術」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 5：配布される「キリスト教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
6	ユダヤ教のシナゴグ訪問 事前学修：[30 分] 授業で学んだことを振り返り、見学时に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[30 分] 配布される「見学レポート 1」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
7	イスラム教とその文化(1)「イスラム教の聖典」「イスラム教の祭儀」「ムハンマド」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 6：配布される「イスラム教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

No	内容	形式	教員
8	イスラム教と文化(2)「イスラム教徒の生活」「イスラム教の広がり」「イスラム教の諸派」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 7：配布される「イスラム教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
9	イスラム教のモスク訪問 事前学修：[30 分] 見学時に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[30 分] 配布される「見学レポート 2」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
10	インドの宗教と文化(1)「仏教の教え」「ゴータマ・シッダルダ」「仏教の広がり」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 8：配布される「インドの宗教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
11	インドの宗教と文化(2)「ヒンドゥー教」「シーク教」「インドの宗教対立」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 9：配布される「インドの宗教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
12	アジアの宗教と文化 「中国仏教」「道教」「フィリピンの宗教」「インドネシアの宗教」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「アジアの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 10：配布される「アジアの宗教」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
13	日本の宗教と文化(1)「神道の祭儀」「神道の神・神社」「日本の神話」「国家神道」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 11：配布される「日本の宗教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
14	日本の宗教と文化(2)「仏教の日本伝来」「遣唐使と仏教」「仏教の諸派とその教え」「檀家制度」「神仏習合」「廃仏毀釈」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 12：配布される「日本の宗教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
15	日本の宗教と文化 (3)「天理教」「創価学会」「大本教」「PL 教団」「幸福の科学」「立正佼成会」「世界基督教統一神霊協会」 事前学修：[30 分] この授業で学んだことを振り返る。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 13：配布される「日本の宗教 3」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

■ 教科書

使いません。必要な参考図書、辞典等は配布する冊子に記載されています。

■ 参考書、参考資料等

必要な図書、資料は配布する冊子に記載されています。

■ フィードバックの仕方

「課題」について次週に振り返りを行います。

「期末レポート」の題材は配布冊子の「レポートタイトル例」を参考に学生が選び、必要ならば助言します。

■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミ I」、「社会学 I」、「国際看護学 I」、「国際看護学 II」等の科目と関連があります。

■ 成績評価の仕方

課題：20%、見学レポート：10%、発表：25%、期末レポート：45%を総合して評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、3限、5限終了後(4月13日から7月20日の間)、水曜日：4限(4月8日から7月29日の間)、木曜日：2限、昼休み、5限(4月9日から7月23日の間)は557研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

■ その他

HBSS200

国際関係論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」連携 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－

○角田 敦彦

■ 授業の目的

いま、世界で何が起こり、何が問題とされているのか。現代の国際社会の仕組みやシステムについて考え、世界に対する基本的理解を深めることが本授業の目的です。あらゆる個人も国家も、自らの安心安全を希求して行動するとするならば国際社会の行動原理も同様といえるでしょう。本授業ではグローバル化が加速する国際社会の成り立ち、直面する諸問題を「人類への脅威」として捉え、国家の安全保障と人間の安全保障という二つの視点からこれらを考察します。またこうした諸問題の解決に向けての国際機関やN G O等の活動に対する理解も深めます。

■ 到達目標

1. 世界で起きている出来事に関心を抱き、身近な社会との関連性が理解できる。
2. 国際社会の一員としての自覚に基づく国際的な相互依存の構図が理解できる。
3. 地球市民として異文化に対する理解と共感を深めることができる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、討論を交えて展開する。授業参加学生は世界の現状についての関心と問題意識を高め、積極的な質疑応答、討論を行うことが期待される。疑問については、授業ごとのフィードバックシートにより、科目担当者から回答もしくは授業の中で相互に議論しながら答えを得るよう努める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス:授業の進め方 国際関係論とは 事前学修：[30 分] 現代の国際問題について一般的な情報を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	20 世紀の国際関係の理解 事前学修：[30 分] 二つの世界大戦とその後の冷戦について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	今日の国際関係 事前学修：[30 分] 宗教や文化の衝突による紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	グローバル化の時代 事前学修：[30 分] グローバリゼーションとはどのようなものか、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	現代の安全保障 事前学修：[30 分] 安全保障の様々な考え方に関する資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	国際社会における日本の位置づけ 事前学修：[30 分] 日本の外交や安全保障に関する課題をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	北東アジアの政治と国際関係 事前学修：[30 分] 日本が北東アジアにおいて抱える問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	国際関係理論とは？ 事前学修：[30 分] リアリズム、リベラリズムなどの理論について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	国際レジームとグローバル・ガバナンス 事前学修：[30 分] 国際レジームの具体例について検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

No	内容	形式	教員
10	リージョナリズムと欧州統合 事前学修：[30 分] EU など欧州統合の具体例を自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	南北問題 事前学修：[30 分] 南北問題とはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
12	地球環境問題 事前学修：[30 分] 現在起こっている地球環境問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	非国家アクターの台頭 事前学修：[30 分] 非国家アクターとはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
14	地球的諸問題に市民社会はどのように貢献できるか 事前学修：[30 分] 市民社会が世界を動かした事例について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
15	国際・国内紛争の解決 事前学修：[30 分] 紛争解決に重要なアクターについて自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

■ 教科書

なし。必要の都度提示する。

■ 参考書、参考資料等

佐渡友哲、国際関係論、弘文堂、2018

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出後7日目以降 21 日以内に、410 研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

赤十字国際活動論、国際看護学、異文化理解等の基礎となる知識を得ることができる。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 課題・レポートの提出 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

①開講期間中の月曜日 ② 12:30～13:00 ③ 410 研究室

■ 受講上の注意事項

2020 年 11 月 23 日～12 月 4 日に本学で開催される H.E.L.P. 研修会のため、授業内容の一部を振り替えることがある。

■ その他

HBSS150

日本国憲法

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 実務経験がある教員：－

○吉田 直正

■ 授業の目的

憲法といえども、人間によって作られたという点では他の法規範と異なるところはない。絶対視することなく、また逆に軽視することなく、日本国憲法について考える。

■ 到達目標

1. わが国の憲法(日本国憲法はその重要な部分)の全体像が把握できる。
2. 日々の憲法関連報道に対する各自の判断基準が確立できる。
3. 法的思考力が涵養できる。

■ 学習の進め方

オンデマンドによる動画で授業を行う。

授業後、感じたこと、考えたこと、質問などのコメントを提出。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	日本国憲法の成立経緯と前文について 国会図書館 日本国憲法の誕生 https://www.ndl.go.jp/constitution/ 概説 第 1 章から第 5 章までよく読んで、思ったこと、考えたことを A4 用紙 2 枚にまとめて授業再開日に提出のこと。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田
2	日本国憲法の成立経緯と前文について 国会図書館 日本国憲法の誕生 https://www.ndl.go.jp/constitution/ 概説 第 1 章から第 5 章までよく読んで、思ったこと、考えたことを A4 用紙 2 枚にまとめて授業再開日に提出のこと。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田
3	日本国憲法の成立経緯と前文について 国会図書館 日本国憲法の誕生 https://www.ndl.go.jp/constitution/ 概説 第 1 章から第 5 章までよく読んで、思ったこと、考えたことを A4 用紙 2 枚にまとめて授業再開日に提出のこと。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田
4	憲法学の対象について 事前学修：[30 分] 教科書 3～6 ページをよく読み、三種類の意味の憲法をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 14～21 ページをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
5	象徴天皇制と天皇の行為 事前学修：[30 分] 教科書 143～155 ページをよく読み、日本国憲法第 1 条をノートに書き写し、自分なりの解釈を書いてみる。日本国憲法の規定する 13 の国事行為をノートに書き出し、具体的内容を考える。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
6	第 9 条解釈の諸相 事前学修：[30 分] 教科書 51～53 ページをよく読み、日本国憲法第 9 条をノートに書き写し、自分なりの解釈をノートに書いてみる。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 218～225 ページをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
7	人権の歴史 事前学修：[30 分] 教科書 54～57 ページをよく読み、自然権、人権、基本権、それぞれの意味をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田

No	内容	形式	教員
8	基本権の種類 事前学修：[30 分] 教科書 58～61 ページをよく読み、憲法の保障する 4 種類の権利とその内容をノートに書き出す。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 73～75 ページをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
9	社会権の登場 事前学修：[30 分] 教科書 112～129 ページをよく読み、社会権規定が憲法に登場する契機をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
10	国民代表原理 事前学修：[30 分] 教科書 44～47 ページをよく読み、「主権」の意味をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 157～160 ページをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
11	議会制と政党制 事前学修：[30 分] 憲法前文と第 43 条をよく読み、日本国憲法では国会議員がどのように位置付けられているかをノートに書き出す 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と配付プリントをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
12	我が国の裁判制度 事前学修：[30 分] 教科書 187～189 ページをよく読み、戦前と戦後の「司法権」の範囲をノートに書き出す。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 190～195 ページをよく読み、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
13	違憲審査制の成立 事前学修：[30 分] アメリカ建国から南北戦争までの歴史をノートに整理しておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
14	憲法訴訟 事前学修：[30 分] 教科書 195～198 ページをよく読み、日本国憲法 81 条をノートに書き写し、自分なりの解釈を書くこと。 事後学修：[30 分] 授業内容の整理と、教科書 198～201 ページをよく読み、配付プリントで 10 件の法令違憲判決を確認し、講義動画に対するコメントを提出する。	オンデマンド	吉田
15	全体のまとめ 事前学修：[30 分] 10 回、11 回の講義内容の整理 事後学修：[60 分] レポート課題について、しっかりまとめて、提出する。	オンデマンド	吉田

■ 教科書

「プラクティス法学実践教室Ⅱ《憲法編》第 4 版」高乗・奥村編著(成文堂、本体 1,900 円) ISBN978-4-7923-0610-6

■ 参考書、参考資料等

適宜指示

■ フィードバックの仕方

提出レポートにコメントをつける。

■ 他の授業科目との関連

関係法規との関連性あり。高校社会科各科目の履修内容を確認、整理しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. レポート 70 % 2. 授業への取り組み 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

講義に対するコメントにより対応する。

■ その他

HBSS101

医療と文化

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」国際貢献 「3」関係 実務経験がある教員：－

○鈴木 勝己

■ 授業の目的

この授業は、医療人類学(medical anthropology)の知見に基づいて、私たちの身体と生老病死や健康に関する文化について幅広く学んでいきます。文化を理解する身近な例として食事が挙げられます。私たちは体に悪いと知っていても、なぜ健康を害する食品や嗜好品を摂取するのはなぜでしょうか。私たちは、単に栄養摂取のためだけに食事をするわけではありません。栄養にはならないけどおいしいから食べる、昔からの習慣だから食べる、健康になるために食べるなど、食事には様々な理由があります。この理由こそがそれぞれの文化と密接にかかわっているのです。この授業では、身近な文化の例を用いて医療人類学という学問がどのようなものなのか、私たちの身体や健康に関わる文化がどのようなものであるのかを考えていく授業を展開していきます。具体的に扱うテーマは、医療の歴史、伝統医療、心身医学と病いの語り、健康生成論、世界の貧困問題、婚姻と出産、家族のあり方、痛みと身体変工、女子割礼、脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死、タイ仏教看護と看取りなどになります。これらの話題を通して文化の意味や役割を考えていきます。

■ 到達目標

この授業では、異文化の理解が必須である国際医療援助や国内の僻地医療に貢献する医療者の育成を目指しています。具体的な目標は、以下の3項目となります。

- 1)異文化の理解：異なる文化に生きる人びとを理解し、尊重する想像力を養う
- 2)ケアマインドの育成：苦しんでいる人びとに寄り添い、支援するための感性を養う
- 3)総合的な人間理解：文系・理系の垣根を越えて人間への興味・関心を養う

■ 学習の進め方

授業の進め方は、通常の講義に加えて映像資料を用いたグループワークなどにおいて一人ひとりが自分の意見を表明する機会があります。また、授業内容の感想等を記入するミニレポート(200字から400字程度)の作成を求める場合があります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 事前学修：[30分] 自己紹介の準備(看護師を目指す理由について報告できるように) 事後学修：[30分] 授業内容の復習(各自の自己紹介の内容確認)	討論	鈴木
2	医療人類学とはどんな学問か？ 事前学修：[30分] 本科目に対して何を期待するか各自で意見をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
3	欧米の文化が一番いい？：文化相対主義の意義 事前学修：[30分] 前回の授業内容の復習(疑問点の書き出し) 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
4	医療の歴史：感染症から生活習慣病へ 事前学修：[30分] 中世(ペストの流行)から近代(抗生物質の発見)までの歴史の流れを確認しておく 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
5	心身医学と全人的医療モデル 事前学修：[30分] 前回の授業内容の復習(医療の歴史の流れを確認しておく) 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
6	健康生成論 事前学修：[30分] 前回の授業内容の復習(全人的医療モデルにおける社会文化的要素を確認しておく) 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
7	貧困と病気の関係性 事前学修：[30分] 世界の貧困国に関するニュース報道等によって貧困の実態を把握しておく 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
8	妊娠・出産と家族のかたち 事前学修：[30分] 前回の授業内容の復習(「貧困の文化」の意味を確認しておく) 事後学修：[30分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木

No	内容	形式	教員
9	映像資料の視聴その1 事前学修：[30 分] 映像資料に関する基本的情報について調べておく（事前に指示する） 事後学修：[30 分] 映像資料から抽出できる疑問点を書き出しておく	GW	鈴木
10	映像資料の視聴その2 事前学修：[30 分] 映像資料で示された課題に対して思いつく解決方法を箇条書きにしておく 事後学修：[30 分] 課題の解決方法を実現していくための条件を箇条書きにしておく	GW	鈴木
11	痛みと身体変工 事前学修：[30 分] 刺青やピアスの是非について自分の意見をまとめておく 事後学修：[30 分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
12	社会的苦悩 事前学修：[30 分] 自分や友人の悩み事・困り事を聴取しておく 事後学修：[30 分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
13	安楽死・尊厳死の是非 事前学修：[30 分] 安楽死 (euthanasia) と尊厳死 (death with dignity) の違いを調べて確認しておく 事後学修：[30 分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
14	仏教看護と看取り：タイ・エイズホスピス寺院の事例から 事前学修：[30 分] 仏教看護とはどのような看護であると想像するか箇条書きにしておく 事後学修：[30 分] 授業で用いた配布資料の内容確認および読み返し	講義＋討論	鈴木
15	まとめ：医療人類学の可能性 事前学修：[30 分] これまでの授業内容の全体に関する疑問点を箇条書きにしておく 事後学修：[30 分] 学期末試験に備えてすべての配布資料の内容を確認しておく	講義＋討論	鈴木

■ 教科書

学生の興味や関心によって横断的に文献・参考資料を選択するため、事前に教科書は指定しません。参考にすべき文献については下記を参照。

■ 参考書、参考資料等

- ・『ヘルマン医療人類学：文化・健康・病い』C. ヘルマン著、金剛出版、2018
- ・『苦悩とケアの人類学：サファリングは創造性の源泉になりうるか』浮ヶ谷幸代編著、世界思想社、2015

■ フィードバックの仕方

期末試験のフィードバックとして試験実施後に試験問題の意図を説明します。3 週間以内に教務係を通じて答案用紙の返却を行います。

■ 他の授業科目との関連

社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、家族社会学と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への参加態度・取り組み(20%)、教場ミニレポート(30%)、期末試験(50%)の三項目を点数化して総合評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業の前後に個別の質問や相談、その他の連絡を受け付けます。授業日以外の場合は電子メール (educoach646@kurenai.waseda.jp) による質問・連絡も受け付けます。詳細は初回授業時に告知します。

■ 受講上の注意事項

この授業では、単に知識を習得するだけではなく、自分の頭と身体を使って考え、主体的に学ぼうとする意欲が求められる。また、医療人類学という学問の性格上、国際医療保健および国際医療援助、あるいは国内の僻地医療に関心をもつ学生を歓迎する。

■ その他

HBSS252

数学 I

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○川崎 洋平

■ 授業の目的

データを整理・分析するための基礎力となる数学及び統計学の基本を習得する。

■ 到達目標

1. 高校数学の基本知識、基本解法を習得する。
2. 統計学に必要な数学の基礎を理解し、計算が出来る。
3. 簡単な統計用語の意味を理解し、基本的な計算ができる。
4. 論理的、合理的、数理的思考ができる。

■ 学習の進め方

1. GLEXA に保存したある、各回のオンライン授業(パワーポイント資料+音声)を受講する。
2. GLEXA に保存したある、課題又はレポートに取り組む。
3. 2について Glexa のレポートシステムを使って Word か PDF で提出する。
※ 提出資料のファイル名は以下の通りとします。
「学籍番号_名前_提出日_数学_第〇回目レポート」
⇒ 例：220B100_川崎洋平_20200504_数学_第 1 回目レポート
4. 質問があればフォーラムで質問をする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進捗度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データを整理するための基礎知識(1)：平均、割算の意味、割合 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
2	データを整理するための基礎知識(2)：さまざまなグラフ(棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
3	データを整理するための基礎知識(3)：データと変量、度数分布表、ヒストグラム 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
4	データを整理するための基礎知識(4)：代表値、データのばらつき、箱ひげ図 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
5	分析する為の基礎知識(1)：平方根の計算、文字式のルール 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
6	分析する為の基礎知識(2)：分配法則、多項式の展開 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
7	分析する為の基礎知識(3)：分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平
8	データを整理・分析するための数学の基礎知識の復習とまとめ 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	オンデマンド型	川崎 洋平

■ 教科書

Glexa で配布する資料

■ 参考書、参考資料等

永田 靖(2005年). 統計学のための数学入門30講 (科学のことばとしての数学). 朝倉書店.

永野 裕之, 岡田 健介(2018年). 統計学のための数学教室. 第4版. ダイヤモンド社.

山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、Glexa を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

2年次の必修科目「保健統計学」のための基礎知識を学ぶ。

数学に苦手意識がある学生全てに対して積極的に受講を勧める。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は Glexa で随時受け付けます。

■ 受講上の注意事項

高校数学に苦手意識を持つ学生も歓迎する。

■ その他

HBNS100

数学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○川崎 洋平

■ 授業の目的

データを分析するための基礎力となる数学及び統計学の基本を習得する。

■ 到達目標

1. 統計学に必要な数学の基礎を理解し、計算ができる。
2. 基本的な統計用語の意味を理解し、基本的な計算ができる。
3. 2年次必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。
4. 論理的、合理的、数理的思考ができる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を随時行って、理解を着実にする。

※ 演習時には電卓を使用する事もある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データを整理するための基礎(復習1)：平均値とグラフ 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	データを整理するための基礎(復習2)：データと変量、箱ひげ図 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	データを分析するための基礎(復習1)：平方根の計算、多項式の展開 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	データを分析するための基礎(復習2)：分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	相関関係を調べるための数学(1)：関数、1次関数と2次関数 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	相関関係を調べるための数学(2)：2次関数と2次方程式 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	相関関係を調べるための数学(3)：散布図と相関係数 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	相関関係を調べるための数学(4)：相関を調べるための数学のまとめ 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	ばらばらのデータを分析するための数学(1)：階乗と順列、集合と確率 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	ばらばらのデータを分析するための数学(2)：事象と試行、数列 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	ばらばらのデータを分析するための数学(3)：確率変数と確率分布、期待値と分散 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	ばらばらのデータを分析するための数学(4): ばらばらのデータを分析するための数学のまとめ 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	連続するデータを分析するための数学(1): 極限、積分の基礎 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	連続するデータを分析するための数学(2): 連続型確率変数と確率密度関数 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	連続するデータを分析するための数学(3): 連続するデータを分析するための数学のまとめ 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

■教科書

授業中に配布する資料

■参考書、参考資料等

永田 靖(2005年). 統計学のための数学入門30講(科学のこぼれとしての数学). 朝倉書店.

永野 裕之, 岡田 健介(2018年). 統計学のための数学教室. 第4版. ダイヤモンド社.

山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に〇〇〇研究室にて、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■他の授業科目との関連

前期「数学Ⅰ」の学習内容に基づき(復習を兼ねる)、2年次の必修科目「保健統計学」の導入知識を学ぶ。「保健統計学」に不安を抱く全ての学生に対して積極的に受講を勧める。

■成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、講義前後の時間、以下のオフィスアワーで受け付ける。

オフィスアワー: 〇〇曜日〇〇時～〇〇時、〇〇〇研究室

■受講上の注意事項

高校数学に苦手意識を持つ学生も歓迎する。

■その他

HBNS150

生物学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○水野 壮

■授業の目的

生物学を学んでいくための基礎的な素養を高め、それを活用していく力を養う。

■到達目標

1. 細胞や臓器の構造・機能と循環・消化・呼吸器系との関わりを理解する。
2. 生命の情報物質と生命現象が起きるしくみとの関連を理解する。
3. 減数分裂と次世代へ情報が受け継がれていくしくみについて理解する。

■学習の進め方

各回課題を提供し、自ら調べ考察し提出する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生物学Ⅰの概観、生物学の世界 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
2	免疫と生理学Ⅰ 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
3	免疫と生理学Ⅱ 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
4	免疫と遺伝情報Ⅰ 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
5	免疫と遺伝情報Ⅱ、獲得免疫と自然免疫Ⅰ 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
6	獲得免疫と自然免疫Ⅱ 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
7	免疫とバイオテクノロジー 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野
8	まとめ、演習 事前学修：とくになし 事後学修：とくになし	オンデマンド型	水野

■教科書

教科書は使用しません。

■参考書、参考資料等

数研出版社 2018 年 フォトサイエンス「生物図録」、第一学習社 2018 年「スクエア最新図説生物」

■フィードバックの仕方

フィードバックは各学生の希望があれば、個別にメールなどで行う。

■他の授業科目との関連

「生物学Ⅱ」のほか、「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶための基礎的な知識となる。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 %
2. 課題提出 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

特になし

■ その他

HBNS101

生物学Ⅱ

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○宮崎 正峰

■ 授業の目的

生物がどのように誕生し生命の連続性を保ち、そしてヒトをはじめとする生物へと進化していったのかを学び、生命について考える機会を持つことを目的とします。同化や異化などの生命の維持機能、遺伝の法則等の微視的な分野から動物の行動、コミュニケーション等の巨視的な分野まで広く生物学の基礎を学んでいきます。

■ 到達目標

1. 生物の進化を理解する
2. 遺伝の法則などの基本事項を理解する
3. 動物の行動を学びヒトの行動との違いを考える
4. 生物間の相互作用、生態系について考える

■ 学習の進め方

1. 授業は講義形式で行いますが、問題や質問を投げかける対話の時間も取り入れて進めます。
2. 毎回、授業時間の前半は板書や配布資料などを用いての授業、後半は該当分野の画像、映像を用いて視覚的にも理解しやすい内容で行います。
3. 授業の中で行われる小課題はその日に学習した事項の演習です。また、その用紙に質問などを記入してもらい、次週に紹介、回答していくことで、復習としての機能、および他の受講者がどのようなことに疑問を感じているのかを知り、広く理解を深めることとなります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：生命の定義・生物の分類 ～何をもって生物、無生物としているか～ 事前学修：[30 分] 生物学Ⅱで学ぶ内容をシラバスを見て把握し、生物学Ⅰやこれまでの自らの生物の学習との相違点などを理解してくること 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
2	体細胞分裂と減数分裂 ～細胞分裂には 2 種類ある～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
3	遺伝の法則－親から子へ受け継がれる形質 ～自分は母親似？ 父親似？～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
4	生命の誕生 ～40 億年前に生命は地球上に誕生した～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
5	生物の進化 ～進化は目に見えないゆっくりとしたスピードで起こっている～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
6	植物ホルモン－屈性 ～植物も動く～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎

No	内容	形式	教員
7	植物はどのように季節を感じるかー光周性 ～春に咲く花、秋に咲く花～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
8	動物の行動 ～動物はその場の状況で行動を変える～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
9	群れの利益と不利益 ～群れていることにはどのような利益があるのか～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
10	動物のコミュニケーション ～音声だけではないコミュニケーション～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
11	配偶者選択ーヒトと動物の違い ～どのような基準で自分の相手を選ぶのか～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
12	ヒトのからだ(内分泌、免疫系) ～体内を安定させておくシステム～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
13	ヒトのからだ(心臓、腎臓、肝臓) ～主要な臓器のはたらき～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
14	生態系のバランスと保全 ～自然環境の現実～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
15	まとめ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

宮崎正峰(2014 年)「ペンギンの不思議」誠文堂新光社

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、ポータルにて解説資料を配布し、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に答案用紙の返却を通じて行う

■ 他の授業科目との関連

生物学Ⅰを履修しておくことが望ましい。また、「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶため

の基礎的な知識となる。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 60 % 2. 授業内容に関する課題 20 % 3. 授業への取り組み 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後あるいはメールで質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

これまで生物を履修していない人でも理解できるよう基礎から解説していきます。生物学Ⅱは生物学Ⅰの応用というわけではなく学習分野が異なるというものです。生物学Ⅰと生物学Ⅱをあわせて教養としての生物学の基礎全般を学習することができます。生物学Ⅱで学習するのは生物学Ⅰやヒトの体に関する他の科目とは重ならない分野であり、植物、動物に関する事項を中心として学んでいきます。試験では講義での板書を中心とした出題をしますので、しっかりとノートをとることが重要です。また、授業内容に即した映像なども用意していますので、視覚的に学び、感じるという学習も体験して下さい。動物の行動生態に焦点をあてた専門的な話もしていきますので、ヒトだけではなく動物に興味のある人もぜひ履修して下さい。履修者数にもよりますがキャンパス付近の自然観察などにも出かけて実際に目で見てみるという体験も取り入れていきたいと思っています。

■ その他

HBNS151

化学 I

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○三好 洋

■ 授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方を学ぶ。

■ 到達目標

1. 医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2. 水および水溶液について、化学的に説明できる。
3. 水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる

■ 学習の進め方

1. オンデマンドの動画配信および Zoom によるオンライン授業によって講義を進める。
2. 講義資料の要旨などを講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を講義の最後に小テストを実施して知識の確認を行い、解説は講義後に Glexa によって公開する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義内容の概要説明-オリエンテーション、化学の必要性？ - 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	オンデマンドの 動画配信	三好
2	水-性質・状態・身体と水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオ ンライン講義	三好
3	元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオ ンライン講義	三好
4	溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質質量、血糖値、生理食塩水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオ ンライン講義	三好
5	溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオ ンライン講義	三好
6	酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオ ンライン講義	三好

■ 教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社

■ 参考書、参考資料等

授業資料の配布や講義中にホームページなどの紹介を行う。

講義に対する資料を配布するが、さらに深く興味がある学生には、参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。

参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦著、はじめて学ぶ化学（化学同人）、2012 年

■ フィードバックの仕方

課題や確認テストのフィードバックは、Glexa によって行う。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)などの生化学・生物系の科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

■ 成績評価の仕方

講義への取組み 20%、毎回の確認テスト 80 %

定期試験は行わない。

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問を受け付けます。

Glexa および電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせにも応じます。

■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっており、講義前に Glexa によって公開する資料に目を通しておくことを推奨します。

高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療に必要な化学の考え方と知識を紹介します。出来るだけ平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。

教科書は平易な生化学・生物系につながる表現が用いられており、講義ではより看護に触れるようにします。

これまで化学を学んでも「役に立たない」と考えていた人に向けた講義にします。

■ その他

HBNS102

化学Ⅱ

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○三好 洋

■ 授業の目的

生命現象および医療技術に関係する物質の構造・性質から物事を考えるために必要な化学の基礎的知識を学ぶ。

■ 到達目標

1. 細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
2. 生命現象や医療技術に関係する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. パワーポイントによる解説およびインターネット上の動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2. 講義資料の要旨などを講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を講義の最後に小テストを実施して知識の確認を行い、解説は講義後に Glexa によって公開する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5. 講義内容に応じた化学的な実演を 5-6 回程度行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、原子-この科目で何を学ぶのか？ 原子とは？ 分子とは？ 物質とは？ 量を表す国際ルール 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
2	化学反応と熱エネルギー 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
3	物質の性質と状態 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
4	酸化と還元 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
5	水と溶液 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
6	化学反応と化学平衡 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
7	透析と浸透圧 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
8	化学結合-原子軌道と分子の形 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
9	有機化学の世界 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
10	有機化合物と性質、アルカン・アルケン・アルキン 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
11	酸素を含む有機化合物 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
12	窒素・ベンゼン環を含む有機化合物 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
13	生体高分子の化学 -核酸- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
14	生体高分子の化学 -タンパク質- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好
15	バイオテクノロジー、2031 年の化学 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	講義	三好

■ 教科書

野島 高彦著、はじめて学ぶ化学（化学同人）、2012 年

■ 参考書、参考資料等

授業資料の配布や講義中にホームページなどの紹介を行う。講義に対する資料を教科書代わりに配布する場合もある。

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に Glexa によって行う。

■ 他の授業科目との関連

化学Ⅱでは、人体の構造と機能Ⅲなどの生化学・微生物学系の科目の理解に役立つ内容や生命現象および医療技術に関係する物質の性質を理解できるような内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業に対する姿勢 20 %、定期試験 80 %で評価する予定だが、受講人数によってはレポートで評価する。

試験方法：筆記試験、実施時期：定期試験期間

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、授業中でも気軽に質問してください。

電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせにも応じます。

■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっており、講義前に本学 Glexa によって公開する資料に目を通しておくことを推奨します。高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感が無い人にも、我々の身体の細胞、医薬品や医療材料がすべて粒子から成り立っていることが理解出来るように、身近な例を交えながら化学の考え方と知識を講義します。実演は、実際に教科書で書いてあることを実感できるようなものを用意します。

■ その他

HBNS152

情報学概論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○鷹田 佳典、川崎 洋平

■ 授業の目的

情報の意味と伝達について学ぶ。
人間・社会と情報の関わりについて学ぶ。
医療情報処理の基礎について学ぶ。
医療情報の収集方法の基礎について学ぶ。

■ 到達目標

情報とは何かを説明できる。
情報社会の特性を説明できる。
医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べるができる。
医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性和医療者の責務について説明できる。

■ 学習の進め方

本講義は、第 1～6 回(担当：鷹田)でわれわれ人間が情報をどのように用い、情報からどのような影響を受けているのかや、メディアやインターネットが発達した現代社会において情報が人間生活とどう関わっているのかについて学ぶ。続く第 7・8 回(担当：川崎洋平)」では、医療・看護と情報の関わりについて学ぶ。
授業は講義形式で進める。
授業終了時に配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	情報とは何か 事前学修：[30 分] 情報の定義について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
2	情報を伝える 事前学修：[30 分] マスメディアが情報の受け手に与える影響についての考えを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
3	情報を操作する 事前学修：[30 分] 捏造報道などの例を参考に、情報操作について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
4	情報を見分ける 事前学修：[30 分] 真偽が定かではない情報に接したときにどう行動するかを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
5	情報を集める 事前学修：[30 分] ビッグデータの利用法について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
6	情報を発信する 事前学修：[30 分] 普段自分が SNS を使ってどのような情報を発信しているのかを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	同時双方向型	鷹田
7	医療情報処理の基礎(医療情報について、情報セキュリティ、データベース 等) 事前学修：[30 分] 医療情報処理について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	同時双方向型	川崎 洋平
8	医療情報の収集(公的ウェブサイト、文献検索(データベースや種類)、調査方法(調査票 等)) 事前学修：[30 分] 医療情報収集について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	同時双方向型	川崎 洋平

■教科書

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

■参考書、参考資料等

第1回～第6回

北澤京子(2009)『患者のための医療情報収集ガイド』ちくま新書

中山健夫(2008)『健康・医療の情報を読み解くー健康情報学への招待』丸善

富田英典・南田勝也・辻泉編(2007)『デジタルメディア・トレーニング情報化時代の社会学的思考法』有斐閣選書

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックはコメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却時期、方法はポータルにて連絡する。

■他の授業科目との関連

特になし

■成績評価の仕方

レポート 80%、授業への取り組み 20%

■オフィスアワー・研究室等

鷹田：同時双方向型で質問を受け付ける。

川崎：質問は講義中、講義前後の時間、オフィスアワーで受け付ける。

■その他

HBIS150

情報科学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○逸見 功

■ 授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトを用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトの出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：保健統計学の復習をして統計手法の理解を確認しながら、統計ソフトによるデータ解析の演習を行う。
2. ミニツッパーパーの記入：授業を振り返って、配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。つぎの授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。
3. レポート課題の取り組み：学生自らテーマを決めて、データ収集、解析、結果の解釈を行ってレポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、統計ソフト R と R コマンダーの紹介 事前学修：[30 分] 教科書の第 1 章から第 3 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 所有するパソコンに R と R コマンダーをインストールする	講義，演習	逸見
2	単純無作為抽出法、データファイルの作成、Excel による新しい変数の作成 事前学修：[30 分] 標本抽出法について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 授業の配付資料を読み返す	講義，演習	逸見
3	Excel の論理関数の使い方、分類への応用 事前学修：[30 分] 高校数学の集合と論理に関する事項を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配付資料を読み返す	講義，演習	逸見
4	データのインポート、新しい変数の作成、再コード化 事前学修：[30 分] 教科書の第 13 章、第 14 章第 1 節、第 2 節を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 13 章、第 14 章第 1 節、第 2 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見
5	変数の管理：部分集合の抽出、水準の順序変更；1 次元データの記述統計：要約統計量 事前学修：[30 分] 要約統計量について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 14 章第 3 節から第 5 節、第 5 章第 3 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見
6	1 次元データの記述統計：グラフ描画 事前学修：[20 分] 1 次元データの記述統計で用いるグラフについて復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 教科書の第 5 章第 1 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見
7	分布の比較：層別ヒストグラム、箱ひげ図 事前学修：[20 分] 層別ヒストグラムおよび箱ひげ図について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 教科書の第 5 章第 1 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見
8	密度推定、平均値プロット、幹葉表示、正規性の吟味；質的データのグラフ 事前学修：[30 分] 密度推定、平均値プロット、幹葉表示について A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 教科書の第 5 章第 1 節と第 2 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見
9	母平均に関する推測－1 標本の場合、対応がある場合：t 検定、ウィルコクソンの符号付き順位検定 事前学修：[30 分] t 検定およびウィルコクソンの符号付き順位検定について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 教科書の第 7 章第 1 節と第 3 節を読み返し、演習を行う。	講義，演習	逸見

No	内容	形式	教員
10	母平均の差に関する推測、t 検定、ウィルコクソンの順位和検定 事前学修：[60 分] t 検定およびウィルコクソンの順位和検定について復習し、A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 教科書の第 7 章第 2 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
11	1 元配置分散分析、クラスカル・ウォリス検定 事前学修：[30 分] 1 元配置分散分析について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 9 章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
12	質的データの分析、分割表、独立性の検定 事前学修：[60 分] 分割表および独立性の検定について復習し、A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 教科書の第 6 章第 2 節と第 11 章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
13	散布図、母相関係数に関する推測、単回帰分析 事前学修：[60 分] 散布図、相関係数に関する推測、単回帰分析について復習し、A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 6 章第 1 節と第 10 章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
14	重回帰分析、偏相関 事前学修：[30 分] 重回帰分析および偏相関について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 10 章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
15	レポート課題の発表 事前学修：[60 分] レポート課題の目的・データ収集法・データ解析法について A4 用紙 1 枚にまとめ、発表する準備をする。 事後学修：[120 分] データを分析し、レポートを作成する。	発表	逸見

■ 教科書

逸見 功(2018). 統計ソフト「R」超入門. 講談社.

■ 参考書、参考資料等

大木秀一 (2016). 基本からわかる看護統計学入門 第 2 版. 医歯薬出版.

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、次年度の前期ガイダンス時に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実際的なデータ解析を扱う。
4 年開講科目「研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

■ 成績評価の仕方

レポート 80%、課題の取り組み 20%。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける

■ その他

HBIS250

保健統計学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある教員：－

○川崎 洋平

■ 授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2. データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3. 推定と検定の基本概念を説明できる。

■ 学習の進め方

1. GLEXA に保存したある、各回のオンライン授業(パワーポイント資料+音声)を受講する。
2. GLEXA に保存したある、課題又はレポートに取り組む。
3. 2について GLEXA のレポートシステムを使って Word か PDF で提出する。
※ 提出資料のファイル名は以下の通りとします。
「学籍番号_名前_提出日_保健統計学_第〇回目レポート」
⇒ 例：220B100_川崎洋平_20200504_保健統計学_第1回目レポート
4. 質問があればフォーラムで質問をする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進捗度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	統計学の基礎の復習(課題) 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	自宅学習	川崎 洋平
2	統計学の基礎の復習(課題) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	自宅学習	川崎 洋平
3	統計学の基礎の復習(課題) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	自宅学習	川崎 洋平
4	統計学の基礎の復習(課題) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	自宅学習	川崎 洋平
5	データの型と分布と要約 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
6	確率・確率分布 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
7	推定(点推定・区間推定) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
8	検定1(母集団と標本、仮説検定) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
9	検定2(StudentのT検定, 対応のあるT検定) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
10	検定3(Wilcoxon順位和検定, カイニ乗検定) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
11	共分散と相関 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
12	回帰分散 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
13	分析と多重比較(1) 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
14	分散分析と多重比較(2) 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平
15	多変量解析 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義(オンライン)・演習	川崎 洋平

■教科書

1. Glexa で配布する資料

■参考書、参考資料等

1. 山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.
2. 大木 秀一(2008年). 看護統計学入門. 第2版. 医歯薬出版.
3. 永野 裕之, 岡田 健介(2018年). 統計学のための数学教室. 第4版. ダイヤモンド社.
4. 永田 靖(2005年). 統計学のための数学入門30講 (科学のことばとしての数学). 朝倉書店.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、Glexa を通じて行う。

■他の授業科目との関連

「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」であつかった数学及び統計学の知識があると望ましい。
 本科目に引き続いて、2年後期開講科目「情報科学」において統計ソフトを利用したデータ解析を学ぶことができる。
 2年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

■成績評価の仕方

定期試験60%、授業への取り組み40%(レポート・演習問題)
 授業への取り組みの詳細：レポート・演習問題の提出で3点(未提出は欠席で0点)とします。
 ※4月中の課題が出ていますが、提出があれば7点とし、提出が無ければ欠席として0点とします。

■オフィスアワー・研究室等

質問は Glexa 又はメールで受け付けます。

■受講上の注意事項

数式の統計的な意味や考え方の理解に努めること。

■その他

HBIS200

日本語の表現

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○越後 敬子

■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

■ 学習の進め方

1. 配信した授業資料により、さまざまな日本語の表現について学習する。
2. 1 の内容に即した課題に取り組み、自分の日本語運用能力について知り今後に活かす。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	スピーチ原稿を作成する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	越後
2	スピーチ原稿を作成する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	越後
3	スピーチ原稿を作成する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	越後
4	概説・「日本語検定」にチャレンジ 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
5	文の構造① 主語・述語、修飾語・被修飾語 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
6	文の構造② 助詞 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
7	敬語・敬意表現① 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
8	敬語・敬意表現② 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
9	敬語・敬意表現③ 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後

No	内容	形式	教員
10	手紙の書き方① 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
11	手紙の書き方② 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
12	手紙の書き方③ 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
13	メールの書き方 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
14	日本語弱者について考える① 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後
15	日本語弱者について考える② 事前学修：[30 分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30 分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	オンデマンド型	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

提出物のフィードバックは授業終了後に行う。

■ 他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課題提出60%

■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。

■ その他

HBLS101

英語 R1-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
4	Why Swearing Is Good For You? (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
5	Autism and Theory of Mind (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
6	Autism and Theory of Mind (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
7	Language and Woman's Place (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
8	Language and Woman's Place (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
9	Mind and Perception (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
10	Mind and Perception (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
11	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
12	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
13	Placebo/Nocebo Effect (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎

No	内容	形式	教員
14	Placebo/Nocebo Effect (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同時双方向型	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 1 ～ 14 回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削をフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テスト 60 % + 授業最終課題 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 月曜日 13 : 10 - 16 : 20 Teams で受け付ける。

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS100

英語 R1-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－

○太田 祐子

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読解できる基礎力を身に付ける。

■ 到達目標

学術的なトピックの英文を読み、その構造を理解し語彙や表現を身に付ける。

■ 学習の進め方

医療や看護に関するテキストやジャーナルの文章を読みながら、読解力を高める課題に取り組みます。文脈における読み取りなどのスキルも体系的に身に付けます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	No. 1 英文ジャーナル読解 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	太田
2	No. 2 英文ジャーナル読解 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	太田
3	No. 3 英文ジャーナル読解 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	太田
4	No. 4 Encephalitis Lethargica 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
5	No. 5 Bronx, New York 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
6	No. 6 Experimental Drugs 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
7	No. 7 L-dopa 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
8	No. 8 Amantadine 事前学修：[40 分] 前半の範囲を復習する。英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
9	No. 9 Psychiatric Care Team-members 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
10	No. 10 Absence Epilepsy (1)・中間課題 事前学修：[40 分] 前半の範囲を復習する。英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
11	No. 11 Absence Epilepsy (2) 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
12	No. 12 Tic-like Movements 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田

No	内容	形式	教員
13	No. 13 Euthanasia 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
14	No. 14 US Psychiatric Institutions 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[20 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田
15	No. 15 Parkinson' s Disease 事前学修：[40 分] 英文の内容を読み、事前に課題に取り組みノートにまとめる。 事後学修：[60 分] テキストや記事を読み返し、内容が理解できているかチェックする。	オンデマンド型	太田

■ 教科書

平井清子編 (2016) Oliver Sack' s Awakenings (南雲堂)及び Glexa 上の配信教材

■ 参考書、参考資料等

電子辞書

■ フィードバックの仕方

各回課題、小テスト、中間課題のフィードバックを実施 2 週以内に行います。期末課題のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールで連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組みと小テスト及び中間試験 60 %

期末試験 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講時間内及び授業後に質問等受け付けます。

■ 受講上の注意事項

この授業は指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS100

英語 R1-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－

○遠藤 花子

■ 授業の目的

『レナードの朝』はオリバー・サックスによって、自らの体験に基づいて書かれた小説です。患者に向き合う上で大切なことや患者と家族の関係など、作品を読むことを通して、英語力だけでなく思考力の向上にもつなげていきます。

■ 到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[15 分] テキストを眺める 事後学修：[15 分] 当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	Chapter 1 Encephalitis Lethargica 事前学修：[60 分] Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	Chapter 2 Bronx, New York 事前学修：[60 分] Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	Chapter 3 Experimental Drugs 事前学修：[60 分] Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	Chapter 4 L-dopa 事前学修：[60 分] Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	Chapter 5 Amantadine 事前学修：[60 分] Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	Chapter 6 Psychiatric Care Team-members 事前学修：[60 分] Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	前半のまとめ(小テストと GW) 事前学修：[60 分] 前半の範囲を復習する 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習、GW	遠藤
9	Chapter 7 Absence Epilepsy 事前学修：[60 分] Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	Chapter 8 Tic-like Movements 事前学修：[60 分] Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
11	Chapter 9 Euthanasia 事前学修：[60 分] Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Chapter 10 US Psychiatric Institutions 事前学修：[60 分] Chpter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	Chapter 11 Parkinson's Disease 事前学修：[60 分] Chpter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	Chapter 12 Clinical Trials 事前学修：[60 分] Chpter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	Chapter 13 Neurological Infections 事前学修：[60 分] Chpter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15 分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

■ 教科書

平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

■ 参考書、参考資料等

授業内でその都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に 401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

■ 他の授業科目との関連

2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み 30 %

リアクションペーパー 30 %

定期試験 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

この授業は指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS150

英語 R1-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Folk Psychology (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Folk Psychology (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Myth and Meaning (1) 事前学修：[60 分] 英文を読んで内容を理解する 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川崎
6	Myth and Meaning (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Children's Cognitive Development (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Children's Cognitive Development (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	The Elementary Structures of Kinship (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	The Elementary Structures of Kinship (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	Mental Models (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	Mental Models (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
13	On Behaviourism (1) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	On Behaviourism (2) 事前学修：[30 分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30 分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います(全ての小テストを各自に返却します)。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

R1-1 を履修して下さい。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 60 % + 期末試験 40 %。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み(12:30-13:00)。研究室は 4 階 402 号室。

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS150

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」関係 実務経験がある教員：－

○佐藤 眞

■ 授業の目的

英語で自分の考えや説明事項を読み手にうまく伝えられるようになる。

■ 到達目標

1. 正確な英文を書くことができる。
2. 論理的に物事を考え、書くことができる。
3. 人物、場所の描写を英文で表現できる。

■ 学習の進め方

1. 予習プリントを使った事前学習(予習プリントは PC 上で配布される)
2. 教室での教員による説明(ハンドアウトは PC 上で配布される)「講義」
3. 基本的な文の書き方の練習「演習」
4. グループでの作業「演習」
5. 課題の提出(PC 上で配布、提出をおこなう)

※原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用)ですすめます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] 事前準備：今までの英語学習で英作文に関してどのような成果があったか考える。 事後学修：[20 分] 配布される「自分の英語学習における作文」に記述、メールに添付して提出。	自宅学習	佐藤
2	視聴覚教室の使い方 事前学修：[20 分] 事前学習 1：コンピューターを使って日本文、英文を打ってみる。 事後学修：[30 分] Exercise 1: 指定された指でキーボードを打つ練習	自宅学習	佐藤
3	Giving a Reason 1/ Using a Dictionary 1 事前学修：[30 分] 事前学習 1：授業中に使う辞書(電子辞書)に入っている英語の辞書の種類を確かめる。 事後学修：[30 分] Exercise 2: 英和辞典を使って与えられた言葉を調べてみる。メールに添付して提出。	自宅学習	佐藤
4	Giving a Reason 2/ Using a Dictionary 2 事前学修：[30 分] 事前学習 2：類語辞典で自分の知っている言葉をいくつか調べてみる。 事後学修：[30 分] Exercise 3: 類語辞典を使って与えられた言葉を調べ、さらに英和辞典の中から例文を探し書き出す。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
5	Giving a Reason 3/ Using a Dictionary 3 事前学修：[30 分] 事前学習 3：与えられた文中の下線語の意味を類語辞典、英和辞典で確認する。 事後学修：[30 分] Exercise 4: 与えられた文に英文を 2、3 書き加えて最初の文の意味を明確にする。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
6	Present, Past, and Future 事前学修：[30 分] 事前学習 4：与えられた動詞の時制の変化を書いてみる。 事後学修：[30 分] Exercise 5: 与えられた文に動詞の時制に気をつけながら 2、3 英文を書き加えて意味を明確にする。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
7	数字の読み方、書き方 事前学修：[30 分] 事前学習 5：与えられた数字を読んでみる。 事後学修：[30 分] Exercise 6: 与えられた数字の読み方を英語で書く。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
8	Writing about People 1 事前学修：[30 分] 事前学習 6：人物を描写する際にどのような側面を描写できるか書き出してみる。 事後学修：[30 分] Exercise 7: 描写しようと思う人物の特徴を書く。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
9	Writing about People 2 事前学修：[30 分] 事前学習 7：描写する人物の特徴を理解してもらうためにどんなことを書くか書き出してみる。 事後学修：[30 分] Exercise 8: 人物を描写する作文のトピックセンテンスを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
10	Writing about People 3 事前学修：[30 分] 事前学習 8：返却されたトピックセンテンスを直してみる。 事後学修：[60 分] Exercise 9: 人物を描写する作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
11	Writing about a Place 1 事前学修：[30 分] 事前学習 9：場所を描写する際にどのような側面を描写できるか書き出してみる。 事後学修：[60 分] Exercise 10: 描写しようと思う場所の特徴を書く。メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
12	Writing about a Place 2 事前学修：[30 分] 事前学習 10：描写する場所の特徴を理解してもらうためにどんなことを書くか書き出してみる。 事後学修：[30 分] Exercise 11: 場所を描写する作文のトピックセンテンスを書いて、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
13	Writing about a Place 3 事前学修：[30 分] 事前学習 11：返却されたトピックセンテンスを直してみる。 事後学修：[60 分] Exercise 12: 場所を描写する作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
14	まとめ 1： 今学期学んだことを振り返り、どのような成果があったか考える。 事前学修：[20 分] 事前学習 12：今学期学んだことで大切だと思うことを書き出してみる。 事後学修：[20 分] Exercise 13: 今学期学んだ内容のうち、「自分に足りない部分」を書き出す。	講義・演習	佐藤
15	まとめ 2： 課題 13 に含まれている「今学期の自分の足りない部分」にあげた項目について配布済み資料を使って確認したり質問したりすることによって、理解不足の部分を補う。 事前学修：[30 分] Exercise 13 に書いた「自分に足りない部分」が何回目の授業の内容か確認する。	講義・演習	佐藤

■ 教科書

教科書は使いません。毎回の授業時に配布する“Classwork”に、その日の授業の「説明」「練習問題」などのほかに「事後学修」に相当する“Exercise”、次の授業の準備である「事前学修」に相当する「事前学習」などが記されています。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

提出された課題は、返却したり、次週の“Classwork”の中で取り上げたり、説明したりします。小テストは次週に返却します。試験のフィードバックは解説資料を配布することで行います。

■ 他の授業科目との関連

「英語 W1-1」で英文を書くことに関する知識を身につけ、「英語 W1-2」でのパラグラフを書くことにつながります。さらに 2 年次の「英語 W2-1」や「英語 W2-2」で 1 年次にこの科目で学んだことを発展させます。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(含小テスト) 25 %、 課題(事後学修の練習問題) 35%、 期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、3 限、5 限終了後(4 月 13 日から 7 月 20 日の間)、水曜日：4 限(4 月 8 日から 7 月 29 日の間)、木曜日：2 限、昼休み、5 限(4 月 9 日から 7 月 23 日の間)は 557 研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：

m.sato@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS102

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Marta Pijanowska

■ 授業の目的

The purpose of this class is to equip students with knowledge about the structure and process of writing, and to give them opportunity to refine their writing skill through ample practice

■ 到達目標

The students will further their ability to express their ideas in writing

The students will be more aware of the process of writing and ways to manage it

■ 学習の進め方

1.Short lecture introducing the main topic of the class

2.Group/pair work related to the topic of the lecture

3.Individual work on written assignment + individual feedback

The length of each segment will depend on the content and the stage of the course

The students will be expected to take active part in class not only during the group work but also during the lecture

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class. Writing e-mails. 事前学修：[30 分] Confirm that you have an e-mail account that could be used for class-related communication 事後学修：[30 分] Send an e-mail according to instructions given in class	講義・演習	Pijanowska
2	Technical basics – touch typing and basic Word functions 事前学修：[30 分] Conduct a typing related task sent to your e-mail 事後学修：[30 分] Practice touch typing using websites introduced in class	講義・演習	Pijanowska
3	3. Writing basics: using dictionaries 事前学修：[30 分] Open a random English website and find 3 words you don't understand 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
4	Writing basics: tense and aspect 事前学修：[30 分] Find a news story in the media that you found interesting 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
5	Expressing order: tense, linking words 事前学修：[30 分] Recall the plot of a movie/book/comic you liked 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
6	Descriptions: assessing your readers' knowledge, adding detail 事前学修：[30 分] Find/ take an interesting photo and send it to the teacher 事後学修：[30 分] Read your partner's written description and complete the task	講義・演習	Pijanowska
7	The writing process: understanding the task & brainstorming ideas 事前学修：[30 分] Think about topics you like/don't like to write about 事後学修：[30 分] Choose a topic from the list for your assignment	講義・演習	Pijanowska
8	The writing process: writing an outline 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
9	The writing process: editing your own writing 事前学修：[30 分] Prepare an outline for your assignment 事後学修：[30 分] Finish editing your self-introduction	講義・演習	Pijanowska
10	The writing process: peer review 事前学修：[30 分] Review your notes 事後学修：[30 分] Review your partner's comments, apply them and re-submit your self-introduction	講義・演習	Pijanowska

No	内容	形式	教員
11	Giving reasons: transitions, verbs of reasoning and proof 事前学修：[30 分] Think of 3 things you did in the last month and why you did them 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
12	Similarity and contrast: transitions, expressions of comparison 事前学修：[30 分] Think of 3 differences and similarities between Japan and another country 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Pijanowska
13	The writing process: peer review II 事前学修：[30 分] Review your notes 事後学修：[30 分] Review your partners' comments and apply changes	講義・演習	Pijanowska
14	The writing process: identifying strategies that work for you 事前学修：[30 分] Final edit of your assignment 事後学修：[30 分] Reflect on a strategy you will use for the timed essay	講義・演習	Pijanowska
15	Final exam: Timed essay 事前学修：[30 分] Revise your notes and decide what to bring with you for the exam 事後学修：[30 分] Relax and go over the feedback on your essays when you're ready	講義・演習	Pijanowska

■ 教科書

None.

Handouts and other materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments. For further advice, please contact the instructor directly by e-mail.

■ 他の授業科目との関連

この授業は「W1-2」へと続くコースです。

■ 成績評価の仕方

20% Class participation, 50% Assignments, Final Exam (timed essay) 30%

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail)

marta.hijoukin@gmail.com

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English.

Please bear in mind that the contents of the course might change depending on students' ability.

■ その他

HBLS102

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－

○佐藤 眞

■ 授業の目的

パラグラフ(段落)の概念を理解してまとめた文章を書き、自分の考えや何かに関する説明を論理的かつ説得力のあるものにする。

■ 到達目標

1. パラグラフの理解に基づいて書くことができる。
2. 論理的に段落を構成できる。
3. 説得力のある説明を書くことができる。

■ 学習の進め方

1. 予習(前の週に配布される課題に含まれている)
2. 授業中に PC 上で配布される資料"Classwork"を使った教員による説明(講義)
3. "Classwork"に含まれている練習問題、グループでの討論を通して理解(演習)
4. パラグラフの一部を英語で書いてみる(演習)
5. 課題(PC 上で配布される)を授業終了後におこない提出する

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction： 前学期の授業内容を振り返り、今学期の目標、課題などを考える。 事前学修：[20 分] 前期の全ての英語科目での成果を考えてみる 事後学修：[20 分] 自分が「W 1－1」で学んだ項目を書き出す		佐藤
2	「英語 W 1－1」の復習 事前学修：[20 分] 自分が「W 1－2」で学ぶべき項目を考える 事後学修：[30 分] Assignment 1：授業での「英語 W1-1」の復習を踏まえて自分の今学期の目標を定め、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
3	What Is Paragraph? 事前学修：[30 分] 事前学習 1：日本語での作文の決まりごとを考えてみる 事後学修：[30 分] Assignment 2：日本語の段落と英語のパラグラフの違いを考え、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
4	Topic Sentence 事前学修：[30 分] 事前学習 2：与えられた題材について、トピックセンテンスにいれるべき内容について書き出してみる。 事後学修：[30 分] Assignment 3: 与えられた文がトピックセンテンスとして適しているかどうか考え、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
5	Description 1-1 (Person) 事前学修：[30 分] 事前学習 3：描写する人物と描きたい内容を考える 事後学修：[30 分] Assignment 4: トピックセンテンスを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
6	Description 1-2 事前学修：[30 分] 事前学習 4：返却されたトピックセンテンスを直し、本文の内容を考える。 事後学修：[30 分] Assignment 5: 人物描写の作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
7	Description 2-1 (Place) 事前学修：[30 分] 事前学習 5：描写したい場所と描きたい内容を考える 事後学修：[30 分] Assignment 6: トピックセンテンスを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
8	Description 2-2 事前学修：[30 分] 事前学習 6：返却されたトピックセンテンスを直し、本文の内容を考える。 事後学修：[30 分] Assignment 7: 場所描写の作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
9	Enumeration 1-1 (Process) 事前学修：[30 分] 事前学習 7：人に説明したい何かの作り方や、やり方を考える。 事後学修：[30 分] Assignment 8: トピックセンテンスを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
10	Enumeration 1-2 事前学修：[30 分] 事前学習 8：返却されたトピックセンテンスを直し、何段階で説明するのか考える。 事後学修：[30 分] Assignment 9: コンクルージョンを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
11	Enumeration 1-3 事前学修：[30 分] 事前学習 9：返却されたコンクルージョンを直し、本文の内容を考える。 事後学修：[60 分] Assignment 10: プロセスの作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
12	Enumeration 2-1(Chronology) 事前学修：[30 分] 事前学習 10：人に説明できる、時間の経過を伴うことばを考える 事後学修：[30 分] Assignment 11: トピックセンテンスを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
13	Enumeration 2-2 事前学修：[30 分] 事前学習 11：返却されたトピックセンテンスを直し、本文の内容、コンクルージョンを考える。 事後学修：[30 分] Assignment 12: コンクルージョンを書き、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
14	Enumeration 2-3 事前学修：[30 分] 事前学習 12：返却されたコンクルージョンを直し、本文の内容を考える。 事後学修：[60 分] Assignment 13: 作文を完成させ、メールに添付して提出。	講義・演習	佐藤
15	まとめ：今学期学んだ内容を確認する。 事前学修：[30 分] 事前学習 13：今学期学んだことを考え、「できたこと」と「できなかったこと」を書き出してみる。 事後学修：[30 分] 授業中の「まとめ」を踏まえて、期末試験の準備として何をする必要があるのか考える。		佐藤

■ 教科書

教科書は使いません。毎週配布する“Classwork”にその日に学ぶ項目、説明などが記されています。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

毎週の課題は返却したり、次の週の“Classwork”の中で振り返ったり、学生の討論の材料にしたりします。また提出してもらう完成した4つの作文は添削して返却します。期末試験は希望する学生には次年度の4月中に返却します。

■ 他の授業科目との関連

2年次の「英語 W 2-1」や「英語 W 2-2」の基礎となる科目です。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み (Assignment の提出、小テスト)：20%

提出作文 (Assignment 5、Assignment 7、Assignment 10、Assignment 13)：40%

期末試験 (筆記)：40%

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、3限、5限終了後(4月13日から7月20日の間)、水曜日：4限(4月8日から7月29日の間)、木曜日：2限、昼休み、5限(4月9日から7月23日の間)は557研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

毎回、必ず「辞書」を持参してください。

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS151

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Marta Pijanowska

■ 授業の目的

The purpose of this class is to familiarize students with conventions of academic writing and give them opportunity to conduct their own research and report on it in written form

■ 到達目標

The students will be able to organize their writing into logically organized paragraphs

The students will be able to incorporate elements of academic style in their writing

The students will learn to indicate the referenced work using the APA citation style

■ 学習の進め方

1.Short lecture introducing the main topic of the class

2.Group/pair work related to the topic of the lecture

3.Individual work on written assignment + individual feedback

The length of each segment will depend on the content and the stage of the course

The students will be expected to take active part in class not only during the group work but also during the lecture

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Review of the previous semester 事前学修：[30 分] Unearth and review your notes from the last semester 事後学修：[30 分] Finish the assignment	講義・演習	Pijanowska
2	Doing research: finding sources, assessing reliability of your sources 事前学修：[30 分] Think of a broad topic you want to research 事後学修：[30 分] Continue your research and try to narrow down the topic	講義・演習	Pijanowska
3	Identifying sources using APA citation style 事前学修：[30 分] Find 2 sources related to your hometown 事後学修：[30 分] Check how your textbooks identify sources	講義・演習	Pijanowska
4	Citation and quotation: reporting verbs 事前学修：[30 分] Find 3 famous quotes you like 事後学修：[30 分] Find material to be directly quoted in your hometown assignment	講義・演習	Pijanowska
5	Types of essays, the structure of an essay 事前学修：[30 分] Organize notes on your research topic 事後学修：[30 分] Decide which type of essay is the most suitable for your topic	講義・演習	Pijanowska
6	Structure of a paragraph 事前学修：[30 分] Draft an outline of your essay 事後学修：[30 分] Finish the handout	講義・演習	Pijanowska
7	Characteristics of the academic style 事前学修：[30 分] Read the handout 事後学修：[30 分] Turn your partner's self-introduction into a biographical note	講義・演習	Pijanowska
8	Summarizing information, annotated bibliography 事前学修：[30 分] Find 3 sources related to your topic 事後学修：[30 分] Think how you want to use the sources in your essay	講義・演習	Pijanowska
9	Paraphrasing 事前学修：[30 分] Choose a specific part of one of your sources to use in your essay 事後学修：[30 分] Research vocabulary suitable for your topic using the handout	講義・演習	Pijanowska
10	Title and the introduction section 事前学修：[30 分] Review your annotated bibliography 事後学修：[30 分] Revise your introduction section	講義・演習	Pijanowska

No	内容	形式	教員
11	The body: convincing your reader, peer review 事前学修：[30 分] Organize your arguments for the body of your essay 事後学修：[30 分] Review your partner's comments and apply the changes	講義・演習	Pijanowska
12	Using counterarguments 事前学修：[30 分] Pick one topic from the list and summarize your opinion in 2-3 sentences 事後学修：[30 分] Think how to use counterarguments effectively in your essay	講義・演習	Pijanowska
13	Conclusion: The final punch 事前学修：[30 分] Review the arguments in the body of your essay 事後学修：[30 分] Final edit of your assignment	講義・演習	Pijanowska
14	Analysis of an essay: learning from masters 事前学修：[30 分] Make a list of questions you want to ask 事後学修：[30 分] Finish the handout; review your notes	講義・演習	Pijanowska
15	Timed essay 事前学修：[30 分] Review your notes and decide on what to bring with you for the exam 事後学修：[30 分] Relax and go over the feedback when you're ready	講義・演習	Pijanowska

■ 教科書

None.

Handouts and other materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments. For further advice, please contact the instructor directly by e-mail.

■ 他の授業科目との関連

この授業は「W1-1」から続くコースです。

■ 成績評価の仕方

20% Class participation, 50% Assignments, Final Exam (timed essay) 30%

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail)

marta.hijoukin@gmail.com

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English.

Please bear in mind that the contents of the course might change depending on students' ability.

■ その他

HBLS151

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Course orientation and introductions. 事前学修：[30 分] Familiarize yourselves with the teacher and class. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Getting to know you. 事前学修：[30 分] Prepare classroom questions. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	Unit 1: food. 事前学修：[30 分] Preview Unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	Show and tell. 事前学修：[30 分] Prepare relevant item and English. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Unit 2: Festivals 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	English activity design. 事前学修：[30 分] Consider themes and English for an English game. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Unit 3: Cities. 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. 事前学修：[30 分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30 分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation. 事前学修：[30 分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30 分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. 事前学修：[30 分] Continue working on presentation. 事後学修：[30 分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	Unit 4: Jobs. 事前学修：[30 分] Preview Unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
12	Health and medicine. 事前学修：[30 分] Prepare English related to medical situations. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
13	Unit 5: Music. 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30 分] Review course content. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test. 事前学修：[30 分] Study for the test. 事後学修：[30 分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

Inspire 2

Cengage Learning

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS103

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

Students will be expected to participate in class through pair, group and whole class communication, within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Self-introductions. Getting to know each other. 事前学修：[30 分] Read through the table of contents and pictures in the textbook. 事後学修：[30 分] Introduce yourself in English to one person.	講義・演習	Bamkin
2	Chapter 1: Identity & Faces of the World 事前学修：[30 分] vocabulary p. 111 事後学修：[30 分] Practice classroom English	講義・演習	Bamkin
3	Chapter 1: Are you typical? Self-introduction projects 事前学修：[30 分] Memorize the conversation (see emails) 事後学修：[30 分] Prepare 6 sentences about yourself	講義・演習	Bamkin
4	Chapter 1: The Global Village & Class Survey 事前学修：[30 分] Do activity, part A p.18 事後学修：[30 分] Review Unit 1 notes	講義・演習	Bamkin
5	Self-introductions & unit 1 quiz 事前学修：[30 分] Prepare self-introductions 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
6	Chapter 2: Sports (pp. 19-21) Do you play any sports? 事前学修：[30 分] Remember target vocabulary pg.113 事後学修：[30 分] Explain the purpose and 3 rules for one sport.	講義・演習	Bamkin
7	Chapter 2: Unusual Sports Presentation 事前学修：[30 分] Memorize conversation 事後学修：[30 分] Finish introduction of unusual sport	講義・演習	Bamkin
8	Chapter 2: Mongolian horse races 事前学修：[30 分] Find an unusual sport 事後学修：[30 分] Work with partner to gather information	講義・演習	Bamkin
9	The Big Picture 1 (pp. 27-29) Prepare and practice for sports presentations 事前学修：[30 分] Power Point presentation 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
10	Unusual sports presentations 事前学修：[30 分] Memorize presentation and practice with a partner 事後学修：[30 分] Review 1 pg. 30	講義・演習	Bamkin

No	内容	形式	教員
11	Chapter 3 : The Night (pp. 31-33) Nightlife 事前学修：[30 分] Complete handout on capsule hotels 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
12	Chapter 3: Early Bird or Night Owl? (pp.34-35) 事前学修：[30 分] Target vocabulary pg.114 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
13	Chapter 3: Sleepwalking (pp.36-37) 事前学修：[30 分] Do fashion vocabulary pg.116 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
14	Chapter 4: Fashion Smart Clothing 事前学修：[30 分] Do exercises pp.40-41 事後学修：[30 分] Revise notes	講義・演習	Bamkin
15	Chapter 4: Brass Rings video 事前学修：[30 分] Discussion pg.39 事後学修：[30 分] Prepare for test: Chapters 1-4, classroom English, " Speak like a native"	講義・演習	Bamkin

■ 教科書

Inspire 1 by Nancy Douglas and Andrew Boon ISBN: 978-133-96357-8

■ 参考書、参考資料等

Dictionary of choice and smartphone. We will be using these daily

■ フィードバックの仕方

Feedback on grades will be sent to your official Red Cross e-mail account

■ 他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-2」へと続くコースです

■ 成績評価の仕方

Class participation & Homework30% Chapter reviews20%

Project20% Final Test 30%

Notice that the day to day work (Class participation and homework) is 30% of your grade. The chapter reviews, project and final test should be easy if you do this.

■ オフィスアワー・研究室等

TBC

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS103

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Marta Pijanowska

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunity to use English to express their opinions and ideas

■ 到達目標

By the end of the course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussion and conversation. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

1.A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture

2.Discussions in groups related to the topic of the class

3.Preparation for group presentation

Students will be required to go over the materials provided by the instructor BEFORE the class.

※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class, getting to know each other 事前学修：[30 分] Read this syllabus! 事後学修：[30 分] Send an e-mail to the teacher	講義・演習	Pijanowska
2	Diet and lifestyle: problems related to self-image 事前学修：[30 分] Read the article sent by the teacher 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
3	Predicting the future 事前学修：[30 分] Watch the video 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Pijanowska
4	The future of education 事前学修：[30 分] Watch the video 事後学修：[30 分] Send an e-mail with you research journal topic proposal	講義・演習	Pijanowska
5	Advertising and our society 事前学修：[30 分] Check the feedback to you research journal topic proposal 事後学修：[30 分] Find one commercial or advertisement related to your presentation topic	講義・演習	Pijanowska
6	Stereotypes 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Work on your research journal and presentation	講義・演習	Pijanowska
7	What is a good presentation? 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Prepare for your part of the presentation	講義・演習	Pijanowska
8	Group presentations 事前学修：[30 分] Practice your part of the presentation 事後学修：[30 分] Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Pijanowska
9	Arts and our society: Films 事前学修：[30 分] Prepare examples of your favourite films to share with the class 事後学修：[30 分] Try to find a film related to your research journal topic	講義・演習	Pijanowska

No	内容	形式	教員
10	Art and our society: Music 事前学修：[30 分] Prepare examples of your favourite songs/artists to share with the class 事後学修：[30 分] Try to find a song/a musician who has some connection to your research journal topic	講義・演習	Pijanowska
11	Bacteria, viruses and epidemics 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
12	Perspectives on globalization 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Try to find what countries have connection to your research journal topic	講義・演習	Pijanowska
13	People who inspire 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Try to find a person important to the issue in your research journal topic	講義・演習	Pijanowska
14	People who inspire (with a twist) 事前学修：[30 分] Watch the video 事後学修：[30 分] Prepare your poster	講義・演習	Pijanowska
15	Poster presentations 事前学修：[30 分] Practice your poster presentation 事後学修：[30 分] Relax and go over the feedback when you feel ready	講義・演習	Pijanowska

■ 教科書

None. Materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to internet will be helpful

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through e-mail.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Class participation 30% + Group presentation 20% + Poster presentation 20% + Research journal 30%

You will build your research journal over the span of the semester. The poster presentation at the end of the semester will be based on the same content. Systematic work on this part will be very important.

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary, individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail)

marta.hijoukin@gmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS103

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Welcome back. 事前学修：[30 分] Prepare language regarding summer experiences. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Unit 6: Journeys. 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	50 word stories. 事前学修：[30 分] Consider ideas for short stories. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	Unit 7: Family. 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Description activities. 事前学修：[30 分] Preview required description vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	Unit 8: Nature. 事前学修：[30 分] Consider themes and English for an English game. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Halloween activities. 事前学修：[30 分] Preview Halloween vocabulary and activities. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. 事前学修：[30 分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30 分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation. 事前学修：[30 分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30 分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. 事前学修：[30 分] Continue working on presentation. 事後学修：[30 分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	Unit 9: Happiness. 事前学修：[30 分] Preview Unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
12	Christmas conversations. 事前学修：[30 分] Prepare English related to Christmas situations. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
13	Unit 10: Conservation. 事前学修：[30 分] Preview unit vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30 分] Review course content. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test. 事前学修：[30 分] Study for the test. 事後学修：[30 分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

Inspire 2

Cengage Learning

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS152

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

Students will be expected to participate in class through pair, group and whole class communication, within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to class procedures Chapter 4: Fashion (pp.39-41) 事前学修：[30 分] Practice unit 4 vocabulary on p. 116 事後学修：[30 分] Study unit 4 vocabulary for quiz. Memorize	講義・演習	Bamkin
2	Chapter 4 : Smart Clothing & One-Minute Presentation preparation 事前学修：[30 分] Read " Smart Clothing" p. 42 事後学修：[30 分] Prepare ideas for presentation on smart clothing	講義・演習	Bamkin
3	Chapter 4 : Brass Rings video 事前学修：[30 分] Look up ideas for smart clothing 事後学修：[60 分] Prepare for presentation on original smart clothing	講義・演習	Bamkin
4	Chapter 4 : One-minute presentations & The Big Picture (pg.47-49) 事前学修：[60 分] Prepare picture and script 事後学修：[30 分] Review 2 p. 50	講義・演習	Bamkin
5	Chapter 5 : Homes (pg.51-53) Four Similar Apartments 事前学修：[30 分] Preview vocabulary p. 118 事後学修：[30 分] Memorize dialogue p. 53	講義・演習	Bamkin
6	Chapter 5 : Living Small 事前学修：[30 分] Preview Living Small readings 事後学修：[30 分] prepare for vocabulary quiz	講義・演習	Bamkin
7	Chapter 5 : The Eco-Friendly Home & Home presentations 事前学修：[30 分] Prepare for vocabulary quiz 事後学修：[60 分] Draw your dream house	講義・演習	Bamkin
8	Home Presentations and review 事前学修：[60 分] Draw your dream house 事後学修：[30 分] Prepare for unit 4-5 quiz	講義・演習	Bamkin
9	Chapter 6 : Buying and Selling (pp. 59-61) Dubai 事前学修：[30 分] Preview vocabulary p. 119 事後学修：[30 分] Memorize dialogue p. 61	講義・演習	Bamkin
10	Chapter 6 : The Psychology of Selling & Behavioral Economics 事前学修：[30 分] Preview reading p. 62 事後学修：[30 分] Preview video by reading pp. 64-65	講義・演習	Bamkin
11	Chapter 6 : The Fez Souk video 事前学修：[30 分] Preview video by reading p. 64 事後学修：[30 分] Review 3 p. 70 & preview Big Picture pp. 68-69	講義・演習	Bamkin

No	内容	形式	教員
12	Chapter 8 : Mysteries & Big Picture small group work (pp. 67-69) 事前学修 : [30 分] Preview vocabulary p. 123 事後学修 : [30 分] Prepare for vocabulary quiz & memorize dialogue p. 81	講義・演習	Bamkin
13	Chapter 8: Mysteries 事前学修 : [30 分] Prepare for vocabulary quiz 事後学修 : [30 分] Brainstorm ideas for original monster (see p. 86)	講義・演習	Bamkin
14	Chapter 8: Video " What Killed the Dinosaurs?" 事前学修 : [30 分] Reading pp. 82 and 122 事後学修 : [30 分] Prepare for presentation p. 86	講義・演習	Bamkin
15	Chapter 8: Present original mystery & review 事前学修 : [60 分] Prepare mystery report or create original mystery 事後学修 : [90 分] Prepare for test	講義・演習	Bamkin

■ 教科書

Inspire 1 by Nancy Douglas and Andrew Boon.

ISBN: 978-133-96357-8

■ 参考書、参考資料等

Dictionary and/or smartphone. We will be using these daily.

■ フィードバックの仕方

Feedback on grades will be sent to your official Red Cross e-mail account

■ 他の授業科目との関連

この授業を履修する前に「英語 LS1-2」を履修しておくことが望まれます

■ 成績評価の仕方

Class participation & Homework 30% Chapter reviews 20%

Project 20% Final Test 30%

Class participation and homework will help your chapter reviews, project and final test. Please prepare for class.

■ オフィスアワー・研究室等

TBC

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS152

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○ Marta Pijanowska

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunity to use English to express their opinions and ideas

■ 到達目標

By the end of the course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussion and conversation. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
 2. Discussions in groups related to the topic of the class
 3. Presentations in groups
- Students will be required to read materials provided by the instructor BEFORE the class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class, doing an interview 事前学修：[30 分] Read this syllabus! 事後学修：[30 分] Make a video of the interview with your group member	講義・演習	Pijanowska
2	Health and diet: the future of food 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
3	Mental health crisis 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Pijanowska
4	Mental health non-crisis? 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Send an e-mail with you research journal topic proposal	講義・演習	Pijanowska
5	The Gender Gap Report 事前学修：[30 分] Check the feedback to you research journal topic proposal 事後学修：[30 分] Pick two countries from the report and write 3 sentences comparing them	講義・演習	Pijanowska
6	Inequality in healthcare and medical research 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
7	Procrastination 事前学修：[30 分] Think of an example of something you always decide to do tomorrow not today 事後学修：[30 分] Try not to procrastinate on your presentation!	講義・演習	Pijanowska
8	Group presentations 事前学修：[30 分] Practice your part of the presentation 事後学修：[30 分] Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Pijanowska
9	Human language 事前学修：[30 分] Watch the video 事後学修：[30 分] Find examples of animals who can communicate with each other	講義・演習	Pijanowska
10	Human language and the brain 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska

No	内容	形式	教員
11	Fake news! 事前学修：[30 分] Read the materials 事後学修：[30 分] Try to find questionable sources about your research journal topic	講義・演習	Pijanowska
12	Humans and cities 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
13	The ageing societies 事前学修：[30 分] Read the article 事後学修：[30 分] Review the vocabulary	講義・演習	Pijanowska
14	Failure 事前学修：[30 分] Try to think of something you have failed at. 事後学修：[30 分] Prepare your poster	講義・演習	Pijanowska
15	Poster presentations 事前学修：[30 分] Practice your poster presentation 事後学修：[30 分] Relax and go over the feedback when you feel ready	講義・演習	Pijanowska

■ 教科書

None. Materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to internet will be helpful

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through e-mail.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-1」から続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Class participation 30% + Group presentation 20% + Poster presentation 20% + Research journal 30%

You will build your research journal over the span of the semester. The poster presentation at the end of the semester will be based on the same content. Systematic work on this part will be very important.

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail)

marta.hijoukin@gmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

■ その他

HBLS152

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－

○皆川 健次郎

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことと、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 正確な読解ができる。
2. 語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。
※原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用)で進めます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	1 You (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	1 You (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	2 Fat (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	2 Fat (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	3 Tradition (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	3 Tradition (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
8	4 Mathematics (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	4 Mathematics (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
10	5 Objectivity (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	5 Objectivity (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	6 Subjectivity (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	6 Subjectivity (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	7 Voice (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	7 Voice (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

■ 教科書

東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

■ その他

HBLS200

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－

○野村 美由紀

■授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことと、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■到達目標

1. 正確な読解ができる。
2. 語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1 You(1) Session1 の” Only You “ では「自分」というものは生まれ育つ過程で関係したあらゆるものによって作られると述べられている。そこで、自分の生まれ育った場所について紹介する分を英語で書きなさい。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	1 You(2) Session1 の” Only You “ では「自分」というものは生まれ育つ過程で関係したあらゆるものによって作られると述べられている。そこで、自分の生まれ育った場所について紹介する分を英語で書きなさい。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	1 You(3) Session1 の” Only You “ では「自分」というものは生まれ育つ過程で関係したあらゆるものによって作られると述べられている。そこで、自分の生まれ育った場所について紹介する分を英語で書きなさい。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	1 You(4) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	1 You(5) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	2 Fat(1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	2 Fat (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
8	3 Tradition (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	3 Tradition(2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
10	5 Objectivity (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	5 Objectivity (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	6 Subjectivity (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	6 Subjectivity (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	7 Voice (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	7 Voice (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	同時双方向型	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

■ 教科書

東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

毎回の授業で小テストを行いますので、フィードバックは Glaxa のメール機能を利用するか、または次の授業で口頭にて行います。
レポートのフィードバックは Glaxa にてコメントを付けます。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 授業内小テスト 60 % 2. レポート 10 % 3. 平常点 30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、口頭で質問を受け付けます。
また、Glaxa のメールでは随時受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

■ その他

HBLS200

英語 R2-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践
実務経験がある教員：－

○野村 美由紀

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことと、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 正確な読解ができる。
2. 語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[30 分] 前期の内容の確認をする 事後学修：[30 分] 後期授業内容の確認をする	講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
2	8 Gender (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業 de	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
3	8 Gender (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
4	9 Coffee (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
5	9 Coffee (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
6	10 Petry (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
7	10 Poetry (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
8	11 View (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
9	11 View (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
10	12 Space (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
11	12 Space (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
12	13 Song (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
13	13 Song (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
14	14 Physics (1) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
15	14 Physics (2) 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

■ 教科書

東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-1」の続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50 %
2. 授業への取り組み 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

■ その他

HBLS250

英語 W2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－

○関田 誠

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。Glexa のオンデマンド型で授業を進める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Definition1 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	関田
2	Definition2 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	関田
3	Definition3 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	関田
4	The structure of a paragraph 事前学修：[20 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[50 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
5	The writing process 事前学修：[30 分] Paragraph の構成について復習する 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
6	Unity and Coherence 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
7	Comparison / Contrast 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
8	Comparison / Contrast 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
9	Comparison / Contrast 3 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する。	オンデマンド型	関田
10	Cause and Effect 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
11	Cause and Effect 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
12	Cause and Effect 3 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田

No	内容	形式	教員
13	Opinion 1 事前学修：[30 分] 配付プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
14	Opinion 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田
15	Opinion 3 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	オンデマンド型	関田

■ 教科書

随時 PDF 資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題のフィードバックは Glexa から送る。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業へ取り組み(予習の度合い等)：10 %

課題のパラグラフ：90 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■ その他

HBLS201

英語 W2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

様々な種類の英文パラグラフが書けるようになる。

■ 学習の進め方

パラグラフについて学び、実際にさまざまな英文パラグラフを書く。同時に、文法的正確さは言うまでもなく、自然で実践的な英文の書き方を学びます。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	
4	Description 事前学修：[30 分] Descriptive paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
5	Enumeration (1) 事前学修：[30 分] Enumeration についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
6	Enumeration (2) 事前学修：[30 分] Enumeration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
7	Comparison and Contrast (1) 事前学修：[30 分] Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
8	Comparison and Contrast (2) 事前学修：[30 分] Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
9	Illustration (1) 事前学修：[30 分] Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
10	Illustration (2) 事前学修：[30 分] Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
11	Classification 事前学修：[30 分] Classification paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
12	Cause and Effect (1) 事前学修：[30 分] Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
13	Cause and Effect (2) 事前学修：[30 分] Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	

No	内容	形式	教員
14	Definition 事前学修：[30 分] Definition paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	
15	Review 事前学修：[30 分] 1 ～ 14 回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	

■ 教科書

プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

随時配布します。

■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削をフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

レポート課題 60% + 最終提出課題 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 水曜日 10 : 40 - 12 : 10、13 : 10 - 14 : 40 Teams で受け付ける

■ 受講上の注意事項

なし

■ その他

HBLS201

英語 W2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。
5. 1000 words の Research Essays を書くことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] W2-1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	遠藤
2	Process and Direction 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	Process and Direction 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
4	Process and Direction 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	Cause and Effect 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	Cause and Effect 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
7	Cause and Effect 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	Argumentative Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	Argumentative Essays 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
10	Argumentative Essays 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
11	Research Essays 1 テーマの選び方、エッセイの書き方 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Research Essays 2 APA 方式のエッセイの書き方 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
13	Research Essays 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
14	Research Essays 4 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
15	Research Essays 5 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度、紹介します。

■ フィードバックの仕方

添削したそれぞれの課題は、授業中に個々にフィードバックをし、返却します。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業内で取り組んだ 4 つの課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50 遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■ その他

HBLS251

英語 W2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction What is paragraph? 事前学修：[20 分] W1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] 課題を見つける	演習・講義	遠藤
2	The structure of a paragraph Brainstorming 事前学修：[30 分] Paragraph の構成について復習する 事後学修：[30 分] 授業で行った Brainstorming を完成させる	演習・講義	遠藤
3	Reasoning 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
4	Reasoning 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
5	Narrative Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
6	Narrative Essays 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
7	Resume and Cover Letter 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
8	Definition 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
9	Definition 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
10	Comparison Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
11	Comparison Essays 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題の内容を考える	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Comparison Essays 3 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
13	Opinion Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
14	Opinion Essays 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題の内容を考える	演習・講義	遠藤
15	Opinion Essays 3 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題は授業中にその都度フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業内で提出された課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■ その他

HBLS251

英語 LS2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

- (1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を習得する。
- (2) 英語でプレゼンテーションする技術を習得する。

■ 到達目標

- (1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
- (2) 英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

■ 学習の進め方

この授業では英語でのプレゼンテーション・講義を聞き、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	A：川崎、B：遠藤(花)
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	A：川崎、B：遠藤(花)
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	
4	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
5	What is sociology? 事前学修：[30 分] Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
6	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
7	What is linguistics? 事前学修：[30 分] Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
8	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
9	What is physiology? 事前学修：[30 分] Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
10	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
11	What is anthropology? 事前学修：[30 分] Anthoropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎
12	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同時双方向型	川崎

No	内容	形式	教員
13	What is literature? 事前学修：[30 分] Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同 時双方向型	川崎
14	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	Teams での同 時双方向型	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	Teams での同 時双方向型	川崎

■ 教科書

プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

プレゼン毎にフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

LS1-1、LS1-2 を履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

リスニング試験 50 % + プレゼンテーション 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 月曜日 13 : 10 - 14 : 40 Teams で受け付ける。

■ 受講上の注意事項

授業での会話は全て「英語」です (日本語は一切使用しません)。また、次週の授業のための課題が出ますので、しっかりと準備してきて下さい。

* 受講者が AB 合同で 10 名以下の場合、遠藤(花)クラスは開講せず、川崎合同クラスで実施します。

■ その他

HBLS202

英語 LS2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

- (1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を身につける。
- (2)英語でプレゼンテーションを行う技術を習得する。

■ 到達目標

- (1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
- (2)英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

■ 学習の進め方

授業形態は基本的に LS2-1 と同じですが、授業内容のレベルは少し高度なものになります。授業では英語で講義を行い、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	What is science? 事前学修：[30 分] Science に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
2	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
3	What is psychology? 事前学修：[30 分] Psychology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
4	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
5	What is sociology? 事前学修：[30 分] Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
6	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
7	What is linguistics? 事前学修：[30 分] Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
8	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
9	What is physiology? 事前学修：[30 分] Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
10	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	What is anthropology? 事前学修：[30 分] Anthropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
12	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
13	What is literature? 事前学修：[30 分] Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
14	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 1～14回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■教科書

プリントを配布します。

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

プレゼン毎にフィードバックします。リスニングのフィードバックは授業最終日に行います。

■他の授業科目との関連

LS1-1、LS1-2、LS2-1 を履修していることが望ましい。

■成績評価の仕方

リスニング試験 50 % + プレゼンテーション 50 %

■オフィスアワー・研究室等

402 研究室(川崎)月曜、水曜、木曜の昼休み(12:30-13:00)

■受講上の注意事項

授業での会話は全て「英語」です(日本語は一切使用しません)。次週の授業の為に課題が出るので、しっかりと準備してきて下さい。

■その他

HBLS252

英語文献を読むⅠ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 段落・節・章の要旨をまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
4	Culture Care Diversity and Universality Theory (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
5	Culture Care Diversity and Universality Theory (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
6	Culture Care Diversity and Universality Theory (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
7	Culture Care Diversity and Universality Theory (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
8	Culture Care Diversity and Universality Theory (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
9	Ethnonursing Research Studies (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
10	Ethnonursing Research Studies (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
11	Ethnonursing Research Studies (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎

No	内容	形式	教員
12	Ethnonursing Research Studies (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
13	Ethnonursing Research Studies (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
14	Ethnonursing Research Studies (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎
15	Ethnonursing Research Studies (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	Teams での同 時双方向型	川崎

■ 教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題の添削をフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

R2-1、R2-2 を履修すること。英語文献を読むⅡは続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テスト 90% + 授業参加度 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50 Teams で受け付ける。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■ その他

HBLS300

英語文献を読むⅡ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－

○遠藤 花子

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 読んだ内容から、自身の経験などをもとに、何をどのように理解したかまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：[20 分] テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	Ethnonursing Research Studies 1 (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	Ethnonursing Research Studies 1 (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	Ethnonursing Research Studies 1 (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	Ethnonursing Research Studies 1 (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	Ethnonursing Research Studies 1 (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	Ethnonursing Research Studies 1 (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	Ethnonursing Research Studies 1 (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	Ethnonursing Research Studies 2 (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	Ethnonursing Research Studies 2 (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ethnonursing Research Studies 2 (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	Ethnonursing Research Studies 2 (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	Ethnonursing Research Studies 2 (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	Ethnonursing Research Studies 2 (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	Ethnonursing Research Studies 2 (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 内容全体の見直しをする	演習・講義	遠藤

■ 教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、試験期間後 3 週間以内に 401 研究室にて、採点後の答案用紙の返却と解説資料の配布を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

「英語文献を読む I」の学習内容の理解に基づき、より発展的な内容となります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 50%

学期末レポート 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■ その他

HBLS350

中国語Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 実務経験がある教員：－

○神谷 智幸

■授業の目的

中国語は、母語とする人口が世界で最も多く、国連(国際連合)の公用語のひとつでもある。
この授業では、中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得した上で、簡単な挨拶と会話、さらには簡単な自己紹介ができるようになることを目的とする。

■到達目標

1. 中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得する。
2. 中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
3. 名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
4. 日本と中国の文化の違いに気づき、理解を深める。

■学習の進め方

オンデマンド型の授業は以下のように進める。

1. 毎回の授業ビデオについて要点をノートにまとめながら、視聴する。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、毎回小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

同時双方向型の授業では、上記に加え4を実施する。

4. 各回、解説ビデオを視聴するか資料を閲覧し、自己紹介に関する表現の発音と文法をひとつずつ学習する。その上で、教員との実際に会話練習を行う。

授業後は自己紹介ができるようくりかし復習する。

この授業は、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し習得することを求める。授業形式は「オンデマンド型」と「同時双方向型」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。クイズなどの実施を通じて、ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。

授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(1) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：①中国の人口 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
2	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(2) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：②中国人に多く見られる苗字 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
3	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(3) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：③香港とマカオ(澳門)は何年にどこから返還されたか 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
4	発音(1)：中国語についての概要と声調 事前学修：[15分] 事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書 7-9 頁に目を通しておく。 事後学修：[45分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、12 頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷

No	内容	形式	教員
5	発音(2): 単母音 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、12 頁の「声調」を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、11 頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
6	発音(3): 子音(前半)・二重母音 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、11 頁の「単母音」を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音(前半)」・19 頁「二重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
7	発音(4): 子音(後半)・三重母音 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、13・19 頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音(後半)」・19 頁「三重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
8	発音(5): 二重母音と三重母音のまとめ・n、ng を含む母音(全体の概要)・数字 1～10 の言い方 第 1 課 新出語句・「名前の言い方」 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、13・19 頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、14 頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
9	発音(6): n、ng を含む母音(前半)・軽声 第 1 課 会話・文法ポイント解説(挨拶①など) 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14 頁の単語を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、14 頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
10	発音(7): n、ng を含む母音(後半の概要)・変調 第 1 課 補足語句・ドリル 【同時双方型(1)】名前(苗字)を紹介する 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14 頁の会話を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、名前(苗字)の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
11	発音(8): n、ng を含む母音(後半) 第 2 課 挨拶②・「数字の言い方」 【同時双方型(2)】誕生日を紹介する 事前学修: [60 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14-18 頁の第 1 課の内容を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
12	発音のまとめ(1): ピンイン書き換えのルール 第 2 課 新出語句・会話・補足語句 【同時双方型(3)】住まい(実家)を紹介する 事前学修: [30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、21 頁の「数字の言い方」を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
13	発音のまとめ(2): 親族名称と変調 第 2 課 ペアワーク・ドリル 第 3 課 新出語句・“的”「～の」解説 【同時双方型(4)】家族を紹介する 事前学修: [60 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、20-22 頁の第 2 課の内容を復習する 事後学修: [60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷

No	内容	形式	教員
14	第3課 会話・指示代名詞 〔同時双方型(5)〕好きな食べ物を紹介する 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、26 頁の単語を復習する 事後学修：[60 分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	神谷
15	第3課 補足語句・ドリル 〔同時双方型(6)〕自己紹介総合練習 事前学修：[60 分] 前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修：[120 分] 教科書全体を復習し発音と筆記の練習をする、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	神谷

■教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

■参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出後 3 週間以内にコメントを付して返却する

■他の授業科目との関連

この科目は中国語Ⅱの履修要件となっています。

■成績評価の仕方

Glexa における毎回の小テスト 55 %、定期試験に代わる課題(レポート・口述試験) 5 %、実技(音声ファイル提出と zoom への参加による発音練習・会話練習) 20 %、授業への取り組み 20 %(内訳は授業前期ノート 10 %、4 月の自宅学習課題と各回の復習問題・クイズ問題の実施を総合して 10 %)

■オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

■その他

HBLS104

中国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 実務経験がある教員：－

○神谷 智幸

■授業の目的

中国語は、母語とする人口が世界で最も多く、国連(国際連合)の公用語のひとつでもある。この授業では、中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得した上で、簡単な日常会話と医療現場で使う簡単な表現が話せるようになることを目的とする。

■到達目標

1. 中国語の発音をより速く正確にできるようになる。
2. 簡単な日常会話と医療現場で使う簡単な表現が話せるようになる。
3. 日本と中国の文化の違いに気づき、理解を深める。

■学習の進め方

授業は以下のように進める。前半は日常会話を習得するための練習を行う。後半は基本的にテキストの内容に沿って進める。テキストを熟読し、授業に臨むこと。

1. 正確で自然な発音を習得するため、テキストの音声の後に繰り返し音読する。
2. 中国語をアウトプットする練習として、音声認識ソフトや PC に用いた入力法を解説・練習する。
3. 発音や新出単語の定着度を測るため、小テストをほぼ毎回行う。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[30 分] 中国語Ⅰで配布した資料やノートを整理し、見返しておく 事後学修：[60 分] 中国語Ⅰで学習した内容をすべて復習する	講義	神谷
2	会話小テスト(1)、第4課 発音総合練習 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 1-3)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 31-32 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
3	会話小テスト(2)、第4課 新出語句、会話 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 4-7)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 33 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
4	会話小テスト(3)、第4課 文法ポイント 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 8-10)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 34-35 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
5	会話小テスト(4)、第5課 新出語句、会話 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 11-14)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 38 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
6	会話小テスト(5)、第5課 文法ポイント(1) 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 15-17)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 39 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
7	会話小テスト(6)、第5課 文法ポイント(2) 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 18-21)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 40 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
8	会話小テスト(7)、第4課・第5課まとめ 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 22-25)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[60 分] 教科書 31-43 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
9	会話小テスト(8)、第6課 新出語句、会話 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 26-29)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 44 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
10	会話小テスト(9)、第6課 文法ポイント 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 30-33)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 45-46 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
11	会話小テスト(10)、第6課 まとめ 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 34-37)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[60 分] 教科書 44-48 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
12	会話小テスト(11)、第7課 新出語句、会話 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 38-41)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 49-50 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
13	会話小テスト(12)、第7課 文法ポイント 事前学修：[60 分] 小テスト(会話 42-45)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30 分] 教科書 50-51 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
14	第7課 まとめ 事前学修：[60 分] 第7課の復習をし、発音と筆記の練習をする 事後学修：[60 分] 教科書 49-53 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
15	会話総合練習 全体の定着度の確認 事前学修：[60 分] 学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：[60 分] 授業を通じて気付いたこと、自身の認識の変化を文章にまとめる	講義・演習	神谷

■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭での解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組みと小テスト(60 %)、定期試験(40 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

分からないことがあれば、授業中でもためらわずに質問してください。

■ その他

HBLS153

フランス語Ⅰ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」変化 実務経験がある教員：－

○西脇 雅彦

■ 授業の目的

フランス語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。

■ 到達目標

- ・ フランス文化に対する理解を深める。
- ・ 発音の規則に慣れる。
- ・ 簡単な会話や作文ができるようになる。

■ 学習の進め方

基本的に教科書に沿って進めていきます。文法をおさえ、問題を解くことをとおして、さまざまなフランス語の表現に親しんでいきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	関心のある事柄、好きなもの、頭に浮かんだ言葉や医療用語、身のまわりにある物などを合計 15 個書き出し、それらの単語に対応するフランス語をインターネットで調べる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西脇
2	関心のある事柄、好きなもの、頭に浮かんだ言葉や医療用語、身のまわりにある物などを合計 15 個書き出し、それらの単語に対応するフランス語をインターネットで調べる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西脇
3	関心のある事柄、好きなもの、頭に浮かんだ言葉や医療用語、身のまわりにある物などを合計 15 個書き出し、それらの単語に対応するフランス語をインターネットで調べる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西脇
4	フランス、フランス語をめぐって 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおす 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	オンデマンド型	西脇
5	Leçon1 あいさつ表現・名前を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	オンデマンド型	西脇
6	Leçon2 職業や身分・住んでいるところを言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	オンデマンド型	西脇
7	Leçon3 国籍や話せる言語を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	オンデマンド型	西脇
8	Leçon4 兄弟・姉妹について 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	同時双方向型	西脇
9	年齢を言う・否定の表現 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	オンデマンド型	西脇
10	Leçon5 さまざまな疑問詞 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を読み、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	同時双方向型	西脇
11	まとめ フランス語で自己紹介 事前学修：[40 分] 発音の練習 事後学修：[40 分] これまで学んだ内容の総復習	同時双方向型	西脇

■教科書

ニコラ・ガイヤール・加藤豊子ほか著、『新装 カフェ・フランセ』、朝日出版社、2016

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

採点した課題を適宜返却する。

■他の授業科目との関連

フランス語Ⅱの基礎となる科目です。

■成績評価の仕方

授業参加度、小テストや課題、口頭試験などを総合的に評価。

■オフィスアワー・研究室等

メールで質問を受け付けます。

■受講上の注意事項

わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

■その他

HBLS105

フランス語Ⅱ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」変化 実務経験がある教員：－

○西脇 雅彦

■ 授業の目的

「フランス語Ⅰ」で学んだ内容を踏まえて、フランス語によるコミュニケーションの基礎をかためる。

■ 到達目標

- ・ フランス文化に対する理解を深める。
- ・ 発音の規則を習得する。
- ・ 既習の単語や文法をつかって、状況に応じた会話や作文ができるようになる。

■ 学習の進め方

基本的には教科書に沿って進めていきます。文法事項をおさえつつ、聞いたり話したりするアクティビティをとおして、また練習問題を解くことをとおして、さまざまなフランス語の表現に親しんでいきます。時間の許すかぎり、フランス文化の紹介も行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンスと前期(フランス語Ⅰ)のおさらい 事前学修：[20 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
2	Leçon7 好き・嫌いを言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
3	好き・嫌いの程度を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
4	Leçon8 比較する 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
5	服装について 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
6	Leçon9 朝ごはんの内容を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
7	スポーツについて 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
8	Leçon10 曜日や場所を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
9	乗り物と期間について 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
10	Leçon11 一日の行動を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
11	時間の表現 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
12	Leçon12 なぜ、いつと尋ねる 事前学修：[20 分] 教科書に目をおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

No	内容	形式	教員
13	さまざまな代名詞 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
14	Leçon13 過去のことを話す 事前学修：[20 分] 教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	まとめ 事前学修：[30 分] 全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：[30 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

■教科書

ニコラ・ガイヤール・加藤豊子ほか著、『新装 カフェ・フランセ』、朝日出版社、2016

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■他の授業科目との関連

フランス語Ⅰを発展させた科目です。また、日本語や英語との相違などを通じて新たな視点をもつことができ、異文化への理解が深められるとすれば、さまざまな分野にかかわってくると言えるでしょう。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(40 %) 2. 試験(60 %)

■オフィスアワー・研究室等

授業終了時に教室で質問を受けつけます。

■受講上の注意事項

わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

■その他

HBLS154

基礎ゼミⅠ

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○角田 敦彦、渋谷 真樹、川崎 修一、逸見 功、井上 明宏、川崎 洋平、鷹田 佳典、越後 敬子、宮崎 正峰、白井 美穂、佐藤 眞

■ 授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

■ 到達目標

- ①人文・社会・自然科学の講義を聴いて内容を理解できる。
- ②学術的な文章を読んでその内容を理解できる。
- ③自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
- ④調べたいテーマに関する文献を検索・収集できる。
- ⑤テーマに即した論理的な文章を書くことができる。

■ 学習の進め方

・原則として自宅学習を除くすべての回が遠隔授業となりますので、授業の進め方など担当教員からの連絡を逃さないよう、ポータルやメールを積極的に確認しましょう。また、連絡がない、あるいは遅いと思ったときは、自ら発信して情報を主体的に取りに行くようにしましょう。

- ・授業日程は下表の日付を原則としますが、特に 11 回以降の個別指導については担当教員の指示に従ってください。
- ・必要に応じてプリントアウトするなどして、授業に臨みましょう。
- ・授業の予習として、次の授業の目標等を確認し、課題(宿題)がある時は、必ず課題をして授業に参加しましょう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 3 回目(もしくは 4 回目)の討論テーマを決める。 事前学修：[15 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
2	文献検索の練習 事前学修：[15 分] Glexa 上の文献検索の練習課題シートを活用し、文献検索の方法を習得する。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	オンデマンド	各担当教員
3	文献検索の復習 事前学修：[15 分] Glexa 上の練習課題シートを活用し、文献検索の方法を習得する。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	オンデマンド	各担当教員
4	PC により Word の基本操作と APA の学習 事前学修：[30 分] Glexa 上の練習課題シートを活用し、PC による基本操作と APA 方式による参考・引用文献の書き方を学習する。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	オンデマンド	各担当教員
5	APA 方式の復習 事前学修：[30 分] Glexa 上の練習課題シートを活用し、APA 方式による参考・引用文献の書き方を学習する。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	オンデマンド	各担当教員
6	1 回目で決めたテーマの賛否とその理由について討論 事前学修：[60 分] 学生間でメールなどを利用し、討論テーマに関する発表資料を作成する。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
7	担当教員のミニ講義を聞き、自分の意見を根拠とともに発表する。 事前学修：[60 分] 事前予告のミニ講義のテーマについて調べて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
8	担当教員指定の図書を読み、自分の意見をレジュメにまとめて発表、討論する。 事前学修：[60 分] 指定図書を読み、発表準備をする。 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員

No	内容	形式	教員
9	研究論文の読解、討論(1回目) 事前学修：[60分] 指定の研究論文を読み、自身の意見をノートに記す 事後学修：[15分] 授業内容の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
10	研究論文の読解、討論(2回目) 事前学修：[15分] 既に学習した APA 形式について、ポイントをメモする。 事後学修：[15分] 授業内容の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
11	レポート作成のための個別指導① 事前学修：[30分] レポートのテーマを考え、ノートに記す。 事後学修：[15分] 個別指導の反映	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
12	レポート作成のための個別指導② 事前学修：[30分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[15分] 個別指導の反映	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
13	レポート中間発表会 事前学修：[30分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15分] 授業の振り返り	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
14	文章の書き方についての個別指導① 事前学修：[60分] レポートテーマについて、文献検索を進め、構成を考える。 事後学修：[15分] 個別指導の反映	Teams を使用した双方向授業	各担当教員
15	文章の書き方についての個別指導② 事前学修：[30分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[15分] 個別指導の反映	Teams を使用した双方向授業	各担当教員

■教科書

なし(プリントを配布する)。

■参考書、参考資料等

必要に応じて紹介する。

■フィードバックの仕方

レポートは担当教員のコメントを付して、Glexa 上で返却する。

■他の授業科目との関連

この科目の発展的応用的科目として 1 年次後期に「基礎ゼミⅡ」(必修科目)がある。

■成績評価の仕方

授業スケジュールの 1～10 の課題を達成した合計が 50 点、レポート評価が 50 点(レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価 10 点を含む)。

■オフィスアワー・研究室等

時間：専任教員は授業開講日の 12:30～13:00。大宮キャンパス教員、非常勤講師は授業終了後。

場所：川崎修一(402 研究室)、井上(409 研究室)、角田(410 研究室)、渋谷(404 研究室)、川崎洋平(407 研究室)、大宮キャンパス教員、非常勤講師は各教室、その他適宜 Glexa 上のメール機能を活用する。

■受講上の注意事項

* 指定された担当教員のゼミを履修する。

■その他

HBFS100

基礎ゼミⅠ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－
○遠藤 公久

■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 看護を研究するプロセスについて学ぶ。
2. 研究した内容について記述する方法について理解する。
3. 論理的な思考能力を高める。

■ 学習の進め方

資料をもとに、それぞれが疑問点や意見を発表し、看護研究の流れを学び、進め方、まとめ方について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[10分] 授業に備えてシラバスを読んでおく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくるコメントを考える	双方向型	遠藤
2	文献検索の方法を復習する(自分の関心のあるテーマについて検索)。 事前学修：[10分] 授業に備えてシラバスを読んでおく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくるコメントを考える	双方向型	遠藤
3	PCでWordの基本操作と3種類の引用のスタイル(APA方式)を学ぶ。 事前学修：[10分] 授業に備えてシラバスを読んでおく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくるコメントを考える	双方向型	遠藤
4	引用スタイルを復習する。 事前学修：[30分] 配布資料をもとに課題に取り組む。	双方向型	遠藤
5	APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を学習する (前半)課題について解説 →第5回目分 (後半) APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を学習する。→第6回目分 時間があれば練習問題シート2についても取り組む。残った問題については、解答も配布する。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくるコメントを考える	双方向型	遠藤
6	APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を練習する。 練習問題シート2を活用し、APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を復習する。 正解を参考にしてさらに練習をする。 事前学修：[30分] 課題に取り組む 事後学修：[10分]	自宅学習	遠藤
7	レポート作成に必要な引用(直接引用、間接引用など)の仕方(APA方式)について学ぶ。 事前学修：[30分] 授業に備えてシラバスを読んでおく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくるコメントを考える	双方向型	遠藤
8	研究論文(量的研究)を読み、納得できた点、疑問点などを発表し討論する。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤
9	研究論文(質的研究)を読み、納得できた点、疑問点などを発表し討論する。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤
10	看護における研究の意味について理解する。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤
11	研究の全体の流れを知る。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤
12	文献の探し方・検討の仕方について学ぶ。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤
13	研究デザインと研究手法を学ぶ。 事前学修：[60分] 配布資料を読みコメントを考えておく	双方向型	遠藤

No	内容	形式	教員
14	具体的な研究の進め方について理解する。 事前学修：[60 分] 配布資料を読みコメントをしておく	双方向型	遠藤
15	具体的論文から研究のポイントをつかむ。 事前学修：[60 分] 配布資料を読みコメントをしておく	双方向型	遠藤

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

『看護研究の進め方：論文の書き方』医学書院 早川和生編著 2013 年

■ フィードバックの仕方

レポートを返却希望者は、後期授業前に研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この科目の発展的科目として、基礎ゼミⅡならびに研究方法論ⅠⅡがある。

■ 成績評価の仕方

レポート 50 %、取り組み 50 %、

■ オフィスアワー・研究室等

随時 Glexa への質問へ対応する。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○川崎 修一

■ 授業の目的

テーマ：日本語の「ふしぎ」に焦点を当て、その背後にある仕組みを探る

(1) 先行研究を理解する (2) 自分の意見をわかりやすく発表する。

■ 到達目標

先行研究を分析し、自分の意見をわかりやすく発表できるようになる。

■ 学習の進め方

日本語の表現には、いまだ規則らしきものが発見されず「ふしぎ」のままの現象が数多く存在しています。この授業では、これらの様々な「ふしぎ」に焦点を当て、分析し、疑問に感じたことなどを議論していきたいと思っています。といっても、なにも小難しいことをやるわけではありません。ごく身近な表現を取り上げ、言語研究者がどのように分析しているかをわかり易く解説した上で、代替案の可能性を探っていきます。

履修のために必要な事前学修：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学修：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「全然＋肯定」－「全然大丈夫！」は全然大丈夫か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
2	「～かけの～」－「立ちかけのキリンを写真に撮った」は自然な日本語か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
3	「～ている」－「桜の花が散っている」はなぜ曖昧か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
4	「ろくな～しない」－「ろくなタレントがふざけなかった」はなぜヘン？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
5	最近の気になる日本語 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
6	日本語に対する「直感」 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
7	これはゴミ箱なので、それ以外のものはすてちゃダメ！－“それ”＝“ごみ”の解釈は可能か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
8	なぜ音楽は「甘い」？－共感覚表現 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
9	「た」の意味 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
10	「モノ」と「場所」の交替 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎

No	内容	形式	教員
11	「子供がいっぱい走った」はなぜ曖昧か？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
12	「川で泳いだ」と「川を泳いだ」の違いは？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
13	「降りさえ雨がした」はなぜ変？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
14	「公久は真に自分の部屋で殴られた」はどっちの部屋で殴られた？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
15	総括 事前学修：[30 分] 1～14回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[30 分] 全てのポイントを復習する。		川崎

■教科書

下記の参考書を基にしたプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

■参考書、参考資料等

「日本語機能的構文研究」久野暉・高見健一(著)大修館書店

「ケジメのない日本語」景山太郎(著)岩波書店

「ふしぎなことば ことばのふしぎ」池上嘉彦(著)筑摩書房

■フィードバックの仕方

課題の評価は授業最終日にフィードバックします。

■他の授業科目との関連

基礎ゼミ 1 の内容を復習しておくこと。

■成績評価の仕方

毎回の課題のポートフォリオに基づくプレゼン 80%

授業参加度 20%

■オフィスアワー・研究室等

402 研究室 水曜日 10:40 - 12:10、13:10 - 14:40

■その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」国際貢献 「3」関係 実務経験がある教員：－

○遠藤 花子

■ 授業の目的

テーマ：イギリスの文化を学ぶ

現在のイギリスを理解するには、歴史的な背景を知ることが必要です。2000年に及ぶ歴史の中で、人々は何を身に付け、何を発明し、そして何に苦しんできたのでしょうか。この授業では、イギリスの歴史に触れながら、現代のイギリスの国民性や衣食住、更には娯楽や文学について探っていきます。

■ 到達目標

1. プレゼンテーションを通して自分で原稿をまとめる力と発表する能力を身に付けることができる。
2. 歴史を学ぶ中で、「人間とは何か」を理解することができる。
3. 論理的な思考を身に付けることができる。

■ 学習の進め方

1. 担当者を決め、トピックに関連する事柄のプレゼンテーションを行う。
2. スライド、配布資料、DVD などからイギリス文化の理解を深める。
3. 討議を行った後、自分の考えをまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 発表のグループ分け 事前学修：[60分] イギリスの歴史、文化、文学に関心をもつ 事後学修：[30分] 興味のある範囲を調べる(映画などでも構いません)	発表・講義・討論	遠藤
2	道具の歴史とローマン・ブリテンの衣食住 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
3	マナーと中世騎士道精神 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
4	娯楽とシェイクスピアの演劇 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
5	食と大航海時代 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
6	階級社会とジェイン・オースティン 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
7	産業革命とチャールズ・ディケンズ 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
8	スポーツの文化と人種差別 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
9	イギリス文学と美術 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
10	ビアトリクス・ポッターとナショナル・トラスト 事前学修：[60分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	ザ・ビートルズと音楽における反戦運動 事前学修：[60 分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30 分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
12	イギリス文学と医学 事前学修：[60 分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30 分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
13	学校制度と『ハリーポッター』 事前学修：[60 分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30 分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
14	イギリスの観光地 事前学修：[60 分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30 分] リフレクション・ペーパーを作成する(次回授業で提出)	発表・講義・討論	遠藤
15	イギリスの地域性 事前学修：[60 分] 文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：[30 分] レポート課題に取り組む	演習	遠藤

■ 教科書

パワーポイントや配布資料、ビデオ教材を使用する。

■ 参考書、参考資料等

授業の中で適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

リフレクション・ペーパーは授業の最終回にフィードバックを、レポートの返却は試験期間終了後に採点基準の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I の学習内容に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

口頭発表 20 %、授業への取り組み 50 %、レポート 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏

■ 授業の目的

当ゼミのテーマとして「健康・スポーツ」を軸に設定し、それと医学、医療、女性、障がい者、マイノリティ(性的、国籍、人種)、ライフスタイル、ライフサイクル、社会、地域、教育、国際との関わりを扱う。基礎ゼミⅠで学んだスキルを、文献検索、文献読解、少人数グループにおける討論、発表などにおいて応用、実践し、看護関連研究の方法についても学び、考えることを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 学術論文について研究的視点や論文構成を学ぶ(探求)。
- ・ 自ら理解したことや意見をまとめて、論理的で平易かつ明瞭に聞き手に伝える実践力を養う(実践)。
- ・ グループワークを通して、自らの役割を務め、協力し、意見交換する力を養う(連携)。
- ・ 看護学研究の方法論を学び、アンケート調査・インタビューの演習を通して研究的視点を実践に移す(探求・実践)。

■ 学習の進め方

AL

基本的に演習形式とし、一部、教員から講義形式の話題提供を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、自己紹介、グループ分け、討論テーマの説明 事前学修：[20 分] 自己紹介について準備する。 事後学修：[20 分] 次回の討論のテーマについて調べる。	発表、講義	井上
2	マイノリティに関する自由選択テーマについての発表・討論 事前学修：[30 分] 討論のテーマについて意見をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、学びを A4 用紙 1 枚のレポートにまとめる。	発表、討論	井上
3	看護研究理論に関する発表およびフィールドワークの説明 事前学修：[60 分] 事前に提示された資料についての発表準備を行う。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、学びを A4 用紙 1 枚のレポートにまとめる。	発表、講義	井上
4	看護研究理論の実践の発表 事前学修：[90 分] フィールドワークを実施する。 事後学修：[60 分] 授業を振り返り、学びを A4 用紙 2 枚程度のレポートにまとめる。	演習、発表	井上
5	指定テーマについての説明、個別学習またはグループワーク 事前学修：[30 分] 指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：[60 分] 授業内の作業で足りなかった部分を補う。	講義、演習、GW	井上
6	成長期に関する自由選択テーマについての発表・討論(1) 事前学修：[60 分] 指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
7	性成熟期に関する自由選択テーマについての発表・討論(2) 事前学修：[60 分] 指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：[60 分] 授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
8	個別学習またはグループワーク 事前学修：[30 分] 指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：[60 分] 授業内の作業で足りなかった部分を補う。	演習、GW	井上
9	中高齢期に関する自由選択テーマについての発表・討論(3) 事前学修：[60 分] 指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
10	個別学習またはグループワーク 事前学修：[30 分] 指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：[60 分] 授業内の作業で足りなかった部分を補う。	演習、GW	井上
11	社会、地域、教育、国際に関する自由テーマについての発表・討論(4) 事前学修：[60 分] 指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上

No	内容	形式	教員
12	アンケートテーマの検討・アンケート作成 事前学修：[30 分] アンケートテーマについて考える。 事後学修：[60 分] グループでアンケートを作成を行う。	演習、GW	井上
13	アンケート準備の中間報告・検討 事前学修：[60 分] アンケートの完成 事後学修：[90 分] アンケートの実施	発表、討論	井上
14	アンケート結果報告・討論 事前学修：[90 分] アンケート集計・発表準備を行う。 事後学修：[90 分] 調査結果と考察をレポートにまとめる。	発表、討論	井上
15	総括 事前学修：[30 分] 科目全体を通しての学びを振り返る。 事後学修：[60 分] 科目全体を通しての学びをレポートにまとめる。	討論	井上

■ 教科書

必要に応じて担当教員もしくは学生が資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介されるが、原則として学生が自らが選ぶ

■ フィードバックの仕方

授業での発表、提出物レポートフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

■ 他の授業科目との関連

当科目は、1 年次前期の「基礎ゼミ I」(必修科目)の応用発展的科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、プレゼンテーション(50%)、グループワークおよびディスカッションへの貢献(30%)

■ オフィスアワー・研究室等

開講日の 18:10～18:40 ゼミ開催場所または 409 (井上明宏)研究室

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○角田 敦彦

■授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

特に本ゼミでは、国際協力分野(紛争・災害など)に関する事柄に関して学生各自が興味を持ったニュースや記事を検索し要約する。また、これを他者に分かりやすく発表する技術、また、他者の発表を聞き質問や自分の意見を述べるスキルを身につけることを目的とする。

■到達目標

- ・自分が関心を持つ分野のニュースや記事を探索的に読み、関心を持った事柄についてわかりやすく論理的に他者に伝えることができる。
- ・他者の発表を聞き、それに対する質問や意見をまとめ、討論できる。

■学習の進め方

- ・学生が自分の関心を持ったニュースや記事を検索し、要約し発表する。
- ・発表を聞き、質疑を行う。
- ・教員がコメントを行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースガイダンス 効果的なプレゼンテーション 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅠの内容を復習し、文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する。	講義・討論	角田
2	テーマの決定と関係するニュース・記事等の検索 事前学修：[30分] 関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：[30分] 決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	演習	角田
3	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
4	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
5	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
6	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
7	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
8	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
9	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
10	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
11	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田

No	内容	形式	教員
12	発表と質疑・討論 事前学修：[30 分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30 分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
13	発表と質疑・討論 事前学修：[30 分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30 分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
14	発表と質疑・討論 事前学修：[30 分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30 分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
15	まとめ 事前学修：[30 分] これまでの討論を振り返り整理する。 事後学修：[30 分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	討論	角田

■ 教科書

ゼミの中で適宜指示する。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

各回の発表後、学生相互のディスカッションを踏まえ、教員からコメントする。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、プレゼンテーションの準備、内容、態度 50 %、質疑、討論への参加度 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:30～13:00 410 研究室

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○川崎 洋平

■ 授業の目的

本ゼミでは、ライフサイエンス分野における「データサイエンス力」を磨く事を主眼として、以下の2つの課題を設定する。

1. 各自が興味を持った論文(和文又は英文)の要約をし、他者に分かりやすく発表する。
2. 看護分野におけるリサーチクエストを立てて、実データを利活用し、研究発表を行う。仮説を立て結論を導くまでの一連の過程を経験する(グループで協力して行う)。

■ 到達目標

1. 論文を要約し、探索的かつ批判的に読み、明らかにになった点と明らかにになっていない点とを明確にできる。
2. 研究課題を立てて、それを解決する力を身につける。

■ 学習の進め方

1. 学生が論文を検索して、要約した内容を発表する。また、発表を聞き、質疑を行う。
2. グループで協力をして、研究発表を行なう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	グループの決定・テーマの決定・論文等の検索 事前学修：[30分] 文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	ディスカッション(討論)・ディベート	川崎 洋平
2	テーマの決定・論文等の検索 事前学修：[30分] 関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：[30分] 決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	ディスカッション(討論)・ディベート	川崎 洋平
3	発表準備 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川崎 洋平
4	発表準備 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川崎 洋平
5	発表準備 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川崎 洋平
6	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
7	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
8	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
9	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
10	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
11	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	発表と質疑・討論 事前学修：〔30分〕論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：〔30分〕討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
13	発表と質疑・討論 事前学修：〔30分〕論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：〔30分〕討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
14	研究発表会 事前学修：〔30分〕発表資料を用いたプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：〔30分〕討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平
15	研究発表会 事前学修：〔30分〕発表資料を用いたプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：〔30分〕討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川崎 洋平

■ 教科書

必要に応じて、ゼミ中に資料を配布する

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

各回の発表後、その都度教員からコメントする。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み20%、プレゼンテーションの準備、内容、態度50%、質疑、討論への参加度30%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、講義前後の時間、以下のオフィスアワーで受け付ける。

オフィスアワー：〇〇曜日〇〇時～〇〇時、〇〇〇研究室

■ 受講上の注意事項

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○鈴木 勝己

■ 授業の目的

このゼミでは、まず医療人類学(medical anthropology)および医療社会学(medical sociology)という学問について学びます。医療人類学および医療社会学は、私たちがこの世に生を受けてから年齢を重ねて、病気になり、死にゆくまでの生老病死のライフサイクルのなかで起こりえる、健康と病気に関するすべての出来事を対象としています。具体的には、恋愛や友情などの人間関係、出産・育児、生殖医療の可能性、ストレスと心身医学、病いの語り、生活習慣病、宗教と医療の関係性、病気の自己治療、高齢者医療と介護の課題、看取り文化、脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死、遺伝子治療の是非など幅広いテーマが挙げられます。ゼミ生は関心のある研究テーマを設定し、文献調査によって理解を深め、その成果を報告します。ゼミでは発表資料の作成と口頭発表の練習を行いますので、医療・看護の専門職に求められる発表資料の作成方法、文章作成の技術、効果的な情報検索、発表技術や討論の進め方について基本技術を習得することになります。

■ 到達目標

本ゼミの具体的な到達目標は以下の3項目です。

- 1) 文献調査の実施：研究テーマに沿った的確な文献調査が実施できる
- 2) 報告資料の作成：正確な文章表現で報告資料をまとめることができる
- 3) 発表技術の向上：調べた内容を効果的に発表し、質疑応答することができる

■ 学習の進め方

授業の進め方は、文献調査と報告資料の作成および発表の練習を重ねていきます。最終的には、グループ討論を経て最終レポートの作成に取り組みます。具体的な項目は以下の通りです。

- ◆文献の読解：基本的文献の内容を要約し、文献の内容を整理してみよう
- ◆発表資料の作成：適切な形式で発表資料を作成してみよう
- ◆プレゼンテーション演習：各自で研究発表に取り組んでみよう
- ◆グループ討論：発表内容に対して様々な意見を聞き取り、理解を深めてみよう
- ◆報告書の作成：正確でわかりやすい報告書を書いてみよう

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 事前学修：[30分] 自己紹介の準備(なぜ看護師を目指すのか?) 事後学修：[30分] 関心のある研究テーマを簡条書きにしておく	討論	鈴木
2	医療人類学・医療社会学とはどのような学問か? 事前学修：[30分] 看護師が人文社会科学を学ぶ理由を簡条書きにしておく 事後学修：[30分] 医療人類学・医療社会学の意味を説明できるようにしておく	講義	鈴木
3	文献調査その1 事前学修：[30分] 研究テーマの洗い出し 事後学修：[30分] 文献調査	資料収集+報告	鈴木
4	文献調査その2 事前学修：[30分] 研究テーマの選定 事後学修：[30分] 文献調査	資料収集+報告	鈴木
5	文献の内容紹介その1 事前学修：[30分] 発表資料の作成 事後学修：[30分] 発表資料の改善	発表報告+討論	鈴木
6	文献の内容紹介その2 事前学修：[30分] 発表資料の作成 事後学修：[30分] 発表資料の改善	発表報告+討論	鈴木
7	プレゼンテーションのコツ 事前学修：[30分] プレゼンテーションについての配布資料を読んでおく 事後学修：[30分] 授業内容および配布資料の確認	講義	鈴木

No	内容	形式	教員
8	発表資料の作成その1 事前学修：[30分] プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本操作の練習 事後学修：[30分] 参考文献の読解	資料作成	鈴木
9	発表資料の作成その2 事前学修：[30分] 参考文献の読解 事後学修：[30分] 発表資料の作成	資料作成	鈴木
10	発表資料の作成その3 事前学修：[30分] 発表資料の作成 事後学修：[30分] 発表資料の作成	資料作成	鈴木
11	プレゼンテーション演習その1 事前学修：[30分] 発表演習の時間配分を確認し、実際に練習しておく 事後学修：[30分] 各自の発表テーマについて質問・疑問点を箇条書きにしておく	発表演習＋討論	鈴木
12	プレゼンテーション演習その2 事前学修：[30分] 発表演習の時間配分を確認し、実際に練習しておく 事後学修：[30分] 各自の発表テーマについて質問・疑問点を箇条書きにしておく	発表演習＋討論	鈴木
13	プレゼンテーション演習その3 事前学修：[30分] 発表演習の時間配分を確認し、実際に練習しておく 事後学修：[30分] 最優秀の発表者を選定する	発表演習＋討論	鈴木
14	最終レポートの作成その1 事前学修：[30分] 最終レポートの書式を確認しておく 事後学修：[30分] 文章作成に関する技術的なポイントを箇条書きにして確認しておく	レポート作成	鈴木
15	最終レポートの作成その2 事前学修：[30分] 最終レポートの内容・書式に関する疑問点を箇条書きにしておく 事後学修：[30分] 最終レポートを仕上げる	レポート作成	鈴木

■教科書

ゼミ学生の興味や関心によって文献を選択するため、特定の教科書は事前に指定しません。なお、参考文献については下記を参照。

■参考書、参考資料等

- ・『ヘルマン医療人類学：文化・健康・病い』C. ヘルマン著、金剛出版、2018
- ・『苦悩とケアの人類学：サファリングは創造性の源泉になりうるか?』浮ヶ谷幸代編著、世界思想社、2015
- ・『テキスト臨床死生学：日常生活における「生と死」の向き合い方』臨床死生学テキスト編集委員会、勁草書房、2014
- ・『医療人類学のレッスン』池田光穂・奥野克巳共編著、学陽書房、2007
- ・『フィールドワークへの挑戦：実践人類学入門』菅原和孝、世界思想社、2006
- ・『脳死と臓器移植の医療人類学』M. ロック著、みすず書房、2004
- ・『語りかける身体』西村ユミ著、ゆみる出版、2001
- ・『病いの語りー慢性の病いをめぐる臨床人類学』A. クラインマン著、誠信書房、1996

■フィードバックの仕方

発表資料へのフィードバックは、授業中に口頭で行い、修正すべき点を明らかにします。最終報告書については、授業終了から3週間以内に教務係を通じて個別のコメントを配布します。

■他の授業科目との関連

基礎ゼミⅡは、基礎ゼミⅠの学習内容の理解に基づき、より発展的・専門的な内容を扱います。

■成績評価の仕方

基礎ゼミⅡは演習形式のため、毎回授業へ出席する必要があります。成績評価は、1)授業への参加態度・取り組み20%、2)基本的知識の習得20%、3)発表技術20%、4)最終報告書40%、の四項目を点数化し、総合的に勘案して決定されます。

■オフィスアワー・研究室等

授業の前後に個別の質問や相談、その他の連絡を受け付けます。授業日以外は、電子メール(educcoach646@kurenai.waseda.jp)による質問・連絡を受け付けます。詳細は初回授業時に告知します。

■受講上の注意事項

パソコンを用いた資料作成および情報検索が必須となるため、自由に使用できるパソコンが用意できることが望ましいです。

■その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○越後 敬子

■ 授業の目的

テーマ：差別の問題を考える

世の中には様々な差別が存在している。それは人種・宗教・文化・身分・性別・能力の差など多岐にわたり、また病者に対する差別もその一つである。先年、障がい者に対する差別的な事件が起きたことも記憶に新しいであろう。

かつて日本ではハンセン病患者差別の時代が長く続いた。この授業の前半では、ハンセン病患者で作家の北条民雄の作品『いのちの初夜』や彼の日記をもとに、差別の全容、そして今に続く患者の苦悩を知ること努めたい。

さらに授業の中盤以降では各自がテーマを設定し、世界及び日本に存在する差別の問題を考察する。具体的なテーマをもとに、差別の問題について考えることを目的とする。

■ 到達目標

1. 日本におけるハンセン病患者差別の問題について深く知る。
2. 世界や日本に存在する様々な差別について調査し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、自分の考えを明確に伝える力を養う。

■ 学習の進め方

1. ハンセン病患者差別の問題については、教員が講義を行い、受講者には適宜意見を求める。
2. 1と並行して、各自がテーマを設定し、差別の問題について文献を調査する。
3. 自分の考えをまとめてプレゼンテーションする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義	越後
2	ハンセン病患者差別について考える① 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
3	ハンセン病患者差別について考える② 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
4	ハンセン病患者差別について考える③ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
5	ハンセン病患者差別について考える④ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
6	ハンセン病患者差別について考える⑤ 差別の問題に関する文献調査① 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
7	ハンセン病患者差別について考える⑥ 差別の問題に関する文献調査② 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
8	ハンセン病患者差別について考える⑦ 差別の問題に関する文献調査③ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論・実習	越後

No	内容	形式	教員
9	ハンセン病患者差別について考える⑧ 差別の問題に関する文献調査④ 事前学修：[30 分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30 分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
10	差別の問題に関する文献調査⑤ 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
11	差別の問題に関する文献調査⑥ 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
12	差別の問題に関する文献調査⑦ 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
13	プレゼンテーション① 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
14	プレゼンテーション② 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
15	プレゼンテーション③ 事前学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30 分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I の学習内容に基づき、より発展的な事項を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、口頭発表 40%、レポート 40%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○三好 洋

■ 授業の目的

日進月歩の医療の進歩に遅れないように生涯にわたり学習し続けるために、必要な学習項目を自分で発見し、学ぶ(自学自習)能力を養う。物事を自然・社会科学的に理解し、かみ砕いた自分の意見を他の人に伝える能力を養う。

■ 到達目標

1. 課題に対して、すでに持っている知識を整理・説明でき、問題点や疑問点を自ら見出して指摘できる。
2. 自習すべき事柄に順位をつけて列挙でき、必要な情報を適切な方法で検索できる。
3. 得られた情報を吟味して整理でき、グループ討論に積極的に参加して成果を発表できる。
4. 調べてきたことを自分の言葉で分かり易く説明でき、他者の話を理解して、考えの違いを論述できる。

■ 学習の進め方

PBL (Project-Based Learning)「課題解決型学習」は個々の学生に適した方法論の習得と確立を重視する方法で、課題解決に向かって学生は自主的に意欲的に取り組む過程で自分の方法論を獲得する学習法である。この PBL の手法に沿って学習を行っていく。平易な言葉で置き換えれば、「自学自習」である。

1. 教員が準備した課題を配り、可能であれば 2 グループに分かれて、学生全員で問題点や疑問を抽出する。
2. その場で抽出した問題点や疑問を共有し、調査すべき事項に優先順位を付ける。学生各自が優先順位に基づいて調査を行う。
3. 調査した事柄を持ち寄って、グループ全員で議論を行って、意見を集約する。
4. 集約した意見を教員および学生全員の前で発表・説明し、グループ間での議論を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

課題テーマは、社会的・倫理的、あるいは健康などの医療分野のものを取り上げる。時事的な話題も取り上げる。題目は予定である。

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・PBL の概要や説明用の課題による進め方の説明、グループ分け・事前学修：[10 分] シラバスの確認 事後学修：[20 分] 説明用の配布資料の見直し	講義	三好
2	課題 1(マナー) の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
3	課題 1 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好
4	課題 2 (倫理など) の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
5	課題 2 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好
6	課題 3 (化粧品・健康食品など) の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
7	課題 3 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好
8	課題 4 (感染症など) の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
9	課題 4 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好

No	内容	形式	教員
10	課題 5 (アレルギーなど)の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
11	課題 5 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好
12	課題 6 (個人情報)の論点抽出・自己学習項目決定 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好
13	課題 6 の自己学習項目の討論、学習成果の整理と発表 事前学修：[20 分] 議論資料用のまとめ 事後学修：[30 分] 議論した内容のまとめ	議論	三好
14	基礎ゼミⅡ全体を通したまとめ・発表 事前学修：[10 分] ポートフォリオ・ノートの見直し 事後学修：[40 分] 自己学習項目に沿った調査	議論	三好

■教科書

教員が課題シートを用意する。教科書は使用しない。

■参考書、参考資料等

辞書、教科書、雑誌、論文、インターネット検索などの様々な情報が資料となる。

■フィードバックの仕方

適宜、気付きを Glexa にてフィードバックする。

■他の授業科目との関連

他の授業科目と直結していないが、医療関係者として必須なコミュニケーション能力を高められる。情報リテラシーなどにも触れることができる。

■成績評価の仕方

論点抽出・自己学習(ノートの作成など)・自己学習項目の討論(50%)、学習成果の整理と発表など(50%)の授業に対する姿勢(計 100 %)をオリエンテーション時に示す評価表に沿って行う。試験およびレポートによる評価は行わない。したがって、出席は重要になる。

■オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありません。電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせに応じる。

■受講上の注意事項

自分の意見を、他の人に正確に「伝える」ことの難しさを学んでください。「伝える」ためには自然・社会科学的な理論を正確に理解することや噛み砕いて自分の言葉に置き換えることを学んでください。

三好は化学Ⅰ・Ⅱの講義を行っていますが、基礎ゼミⅡでは化学の知識は全く必要ありません。

抽出した論点・自己学習項目を必ず次週の授業までに調査してノートにまとめて討論出来るようにしておく必要があります。これがないと単なる茶話会になってしまいます。

■その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○鷹田 佳典

■授業の目的

大学では多くの文献・資料を読み、そこから新たな知識や情報を得たり、それらを踏まえて自分の考えを述べたりすることが重要になります。また、複数の人と協力して作業をしたり、討論をして相互理解を深めたりする場面も多くあります。本講義では「平成」をテーマに、資料収集、文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッションに必要な基礎力の習得を目指します。

■到達目標

1. 図書館やオンライン・データベースを活用して文献検索を行うことができる。
2. パソコンで資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
3. 他者と協力して、グループワークを効果的に進めることができる。

■学習の進め方

本講義は受講生によるグループワークと発表、受講生全員による討論がメインとなります。前半は平成の年表づくりを行い、後半は各グループから提供された話題をもとに、討論を行い、平成という時代についての理解を深めていきます。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：講義の進め方についての説明、教員・受講生自己紹介 事前学修：[30分] 平成で起きた一番印象に残った出来事についての感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 課題実施のためのスケジュールをたてる。	同時双方向型	鷹田
2	文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーションの基礎 事前学修：[30分] TED を視聴し、どんなところがよかったのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
3	平成の年表を完成させる。【生活編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【生活】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
4	平成の年表を完成させる。【社会編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【社会】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
5	平成の年表を完成させる。【文化編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【文化】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
6	平成の年表を完成させる。【国際編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【国際】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
7	平成の年表を完成させる。【経済編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【経済】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
8	平成の年表を完成させる。【政治編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【政治】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
9	平成を読み解く。【生活編】 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 平成に関する文献リストを完成させる。	同時双方向型	鷹田
10	平成を読み解く。【社会編】 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
11	平成を読み解く。【文化編】 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

No	内容	形式	教員
12	平成を読み解く。【国際編】 事前学修：[60 分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
13	平成を読み解く。【経済編】 事前学修：[60 分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
14	平成を読み解く。【政治編】 事前学修：[60 分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
15	まとめ：平成とはどんな時代だったのか、平成以後はどんな時代になるのか。 事前学修：[30 分] 身近な人に平成がどんな時代だったのかについてミニインタビューを行う。 事後学修：[30 分] 平成とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

発表内容について、授業内でフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I で学習した内容を確認しておくこと。

■ 成績評価の仕方

グループワーク(30 %)、プレゼンテーション(30 %)、ディスカッションへの参加(40 %)

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受けつけます。

■ 受講上の注意事項

パソコン(ワード、パワーポイント)の基礎的スキルが必要になります。

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○水野 壮

■授業の目的

本ゼミでは、近年社会と生物学が関わるテーマを調べ、理解を深めていく。また、ディスカッションを通して、未来の社会で私たちがどう生きていくべきか考える一助とする。

■到達目標

1. 話題や事柄を調べる手段と方法を身につける。
2. プレゼンテーションに関する基礎的なスキルを習得し、自分なりの意見を論理的に表現できる。
3. 理解したことと実社会の諸問題との関わりを知る。

■学習の進め方

各グループでテーマを調査し理解を深める。また、調査したテーマと社会との関わりについて考察を深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1. オリエンテーション・テーマ決め、発表の方法 「事前学習：とくになし 事後学習：配布資料の復習」	【座学・発表】	担当教員：水野
2	2. 各テーマの資料調査 「事前学習：前回の復習 事後学習：配布資料の復習」	【調査】	担当教員：水野
3	3. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
4	4. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
5	5. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
6	6. フィードバック、各テーマの資料調査 「事前学習：前回の復習 事後学習：とくになし」	【調査】	担当教員：水野
7	7. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
8	8. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
9	9. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
10	10. 各テーマの資料調査 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【調査】	担当教員：水野
11	11. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
12	12. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
13	13. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
14	14. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野
15	15. プレゼンテーション・ディスカッション 「事前学習：前回の復習 事後学習：課題の調査・発表準備」	【発表・討論】	担当教員：水野

■教科書

教科書は使用しません

■参考書、参考資料等

講義の中で適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

フィードバックは各学生の希望があれば個別にメールなどで行う。

■ 他の授業科目との関連

生物学Ⅰ、基礎ゼミⅠの学習内容の理解に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への参加度(50%)、グループワークを通じた課題への取り組みと発表の内容(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。随時、電子メールで質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

授業で昆虫を調理・試食する可能性があります。これに大きな嫌悪感を持つ学生は受講を避けたほうが良いかもしれません。

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○渋谷 真樹

■授業の目的

この授業は、基礎ゼミⅠでの学習成果を文献の検索や読解、討論、発表などにおいて応用し、探究する力をさらに伸ばすことを目的としています。

国際連合(国連)は、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」(SDGs)として、「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」といった目標を17個、掲げています。

本ゼミでは、このSDGsに基づいて、各自や小グループでテーマを設定して調査し、クラスで発表・討論をしていきます。

■到達目標

- 1 自らの問題意識に沿って、文献を検索し、読解した上で、簡潔に発表することができる。
- 2 インタビューや参与観察といった研究方法を理解し、基礎的な実践ができる。
- 3 調べたことや考えたことを、根拠に基づいて、論理的に発表することができる。

■学習の進め方

AL

一部、講義がありますが、主要な部分は、学生主体のグループワークや発表、討論です。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅡで学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
2	SDGsとは：国連の「持続可能な開発目標」 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
3	テーマの設定とグループ作り 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	討論・GW	渋谷
4	研究テーマの焦点化と研究方法の検討 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW	渋谷
5	先行研究の検討① 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
6	先行研究の検討② 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
7	先行研究の検討③ 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
8	調査の方法：参与観察・インタビュー 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	演習	渋谷
9	調査の実施と分析① 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
10	調査の実施と分析② 事前学修：[60 分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
11	調査の実施と分析③ 事前学修：[60 分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
12	調査結果の発表・討論① 事前学修：[60 分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
13	調査結果の発表・討論② 事前学修：[60 分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
14	調査結果の発表・討論③ 事前学修：[60 分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
15	まとめ 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介しますが、原則的には、学生自らが検索して入手します。

■ フィードバックの仕方

本授業は、教員と受講生との対話を主としています。

口頭発表や配布資料については、授業内でその都度フィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミⅠ」の応用発展的科目です。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)

グループでの発表(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーが決定し次第、お知らせします。

■ その他

HBFS150

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある教員：－

○遠藤 公久

■授業の目的

看護関係文献の内容を理解する能力だけでなく、その文献の問題点や改善点などを考えることのできるクリティーク能力を身につける。

■到達目標

1. 文献のテーマ、目的、方法、結果、考察についてクリティークできる。
2. 看護専門職として成長するために必要な学び続ける態度をもつことができる。

■学習の進め方

各自の興味・関心にしたがって文献クリティークの対象となる看護関係文献(研究論文)を選び、そのテーマ、目的、方法、結果、考察についてのクリティークを発表資料(レジメ)にまとめ、発表し、参加者とのディスカッションを行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[15分] シラバスを読む。 事後学修：[15分] オリエンテーションの内容を復習する。	講義	遠藤
2	担当教員のデモンストレーション 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	討論	遠藤
3	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
4	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
5	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
6	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
7	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	未定
8	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
9	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
10	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
11	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
12	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15分] 配布資料を読む。 事後学修：[15分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤

No	内容	形式	教員
13	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15 分] 配布資料を読む。 事後学修：[15 分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
14	受講生による文献クリティーク 事前学修：[15 分] 配布資料を読む。 事後学修：[15 分] クリティークの結果をまとめる。	発表、討論	遠藤
15	まとめ 事前学修：[15 分] 論文クリティークの要点を考える。 事後学修：[15 分] 討論の結果をまとめる。	討論	遠藤

■ 教科書

文献クリティークの資料はオリエンテーションでプリントを配布し説明する。

■ 参考書、参考資料等

なし。

■ フィードバックの仕方

各回の発表のときにコメントをする。

■ 他の授業科目との関連

3年次に履修する研究方法論Ⅰ・Ⅱの発展的応用的科目であり、4年次の研究Ⅰ・Ⅱのベースになる科目である。基礎ゼミⅠを前提とする。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50 %) 2. 個人発表の内容(50 %)。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00、404 研究室

■ 受講上の注意事項

基礎ゼミⅠをベースにする。

■ その他

HBFS150

人体の構造と機能 I (解剖と生理①)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくよう意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

AL

- ・ 第 7 回までは課題(教科書の内容を基本とする)による在宅学習とする。
- ・ 上記の課題提出により、出席とみなす。
- ・ 第 8 回以降は、LMS (Learning Management System) の Glexa のガイドに沿って、ナースチャンネルのビデオ教材や教科書を読み、課題レポートを作成、提出する(期間 2 週間)(オンライン・オンデマンド型)。
- ・ 第 8 回、第 9 回は Glexa のアクセスで出席とする。第 10 回以降は、Glexa 上に設定されたミニテストを受講することで出席とする(オンライン・オンデマンド型)。
- ・ 課題について学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する(オンライン・同時双方向型)。
- ・ 課題についての教員からのフィードバックは、メール、オンライン・同時双方向型授業時に行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	解剖生理学を学ぶための基礎知識(1) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
2	解剖生理学を学ぶための基礎知識(2) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
3	栄養の消化と吸収(1) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
4	栄養の消化と吸収(2) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
5	栄養の消化と吸収(3) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
6	栄養の消化と吸収(4) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
7	栄養の消化と吸収(5) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習 Glexa に提出	井上
8	呼吸と血液のはたらき(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上

No	内容	形式	教員
9	呼吸と血液のはたらき(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
10	呼吸と血液のはたらき(3) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
11	呼吸と血液のはたらき(4) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
12	血液の循環と調節(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
13	血液の循環と調節(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
14	血液の循環と調節(3) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上
15	血液の循環と調節(4) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	オンデマンド型 同時双方向型 ミニテスト	井上

■ 教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 第 10 版、医学書院(2018)

■ 参考書、参考資料等

参考書は必要に応じて適宜紹介する。

ナーシングチャンネルのビデオ教材「人体の構造と機能」

■ フィードバックの仕方

課題・ミニテスト・定期試験のフィードバック・解説は、同時双方向型授業時または、あるいはポータルサイト・LMS (Learning Management System)などを用いて行う。

■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。なお、本科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・出席はミニテストの受講で確認する。評価は課題レポートおよび筆記試験で行う。
- ・課題レポート(45%)および定期試験(55%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 井上研究室(409)

■ その他

HBHS100

人体の構造と機能Ⅱ（解剖と生理②）

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくよう意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

AL

- ・ LMS (Learning Management System) の Glexa のガイドに沿って、ナーシングチャンネルのビデオ教材や教科書を読み、課題レポートを作成、提出する(期間 2 週間)(オンライン・オンデマンド型)。
- ・ Glexa 上に設定されたミニテストを受講することで出席とする(オンライン・オンデマンド型)。
- ・ 課題について学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する(オンライン・同時双方向型)。
- ・ 課題についての教員からのフィードバックは、メール、オンライン・同時双方向型授業時に行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	体液の調節と尿の生成(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
2	体液の調節と尿の生成(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
3	内臓機能の調節(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
4	内臓機能の調節(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
5	内臓機能の調節(3) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
6	身体の支持と運動(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上

No	内容	形式	教員
7	身体の支持と運動(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
8	身体の支持と運動(3) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
9	身体の支持と運動(4) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
10	情報の受容と処理(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
11	情報の受容と処理(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
12	情報の受容と処理(3) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
13	外部環境からの防御 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
14	生殖・発生と老化のしくみ(1) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上
15	生殖・発生と老化のしくみ(2) 事前学修：[60 分] 教科書・ビデオ教材を参考にして課題に取り組み、Glexa に提出する。 事後学修：[30 分] 同時双方向型でのフィードバックを参考に、自己学習を振り返り、加筆・修正する。	講義(オンライン) ミニテスト 演習(課題レポート)	井上

■教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 第10版、医学書院(2018)

■参考書、参考資料等

参考書は必要に応じて適宜紹介する。

ナーシングチャンネルのビデオ教材「人体の構造と機能」

■フィードバックの仕方

課題・ミニテスト・定期試験のフィードバック・解説は、同時双方向型授業時または、あるいはポータルサイト・LMS (Learning Management System)などを用いて行う。

■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。
なお、本科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・出席はミニテストの受講で確認する。評価は課題レポートおよび筆記試験で行う。
- ・課題レポート(45%)および定期試験(55%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 井上研究室(409)

■ その他

HBHS101

人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○菅田 晴夫

■ 授業の目的

1. 代謝・生化学

人体が摂取した糖質、脂質、タンパク質は、体内でエネルギー源及び体の構成成分の原料として使われ、やがて分解・排泄される。この過程は代謝と呼ばれ、これを研究する分野を生化学という。この授業では糖質、脂質、タンパク質の構造・機能・働きを学んでから代謝の仕組みを学ぶ。また代謝に必要なビタミン、無機質、酵素についても学び、さらに遺伝情報を担う核酸について学ぶ。

2. 生体防御・感染

疾患の原因となる微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)の性質と、それらが人体に感染する仕組みおよび発症の仕組みを学ぶ。さらに、感染症に対する生体防御の仕組み、また化学療法および院内感染についても学ぶ。

■ 到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の構造・性質・機能について説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の予定：前半 8 回を「代謝・生化学」の講義に、後半 7 回を「生体防御・感染」の講義にあてる。
2. 図表の提示：教科書の図表に解説を加えた資料を授業ごとに配る。同じ資料をパワーポイントで図示しながら講義を進める。
3. 質問に基づく授業展開：学生からの疑問点を取り上げ、授業内容の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生化学の基礎 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
2	ビタミン・無機質の性質と働き 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
3	酵素の性質と働き 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
4	糖質の構造・性質・働き 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
5	脂質の構造・性質・働き 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
6	タンパク質の構造・性質・働き 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
7	核酸の構造・性質・働き、遺伝情報伝達の仕組み 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
8	糖・脂質・タンパク質の代謝 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田
9	細菌・真菌の性質 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	菅田

No	内容	形式	教員
10	原虫・ウイルスの性質 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田
11	感染と感染症 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田
12	感染に対する生体防御の仕組み 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田
13	感染源・感染経路からみた感染症 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田
14	滅菌と消毒 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田
15	感染症の治療、院内感染とその特徴 事前学修：[30 分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる 事後学修：[30 分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する	講義	誉田

■ 教科書

- 代謝・生化学：系統看護学講座 [生化学 人体の構造と機能 ②] 畠山鎮次(著) (医学書院) 2020
- 生体防御・感染：系統看護学講座 [微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進 ④] 南嶋洋一、他 4 名(著) (医学書院) 2020

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

筆記試験後に、解答および解説を配布する。疑問についてはメールで受け付ける。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、主に内科系の科目に関連する基礎科目の 1 つであることを理解して授業に臨むこと。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(10 %) 筆記試験(90 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で、また電子メールで随時質問を受け付ける。

質問先メールアドレス：homareda@ks.kyorin-u.ac.jp

■ 受講上の注意事項

疑問点はそのままにせず、積極的に質問すること。

■ その他

HBHS150

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ（病理学総論、内分泌・代謝、消化器）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏、吉田 英雄、日吉 徹、高屋 和彦

■授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■到達目標

- ・正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■学習の進め方

AL

- ・授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテスト・演習を行う。
- ・授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	病理学総論(1)「病理学序論、細胞・組織障害」 事前学修：[60分] 教科書第1章、第2章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	井上
2	病理学総論(2)「循環障害」 事前学修：[60分] 教科書第3章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習・ミニテスト	井上
3	病理学総論(3)「炎症と免疫」 事前学修：[60分] 教科書第4章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習・ミニテスト	井上
4	病理学総論(4)「感染症・代謝障害」 事前学修：[60分] 教科書第5章、第6章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習・ミニテスト	井上
5	病理学総論(5)「老化と死・先天異常」 事前学修：[60分] 教科書第7章、第8章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習・ミニテスト	井上
6	病理学総論(6)「腫瘍」 事前学修：[60分] 教科書第9章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習・ミニテスト	井上
7	消化器疾患(1)「症状」「上部消化管の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第3章、第4章A、第5章AをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	吉田
8	消化器疾患(2)「上部・下部消化管の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章B、C①～⑧⑩をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	吉田
9	消化器疾患(3)「下部消化管の疾患」「肝臓の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章C⑨⑩、D①をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	吉田

No	内容	形式	教員
10	消化器疾患(4)「肝臓の疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 D ②～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	吉田
11	消化器疾患(5)「胆嚢・膵臓の疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 D ⑦～⑪、第 5 章 E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	吉田
12	内分泌・代謝疾患(1)「下垂体の疾患①」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ①を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	高屋
13	内分泌・代謝疾患(2)「下垂体の疾患②」「甲状腺・副甲状腺の疾患」「副腎の疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ②～⑤⑨を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	高屋
14	内分泌・代謝疾患(3)「糖尿病①」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 B ①～p147 を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[2 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	日吉
15	内分泌・代謝疾患(4)「糖尿病②」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 B ① p147～を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	日吉

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第 5 版、医学書院(2015)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」成人看護学⑥ 第 15 版、医学書院(2019)

■ 参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第 2 版、医学書院(2016)
- ・参考資料のプリントを配布する。

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイトあるいは LMS (Learning Management System)等を通じて伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

■ その他

HBHS151

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏、出雲 雄大、石橋 由孝

■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

AL

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテスト・演習を行う。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[90 分] 各科の教科書第 2 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	井上
2	呼吸器疾患(1)「症状・病態生理」「検査・治療」 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章、第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	出雲
3	呼吸器疾患(2)「感染症」 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 B ⑧、第 5 章 A ①～③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	出雲
4	呼吸器疾患(3)「結核」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	出雲
5	呼吸器疾患(4)「気道疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	出雲
6	呼吸器疾患(5)「間質性肺炎」「肺腫瘍」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 B、G を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	出雲
7	循環器疾患(1)「症状・病態生理」 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・ミニテスト	井上
8	循環器疾患(2)「検査・治療」 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・ミニテスト	井上
9	循環器疾患(3)「虚血性心疾患」「心不全」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	井上

No	内容	形式	教員
10	循環器疾患(4)「血圧異常」「不整脈」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 C、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	井上
11	循環器疾患(5)「弁膜症」「心膜炎」「心筋疾患」「先天性心疾患」「動・静脈系疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 E～K を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	井上
12	腎疾患(1)「腎臓の構造と機能」 事前学修：[60 分] 教科書第 2 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	石橋
13	腎疾患(2)「症状・病態生理」「検査・治療」 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	石橋
14	腎疾患(3)「腎不全」「ネフローゼ」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	石橋
15	腎疾患(4)「糸球体腎炎」、まとめ 事前学修：[30 分] 教科書第 5 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義・演習	石橋

■教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第 15 版、医学書院(2019)

■参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第 5 版、医学書院(2015)
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第 2 版、医学書院(2016)
- ・参考資料のプリントを配布する。

■フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイトあるいは LMS (Learning Management System)等を通じて伝達する。

■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

■その他

HBHS152

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、感覚器)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏、河村 直洋、大谷 隼一、田中 滋之、伊藤 英也、井桁 之穂、舟木 俊成、物部 寛子、今門 純久

■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 運動器系、脳・神経系、眼、耳鼻咽喉、皮膚の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

AL

- ・ 授業は基本的に教科書の内容に沿って講義形式で進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[90 分] 各科の教科書第 2 章を A4 用紙 8 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義・演習	井上
2	運動器疾患(1)「検査・治療」「外傷性疾患①」 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章、第 5 章Ⅰ A を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	伊藤
3	運動器疾患(2)「外傷性疾患②」「非外傷性疾患①」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章Ⅰ B、Ⅱ B、Ⅰ～M を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	伊藤
4	運動器疾患(3)「非外傷性疾患②」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章Ⅱ A を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	河村
5	運動器疾患(4)「非外傷性疾患③」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章Ⅱ C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	田中
6	運動器疾患(5)「非外傷性疾患④」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章Ⅱ G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	大谷
7	眼科疾患 事前学修：[60 分] 教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	舟木
8	耳鼻科疾患 事前学修：[60 分] 教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	物部
9	皮膚科疾患 事前学修：[60 分] 教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	今門

No	内容	形式	教員
10	脳・神経疾患(1)「構造と機能」 事前学修：[60 分] 教科書第 2 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁
11	脳・神経疾患(2)「症状・病態生理」 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁
12	脳・神経疾患(3)「検査・治療」 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁
13	脳・神経疾患(4)「脳疾患」 事前学修：[30 分] 教科書第 5 章 A を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁
14	脳・神経疾患(5)「脊髄疾患」「末梢神経障害」「神経・筋疾患」 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 B～D を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁
15	脳・神経疾患(6)「脱髄・変性疾患」「認知症」その他 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 E～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	井桁

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑨ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「皮膚」成人看護学⑫ 第 15 版、医学書院(2020)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「眼」成人看護学⑬ 第 14 版、医学書院(2020)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「耳鼻咽喉」成人看護学⑭ 第 14 版、医学書院(2020)

■ 参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第 5 版、医学書院(2015)
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第 2 版、医学書院(2016)
- ・参考資料のプリントを配布する。

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間以内の間に、ポータルサイトあるいは LMS (Learning Management System) 等を通じて伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・リフレクションペーパー・演習(15%)および定期試験(85%)を総合して評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

■ その他

HBHS153

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(内科学、外科学、検査学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏、石田 禎夫、石川 晃、高屋 和彦、石橋 由孝、山田 学、増田 亮、永岡 栄、中原 さおり、今井 庸子、壹岐 聖子、山田 哲久

■ 授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実践を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

■ 到達目標

- ・内科、外科、小児科、産婦人科の疾病の病態生理、診療の流れについて理解し、自ら考えて判断できる。
- ・放射線医学、臨床検査の概要について理解する。

■ 学習の進め方

授業は基本的に講義形式で行うが、一部受講生が自ら考える形式をとる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 関係する解剖生理学の内容を復習し A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：[15分] 今後の授業内容の流れについて把握する。	講義	井上
2	内科学(1)血液内科疾患 事前学修：[30分] 第 5 章を A4 用紙 4 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	石田
3	内科学(2)内分泌疾患の臨床 事前学修：[30分] 内分泌器官の構造、機能、疾病の復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	高屋
4	内科学(3)腎不全の治療 事前学修：[30分] 腎不全と腎代替療法についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	石橋
5	外科学(1)乳腺疾患 事前学修：[30分] 乳房の構造、機能についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	増田
6	外科学(2)女性生殖器疾患 事前学修：[30分] 女性生殖器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	山田 学
7	外科学(3)泌尿器疾患 事前学修：[30分] 男女の泌尿器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	石川
8	外科学(4)消化器外科の臨床 事前学修：[30分] 消化器疾患についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	永岡
9	小児科学(1) 事前学修：[30分] 小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	今井
10	小児科学(2) 事前学修：[30分] 小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する	講義	今井
11	外科学(5)小児外科疾患 事前学修：[30分] 先天性疾患についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業での学習ポイントを整理する。	講義	中原

No	内容	形式	教員
12	放射線医学概論 事前学修：[90 分] 教科書第 1～3 部を A4 用紙 6 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	山田 哲久
13	臨床検査学(1)「総論」「血液検査」「生体検査」 事前学修：[60 分] 教科書第 1、2、4、10 章を A4 用紙 4 枚で予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	壹岐
14	臨床検査学(2)「尿・便検査」 事前学修：[30 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	壹岐
15	臨床検査学(3)「微生物学検査」 事前学修：[30 分] 教科書第 8 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	壹岐

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床検査」第 8 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床放射線医学」第 9 版、医学書院(2016)

■ 参考書、参考資料等

- ・講義スライドのハンドアウトを配布する。
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」成人看護学⑥ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「女性生殖器」成人看護学⑨ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑩ 第 15 版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第 11 版、第 9 版、医学書院(2017)

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS (Learning Management System) 等で伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」で履修した内容を基盤とし、かつ「薬理学」、「栄養学」などの科目と有機的に関連している。また、「精神保健看護学実習 [レベルⅢ]」、「発達看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ [レベルⅢ]」、および「健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ]」の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)、および定期試験(85%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。

■ その他

HBHS250

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(内科学、外科学)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○井上 明宏、石田 禎夫、鈴木 毅、壹岐 聖子、石川 晃、小林 城太郎、永岡 栄、安藤 常浩、國頭 英夫

■ 授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実践を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

■ 到達目標

- ・看護の実践に向けて、成人疾患の病態とケアを展開するために必要な概念や理論を理解する。
- ・各診療科の臨床における代表的疾患の診断と治療について、患者および家族にもわかりやすく説明できる。
- ・保険制度や地域で支える医療についても理解できる。
- ・国家試験対策として必要な事項を復習し、学力を定着させる。

■ 学習の進め方

各診療科における典型的な疾患の病態および治療例を中心に講義し、臨床現場でのトピックや国家試験対策を意識したサンプル問題の演習および解説なども盛り込む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	血液腫瘍の治療 事前学修：[30分]Ⅳの内容や実習での知識、経験、疑問点などをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	石田
2	輸血の実践 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する	講義	壹岐
3	アレルギー・膠原病の概要と治療 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	鈴木
4	画像診断 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する	講義	永岡
5	移植医療 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	石川
6	臨床放射線医学 事前学修：[90分]教科書第1～3部の要点をA4用紙6枚程度にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	山田
7	院内感染症 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	安藤
8	臨床腫瘍学 事前学修：[30分]授業、実習、自習などで得た関連事項をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する。	講義	國頭

■ 教科書

- ・系統看護学講座・別巻「臨床放射線医学」第9版、医学書院(2016)
- ・その他、各回の担当教員が必要に応じて独自に用意した資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第15版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第15版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④ 第15版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 第15版、医学書院(2019)

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第15版、医学書院(2019)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「アレルギー・膠原病感染症」成人看護学⑪ 第15版、医学書院(2020)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第11版、第9版、医学書院(2017)

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後3週間の間に、ポータルサイト、LMS (Learning Management System)等で伝達する。

■ 他の授業科目との関連

これまで学んだ内容を発展させ、臨床の現場における治療と看護の統合とその実践について理解し、医療安全、他職種との連携協調ができるよう、他の講義・演習・実習との隙間も埋めていく。

■ 成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)、および定期試験(85%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の18:00～18:30(井上研究室409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

看護師国家試験受験資格のみ取得する者の選択必修科目である。

■ その他

HBHS450

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○梅野 充

■ 授業の目的

精神看護の実践に必要な精神医学の方法と精神疾患に関する基本知識を学ぶとともに、当事者にとって「精神を病む」とことはどのようなことかを理解する。

■ 到達目標

1. 精神疾患の病態を理解し、症状や状態を把握し、記載できるようになる。
2. 各精神疾患の病態、治療についての理論を理解する。
3. 生物学的・心理的・社会的な存在としての人間を理解し、当事者をめぐる関係性を把握できるようになる。
4. 精神疾患を抱えるひとに対する、倫理的で治療的な関わりを理解する。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：主に教科書に沿って講義し、参考書で補いながら進める。適宜ワークを取り入れて行う。
2. 参考資料の提示：学生個々で学びを深められるように、配布資料に授業テーマに関連した参考図書や資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No. 1, 3, 6, 8 が精神医学の総論的事項、No. 2, 4, 5, 7 が各論的事項である。

No	内容	形式	教員
1	精神的疾病が登場する映画、小説、アニメなどの作品ひとつを鑑賞する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	梅野
2	①鑑賞した作品の概要および②その疾病のケアに際しての注意点を A4 用紙 1 枚(1000 字程度)にまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	梅野
3	導入：精神疾患概論および物質関連障害(F1) 事前学修：[60 分] 教科書 5 章 C⑥を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野
4	統合失調症(F2)の成り立ちと回復の促進 事前学修：[60 分] 教科書 5 章 C②を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野
5	気分障害(F3)の成り立ちと回復の促進 事前学修：[60 分] 教科書 5 章 C③を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野
6	精神科薬物療法 事前学修：[60 分] 教科書 6 章 A, B を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野
7	その他の精神疾患(神経症 摂食障害 不眠 発達障がい) 事前学修：[60 分] 教科書 5 章 C④, ⑤, ⑩を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野
8	まとめ：精神科治療の実際 事前学修：[60 分] 教科書 6 章 C, D を読んで、要点を整理しておくこと 事後学修：[90 分] 配布資料を読み返して復習し、確認小テスト、小レポートに取り組む	オンデマンド型	梅野

■ 教科書

武井麻子, 小宮敬子ほか：精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 第 5 版, 医学書院, 2017 年

■ 参考書、参考資料等

中井久夫, 山口直彦：看護のための精神医学 第 2 版, 医学書院, 2004 年

落合慈之, 秋山剛ほか：精神神経疾患ビジュアルブック 学研メディカル秀潤社, 2015 年

■ フィードバックの仕方

G l e x a のフォーラムやメールなどを通じて回答する。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱと深くかかわっている。

■ 成績評価の仕方

第2回目授業のレポート10%、第3回～第8回の確認小テストおよび小レポートの得点計30%、最終レポート60%

■ オフィスアワー・研究室等

メールなどで質問等を受けつけ、G l e x aから回答する。

■ その他

HBHS300

薬理学

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○吉見 猛

■ 授業の目的

臨床現場で使われている薬物の意義や役割を正しく理解する。

■ 到達目標

1. 薬理作用の基礎知識の基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響について理解できる。
2. 主な薬物の特徴について理解できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式
2. 参考資料の提示：教科書を使用するが、補足でスライド、プリントも使用予定。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬理学の概要、体内情報伝達機構、薬の作用機序、薬物体内動態、薬理作用 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
2	末梢神経系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
3	中枢神経系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
4	心臓・血管系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
5	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
6	免疫・抗アレルギー・抗炎症薬、代謝物質に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
7	感染症に作用する薬、皮膚外用薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
8	抗がん薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見

■ 教科書

吉岡 充弘／泉 剛／井関 健／横式 尚司／菅原 満(2018 年)系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 第 14 版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

田中千賀子／加藤隆一／成宮 周(2017 年) NEW 薬理学 改訂第 7 版. 南江堂

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、栄養学等と関連する内容があると思います。

■ 成績評価の仕方

定期試験(80 %)、授業参加度(20 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

授業への主体的な参加を期待します。

*この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

■ その他

HBHS350

リハビリテーション医学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」連携 実務経験がある
教員：－

○森本 正、長 晶子、安藤 慧二、樋口 晶

■授業の目的

疾患や外傷によって生じた障害を持つ人がその人らしく生きることを支援するためのアプローチについて学ぶ。機能・形態の障害、生活活動の制限、社会参加の制約という障害の構造を理解し、様々な障害に対して多職種の連携と協働によって対処する方策について学ぶ。

■到達目標

1. 障害の構造について理解し、障害の全体像をとらえることができる。
2. 障害を生じる疾患や外傷について理解する。
3. 障害の各レベルに対応したアプローチについて理解する。
4. 各患者の持つ問題点を把握し、到達すべきゴールを設定し、多職種が連携してゴールの達成を目指すというチーム医療について理解する。

■学習の進め方

医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による講義を中心に授業を行う。
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう適宜参考資料を提示する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	リハビリテーション総論 事前学修：[30分] 解剖生理学に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
2	脳血管疾患のリハビリテーション 事前学修：[30分] 脳神経疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
3	骨関節疾患のリハビリテーション 事前学修：[30分] 運動器疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
4	内部障害のリハビリテーション 事前学修：[30分] 呼吸器、循環器、腎・泌尿器の疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
5	癌のリハビリテーション 事前学修：[30分] 緩和・終末期ケアに関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
6	理学療法 事前学修：[30分] 前回までの授業資料、ノートを読み返し、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	安藤
7	作業療法 事前学修：[30分] 前回までの授業資料、ノートを読み返し、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	長
8	言語聴覚療法 事前学修：[30分] 脳神経疾患と「看護援助論Ⅳ(嚥下機能の障害と看護)」の授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	樋口

■教科書

使用しない。講義内容に合わせて適宜資料を配布する。

■参考書、参考資料等

なし。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックについては、初回授業時にお知らせします。質問のある方は各自お問い合わせ下さい。

■ 他の授業科目との関連

リハビリテーションが対象とする疾患は多岐にわたるが、脳血管疾患、骨関節疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎・泌尿器疾患などが中心になるので、「疾病の成り立ちと回復の促進」(特に脳神経、筋骨格、呼吸器、循環器、腎・泌尿器)の授業内容について復習しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

筆記試験 80%、授業への取り組み 20%

■ オフィスアワー・研究室等

平日の 13:00～17:00、医療センター 2 階リハビリテーション室。各自アポイントメントを取って下さい。

■ その他

HBHS301

遺伝と遺伝カウンセリング

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年・編入 4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」探求 実務経験がある教員：－

○守田 美奈子、笠井 靖代、納富 理絵

■ 授業の目的

はじめにヒトの遺伝子の構造、機能、機能発現、等の遺伝学の基本を学ぶ。一方ヒトゲノムの一次構造決定に伴い、病気とその原因遺伝子の同定、遺伝子の機能と病因との関連が明らかになりつつある。この最新の遺伝学情報と遺伝子の発現や伝達様式を学び、増加している遺伝カウンセリングなど遺伝医療の進展に伴って求められるチーム医療の在り方と看護の役割を理解する。

■ 到達目標

- 1) 遺伝子の発現や遺伝形式を理解できる。
- 2) 遺伝子疾患を理解できる。
- 3) 遺伝子の技術進歩がもたらす倫理社会的問題を理解できる。
- 4) 遺伝性疾患をもつ人々、あるいはその可能性のある人々への看護援助を考えることができる。

■ 学習の進め方

生物のもつ形質は遺伝子を介して親から子に伝えられる。遺伝の仕方にある一定の規則性があることを発見したのは Mendel で、Mendel の「遺伝の法則」は今日の分子生物学の源流である。また Watson&Crick が明らかにしたように、酵素は蛋白質であり、蛋白質は遺伝子により規定され、遺伝子は染色体上の一定の位置に存在する DNA 分子そのものである。現在、ヒトの染色体の全 DNA (30 億文字) の一次構造が明らかにされ、DNA 配列の意味づけ(解読、annotation)も進んできた。さらに蛋白質をコードしない RNA 分子が多量に転写(合成)され、生物活動に重要な働きをする事も明らかになった。ヒトゲノム解読に伴い生命現象についての考え方、研究方法も変化し、生命科学、医学、遺伝学が飛躍的に進展している。以上をふまえて、下記のように授業を進めていく予定である。

- 1) 遺伝子の構造と機能などの遺伝学の基礎を理解できるよう講義を行う。
- 2) 遺伝子と病気、癌との関連、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝医療における倫理的・法的・社会的問題を理解できるようになるために、講義とグループワークを行う。
- 3) ビデオを用いて遺伝カウンセリングの実際を分かりやすく紹介することで、遺伝カウンセリングへの理解を深める。
- 4) 看護の役割についてグループメンバーと意見交換を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	遺伝医学の歴史。ヒト全ゲノムの一次構造決定の成果。遺伝性疾患の概要。 事前学修：[30 分] 遺伝に関する基礎知識の復習〔高校の内容〕 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
2	遺伝子の構造と機能と発現様式。DNA の変異による遺伝(子)病。 事前学修：[30 分] 遺伝子の構造、染色体に関する予習 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
3	代謝異常による先天性代謝異常症。 事前学修：[30 分] 代謝異常、遺伝子治療に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 資料資料を読み返す	講義	笠井
4	癌と遺伝子(癌遺伝子と癌抑制遺伝子の異常による発癌)。 事前学修：[30 分] 癌と遺伝に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
5	集団スクリーニング・遺伝子診断・遺伝子治療・再生医療。 事前学修：[30 分] 遺伝子診断に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
6	遺伝医療と看護の役割 遺伝に伴う倫理的・法的・社会的問題と看護の役割 事前学修：[30 分] 遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義 GW	守田
7	遺伝カウンセリング 事前学修：[30 分] 遺伝カウンセリングに関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義 GW	納富
8	遺伝看護の実際 事前学修：[30 分] 遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義 GW	納富

■教科書

渡邊淳／著(2017 年発行). 診療・研究にダイレクトにつながる「遺伝医学」. 羊土社
そのほかに、プリントを作成します。授業はスライドまたは OHP を使用します。

■参考書、参考資料等

「ヒトの分子遺伝学 改訂 3 版」村松正実(編)メディカル・サイエンス・インターナショナル
「人類遺伝学ノート」徳永勝士(編)南山堂
「医科遺伝学 改訂 2 版」松田一朗(監修)南江堂
遺伝／ゲノム看護 有森直子 溝口満子編 医歯薬出版

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後にポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

■他の授業科目との関連

科目区分「健康」及び「人間」とくに生命倫理の基礎知識が必要となります。

■成績評価の仕方

授業中の課題レポート 10 %、定期試験 90 %で評価する。ノート等の持ち込みなし。

■オフィスアワー・研究室等

講義終了後に質問をうけます。授業開講日の 12:30 から 13:00. 守田研究室 413

■受講上の注意事項

*この科目は、看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

■その他

HBHS400

栄養学

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－

○齋藤 沙織

■ 授業の目的

栄養の定義及び栄養素の種類と働き、エネルギー代謝、栄養素の消化吸収、栄養素の体内代謝について基礎的な内容を学びます。さらに、栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を習得することを目的とします。

■ 到達目標

1. 栄養素の種類、はたらきについて説明できる。
2. エネルギー代謝について説明できる。
3. 栄養素の消化吸収と体内代謝について説明できる。
4. 栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を理解する。

■ 学習の進め方

1. 下記の授業内容に沿って、教科書を中心に講義形式で行います。
2. レポート(書き込み資料)を配布します。
3. 予習は教科書の指定された章を読み、レポートにまとめてきてください。
4. 授業中に質疑応答の時間を設けます。積極的に授業に参加してください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	人間栄養学と看護 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 1 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
2	栄養素の種類とはたらき、食物の消化と栄養素の吸収・代謝 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 2-3 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
3	エネルギー代謝 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 4 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
4	食事と食品 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 5 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
5	栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 6-7 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
6	ライフステージと栄養 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 8 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
7	臨床栄養・健康づくりと食生活 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 9-10 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	未定
8	総まとめ 事前学修：[30 分] 授業開始前に総復習をしてくること 事後学修：[30 分] 全授業内容の復習をし、レポート内容を確認すること	[講義]	未定

■ 教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 「人体の構造と機能③ 栄養学」 医学書院

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う

■ 他の授業科目との関連

本科目で出てくる栄養学の専門用語は、看護を学ぶ皆さんには馴染みの薄い言葉かもしれませんが。しかし、チーム医療を基本とした NST

(ニュートリションサポートチーム)が組織化されつつある現在、看護を学ぶ皆さんも、こうした栄養学の専門用語に慣れ、知識を深める必要があります。この科目では、看護および関連科目で学んできた内容と栄養学の関係を明らかにしながら、実践的な例を挙げて講義を進めていきます。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験 80%
2. レポート 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

積極的に授業に参加し、分からない内容、もっと知りたい内容があれば、授業内及び授業終了後に質疑時間を設けます。質問に関する解説は、全体で共有するため、次回の授業で詳しく説明をします。沢山の疑問、質問をお待ちしています。

■ その他

HBHS351

ラボラトリー・プラクティス

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○壹岐 聖子、裴 有安、石橋 雪乃、青木 由美子、積田 雅央、網野 彩、富田 健一郎、松尾 梢恵、用具 恭子、昆 雅士、
今井 一仁、菅野 恵子、桑原 麻樹、平石 直己

■ 授業の目的

臨床検査に関する知識を習得する。

■ 到達目標

医学的基礎知識を基盤に臨床検査の意義、役割が理解できる。

■ 学習の進め方

講義形式に病院検査部・病理部(日本赤十字社医療センター)での実習を取り入れる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

テーマは変更する可能性あり。

具体的なスケジュールはガイダンスで説明する。

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス・総論 事前学修：[15 分] 本科目のシラバスを読み、疑問点があれば抽出しておくこと 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
2	①採血・検体採取 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
3	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
4	②尿一般・血液・染色体 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
5	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
6	③生化学・免疫・POCT 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
7	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
8	④輸血 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
9	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
10	⑤微生物 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
11	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他

No	内容	形式	教員
12	⑥細胞診・病理 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
13	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
14	⑦生理検査 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子、裴有安、他
15	8 班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他

■ 教科書

プリントを配付する。一部スライドを使用。

■ 参考書、参考資料等

系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

疾病の成り立ちと回復の促進 IV（内科学、外科学、検査学）

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、定期試験 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

講義終了時の質問受付。

■ 受講上の注意事項

第 2 回目以降は日赤医療センター検査部で講義と実習を行うので、実習服とナースシューズを着用して出席すること。

看護学概論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○川原 由佳里

■ 授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探究し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「看護学概論Ⅰ」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。
5. 提示された課題(クイズへの回答やボード、Teams、レポートの提出)に取り組みます。
6. 教員は、課題提出を確認し、1週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	課題：Nursing channel より看護理論の動画の一つを選び、内容を要約し、それについてのあなたの考えを述べなさい。 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学習	川原
2	課題：Nursing channel より看護理論の動画の一つを選び、内容を要約し、それについてのあなたの考えを述べなさい。 事前学修：[なし分]	自宅学習	川原
3	課題：Nursing channel より看護理論の動画の一つを選び、内容を要約し、それについてのあなたの考えを述べなさい。 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学習	川原
4	看護の歴史：看護の変遷 事前学修：[30 分] 教科書の pp.2-7、pp.14-16 を読み、空欄を補充 事後学修：[30 分] ナイチンゲールの業績に関するレポート作成	オンデマンド型 講義・小テスト	川原
5	職業としての看護(看護職の職業的発展) 看護学の学問的発展 事前学修：[30 分] 教科書の pp.16-17、pp.38-39、pp.138-150 を読み、空欄を補充 事後学修：[30 分] 日本の看護の専門職化とかかわりのある職能団体、学協会、制度の調べ学習	オンデマンド型 ＋同時双方向型 講義・小テスト・ グループワーク	川原
6	人々の健康と生活 看護職の養成と就業状況、保健医療福祉システムと多職種連携 事前学修：[30 分] 教科書の pp.59-61、pp.115-136、pp.158-162、pp.225-246 を読み、空欄を補充 事後学修：[30 分] グループワークについてリフレクションする	オンデマンド型 ＋同時双方向型 講義・小テスト・ グループワーク	川原
7	看護の定義、看護とその主要概念(健康・環境・人間・看護)、看護理論、ケアリング 事前学修：[30 分] 教科書の pp.20-46、pp.78-100、pp.108-115 を読み、空欄を補充 事後学修：[30 分] グループワークについてリフレクションする	オンデマンド型 ＋同時双方向型 講義・小テスト・ Teams グループワーク	川原

No	内容	形式	教員
8	看護の法的基盤、医療倫理と看護倫理 事前学修：[30 分] 教科書の pp.150-154、pp.186-217 を読み、空欄を補充 事後学修：[30 分] グループワークについてリフレクションする	オンデマンド型 +同時双方向型 講義・小テスト・ Teams グループワーク	川原

■ 教科書

看護学概論 基礎看護学① 医学書院

■ 参考書、参考資料等

授業開始 1 日前までに Glexa 上にて動画の PPT を配布、参考資料を提示する

■ フィードバックの仕方

提出物のフィードバックは 1 週間以内に Glexa 上で行う。

試験問題の解説に関する資料を試験後に掲示する。

■ 他の授業科目との関連

レベル I 実習の履修要件になって居います。1 年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論などこれから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

■ 成績評価の仕方

授業中の課題 20 %と定期試験 80 %で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

メールで随時受けつける

■ 受講上の注意事項

特になし

■ その他

HBIN100

看護学概論Ⅱ(看護倫理含)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」擁護 「3」成長 実務経験がある教員：－

○吉田 みつ子、樋口 佳栄、細野 知子、川原 由佳里、吉良 理恵、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈

■授業の目的

これまでの実習等による看護実践体験について振り返り、考察することで、自己の看護観を探究するための基礎的能力を育成する。

■到達目標

1. 学生一人一人が体験した看護実践を自分の言葉で語り、互いに問い直すことができる。
2. 一人ひとりの発言の仕方や考え方に耳を傾け、価値観の相違等を尊重しあいながら話し合うことができる。
3. 自らの看護実践を振り返ることができる。
4. 看護に関する理論や研究成果と照らしあわせて、看護実践の特徴(倫理問題含む)を考察することができる。
5. 看護とは何かについて自己の看護観を整理し表現することができる。

■学習の進め方

1. 事前課題レポートを提出する。 テーマ「実習での体験」内容：これまでの実習等の中で、心に残る実践や出来事、看護を深く考えさせられた事例、患者の権利について考えさせられた事例とその体験について記述する。A4用紙1枚1000字程度
2. 講義：
 - ・看護理論と看護現象との関連に関する講義を行う。
3. グループ・ワーク。
 - ・事前課題レポートで記述した体験について、グループメンバーで話し合う。
 - ・文献を活用して体験事例の特徴を考察する。・まとめた内容をプレゼンテーションし、クラス全体で意見交換を行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護実践の中にある倫理 事前学修：[120分] 事前レポートを作成する。 事後学修：[60分] 事前レポートで記載した内容について、講義内容と照らし、考察する。	講義	吉田
2	実習・看護実践体験の振り返り 事前学修：[60分] 事前レポートで記載した内容について、考察する。 事後学修：[60分] グループメンバーの経験と自分の経験を照らし、考察する。	グループワーク	全教員
3	実習・看護実践体験の振り返りと文献検討 事前学修：[60分] グループワークで取り上げる現象に関連する文献を検索、選択しておく。 事後学修：[60分] グループワークを踏まえ、さらに文献を検討し、自分の考えをまとめる。	グループワーク	全教員
4	グループワークのまとめ：発表資料作成・準備 事前学修：[60分] 焦点を当てた現象について、文献検索・検討をする。 事後学修：[60分] 発表のための準備(発表方法、内容の整理、司会進行等)を行う。	グループワーク	全教員
5	グループワークの発表およびディスカッション 事前学修：[60分] 配布された発表資料に目を通す。 事後学修：[60分] 他のグループの発表内容について、疑問点や自身の考えを記述する。	発表・ディスカッション	全教員
6	グループワークの発表およびディスカッション 事前学修：[60分] 配布された発表資料に目を通す。 事後学修：[60分] 他のグループの発表内容について、疑問点や自身の考えを記述する。	発表・ディスカッション	全教員
7	まとめ 事前学修：[60分] 他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：[60分] グループワーク、発表、講義を踏まえ、自分の考えをまとめ、サポートを作成する。	講義	全教員
8	2020年6月6日(土) 13:00～16:30「ナイチンゲールと赤十字看護の未来」に振替 事前学修：[30分] プログラムを確認し、ナイチンゲール紀章について調べる。 事後学修：[60分] 講義を踏まえ、関心を持った点について関連文献を読む。	講義	全教員

■教科書

使用しない。

■参考書、参考資料等

授業のなかで関連する文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

発表内容のフィードバックは授業時に行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅱは、看護学概論Ⅰおよびこれまでのすべての看護系科目に関連します。

■ 成績評価の仕方

事前レポート 15 %、グループワークの取り組み 35 %、最終レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の月曜日の昼休み 吉田研究室(448)。

■ 受講上の注意事項

看護学概論Ⅱの1回分の授業は、2020年6月6日(土) 13:00～16:30 に開催される「ナイチンゲールと赤十字看護の未来」に振替ます。詳細はポータル、掲示にてお知らせします。必ず出席してください。

■ その他

HBIN450

看護関係法規

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子

■ 授業の目的

看護実践に必要な基礎知識として、保健師助産師看護師法ならびに関係する領域の法令について理念・目的・主要な行政施策を理解する。

■ 到達目標

- ・法の種類、立法過程、厚生行政のしくみについて説明できる。
- ・保健師助産師看護師法の構造、目的、看護職の定義、名称独占・業務独占、看護職の業務範囲、看護職の義務について説明できる。
- ・保健師助産師看護師法で規定されている免許の取得要件、籍の登録、免許の申請、籍の訂正、免許の書換交付・再交付、免許の取消・業務停止・再免許、登録の抹消、試験の受験資格と試験科目、看護職の養成所、保助看法の制定と改正の経緯について説明できる。
- ・保健師助産師看護師法で規定されている看護事故の法的責任について説明できる。
- ・看護師等の人材確保の促進に関する法律の目的、および同法で規定されている基本指針、看護師等の責務等、ナースセンターについて説明できる。
- ・医療法に規定されている目的、医療提供の理念、医療施設の種類、医療施設の開設・管理、医療計画、医療法人等について説明できる。
- ・さまざまな医療関係職種に関する法律とそれらに規定されている業務範囲について説明できる。
- ・薬事法の目的、および同法に規定されている医薬品等の定義、医薬品等に関する規制、薬害被害者の救済等に関する法律の概要、麻薬及び向精神薬取締法の目的および同法に規定されている麻薬・毒物等の取扱いについて説明できる。
- ・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法で規定されている内容について説明できる。

■ 学習の進め方

- ・看護に携わる者にとって最も重要な法である保健師助産師看護師法を中心に、周辺の医事や衛生、社会保障、労働などの関係法令を理解するために、講義と演習を用いる。
- ・法令を単に知識として学ぶだけでなく、なぜこのような内容になっているのか、看護との関係はどうか、他の科目で学んだこと、日常生活や実習での経験と関連づけた学習を目指す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	法の概念と厚生行政のしくみ/保健師助産師看護師法 1:①保健師助産師看護師法の構造と付属法令、②目的、③保健師、助産師、看護師、准看護師の定義、④看護職の業務独占・名称独占、⑤看護職の義務 事前学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
2	保健師助産師看護師法 2:①免許の取得要件、②籍の登録、③免許の申請、④籍の訂正、⑤免許の書換交付・交付、⑥免許の取消・業務停止・再免許、⑦登録の抹消、⑧試験の受験資格と試験科目、⑨看護職の養成所、⑩保助看法の制定と改正の経緯 事前学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
3	看護事故の法的責任：①医療過誤とは、②看護事故の法的責任とは、③民事上の責任、④刑事上の責任、⑤行政上の責任／看護師等の人材確保の促進に関する法律①目的、基本指針、看護師等の責務等、ナースセンター 事前学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
4	医療法 1: 医療法 1:①目的、医療提供の理念、②医療施設の種類、③医療に関する情報の提供、④医療の安全の確保 事前学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川

No	内容	形式	教員
5	医療法 2: ①医療施設の開設・管理、②医療計画、③医療法人 事前学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
6	医師法等医療関係職種に関する法律 事前学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
7	薬務法と看護:医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、麻薬及び向精神薬取締法等 事前学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川
8	労働法と看護／社会基盤整備と看護 事前学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護関係法規」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・高田・古川

■教科書

森山幹夫「系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令」 最新版 (医学書院)

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

■他の授業科目との関連

看護管理学Ⅰ第1回「看護をとりまく諸制度」、第2回「看護職の役割と機能」等で触れた看護関係法規について学びを深める。看護管理学Ⅱでは看護関係法規で学んだ内容を実践に応用するための演習を第12回「人事・労務管理に関する法律と働き続けられる職場づくり」で行う。

■成績評価の仕方

事前課題 (30 %)、授業中の課題 (30 %)、事後課題 (40 %)により評価する。

■オフィスアワー・研究室等

質問等がある場合は、Glexa 掲載のガイダンス 1 ページ目にある担当教員のメールアドレスに連絡する。

■受講上の注意事項

なし

■その他

HBIN400

看護の歴史

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○川原 由佳里

■ 授業の目的

近代以降の日本の看護の歴史を学ぶ。過去に看護がたどった道のりを学ぶことを通じて、今日の看護が拠って立つ基盤を理解し、広い視野から将来の看護を展望することを目的とする。

■ 到達目標

- ・さまざまな時代や社会における人々の健康ニーズや看護のありように関心を持つことができる。
- ・より良い社会の実現にむけて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる。

■ 学習の進め方

教科書の抄読に基づく発表と討論、解説により進める。教科書の内容に応じて適宜、資料を紹介し、歴史的事実の解釈と理解の深まりをめざす。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[15分] シラバスを読んでくる 事後学修：[15分] 課題を確認する	講義	川原
2	ナイチンゲールと看護 ・産業革命時代の人々の健康と衛生思想 ・ヴィクトリア朝時代の女性：カサンドラ ・カイゼルスヴェルト学園での学び ・クリミア戦争での体験 ・ナイチンゲールの宗教と科学：真理の探究 ・看護覚え書とセントトマス病院での看護婦養成 事前学修：[30分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	発表・ディスカッション	川原
3	明治期における看護教育の始まり ・明治維新と医制 ・府県立病院と従来看護婦 ・明治期の女性の職業 ・看護婦養成の実際：日本赤十字社病院の場合 ・卒業看護婦による派出看護 事前学修：[30分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	川原
4	日米における看護専門職の歴史 ・ナイチンゲールスクールと病院付属専門学校 ・第一次世界大戦と世界恐慌 ・資格試験、免許制度、職能団体、倫理綱領、高等教育化 ・研究 ・高度実践看護：CNS、NP、NA、CNM 事前学修：[30分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	発表・ディスカッション	川原
5	災害看護の歴史 ・明治期の災害対策と人々の災害のとりえ方 ・交通・通信・メディアの発達による災害対応の迅速化 ・外科学の発展と医療資源の増大 ・磐梯山噴火、トルコ軍艦沈没事故、濃尾震災、三陸海嘯における災害救護 ・災害時の健康問題と救護の実際に基づく経験知 事前学修：[30分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	川原

No	内容	形式	教員
6	戦争と看護 ・ジュネーブ条約と赤十字 ・日清戦争と日露戦争における救護 ・陸軍における戦時衛生勤務 ・軍属としての日赤看護婦 ・ビルマにおける日本赤十字社救護班 事前学修：[30 分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	発表・ディスカッション	川原
7	母子保健に見る助産師・保健師の歴史 ・大正期の乳幼児死亡率の国際比較 ・巡回助産婦・小児保健婦の活躍 ・戦後の母子対策と児童福祉法 ・母子保健センターと妊産婦への支援 ・地域保健法：サービスの一般財源化と保健師への期待 事前学修：[30 分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義	川原
8	戦後における看護の発展：保助看法をめぐって ・看護の業務規程：診療の補助と療養上の世話 ・看護婦・准看護婦 ・教育制度の変化 ・看護労働 ・人材確保と高等教育化 ・看護師による一部の医行為の実施 事前学修：[30 分] 参考資料の該当部分を要約し、発表資料を作成する 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義	川原

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

亀山美智子、新版看護学全書別巻 7 看護史、メヂカルフレンド社 2004 年

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、翌年度 4 月中に川原研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

発表・討論 50 % 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 - 13:00 川原研究室(447)

■ 受講上の注意事項

なし

■ その他

HBIN350

看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○堀川 英起、堀井 湖浪、藤川 あや、池田 良輔子、柴田 純子、内藤 なづな、赤井 智子

■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。

【講義の進め方】

1. Glexa の「看護技術論 I」の授業にアクセスする。該当する授業回をみる。
2. 授業を視聴する。
3. 演習レポート(事後学修課題)は、①「事後課題」のファイルをダウンロードする。②事後学修課題を行う。③事後学修課題を保存する。④保存したファイルをアップロードする。⑤「レポートを提出する」をクリックし、提出する。
4. Glexa の Board を利用して、質問する。
5. 定期試験の回にアップされた課題レポートを作成し、Glexa 上に提出する。

【演習の進め方】演習の主な内容は、グループワークです。

学生を全 12 グループに分け、12 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学修		
2	自宅学修		
3	自宅学修		
4	自宅学修		
5	講義：援助的人間関係の基本的な考え方 / 大学で学ぶということ 事前学修：[15 分] 講義および演習の進め方についての Glexa ページの資料を読んで授業に臨む。 事後学修：[30 分] 自分が体験した印象的な場面を想起し、指定の用紙にまとめる。	オンデマンド型	古城門
6	講義：感覚や感情を用いる 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容について資料を読み返す。	オンデマンド型	堀川
7	講義・演習：異和感の対自化 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	オンデマンド型	堀川
8	講義：講義：自己理解を深める①－性格の様々なタイプ－ 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容について資料を読み返す。	オンデマンド型	古城門
9	講義：自己理解を深める②－自己理解のためのエクササイズ－ 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 自己理解に関するワークについて振り返って、レポートにまとめる。	オンデマンド型	古城門
10	講義：援助的人間関係の基礎－自己一致－ 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	オンデマンド型	堀川

No	内容	形式	教員
11	演習：小グループに分かれてのグループワーク①／講義：ナーシングチャンネル基礎看護：コミュニケーションの基本 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[60 分] グループワーク演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。患者とのコミュニケーションについて振り返って、レポートにまとめる。	同時双方向型 オンデマンド型	全教員
12	演習：小グループに分かれてのグループワーク② 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] グループワーク演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	同時双方向型	全教員
13	講義：グループワークの力 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義	武井
14	講義・演習：グループワークを振り返るーレポートを書くー 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 指定した必読文献を読んでノートにまとめる。	オンデマンド型	堀川
15	演習：小グループに分かれてのグループワーク③ 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] グループワーク演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	同時双方向型	全教員

■ 教科書

適宜、プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法, 医学書院.

■ フィードバックの仕方

- ・ 各回講義・演習で提出した事後課題のフィードバックは次々回(2 週間後)の講義前に Glexa 上で回答と解説を行う。
- ・ 定期試験レポートのフィードバックは、後日コメント付きのレポートを返却する。解答に関する質問にはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅠ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

■ 成績評価の仕方

出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件です。

各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなします。

1. 事後課題と取り組み 70%
2. 定期試験レポート 30%(前期定期試験に該当します)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中に、個別に相談や質問したい場合は科目担当教員の下記 E-mail で質問を受け付ける。

古城門靖子 y-furukido@redcross.ac.jp

堀川英起 h-horikawa@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

- ・ 授業への取り組みと事後課題と定期試験レポートを合わせて 59 点以下の場合には、再試験(レポート)対象となる。
- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。

■ その他

HBFN100

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人

■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

■ 到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探究する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	フィジカルアセスメント概論と基本技術 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
2	面接技法と基本技術 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	一般状態と生命の徴候 1 体温・呼吸・意識 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口／○
4	体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	一般状態と生命の徴候 2 脈拍・血圧 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口／○
6	脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	身体を動かすこと 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口／○
8	身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	食べること・栄養を取り込むこと 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口／○
10	食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	排泄すること・セクシュアリティ 事前学修：[30 分]「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分]「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口／○
12	排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の DVD に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	ひとりひとりの技術の習得について確認を行う 事前学修：[30 分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60 分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
14	ひとりひとりの技術の習得について確認を行う 事前学修：[30 分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60 分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
15	実践にむけてのまとめ 事前学修：[30 分] 全体振り返りシートに取り組む 事後学修：[60 分] 技術を洗練させるために反復練習を行う	講義	樋口

■教科書

1. 守田美奈子監修(2020)新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

■参考書、参考資料等

1. フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版(藤崎郁. 学習研究社. 2017)
2. 「みえる人体ー構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂. 2009

* 資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

- ①事前課題は授業中に活用します。
- ②事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントし次回授業時に全体で共有します。
- ③技術チェックの結果は終了後の授業内に返却し個別指導につなぎます。
- ④筆記試験の結果はこの単元のシリーズであるフィジカルアセスメント②の初回授業で振り返りを行います。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件となっています。
2. 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■成績評価の仕方

演習記録 10 % 技術チェック 30 % 筆記試験 60 %

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40（場所：第 2 実習室）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定します(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス 樋口(411 研究室)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。
- ◆30 分以上の遅刻は欠席とみなします。

■その他

HBFN150

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理恵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人

■ 授業の目的

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について、系統的に学び、それらを統合して実践する力を養う。

■ 到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して、対象者をケアしつつ情報を得る方法と意味を理解することができる。
5. 自らの身体を通して学んだことを表現できる。
6. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

■ 学習の進め方

すべて遠隔授業で行います。

1. GLEXA にアクセスする
2. その日のクラスのフォルダを開く
3. 最初にその日の「演習ノート」を開く
4. 演習ノートに従って、学習をすすめる
5. すべてのプログラムを終えたら、本日のレポートに取り組む
6. 質問は、指定時間に Board にアクセスを！

※各クラスの2コマ目の後半30分の時間に、Board にアクセスしてください。教員が待機しています。どうぞお気軽に書き込んでください。

※それ以外にも Report でご質問やご感想をお送りくだってもかまいません。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	感覚器のフィジカルアセスメント自学課題に取り組む 課題1：看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス(教科書) p.102-131を読む。その際、ナーシングチャンネル「感覚機能のフィジカルアセスメント」と検索動画を見て、理解を深め、自分なりのノートを作成する。 ※関連授業の時にノートを活用して進めます。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	樋口・鬼頭
2	課題1にとりくむ 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	樋口・鬼頭
3	感覚器のフィジカルアセスメント自学課題に取り組む 課題2：【要提出】「ウエーバーテスト」と「リンネテスト」について、身体のような機能に関するテストなのか、仕組みと方法を、解剖生理の説明と共に記述する(A4用紙1～2枚；図などを用いて工夫してもよい)。 ※ご自身が所持の解剖生理や耳鼻咽喉系の教科書などを調べてくださってもOKです。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	樋口・鬼頭
4	課題2に取り組む 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	樋口・鬼頭

No	内容	形式	教員
5	①看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)振り返り ②看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)の導入 ③身体を守る(フィジカルアセスメント) ④4月課題部分に含まれるフィジカルイグザム 事前学修：なし 事後学修：[30分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
6	①看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)振り返り ②看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)の導入 ③身体を守る(フィジカルアセスメント) ④4月課題部分に含まれるフィジカルイグザム 事前学修：なし 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
7	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30分]「事前学修(呼吸器系)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	鬼頭・樋口
8	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30分]「事前学修(呼吸器系)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	鬼頭・樋口
9	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30分]「事前学修(循環器系)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	鬼頭・樋口
10	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30分]「事前学修(循環器系)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
11	生命の危機 事前学修：[30分]「事前学修(生命の危機)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
12	生命の危機 事前学修：[30分]「事前学修(生命の危機)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
13	総合演習1 ケースで学ぶ 事前学修：[30分]「事前学修(総合演習1)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向の ミックス	樋口・鬼頭
14	総合演習2 ケースで学ぶ 事前学修：[30分]「事前学修(総合演習2)」に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	同時双方向	樋口・鬼頭・細 野・吉良・ 遠山・吉田里
15	総合演習3 ケースで学ぶ 事前学修：[30分]「事前学修(総合演習3)」に取り組む 事後学修：[60分]「最終課題レポート」に取り組む	同時双方向	樋口・鬼頭・細 野・吉良・ 遠山・吉田里・高 田・桐原・ 工藤・池田

■教科書

- 守田美奈子監修(2016)写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス. インターメディカ.

■参考書、参考資料等

- フィジカルアセスメント完全ガイド第3版(藤崎郁. 学習研究社. 2017)
- 「みえる人体ー構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂. 2009

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用します。
- 事後課題は Glexa からコメントしてフィードバックします。
- 最終課題レポートには Glexa からコメントしてフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）、看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■ 成績評価の仕方

1. 成績は以下の3点で行います。
 - a. 授業への取り組み(クイズ回答状況) 10 %
 - b. 「本日のレポート」の提出と内容 50 %
 - c. 最終レポート：40 %

※ クイズの正答成績は評価には入れません。ご自身の理解を深めるためにお役立てください。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー(毎回の双方向タイム)毎回後半 30 分に Glexa 内で双方向タイムを設定します。

技術オフィスアワー：、後期対面が可能になりましたら、技術オフィスアワーの時間を設ける予定です。遠隔演習でわからなかったところなど、どうぞご活用くださいませ。日程は対面が可能になりましたらお知らせいたします。

※樋口研究室(411)

■ 受講上の注意事項

出席について

下記 2 点が満たされている場合に出席といたします。

- ① クイズにすべて回答している(正答かどうかは問いません)
- ② 「本日のレポート」が期限内に提出されている

※期限内に提出が難しい場合には、樋口まで事前にご連絡ください。

※クイズ未回答 2 割までは遅刻としてみなします。

■ その他

HBFN200

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈

■授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 相手の状況に寄り添った援助技術の具体的な展開について理解することができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■学習の進め方

遠隔授業(Glexa)と遠隔演習(対面演習の替わりの同時双方向)を組み合わせて行います。

<遠隔授業>

■基本的に時間割に合わせて2コマ続きで行います。(6/5および「まとめ」は1コマ分です)

■オンデマンドと一部同時双方向です。各自のご都合に合わせて受講してください。

※クイズに回答したら「提出」のボタンを押してください。

※後半30分：ご質問は同時双方向(Glexa上のコンテンツ)で行えます。ご活用ください。

■最後の「まとめ」は8月3日～8月27日までの間のご自分の良い時間に受講してください。

<遠隔演習(対面演習の替わり)>

■同時双方向(Teams)で行います

■8月に3コマ続きで行います(詳細は7月31日グレкса上に情報掲載します)。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護技術論概論 事前学修：[30分] シラバスを確認しておく 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	樋口・吉良・鬼 頭・遠山
2	環境調整に関する援助技術<援助技術：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	樋口・吉良・鬼 頭・遠山
3	環境調整に関する援助技術<援助技術：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	樋口・吉良・鬼 頭・遠山
4	感染予防に関する援助技術①<援助技術：手洗い、ガウンテクニック> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	遠山・樋口・吉 良・鬼頭
5	感染予防に関する援助技術①<援助技術：手洗い、ガウンテクニック> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	遠山・樋口・吉 良・鬼頭
6	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①<援助技術：体位変換> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	鬼頭・樋口・吉 良・遠山
7	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①<援助技術：体位変換> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	鬼頭・樋口・吉 良・遠山
8	活動・運動に関する援助技術②<援助技術：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送> 事前学修：[30分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	鬼頭・遠山・樋 口・吉良

No	内容	形式	教員
9	活動・運動に関する援助技術②＜援助技術：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送＞ 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60 分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	遠山・鬼頭・樋口・吉良
10	食事・口腔ケアに関する援助技術＜援助技術：食事介助・口腔ケア＞ 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	細野・樋口・鬼頭・遠山
11	排泄に関する援助技術＜援助技術：一般的な排泄の援助＞ 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[60 分]「本日のレポート」に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型の ミックス	吉良・樋口・鬼頭・遠山
12	前期看護技術総合演習 1 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分]「本日のレポート」に取り組む	同時双方向型	樋口・細野・吉良・鬼頭・遠山・吉田里奈
13	前期看護技術総合演習 2 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分]「本日のレポート」に取り組む	同時双方向型	樋口・細野・吉良・鬼頭・遠山・吉田里奈
14	前期看護技術総合演習 3 事前学修：[30 分] 前週に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分]「本日のレポート」に取り組む	同時双方向型	樋口・細野・吉良・鬼頭・遠山・吉田里奈
15	前期看護技術まとめ 事前学修：なし 事後学修：[60 分]「最終課題レポート」に取り組む	オンデマンド型	樋口・細野・吉良・鬼頭・遠山・吉田里奈

■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 志自岐康子他編 (2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第 6 版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 川嶋みどり監修. 医学書院. 2007
- * 資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します (提出は求めません)。
2. 提出された意見や演習ノートは、Glexa コメントでフィードバックいたします。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有します。

■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅲ (基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ (基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ (基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学びます。

■ 成績評価の仕方

1. 成績は以下の 3 点で行います。
 - a. 授業への取り組み (クイズの回答状況) 10 %
 - b. 毎回の必須項目の提出と内容 50 %
 - c. レポート課題：40 %

※ Glexa のクイズの正答成績は評価には入れません。

■ オフィスアワー・研究室等

1. オフィスアワー：Glexa 内に設定いたしますね。
毎回後半 30 分に同時双方向で質問できるコンテンツを開きます。リアルタイムで教員が質問にお答えいたします。
2. 技術オフィスアワー：実習室が自由に使えるようになりましたら、教員が待機する時間を設けます (技術の練習や質問など自由に行うことができます)。その時お知らせいたします。
3. 研究室：樋口(411) y.higuchi@redcross.ac.jp です。

■ 受講上の注意事項

出席について

- Glexa で行うコマは、クイズに回答していることで出席といたします (正答率問いません)。
- 遠隔演習 (Teams) は、授業開始時に直接出席をとります。
- 遠隔演習 (Teams) では、30 分以上の遅刻は、欠席とカウントいたします

■遠隔演習 (Teams) と Glexa での授業をあわせると 15 コマになります。

■ その他

HBFN101

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○細野 知子、樋口 佳栄、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、吉田 みつ子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや DVD 視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	細野
2	清潔の援助①＜技術演習：寝衣交換＞ 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野／○
3	清潔の援助①＜技術演習：寝衣交換＞ 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	清潔の援助②＜技術演習：部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)＞ 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野／○
5	清潔の援助②＜技術演習：部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)＞ 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	清潔の援助③＜技術演習：全身清拭＞ 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野／○
7	清潔の援助③＜技術演習：全身清拭＞ 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	電法・ヒヤリハット 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野・樋口／○
9	清潔の援助④＜技術演習：陰部洗浄＞ 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	講義および演習	全員

No	内容	形式	教員
10	感染予防に関する援助技術② 滅菌・消毒・無菌操作 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野／○
11	感染予防に関する援助技術②＜技術演習：無菌操作＞ 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	排泄に関する援助技術②＜導尿＞ 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野・吉良／○
13	排泄に関する援助技術②＜技術演習：導尿＞ 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	後期技術総合演習 事前学修：[30 分] 前週に配付された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	細野／○
15	後期技術総合演習 事前学修：[30 分] 該当箇所のテキストを読み、DVD を視聴する。 事後学修：[60 分] ①演習記録および振り返り課題に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員

■教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 志自岐康子他編 (2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第 6 版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 川嶋みどり監修. 医学書院. 2007

*資料は適宜配付

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は、授業中にその内容を取り上げ、活用することによってフィードバックします。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却します。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有します。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者が行います。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する 2 年次前期科目看護技術論Ⅲ (基礎看護技術③) の第 1 回目の授業で、問題用紙の返却と解説を通じて行います。実技試験の採点表も同日に返却します。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅲ (基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ (基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ (基礎看護技術③) で一連の基礎看護技術を学びます。

■成績評価の仕方

演習記録 10 % 技術チェック 30 % 筆記試験 60 %

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40 (第 2 実習室あるいは研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます (技術の練習や質問など自由に行うことができます)。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：細野(437)、樋口(411)、吉良(439)

■受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。

30 分以上の遅刻は欠席とみなします。

■その他

HBFN151

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスする
2. 該当の授業回数のフォルダを開く
3. 事前課題を開く。提出期限までに事前課題に取り組み、Glexa の指定場所に提出する。
4. 「授業ノート」を開く。
5. 授業ノートに従って、指定された期日までに学習をすすめる（約 1 週間）。
6. パワーポイントや動画みながら、授業ノートに記入する。クイズに回答する。
7. 質問は、授業ノートに書き込む。
8. 授業ノートを指定された期日までに Glexa の指定場所に提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ナーシングチャンネルで『血液の検査と静脈血採血』と検索して動画を見てください。動画を見て、①血液検査を行うとわかること ②静脈血採血について採血の技術で大切だと思ったこと ③自分が採血を受ける時、実施者に望むこと ④動画全体を通して疑問に思ったこと、わからなかったことをよく考えて、A4 サイズ 1～2 枚にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
2	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
3	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
4	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
5	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
6	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・吉良・遠山
7	検査時の看護 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	吉田
8	静脈血採血 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	吉良

No	内容	形式	教員
9	気道加湿法・吸引法 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	吉良
10	酸素吸入法 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	遠山
11	薬物療法・注射法 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	吉良
12	薬物療法(内服薬・外用薬) グリセリン浣腸 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 授業ノートを記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	オンデマンド型	遠山・吉田
13	採血・注射法の演習 事前学修：[60 分] 送付した教材、演習資料を読む。 事後学修：[30 分] 演習記録を記載する	同時双方向型	吉田・吉良・遠山
14	採血・注射法の演習 事前学修：[60 分] これまでの授業ノートを見直しておく 事後学修：[30 分] 演習記録を記載する	同時双方向型	吉田・吉良・遠山
15	採血・注射法の演習・まとめ 事前学修：[60 分] これまでの授業ノートを見直しておく 事後学修：[60 分] まとめの講義資料を見直し、わからないところを確認する。	同時双方向型	吉田・吉良・遠山

■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修(2016)写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ. 2. 本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 アドバンス. インターメディカ. 3. 本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修(2020)新訂版 写真でわかる実習で使える看護技術 アドバンス. インターメディカ.
2. 「学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術」川嶋みどり監修. 医学書院. 2007

* 資料は適宜配布します

■ フィードバックの仕方

授業ノートに感想や質問したいことを書いてください。Glexa の Fourm に書き込むと、クラスの人々と共有、ディスカッションもできますので、活用してください。随時、メール等での質問も可能です。授業ノートは 1 週間程度で返却します。

■ 他の授業科目との関連

1 年次「看護技術論Ⅲ①②」で学んだ技術のステップアップである。本科目はレベルⅡ実習の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

a. 事前課題の提出：20 % b. 授業ノートの提出：20 % C. オフィスアワー時の実技チェック：20 % d. 筆記試験(定期試験)：40 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講時間の終わり 10 分 Board にて質問を受けます。また、随時、電子メールでも受け付けます。

■ 受講上の注意事項

遠隔授業(オンデマンド型)の出席は、指定した期日までに Glexa の授業ノートやクイズなどの課題にとりくみ、授業ノートを提出した人を出席とみなします。

■ その他

HBFN201

看護援助論Ⅰ（看護過程）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、吉良 理絵、桐原 あずみ、住谷 ゆかり、工藤 有希、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人、河田 照絵、橋爪 朋子

■授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学びます。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養います。

■到達目標

- ・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
- ・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
- ・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

■学習の進め方

AL

Ⅰ. 看護過程についての講義とⅡ. 事例を用いた演習（グループワーク、発表・討論、解説）Ⅲ. 看護記録についての講義を通じて学びます。適宜小テストを行い、理解度を確認しながら授業を進めます。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

【演習用記録用紙提出】

7月14日(火)看護過程演習用記録用紙を Glexa から提出

【筆記試験】

7月14日(火)～7月28日(火)に Glexa から課題レポート提出

No	内容	形式	教員
1	1. 1年生の授業で学んだこととレベルⅠ実習での経験を振り返り、次のことを書きましよう。(A4 1枚)*個人情報の記載については、実習中と同様に留意してください。①レベルⅠ実習で自分が「看護を実践できた」と感じられた場面を書きましよう。②①で「看護を実践できた」と感じられた理由を書きましよう。③①の看護について、もっとよい看護にするために何が必要だったかを書きましよう。2. 5月から始まる看護過程の授業では、2型糖尿病を患っている人の看護を学習します。その準備のために、2型糖尿病について「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ」で学んだことを振り返って、下記の通り、教科書の該当箇所を読み、自分でノートをつくりましよう。ノートの内容には、疾患の概要(糖尿病とは・糖尿病の症状と合併症)、糖尿病の治療(治療の目標・糖尿病治療の柱・糖尿病のコントロール指標)について必ず入れてください。(A4 1～2枚)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(成人看護学⑥)第5章 疾患の理解 B 代謝疾患 ①糖尿病(pp.132～161)*上記の課題は初回授業で持参してください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	細野
2	1. 1年生の授業で学んだこととレベルⅠ実習での経験を振り返り、次のことを書きましよう。(A4 1枚)*個人情報の記載については、実習中と同様に留意してください。①レベルⅠ実習で自分が「看護を実践できた」と感じられた場面を書きましよう。②①で「看護を実践できた」と感じられた理由を書きましよう。③①の看護について、もっとよい看護にするために何が必要だったかを書きましよう。2. 5月から始まる看護過程の授業では、2型糖尿病を患っている人の看護を学習します。その準備のために、2型糖尿病について「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ」で学んだことを振り返って、下記の通り、教科書の該当箇所を読み、自分でノートをつくりましよう。ノートの内容には、疾患の概要(糖尿病とは・糖尿病の症状と合併症)、糖尿病の治療(治療の目標・糖尿病治療の柱・糖尿病のコントロール指標)について必ず入れてください。(A4 1～2枚)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(成人看護学⑥)第5章 疾患の理解 B 代謝疾患 ①糖尿病(pp.132～161)*上記の課題は初回授業で持参してください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	細野

No	内容	形式	教員
3	1. 1年生の授業で学んだこととレベルⅠ実習での経験を振り返り、次のことを書きましよう。(A4 1枚)*個人情報の記載については、実習中と同様に留意してください。①レベルⅠ実習で自分が「看護を実践できた」と感じられた場面を書きましよう。②①で「看護を実践できた」と感じられた理由を書きましよう。③①の看護について、もっとよい看護のために何が必要だったかを書きましよう。2. 5月から始まる看護過程の授業では、2型糖尿病を患っている人の看護を学習します。その準備のために、2型糖尿病について「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ」で学んだことを振り返って、下記の通り、教科書の該当箇所を読み、自分でノートをつくりましよう。ノートの内容には、疾患の概要(糖尿病とは・糖尿病の症状と合併症)、糖尿病の治療(治療の目標・糖尿病治療の柱・糖尿病のコントロール指標)について必ず入れてください。(A4 1～2枚)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(成人看護学⑥)第5章 疾患の理解 B 代謝疾患 ①糖尿病(pp.132~161)*上記の課題は初回授業で持参してください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	細野
4	1. 1年生の授業で学んだこととレベルⅠ実習での経験を振り返り、次のことを書きましよう。(A4 1枚)*個人情報の記載については、実習中と同様に留意してください。①レベルⅠ実習で自分が「看護を実践できた」と感じられた場面を書きましよう。②①で「看護を実践できた」と感じられた理由を書きましよう。③①の看護について、もっとよい看護のために何が必要だったかを書きましよう。2. 5月から始まる看護過程の授業では、2型糖尿病を患っている人の看護を学習します。その準備のために、2型糖尿病について「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ」で学んだことを振り返って、下記の通り、教科書の該当箇所を読み、自分でノートをつくりましよう。ノートの内容には、疾患の概要(糖尿病とは・糖尿病の症状と合併症)、糖尿病の治療(治療の目標・糖尿病治療の柱・糖尿病のコントロール指標)について必ず入れてください。(A4 1～2枚)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(成人看護学⑥)第5章 疾患の理解 B 代謝疾患 ①糖尿病(pp.132~161)*上記の課題は初回授業で持参してください。 事前学修：[30分] 配付資料を読み、課題に取り組む 事後学修：[30分] リフレクションシートに取り組む	自宅学習	細野
5	1. 1年生の授業で学んだこととレベルⅠ実習での経験を振り返り、次のことを書きましよう。(A4 1枚)*個人情報の記載については、実習中と同様に留意してください。①レベルⅠ実習で自分が「看護を実践できた」と感じられた場面を書きましよう。②①で「看護を実践できた」と感じられた理由を書きましよう。③①の看護について、もっとよい看護のために何が必要だったかを書きましよう。2. 5月から始まる看護過程の授業では、2型糖尿病を患っている人の看護を学習します。その準備のために、2型糖尿病について「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ」で学んだことを振り返って、下記の通り、教科書の該当箇所を読み、自分でノートをつくりましよう。ノートの内容には、疾患の概要(糖尿病とは・糖尿病の症状と合併症)、糖尿病の治療(治療の目標・糖尿病治療の柱・糖尿病のコントロール指標)について必ず入れてください。(A4 1～2枚)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(成人看護学⑥)第5章 疾患の理解 B 代謝疾患 ①糖尿病(pp.132~161)*上記の課題は初回授業で持参してください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	細野
6	1. 看護過程の講義 1. 【講義】看護過程とは何か(実習経験の振り返り・基本概念) 2. 【講義】看護過程のステップ 事前学修：[30分] 事前課題(看護過程を学ぶにあたって)に取り組む 事後学修：[30分] 看護過程ノート(基本概念・枠組)に取り組む	オンデマンド型	細野
7	3. 【講義】演習オリエンテーション 4. 【講義】事例紹介(STさん) ■リフレクションシート 5分 事前学修：[30分] 看護過程ノート(看護学概論・看護理論振り返り)に取り組む 事後学修：[30分] 看護過程ノート(思考ステップ)に取り組む	オンデマンド型	細野

No	内容	形式	教員
8	■ミニテスト 1 回目 (看護過程とは何か) Ⅱ. 事例を用いた講義・演習 1 (1)【講義】医学情報の整理 事前学修：[30 分] 看護過程ノート(糖尿病の基礎知識)に取り組む 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(医学情報の整理)に取り組む	オンデマンド型	細野
9	1 (2)【演習】医学情報の整理 ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前回の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経て医学情報を様式 2 - 2 にまとめる	同時双方向型	全員
10	■ミニテスト 2 回目 (医学情報の整理) 2 (1)【講義】アセスメント(枠組／ 2. 安全・感染防御、5. 栄養・水分バランス、6. 排泄) 事前学修：[30 分] アセスメントの枠組該当箇所(2.5.6.)を読み、看護過程ノート(アセスメント該当箇所基礎知識)に取り組む 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(アセスメント該当箇所基礎知識、SOA の書き方)に取り組む	オンデマンド型	細野
11	2 (2)【演習】アセスメント(2. 安全・感染防御、5. 栄養・水分バランス、6. 排泄) ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前回の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経てアセスメントの該当箇所(2.5.6.)を様式 2-3 にまとめる。	同時双方向型	全員
12	■ミニテスト 3 回目 (アセスメント 2.5.6.、SOA の書き方) 3 (1)【講義】アセスメント(3. 安楽、4. 呼吸・循環、7. 姿勢体位・活動休息、8. 安楽) 事前学修：[30 分] アセスメントの枠組該当箇所(3.4.7.8.)を読み、看護過程ノート(アセスメント該当箇所基礎知識)に取り組む 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(アセスメント該当箇所基礎知識)に取り組む	オンデマンド型	細野
13	3 (2)【演習】アセスメント(3. 安楽、4. 呼吸・循環、7. 姿勢体位・活動休息、8. 安楽) ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前期の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経てアセスメントの該当箇所(3.4.7.8.)を様式 2-3 にまとめる	同時双方向型	全員
14	■ミニテスト 4 回目 (アセスメント 3.4.7.8.) 4 (1)【講義】アセスメント(1. 健康増進、9. コミュニケーション、10. 自己知覚・役割関係、11. 成長・発達) 事前学修：[30 分] アセスメントの枠組該当箇所(1.9.10.11.)を読み、看護過程ノート(アセスメント該当箇所基礎知識)に取り組む 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(アセスメント該当箇所)に取り組む	オンデマンド型	細野
15	4 (2)【演習】アセスメント(1. 健康増進、9. コミュニケーション、10. 自己知覚・役割関係、11. 成長・発達) ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前回の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経てアセスメントの該当箇所(1.9.10.11.)を様式 2-3 にまとめる	同時双方向型	全員

No	内容	形式	教員
16	■ミニテスト 5 回目 (アセスメント 1.9.10.11.) 5 (1)【講義】 関連図の作成、全体像の描写 事前学修：[30 分] 看護過程ノート(事例の望ましい姿は？ その根拠は？) 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(全体像の考え方・PES などの基礎概念)	オンデマンド型	細野
17	5 (2)【演習】 関連図の作成、全体像の描写 ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前回の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経て関連図と全体像を様式 2-4 にまとめる	同時双方向型	全員
18	■ミニテスト 6 回目 (全体像や優先順位の考え方・PES などの基礎概念) 6 (1)【講義】 看護問題リスト・ケアプランの立案 事前学修：[30 分] 看護過程ノート(事例に起こっている問題は？ その根拠は？)に取り組む 事後学修：[30 分] 看護過程ノート(優先順位の考え方・OP/TP/EP などの基礎概念)に取り組む	オンデマンド型	細野
19	6 (2)【演習】 看護問題リスト・ケアプランの立案 ■個人ワーク 75 分 ■グループワーク 10 分 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 個人ワークに向けて前回の講義資料を読む 事後学修：[30 分] 個人ワーク・グループワークを経て看護問題リスト、ケアプランを様式 2-5 にまとめる	同時双方向型	全員
20	■ミニテスト 7 回目(看護過程の復習) 7 (1)【演習】 関連図・全体像のグループ内発表に向けて ■グループメンバーの関連図あるいは全体像を読みピアレビューシートを作成する 事前学修：[30 分] グループワークに向けて各自の看護過程演習記録用紙を見直す 事後学修：[30 分] 発表資料を準備する	オンデマンド型	細野
21	7 (2)【演習】 関連図・全体像のグループ発表 ■グループ内で発表(1 人 5 分発表・ピアレビューペーパー 5 分) 50～60 分 ■個人ワーク(看護過程演習記録の振り返り) 20 分 ■リフレクションシート 10 分 事前学修：[30 分] 発表準備をする 事後学修：[30 分] グループ発表を経て各自の看護過程演習記録用紙を追加・修正する	オンデマンド型	全員
22	【講義】 看護過程の振り返り ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] これまでの看護過程ノートを見直す 事後学修：[15 分] 看護過程ノート(看護過程とは)に取り組む	オンデマンド型	細野
23	Ⅲ.【講義】 看護記録 ■リフレクションシート 5 分 事前学修：[30 分] 看護過程ノート(看護問題・ケアプラン)を読む 事後学修：[15 分] 看護過程ノート(看護記録・SOAP 練習)に取り組む期限までに提出する	オンデマンド型	細野

■ 教科書

授業は配付資料を用いて行いますので教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

なし。文献などはその都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

提出物のフィードバックは、授業時あるいは授業終了後に行います。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習(レベルⅡ)などの 2 年次以上の実習では、学生一人ひとりが受け持ち患者さんの個別の看護計画を立てますので、講義と演習にしっかり取り組んでください。

■ 成績評価の仕方

事例を用いた演習 50 % (看護過程演習用記録用紙・7月7日(水)提出)、試験(課題レポート) 40 %、その他(授業期間内に行うグループワークの参加度) 10%、合計 100 %で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:10～13:00 に Glexa で細野が対応します。

■ その他

HBCN200

看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○千葉 京子

■ 授業の目的

呼吸機能障害および循環機能障害が生活に与える影響をアセスメントし、影響を低減あるいは解消するために必要な看護援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 呼吸機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
2. 循環機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
3. 機能障害を低減あるいは解消するために活用できる具体的な看護援助を述べることができる。

■ 学習の進め方

遠隔授業により行う。

1. 授業の展開：全8回のうち、1～3回は自宅学修課題に取り組む。4～8回は LMS (Glexa)によるオンデマンド型授業で学ぶ。
2. 4～8回の授業資料等はクラス「看護援助論Ⅱ」に、講義日にあたる日の 0:00 までにアップロードされる。
3. 授業資料等の公開は 2020 年度前期期間中とする。

※教科書が手元にある方は事前学習として該当頁を読む。

【自宅学修課題】

呼吸機能障害あるいは循環機能障害のなかで1つ取り上げ、その機能障害が生活に及ぼす影響と考えられる看護について A4 1枚程度に記述する。

※出席の取り方

1. 1～3回：自宅学修課題をディレクトリ「4月自宅学修課題」に提出する。
2. 4～8回：クラス「看護援助論Ⅱ」のトップ画面に「リアクションペーパー」をアップロードしている。各回の講義視聴後、その内容に関する疑問・意見・感想を「リアクションペーパー」に記入し、提出する。「リアクションペーパー」の提出は、各回の週の金曜日 23:59 までとする。

上記を提出することにより出席とみなす。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	千葉
2	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	千葉
3	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	千葉
4	呼吸機能障害による症状とその看護【教科書 224-242 頁】 事前学修：[30 分] シラバスを読み、授業の目的・学修内容等を理解する 事後学修：[60 分] 授業内容を振り返り、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉
5	呼吸機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護【教科書 242-302 頁】 呼吸機能障害をもつ患者の看護(肺炎・肺血栓塞栓症)【教科書 303-306,336-339 頁】 事前学修：[30 分] 内容に関連する知識や経験をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉
6	呼吸機能障害をもつ患者の看護(慢性閉塞性肺疾患患者の看護)【教科書 321-336 頁】 事前学修：[30 分] 内容に関連する知識や経験をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉
7	循環機能障害による症状とその看護【教科書 234-254 頁】 循環機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護【教科書 254-271 頁】 呼吸機能障害小テスト 事前学修：[30 分] 内容に関連する知識や経験をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉

No	内容	形式	教員
8	循環機能障害をもつ患者の看護(虚血性心疾患・心不全)〔教科書 306-357 頁〕 循環機能障害小テスト 事前学修：〔30 分〕 内容に関連する知識や経験をノートにまとめる 事後学修：〔30 分〕 授業内容を振り返り、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉

■ 教科書

系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器 医学書院最新版

系統看護学講座 成人看護学〔3〕循環器 医学書院最新版

■ 参考書、参考資料等

毎回、作成した資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

提出された課題レポートにコメントを記し、返却する。

■ 他の授業科目との関連

本授業は 2 年次の看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

2 年次前期開講の「看護援助論Ⅰ」と関連する。

■ 成績評価の仕方

1. 自宅学修課題 9 % (3 % × 3 回)
2. 授業への取り組み(リアクションペーパー) 15 % (3 % × 5 回)
3. 小テスト(呼吸機能障害、循環機能障害) 26 % (13 % × 2 回)
4. 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

各回の講義終了後～その週の金曜日 23 : 59 までに、Glexa のメール機能あるいは chiba@redcross.ac.jp (千葉) にメールする。

■ その他

HBCN201

看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○清田 明美

■授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

■到達目標

1. 様々な年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
2. 清潔が脅かされるときの生活への影響を説明できる。
3. 感染症の特徴とその対応を説明できる。
4. 感染症が人々の生活や社会に与える影響について説明できる。
5. 感染防御の必要性及びその方法について説明できる。

■学習の進め方

1. 各回の授業は、講義日 0:00 に公開される。
2. 事前学修を行い、授業に臨む。
3. 各回の動画の視聴や資料を精読し、課題に取り組む。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己学習課題 ・高校の生物の教科書等を参考に(ネットでも可)、生体の感染防御の仕組みについて調べ、A 4用紙 1 枚程度にまとめる(病原体が体内に侵入しない仕組み・免疫機能)。 ・新型コロナウイルスはなぜ流行しているのか、自分ができる予防策は何かについて、A 4用紙 1 枚程度にまとめる。Glexa に提出。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
2	自己学習課題 ・高校の生物の教科書等を参考に(ネットでも可)、生体の感染防御の仕組みについて調べ、A 4用紙 1 枚程度にまとめる(病原体が体内に侵入しない仕組み・免疫機能)。 ・新型コロナウイルスはなぜ流行しているのか、自分ができる予防策は何かについて、A 4用紙 1 枚程度にまとめる。Glexa に提出。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
3	自己学習課題 ・高校の生物の教科書等を参考に(ネットでも可)、生体の感染防御の仕組みについて調べ、A 4用紙 1 枚程度にまとめる(病原体が体内に侵入しない仕組み・免疫機能)。 ・新型コロナウイルスはなぜ流行しているのか、自分ができる予防策は何かについて、A 4用紙 1 枚程度にまとめる。Glexa に提出。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
4	自己学習課題 ・高校の生物の教科書等を参考に(ネットでも可)、生体の感染防御の仕組みについて調べ、A 4用紙 1 枚程度にまとめる(病原体が体内に侵入しない仕組み・免疫機能)。 ・新型コロナウイルスはなぜ流行しているのか、自分ができる予防策は何かについて、A 4用紙 1 枚程度にまとめる。Glexa に提出。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
5	清潔とは？、清潔である状態になるために 事前学修：4 月学習課題を見直しておく。 事後学修：Glexa で提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田

No	内容	形式	教員
6	感染防御のしくみ、感染と感染症 事前学修：前回の講義を復習し、課題を見直す。 事後学修：Glexa で提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田
7	感染症の予防、感染症とその対応 事前学修：前回の講義を復習し、課題を見直す。 事後学修：Glexa で提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田
8	感染症のある人への看護 事前学修：すべての講義を復習し、課題を見直す。 事後学修：Glexa で提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田

■教科書

志自岐康子他編 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版 2017 メディカ出版(なくても可)

■参考書、参考資料等

看護学実習における感染予防対策 日本赤十字看護大学

その他、随時授業で資料を提示する。

■フィードバックの仕方

課題の回答はその都度行います。

4 月事前課題と最終課題レポートは Glexa 内でコメントします。

■他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能Ⅱ・Ⅲ」「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)」に関連し、また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年生後期に行われる看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

- ・ 4 月事前課題：30 %
- ・ 各講義の取り組み(アクセス状況)：10 %
- ・ 各講義での課題提出：40 %
- ・ 最終課題レポート：20 %

■オフィスアワー・研究室等

Glexa 内のメールで質問等を受け付けます。

■受講上の注意事項

- * 4 月は、自宅学習課題の提出によって出席とする。
5 月以降は、提示された課題を翌週の金曜日 0:00 (木曜日中)までに提出することで出席とする。
最終レポートは期日を6月30日までとする。
- * WEB 環境によるトラブル等の事情により期日を過ぎる場合は、期日内にメールで連絡すること。

■その他

HBCN100

看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○清田 明美

■ 授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質、及びそれらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための看護援助の基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. 人間にとっての食と栄養の意味、生命・活動維持に必要な栄養について説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能の性質を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能が障害されたときの生活への影響を説明できる。
4. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の障害により治療を受ける、あるいは受けたことへの生活への影響を説明できる。
5. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる看護援助の目標と方法を考案することができる。

■ 学習の進め方

1. 各回の授業は、講義日 0:00 に Glexa に公開される。
2. 事前学修を行い、授業に臨む。
3. 各回の動画の視聴や資料を精読し、課題に取り組む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 人工肛門を造設している人が社会の中で生活するための配慮や工夫にはどのようなことがあるかを調べ、A 4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
2	自宅学習課題 人工肛門を造設している人が社会の中で生活するための配慮や工夫にはどのようなことがあるかを調べ、A 4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
3	自宅学習課題 人工肛門を造設している人が社会の中で生活するための配慮や工夫にはどのようなことがあるかを調べ、A 4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	清田
4	栄養機能と看護 事前学修：人体の構造と機能Ⅰ（栄養の消化と吸収）を復習してまとめる。 事後学修：提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田
5	摂食調節機能の障害と看護 事前学修：前回の学修を復習してまとめる。 事後学修：提示した資料を読んでおく。	オンデマンド型	清田
6	嚥下機能の障害と看護 事前学修：前回提示した課題を行い提出する。 事後学修：提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田
7	消化吸収機能の障害と看護 事前学修：前回提示した課題を行い提出する。 事後学修：提示した課題を行う。	オンデマンド型	清田
8	まとめ 試してみよう 事前学修：すべての講義を復習する。 事後学修：講義全体を通して理解が不十分であった内容について復習する。	オンデマンド型	清田

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第8巻 栄養機能の障害と看護 同朋舎

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第13巻 身体運動機能の障害と看護/排尿機能の障害と看護 同朋舎

明石恵子編 ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 メディカ出版

その他、参考文献等は随時提示します。

■ フィードバックの仕方

課題やテストは次週までに回答を示します。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づいた看護援助についての内容を扱う。また、2年生前期に行われる看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・4月事前課題：20 %
- ・各講義での課題提出：50 %
- ・第8回テスト：30 %

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa 内のメールで受け付けます。

■ 受講上の注意事項

2年生前期に行われる看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

1. 4月は、自宅学習課題の提出によって出席とする。看護援助論Ⅳのディレクトリ クラストップ内にある「4月自宅学習課題の提出」にアクセスし、Word か PDF で提出する。ただし、WEB 環境の状況を考慮し、提出期間は1週間設けている。

2. 5月以降は、提示された課題を翌週の月曜日 0:00 (日曜日中)までに提出することで出席とする。

* WEB 環境によるトラブル等の事情により期日を過ぎる場合は、期日内にメールで連絡すること。

■ その他

HBCN202

看護援助論Ⅴ(活動と休息)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」実践 実務経験がある
教員：－

○山内 朋子

■ 授業の目的

人が生活の中で動くために必要な身体の仕組みと働きを理解し、運動機能が維持されるとき、脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるとき、生活への影響と援助の方向性を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の形式

- ・ 4 月は自宅学習課題に取り組む。自宅学習課題が 4 月の講義分(4/14・4/21・4/28)に相当する。
- ・ 5 月以降は、Glexa でオンデマンド型講義を受講する。Glexa の各回に指定されている、テストやレポート、ディスカッションなどの教材や課題に取り組む。
- ・ 本科目は、Teams を利用した同時双方(ライブ)型の講義は実施しない。

2. 授業の展開

1) 4 月

(1) 自宅学習課題

・ 日常生活にある、運動機能が脅かされている方への配慮や工夫を 2 つ挙げ、どのような機能の脅かしに対する、どのような配慮や工夫なのかをそれぞれ説明すること。合わせて A4 用紙 2 枚程度にまとめる。

(2) 提出方法

- ・ Glexa「看護援助論Ⅴ」の「自宅学習課題提出」フォルダにある指定箇所にアップロードして提出する。
- ・ 成果物のファイルのタイトルには、学籍番号と氏名をつける。
- ・ Word ファイルでアップロードする。Mac ユーザーの学生が Pages ファイルで作成している場合は PDF に変換して提出する。

(3) 出欠席

- ・ 成果物を提出することで、4 月講義 3 回分(4/14・4/21・4/28)の出席となる。
- 出席：5 月 18 日(月) 23:55 までに提出した場合
- 遅刻：出席日時以降から 5 月 19 日(火) 23:55 までに提出した場合(3 回分の遅刻)
- 欠席：遅刻にあたる日時までに未提出の場合

2) 5 月以降

(1) 講義内容

- ・ 時間割にある講義日の 0:00 に Glexa で公開される。

(2) 受講方法

- ・ 各回の講義公開日から 2 週間後の月曜 23:55 までを受講期間とする。
- ・ 時間割の時間通りに Glexa にアクセスしなくてもよいが、各回の受講期間内に、各回に指定されている教材や課題に取り組めるよう、注意して受講する。
- ・ 各回に指定されている教材や課題に関する諸注意は、Glexa で提示する。
- ・ 講義回の順番通りに受講すること。
- ・ Glexa での講義は令和 2 年度前期中公開のため受講期間後も閲覧が可能である。

(3) 出欠席

- ・ 各回の受講期間内に、各回に指定されている教材や課題に取り組み、受講完了または提出完了することで出席となる。
- 出席：各回の受講期限内(各回の講義公開日から 2 週間後の月曜 23:55 まで)に、指定された教材の受講や課題の提出が完了した場合
- 遅刻：各回の受講期限の翌日 0:00～23:55 に、指定された教材の受講や課題の提出が完了した場合
- 欠席：遅刻にあたる日時までに未受講や未提出の場合

3. 参考資料の提示

- ・ 授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または講義資料に参考資料等を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 成果物を Glexa で提出する 事前学修：[15 分] なし 事後学修：[15 分] なし	自宅学習	山内

No	内容	形式	教員
2	自宅学習課題 成果物を Glaxa で提出する 事前学修：[15 分] なし 事後学修：[15 分] なし	自宅学習	山内
3	自宅学習課題 成果物を Glaxa で提出する 事前学修：[15 分] なし 事後学修：[15 分] なし	自宅学習	山内
4	オリエンテーション／「動くこと(活動)」と「休むこと(休息)」とは 事前学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む 事後学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む	オンデマンド型	山内
5	活動の成り立ち 事前学修：[15 分] 参考資料を読んでノートにまとめる 事後学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む	オンデマンド型	山内
6	活動に必要な身体のかみ・感覚器系 事前学修：[15 分] 参考資料を読んでノートにまとめる 事後学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む	オンデマンド型	山内
7	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点① 事前学修：[15 分] 参考資料を読んでノートにまとめる 事後学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む	オンデマンド型	山内
8	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点② 事前学修：[15 分] 参考資料を読んでノートにまとめる 事後学修：[15 分] Glaxa で提示されている課題に取り組む	オンデマンド型	山内

■ 教科書

※オンデマンド型講義では、下記の教科書が手元になくとも学修できるように工夫して提示する。

1.1 年次後期の「看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)」および「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)」で用いた教科書を使用する。
守田美奈子監修(2017). 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

志自岐康子他編(2019). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

2.2 年次前期の「発達看護学概論」で用いる教科書を使用する。

筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第8版. 日総研出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 西須孝(2018). これが私の小児整形外科診療ー適切な診療への道しるべー. 南山堂.

2. 石川ふみよ・遠藤健司・山本恵子編(2018). 運動機能障害 第3版. メディカ出版.

その他、随時授業で資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

1. レポートのフィードバックは全講義終了後に Glaxa で行う。

2. オンデマンド型講義の各回で指定した教材や課題のフィードバック方法は Glaxa で示す。

■ 他の授業科目との関連

この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 自宅学修課題に相当する講義 3 回とオンデマンド型講義 5 回、計 8 回のうち、遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

2. 全 8 回のうち、出席が 2/3 以上(出席が 6 回以上)であることが成績評価を受ける要件になる。

3. 4 月自宅学修課題の提出は講義 3 回分に相当するため、期限内に未提出の場合は 3 回の欠席となり出席 2/3 以上を満たせなくなる。そのため、本科目の成績評価を受けることができなくなる(不合格となる)ことから、十分に注意すること。

4. 2020 年度 4 月時点で本学ホームページに掲載されていたシラバスにある定期試験は実施せず、オンデマンド型の各講義回の課題および 8 回目の講義で示す課題レポートに変更する。そのため、科目の評価方法も下記の通りに変更する。最終評価を行うまで Glaxa の「成績」には反映されない。

5. 評価の方法

①授業への取り組み 25 % ② 4 月自宅学修課題 15 % ③オンデマンド型の各講義回の課題 50 %

④課題レポート 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

各講義回の受講期間中に授業担当者が Glaxa または E-mail で受け付ける。

山内 朋子 t-yamauchi@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、各回の受講が済んだら速やかにログアウトをすること。
- ・ 本科目において、インターネット環境などの問題で、Glexa での受講ができない、あるいは Glexa での課題の提出ができないといった不都合がある場合は、教員に各回の受講期間内に E-mail で相談すること。代替方法を検討して提示する。
- ・ 既習知識の確認をしながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること。

■ その他

HBCN203

看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○新田 真弓

■ 授業の目的

人間のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

■ 到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

■ 学習の進め方

4 月自宅學習課題：

- ①これまでにあなたが受けた性教育について、振り返りまとめてください。①いつ、②誰から、③どのような内容だったか、④印象に残っていることを必ず書き入れ、A 4 1枚程度にまとめてください。
- ②日本性教育協会現代性教育ジャーナル No.87(2018). 我が国の性教育の現状と課題(下記 URL)を読み、もしあなたが看護学生として性教育を実施するなら①誰に対して、②どのような目的で行うか(何を理解してもらうために行うか)、③どんな内容を取り入れ、どんな方法で行うか A 4 2枚以内にまとめてください。

https://www.iase.faje.or.jp/iigyo/journal/seikyoiku_journal_201806.pdf#search=%27%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%

1. 講義：授業の目的および到達目標を理解して、講義を視聴し小テスト・課題に取り組む。
2. 課題提出：講義資料に基づき、講義を視聴後、指定された期限までに提出する。
3. 小テスト：講義によっては、小テストを実施する。1 回のみ回答でき、課題提出と合わせて出席とする。
4. 事前事後学修：各講義で提示される資料を用いて、主体的に補う。

【講義配信、課題、資料等の公開】

講義内容、講義資料、課題の提示等の配信は、Glexa 講義日(5月11日から5月18日を除く6月15日まで毎週月曜日)9:00にアップロードされる。各授業は、順番にそった受講を勧める。出席期間内に課題が提出できるように各自で受講をする。講義内容、講義資料、課題の提示等の公開期間は、令和2年度前期期間中とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glaxa にて word で作成し提出する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	新田
2	自宅学習課題 Glaxa にて word で作成し提出する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	新田
3	自宅学習課題 Glaxa にて word で作成し提出する 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	新田
4	ヒューマンセクシュアリティに関連する概念 事前学修：[30 分] 発達看護学Ⅰ①の第3回講義資料について復習し、性の発達についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業資料を読み、ヒューマンセクシュアリティの概念について整理する。	オンデマンド型	新田
5	性の多様性・性同一性障害という体験 事前学修：[30 分] 予習資料に沿って、性の多様性についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 性同一性障害について復習し、医療場面での課題をまとめる。	オンデマンド型	新田

No	内容	形式	教員
6	性の暴力と援助 事前学修：[30 分] 予習資料に沿って、性の暴力についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 性暴力によって生じる健康問題と看護の在り方について考えをまとめる。	オンデマンド型	新田
7	妊孕性とセクシュアリティ 事前学修：[30 分] 発達看護学Ⅰ①第 7 回講義資料を参考に、妊娠の成立と機序についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 不妊症や不育症の看護について考えをまとめる。	オンデマンド型	新田
8	疾患を持つ人のセクシュアリティと援助 事前学修：[30 分] 予習資料に沿って、疾患(とくにがん)の方の妊娠について、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えをまとめる。	オンデマンド型	新田

■ 教科書

授業資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

領域毎に随時 Glexa クラス内で提示する。

■ フィードバックの仕方

原則、課題提出後の 1 週間後に Glexa 内にてコメントを示す。

■ 他の授業科目との関連

生殖に関わる学習内容を扱うため、2 年次後期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブヘルスと看護①)と関連の強い科目となります。発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件になる。

4 月自宅学習課題を含む、各講義の小テスト・課題提出によって評価する。

(参加度 20 %、小テスト・課題内容 80 %)

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間内および、指定された課題提出までの期間中に新田までメール(m.nitta@redcross.ac.jp)で行う。

■ 受講上の注意事項

【出席の取り方】

Glexa 内に示されている課題を、下記の期間に指定の方法、場所に提出することで出席とする。

1. 出席：課題公開日から、10 日後(授業スケジュール期限)水曜日、23：59 までに課題を提出
2. 遅刻：提出期限の翌日(木曜日) 0：00～23：59 に課題を提出した場合
3. 欠席：遅刻にあたる日時以降に課題を提出した場合
4. 遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

■ その他

HBCN300

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○古城門 靖子

■授業の目的

人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる。

■到達目標

1. 人間の行動と感情との関連について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

■学習の進め方

1. Glexa の「看護援助論」の授業にアクセスする。該当する授業回をみる。
2. 「事前課題」のファイルをダウンロードする。教科書をみて、事前課題を行う。教科書の該当箇所を資料として添付しているので、参考にする。事前課題の空欄をすべて埋めたら保存する。保存したファイルをアップロードする。「レポートを提出する」をクリックし、提出する。提出期限に注意する。
3. 授業を視聴する。
4. Glexa で Quiz を行うか、事後課題を提出する。Quiz の場合、事後課題の「受講」をクリックして、Quiz に解答する。Quiz の解答期限があるので、注意する。
5. 事後課題の場合、①「事後課題」のファイルをダウンロードする。② 事後課題を行う。③ 事後課題を保存する。④ 保存したファイルをアップロードする。
6. 「レポートを提出する」をクリックし、提出する。
7. Glexa の Board を利用して学生同士の意見交換、および教員への質問をする。教員へはオフィスアワーを利用して 質問する こともできる。

【定期試験】アップされた課題レポートを作成し、Glexa 上に提出する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学修		
2	自宅学修		
3	自宅学修		
4	ストレスとその対処 心と身体 事前学修：[30 分] 事前課題に取り組み、Glexa 上にファイルを提出する。 事後学修：[20 分] Glexa 上の Quiz に解答する。	オンデマンド型	古城門
5	ライフサイクルとところの危機 事前学修：[30 分] 事前課題に取り組み、Glexa 上にファイルを提出する。 事後学修：[20 分] Glexa 上の Quiz に解答する。	オンデマンド型	堀川
6	意識・不安と防衛機制 事前学修：[20 分] Glexa 上の Quiz に解答する。 事後学修：[20 分] Glexa 上の Quiz に解答する。	オンデマンド型	堀川
7	人間の怒りと攻撃心 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組み、Glexa 上にファイルを提出する。 事後学修：[30 分] Glexa 上の Quiz に解答する。	オンデマンド型	堀川
8	家族とダイナミクス 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組み、Glexa 上にファイルを提出する。 事後学修：[30 分] Glexa 上の Quiz に解答する。	オンデマンド型	古城門

■教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学 [1] 精神看護の基礎、精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)、最新版。

■参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

■フィードバックの仕方

- ・各回講義で小テスト Quiz が行われる場合、フィードバックは 次々回(2 週間後)の講義 前に Glexa 上で 回答 と解説を行う。
- ・定期試験 レポートのフィードバックは、模範解答を提示する。提示時期は、定期試験の際に 発表する。その後、解答に関する 個別

の質問にメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。

■ 成績評価の仕方

出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件です。

各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなします。

1. 事前課題・小テストと取り組み 5 0%
2. 定期試験 レポート 5 0% (前期 定期試験 に該当します)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中に、個別に相談や 質問したい場合は下記 E mail で質問を受け付ける。

古城門靖子 y-furukido@redcross.ac.jp

堀川英起 h-horikawa@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

- ・ 授業への取り組みと事前課題・小テストと定期試験レポートを合わせて 59 点以下の場合には、再試験(レポート対象)となる。
- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。

■ その他

HBCN204

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務
経験がある教員：－

○鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起

■授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

■到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

■学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習シートは授業終了時に教室にて配布する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神看護の現状と課題 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第1章」を読み、要旨を A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
2	精神の健康とは 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
3	人間の心は何をしているのか 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章A」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
4	人格の成熟① 人格、気質、アイデンティティ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章 B ①②」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
5	人格の成熟② 対象関係論としてとらえ方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章 B ④」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
6	人格の成熟③ 甘えと自己 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章 B ⑤⑥⑦」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
7	心的外傷と精神障害・・・サヴァイバーの生きにくさ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章 DE」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井

No	内容	形式	教員
8	不安の防衛としての症状 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 3 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
9	うつの心情と行動 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
10	アディクションという病い 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ⑥」を読んでおくこと 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
11	集団のダイナミクス 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 4 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
12	自殺のリスクと予防 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 10 章 B」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	古城門
13	社会の中の精神障害① スティグマと精神障害者の人権 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 A・B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
14	社会の中の精神障害② 精神保健福祉にかかわる法制度 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 E ③」を読み、A41 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀川
15	感情と看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	鷹野

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [1] 精神看護の基礎」、医学書院。

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」、医学書院。

使用する教科書の版、発行年については改めて提示する。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子著、精神看護学ノート、第 2 版、医学書院、2005。

その他の参考書については、講義の中で提示する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施から 2 週間以内に鷹野朋実研究室(428)にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)実習の履修要件となっています。また、3 年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)の基盤となります。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験…70 %、2. 授業への取り組み…30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12：20～12：50、18：00～18：30。鷹野朋実研究室(428)、堀井湖浪研究室(427)、古城門靖子研究室(412)堀川英起研究室(未定)。

■ 受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

■ その他

HBMN250

精神保健看護学Ⅱ(技法)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○堀井 湖浪、鷹野 朋実、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな

■授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

■到達目標

1. 精神医療の現状や課題について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 精神的健康について援助を必要としている人々の個人の尊厳や権利擁護について理解できる。

■学習の進め方

1. Glexa 上に示す事前学修課題、講義(授業動画)、事後学修課題を通して理解を深める。
2. 各授業は、事前学修課題に取り組んでから、授業動画を視聴し、その後、事後学修課題に取り組む。
3. 事後学修課題は、小テスト・ワークシート・レポートがあり、授業内容を振り返り、知識を確認したり、自らの考えについてまとめる。事後学修課題は、授業日から2週間以内に Glexa 上に提出する。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	厚生労働省/MHLWchannel「地域生活を送る精神障害者を知ろう(その1～その5)」を2本以上を視聴し、①動画の内容を要約し、②精神保健上の問題を抱える人々への看護について、感じたこと、考えたことをA4用紙2枚以内に記述する。 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学修	堀井
2	厚生労働省/MHLWchannel「地域生活を送る精神障害者を知ろう(その1～その5)」を2本以上を視聴し、①動画の内容を要約し、②精神保健上の問題を抱える人々への看護について、感じたこと、考えたことをA4用紙2枚以内に記述する。 事前学修：[なし分] 事後学修：[なし分]	自宅学修	堀井
3	厚生労働省/MHLWchannel「地域生活を送る精神障害者を知ろう(その1～その5)」を2本以上を視聴し、①動画の内容を要約し、②精神保健上の問題を抱える人々への看護について、感じたこと、考えたことをA4用紙2枚以内に記述する。 事前学修：[30分] 事後学修：[15分]	自宅学修	堀井
4	日本の精神医療の現状と精神保健看護 事前学修：[15分]「精神保健看護学Ⅰ」の授業資料、教科書を参考にワークシートをまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめる	オンデマンド型	鷹野
5	回復を助ける：入院治療と看護の展開 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第9章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	堀井
6	身体をケアする 事前学修：[15分] 教科書「精神看護学[2]第11章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	古城門
7	患者との関わり：そばにいて、遊ぶこと 事前学修：[15分] 配布資料を読み、小テストに取り組む 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	鷹野
8	安全を守る：統合失調症をもつ患者の看護ケア 事前学修：[15分] 教科書「精神看護学[2]第10章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	堀井

No	内容	形式	教員
9	うつ病をもつ患者の看護ケア 事前学修：[15 分] 配布資料「うつ病をもつ患者 K さん」の事例を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめる	オンデマンド型	堀川
10	薬物療法と看護 事前学修：[15 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 6 章・[2]11 章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	内藤
11	アルコール依存症の治療プログラム 事前学修：[15 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 13 章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、小テストに取り組む	オンデマンド型	堀井
12	精神科におけるアセスメント 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 9 章」、配布資料を読んでシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめる	オンデマンド型	古城門
13	精神障害者の地域生活を支える諸制度 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章、[2] 第 13 章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業内容を振り返り、小テストに取り組む	オンデマンド型	堀川
14	精神科訪問看護 事前学修：[30 分] ナーシングチャンネル DVD 視聴、教科書「精神看護学 [2] 第 13 章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	オンデマンド型	内藤
15	リエゾン精神看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 14 章」を読んでシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業内容を振り返り、小テストに取り組む	オンデマンド型	古城門

■ 教科書

武井麻子ほか，系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎(医学書院)最新版.

武井麻子ほか，系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)最新版.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■ フィードバックの仕方

各講義で提示される事後学修課題は、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。試験のフィードバックは、回答期間終了後に Glaxa 上で回答と解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習 [レベルⅢ] 実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)」、「精神保健看護学Ⅰ(理論)」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 40 % 2. 授業への取り組み・授業レポート 60 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中に、随時、Glaxa (「先生にメールを送る」)、もしくは各授業担当教員メールアドレス宛の電子メールで質問を受け付ける。

■ その他

HBMN300

発達看護学概論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、千葉 京子、山内 朋子

■ 授業の目的

小児期から老年期にわたって子どもから大人へ成長・発達する過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。
2. 子どもと家族の生活をふまえた援助を考案できる。
3. 成人期・老年期の発達の特徴を説明できる。
4. 生涯発達をふまえた援助のあり方を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開
 - ・ Glexa 上に示す事前学修、講義(資料)と事後学修を通して理解を深める。
2. 参考資料の提示
 - ・ 授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または Glexa 上の各回に授業資料等を掲載する。
 - ・ 各回の授業資料等は、Glexa「発達看護学概論」(A クラスは 1M0101、B クラスは 1M0102)に、講義日にあたる日の 0:00 までにアップロードする。
 - ・ 授業資料等の公開は、令和2年度前期期間中とする。
3. 受講の仕方
 - ・ 人の成長・発達を順序だてて学ぶには各回を順番に受講することを推奨する。
 - ・ 繰り返し講義内容を視聴するなど、自分のペースで学修することが可能である。
 - ・ 授業期間内に課題を提出できるよう注意すること。

【4 月自宅学習課題】

〔課題 1〕

インターネット学修「ナースিং・チャンネル」にある DVD「子どものフィジカルアセスメントⅠ」の中から、「2. アセスメントの準備、子どもとの接し方」を見る。この映像をもとに、子どもの身体的特徴、コミュニケーションの特徴、感情表現の特徴について、A4 用紙 1 枚にまとめる。

〔課題 2〕

成人期において関心あるテーマを 1 つとりあげ、①そのテーマに関心をもった理由、②そのことが生活に及ぼす影響、③その影響が老年期に及ぼすことについて A4 用紙 1 枚程度にまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
2	子どもの成長と発達 事前学修：[15 分] シラバスを読み、授業の目的・学修内容を把握する 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	江本
3	乳児期の子どもと家族の生活 事前学修：[15 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	江本
4	幼児期の子どもと家族の生活 事前学修：[15 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	江本
5	学童・思春期の子どもと家族の生活 事前学修：[15 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	山内
6	成人期の発達(生活と家族) 事前学修：[15 分] シラバスを読み、授業の目的・学修内容を把握する 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉

No	内容	形式	教員
7	老年期の発達(老年期と高齢者の特徴) 事前学修：[15 分] 老年期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉
8	老年期の発達(生活と家族) 事前学修：[15 分] 成人期と老年期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	千葉

■教科書

1.2～5 回目の授業(小児期)

①筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.

②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド小児看護 第 2 版. 照林社.

※上記教科書が手元にない時の学修方法について

上記教科書は昨年度からの継続教科書である。手元に指定の教科書がなくても学修および課題に取り組めるように工夫して提示する。

2.6～8 回目の授業(成人期・老年期)：教科書は使用しない。

■参考書、参考資料等

・その他、随時授業で資料等を提示する。

■フィードバックの仕方

・事前学修や各回の課題に対するフィードバックは、提出期限後あるいは 15 回の講義終了後に Glexa 上で解答と解説を行う。

■他の授業科目との関連

・この科目はレベルⅢ実習の履修要件である。

・2 年次後期以降に開講される「発達看護学(成人期の看護)」、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)①②」、「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①②」、「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 4 月自宅学習課題 16%(1 つの課題につき 8%× 2 課題分)

2. 授業への取り組み 28%(1 回あたり 4%× 7 回分)

3. 各回の課題 56%(1 回あたり 8%× 7 回分)

合計 100%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中、質問は下記 E-mail で受ける。

江本 リナ emoto@redcross.ac.jp 千葉 京子 chiba@redcross.ac.jp

山内 朋子 t-yamauchi@redcross.ac.jp

■受講上の注意事項

・Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。

・出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件である。

・各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなす。

■その他

HBDN200

発達看護学(成人期の看護)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○本庄 恵子、三浦 英恵

■ 授業の目的

成人期にある人々の理解とケアを展開するために必要な概念や理論について学び、成人期にある人への看護支援方法を検討する。

■ 到達目標

1. 成人期にある人々の特性について説明できる。
2. 成人期にある人々の理解とケアを展開するために、必要な概念や理論を説明できる。
3. 成人期にある人々に合わせた看護支援を考案することができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開：

Glexa を活用したオンデマンド型の授業とする。

各回の授業は、授業当日の 10:30 にオープンする。

Glexa の各回に保存されているコンテンツを、必ず閲覧すること。

5/11 以降は、小テスト(Quize)を行い、理解度を確認できるようにする。

小テストは、1 回限りの受験とし、制限時間は 5 分である。

★出席：期日(授業が実施される週の、月曜日 10:30～金曜日 12:00)までの Glexa での課題や感想の提出、および、小テスト (Quize) の回答により、出席したとみなす。

提出期日に間に合わない場合、期日後 1 週間に限り、遅刻と認める。

2. 「感想・意見」の記入：

Glexa 内に「感想・意見」を提出することで、授業内容の振り返りができるようにする。

2 週間以内に、Glexa 内に提示する「感想・意見の紹介と補足説明」によって、学生同士の意見を知るとともに、補足説明を通して、学習を深められるようにする。

3. 参考資料の提示：

興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるように、配布資料に教授内容に関連する参考資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ライフサイクルからみた成人期の理解、成人期にある人々への支援 自己学習課題 1：成人期の特徴をふまえ、支援を行うときにどのような留意が必要か 事後学修：Glexa にレポートを提出	自宅学習	本庄・三浦
2	ライフサイクルからみた成人期の理解、成人期にある人々への支援 自己学習課題 1：成人期の特徴をふまえ、支援を行うときにどのような留意が必要か 事後学修：Glexa にレポートを提出	自宅学習	本庄・三浦
3	ライフサイクルからみた成人期の理解、成人期にある人々への支援 自己学習課題 2：成人期にある人が健康行動を続けようとするときに妨げとなること／後押しとなること 事後学修：Glexa にレポートを提出	自宅学習	本庄・三浦
4	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論と支援①： 成人期の特徴、成人期の人びとへの支援(アンドラゴジー) 事前学修：[30 分] 事前学習課題 1、2 で示した内容 事後学修：[30 分] 教科書 2～24 頁、132 頁を読む。	小テスト・講義・ 討議(オンデマ ンド型)	本庄
5	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論と支援②： ステージ変容理論、自己効力感(セルフエフィカシー) 事前学修：[30 分] 教科書 125-126 を読み、ステージ変容理論と自己効力感についてま とめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料とフィードバック資料「感想・意見の紹介と補足説明」 を読み返し復習する	小テスト・講義・ 討議(オンデマ ンド型)	本庄

No	内容	形式	教員
6	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論と支援③： ストレス・コーピング 事前学修：[30 分] 教科書 94～95 頁を読み「ストレス・コーピング」についてまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料とフィードバック資料「感想・意見の紹介と補足説明」を読み返し復習する	小テスト・講義・ 討議(オンデマ ンド型)	三浦
7	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論と支援④： 危機理論 事前学修：[30 分] 教科書 82～84 頁を読み「危機理論」についてまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料とフィードバック資料「感想・意見の紹介と補足説明」を読み返し復習する	小テスト・講義・ 演習(オンデマ ンド型)	三浦
8	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論と支援⑤： 意思決定、セルフケア、セルフケア能力 事前学修：[30 分] 教科書 123-125 頁を読み、意思決定やセルフケアの特徴をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料とフィードバック資料「感想・意見の紹介と補足説明」を読み返し復習する	小テスト・講義・ 演習(オンデマ ンド型)	本庄

■ 教科書

1. 黒田裕子編集(2011). 成人看護学 第2版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

1. 本庄恵子監修(2015). セルフケア看護. ライフサポート社.
 2. 本庄恵子総監修(2018). セルフケア支援ガイド. ライフサポート社
- その他の参考資料については、随時、紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業の中で検討した内容や授業に関する感想・意見を提出してもらい、2週間以内に、Glexa 内でフィードバックする。小テストのフィードバックは、小テスト後 2 週間以内に、Glexa 内に提示する。
 定期試験のフィードバックは、試験終了後に、Glexa 内に提示する。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰの授業を復習しておくこと。
 2 年次の授業「慢性期ケア」「急性期ケア」と関連が深い科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(提出資料：事前課題・感想など)：
30 % (自己学習課題 1・2：10 点×2 題、感想・意見：2 点×5 回)
2. 小テスト：30%(6 点×5 回)
3. 定期試験：40 % (筆記試験)
 試験期間に Glexa 内で定期試験を行います。
 資料持ち込み可(授業資料を閲覧しながらの回答可)。
 試験問題は 20 問です(4 肢択一問題)。
 試験時間は 30 分で、1 回のみの回答とします。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：20～12：50。 本庄(442 研究室) 三浦(444 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

■ その他

HBDN201

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある
教員：－

○新田 真弓、加藤 千穂、井村 真澄、藤田 恵理子、千葉 真希、由利 紗織

■授業の目的

概論

女性の健康問題を身体的・精神的・社会的な観点から幅広く学習する。現在の女性の状況を理解し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方をもとに今後の女性のヘルスサービスやエンパワーメントについて考える。具体的には、女性と子どもの健康状態の国際比較、女性の性と生殖にかかわる解剖・生理、女性のライフサイクル、母子保健に関する法制度、生殖医療をめぐる倫理的問題等を取り上げ、女性と家族の健康支援に関する看護の役割を考える。

各論：妊娠期・分娩期

女性のライフサイクルの中で、周産期の女性と子ども、父親/パートナーとその家族を中心とした家族の健康に焦点をあて、対象の生理的、心理・社会的変化と生活への適応、健康逸脱時の援助を学習する。

■到達目標

概論

1. リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念について説明できる。
2. 女性の性と生殖にかかわる解剖と生理について説明できる。
3. 女性のライフサイクルを通じての健康問題と援助について説明できる。
4. 世界と日本の母子保健の動向について説明できる。
5. 母子保健関連法規と母子保健政策について説明できる。
6. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題について考察できる。
7. 特別な配慮が必要な女性・子ども・家族への援助のポイントを説明できる。

妊娠期

1. 妊娠の概念、妊娠の成立と維持機構について説明できる。
2. 胎児の成長発達とその健康状態に影響を及ぼす要因について説明できる。
3. 妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 妊娠期にある女性・子ども・父親/パートナーとその家族の看護について考察できる。

分娩期

1. 分娩の概念、分娩期の基本的用語、分娩機序について説明できる。
2. 分娩に伴う胎児、出生直後の新生児に及ぼす影響について説明できる。
3. 分娩に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 分娩期にある女性・子ども・父親/パートナーとその家族の看護について考察できる。

■学習の進め方

AL 1. 授業の展開：

講義や演習、討論を通じて、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、動画、手記、新聞記事、事例等を活用する。

また、リアクションシートを活用し、授業内の疑問や質問、感想などを記入、提出する。書かれた内容は次回授業時に紹介し、意見の共有や疑問の解決を図る能力を養う。

授業後半にチーム基盤型学習(Team Based Learning:以下TBL)を用いて、妊娠期・分娩期にある対象を理解するために学習した知識や技術を応用する能力を養う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション 概論： ・リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念 ・世界と日本の母子保健の動向 事前学修：[40分] 2年前期の発達学概論の授業内容のうち、人の成長と発達、子ども(思春期まで)の成長と発達について、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義を振り返り、世界から見た日本の母子保健の動向の特徴を整理する。	講義・討議	全員
2	概論：女性の性と生殖にかかわる解剖と生理 事前学修：[40分] 人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)の生殖と発生の内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] 性周期とその機序について復習する。	講義	新田

No	内容	形式	教員
3	概論：女性のライフサイクル各期の健康問題と援助 事前学修：[40 分] 発達看護学概論の授業内容(成人期・老年期の発達)についてノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業資料を振り返り、ライフサイクル各期の特徴に応じた援助を考える。	講義	新田
4	概論：日本の母子保健に関連する法律と政策 事前学修：[40 分] 母子保健に関連する法律を挙げ、その特徴をノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業資料を振り返り、日本の母子保健サービスの特徴を整理する。	講義・演習	新田
5	概論：特別な配慮が必要な女性・子ども・パートナーや家族への援助 リプロダクティブ・ヘルスと看護をめぐる倫理 事前学修：[30 分] 事前配布した資料を読み、現状の課題と改善方法をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業資料と討議内容を振り返る。	講義・演習・討議	新田
6	TBL ガイダンス・チーム結成 事例の紹介 事前学修：[30 分] 第 1～5 回(概論)のフィードバック資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] TBL の進め方と事前学習の方法、事例学習の進め方について確認する。	演習	全員
7	妊娠期： 妊娠の概念と妊娠の成立・維持機構、妊娠期の基本的用語 事前学修：[30 分] 第 6 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業資料と教科書の当該箇所を読み、妊娠の成立・機序について整理する。	講義	新田
8	妊娠期：胎児の成長と発達過程 事前学修：[30 分] 第 7 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、妊娠経過に伴う胎児の変化について整理する。	講義	新田
9	妊娠期：妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常 事前学修：[30 分] 第 8 回授業で配布した予習資料に示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業内容を振り返り、妊娠に伴う女性の変化や妊娠週数に応じた援助について考える。	講義	新田
10	TBL①妊娠期のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 9 回授業で配布した TBL に向けた予習資料に示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20 分] TBL で間違えた箇所を見直す。	演習	全員
11	分娩期： 分娩の概念と基本的用語、分娩の機序 事前学修：[30 分] 第 2 回授業資料から女性の骨盤および生殖器についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩に関連する用語や機序を整理する。	講義	加藤
12	分娩期：分娩期の胎児・出生直後の新生児 事前学修：[30 分] 第 11 回授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩による児への影響について整理する。	講義	加藤
13	分娩期：分娩位に伴う身体的変化、心理・社会的変化、生じやすい異常 事前学修：[30 分] 第 12 授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩経過に応じた援助について考える。	講義	加藤
14	TBL②分娩期のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 13 回授業で配布した TBL に向けた予習資料の課題についてノートにまとめる 事後学修：[20 分] TBL で間違えた問題を見直す。	演習	全員
15	妊娠期と分娩期のアセスメントとケア 事前学修：[60 分] 配布した看護過程ガイドを参照しながら、看護過程ノートの該当ページを記載する。 事後学修：[30 分] 授業内で取り組んだ看護過程ノート内の課題を見直し、追加・修正を行う。	演習	全員

■ 教科書

概論

授業資料を配付する。

妊娠期の看護・分娩期の看護

森恵美他(2016). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第13版 母性看護学2. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業中のリアクションシートは、内容をまとめ、次回授業時に紹介し、疑問を解決します。

定期試験は終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

2年前期の発達看護学概論で学んだ人の成長発達を理解しておくことが必要となります。

3年次前期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)と合わせて周産期一連の過程を学ぶことになります。

また、性と生殖にかかわる学習内容を扱うため、3年前期の看護援助学Ⅵで学ぶセクシュアリティは関連の強い科目となります。加えて発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(リアクションシート、TBL 個人・チーム得点を含む) 30%、筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

概論・妊娠期の看護・TBL・看護過程 授業開講日の12:30～12:50。新田研究室(451 研究室)

分娩期の看護・TBL 授業開講日の12:30～12:50。加藤研究室(433 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻3回で1回の欠席とみなします。

■ その他

HBDN250

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○加藤 千穂、新田 真弓、井村 真澄、藤田 恵理子、千葉 真希、由利 紗織

■ 授業の目的

女性のライフサイクルの中で、周産期の母親と子ども、父親/パートナーとその家族の健康に焦点をあて、対象の生理的、心理社会的変化と生活への適応、健康逸脱時の援助を学習する。リプロダクティブ・ヘルスと看護②では、産褥期・新生児期の対象理解とケアに焦点をあてる。

■ 到達目標

1. 産褥期・新生児期の看護の概念・意義について説明できる。
2. 産褥期・新生児期の生理的・心理社会的変化について説明できる。
3. 新生児の健康と生理的変化・適応状態の把握に必要な看護技術を理解できる。
4. 産褥期の健康と産褥経過の把握に必要な看護技術を理解できる。
5. 産褥早期の産褥と新生児の生活を理解し、産褥や新生児への健康支援について説明できる。
6. 地域における育児支援について考察できる。
7. 事例の看護過程を展開し、周産期における母親と子ども、父親/パートナーとその家族の特性や経時的な変化のアセスメントおよび全体像の把握、対象に合わせた看護計画の立案ができる。
8. 特別な支援を必要とする妊産褥婦と新生児への支援について考察できる。

■ 学習の進め方

4 月自宅学習課題

課題1：2年次に配布した「看護過程ノート」の妊娠期・分娩期の情報とアセスメントまで記載する(発達看護学Ⅰ①の授業資料、看護過程ガイド参照)看護過程ノート p6-7 産褥期・新生児の情報を読み、タイコさんとイクラちゃんの状況を理解しておく。

課題2：教科書 p308-329 を読み、産褥期の定義、退行性変化、進行性変化の要点をまとめる。教科書 p254-264 を読み、新生児の定義、出生体重や在胎週数を基準とした新生児の呼び方/体格/姿勢についてまとめる。※ A4 レポート 2 枚程度

1. 講義：授業の目的および到達目標を理解して、講義を視聴し課題に取り組む。
2. 課題提出：講義資料に基づき、講義を視聴後、指定された期限までに提出する。
3. 事前事後学修：各講義で提示される資料を用いて、主体的に補う。

【講義配信、課題、資料等の公開】

1. 講義資料、小テスト、リアクションシートは、Glexa 講義日(5/15～毎週金曜日) 9:00 ごろまでにアップロードされる。各自ダウンロードして受講する。
2. 各授業は、時間割通りの受講でなくてもよいが、出席期間内(出席の取り方参照)に小テスト・リアクションシートが提出できるように各自で受講をする。
3. 講義内容、講義資料の提示等の公開期間は、令和2年度前期期間中とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題	自宅学習	新田・加藤
2	自宅学習課題	自宅学習	新田・加藤
3	自宅学習課題	自宅学習	新田・加藤
4	自宅学習課題	自宅学習	新田・加藤
5	コースオリエンテーション／『ご安産一座』動画視聴 事前学修：[30 分] 発達看護学Ⅰ①の授業資料、看護過程ノートを読み返し、『ご安産一座』での情報収集項目を考える。 事後学修：[30 分] 看護過程ノート p.3 に情報収集内容を記載し、分娩経過のアセスメントをまとめる。	オンデマンド型	加藤
6	産褥期・新生児期の概念／産褥期・新生児期の看護と役割 事前学修：[30 分] 産褥期・新生児期の概念について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート p.4 の母子経過記録に必要な情報を記載する。	オンデマンド型	加藤
7	新生児の正常経過 事前学修：[30 分] 新生児の正常経過について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙に必要な情報を記載する。	オンデマンド型	加藤

No	内容	形式	教員
8	新生児の健康逸脱と看護 事前学修：[30 分] 新生児の健康逸脱について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙に必要な情報を記載する。	オンデマンド型	加藤
9	褥瘡の正常経過／健康逸脱と看護 事前学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、不足情報項目を整理してノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	オンデマンド型	加藤
10	母子の生活と健康支援；入院中の母子・子どもの誕生と家族 事前学修：[30 分] 入院中の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	オンデマンド型	加藤
11	母子の生活と健康支援；退院後の母子・家族 事前学修：[30 分] 退院後の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	オンデマンド型	加藤
12	特別な配慮を要する母子への支援① 事前学修：[30 分] 特別な配慮を要するとは何を指しているのか、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	オンデマンド型	加藤
13	特別な配慮を要する母子への支援② 事前学修：[30 分] 特別な配慮を要するとは何を指しているのか、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	オンデマンド型	加藤
14	事例の全体像・看護計画立案 事前学修：[30 分] 看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する上で、分からないことをノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ノート pp.9-10 の全体像の追加修正をし、看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する。	オンデマンド型	加藤
15	特別講義『母乳育児』 事前学修：[30 分] 母乳育児の概念について調べノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	オンデマンド型	井村

■ 教科書

①森恵美他(2016). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 13 版 母性看護学 2. 医学書院.

②平澤美恵子・村上睦子(2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス [Web 動画付] 褥瘡・新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう！. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

随時 Glexa クラス内で提示する。

■ フィードバックの仕方

原則、課題提出後の 1 週間後に Glexa 内にてコメントを示す。

■ 他の授業科目との関連

2 年次後期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)から引き続いている科目です。

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期を一連の過程として捉えることが重要となります。

この科目は発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件になる。

4 月自己学修課題を含む、各講義の小テスト、看護過程の事例・講義中に提示される課題によって評価する(課題内容 90 %、参加度 10 %：リアクションシートの内容、教材の閲覧)

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間内および、指定された課題提出までの期間中にメール(加藤:c-kato@redcross.ac.jp)で行う。

■ 受講上の注意事項

【出席の取り方】

Glexa 内に示されている小テスト・リアクションシートを、下記の期間に指定の方法、場所に提出することで出席とする。

1. 出席：講義予定日(毎週金曜日)の翌週の土曜日 23：59（8日後）までに小テスト・リアクションシートを提出する。
2. 遅刻：提出期限(土曜日 23：59)の翌日(日曜日) 0：00～23：59 に課題を提出した場合
3. 欠席：遅刻にあたる日時以降に課題を提出した場合
4. 遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

■ その他

HBDN300

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子

■授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。

■到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開

講義と討論を通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／子どもの急性期症状と看護(1)発熱 事前学修：[30分]「発達看護学概論」で学んだ内容を復習し、授業に臨む 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	全員/山内
2	子どもの急性期症状と看護(2)嘔吐・下痢 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	山内
3	子どもの急性期症状と看護(3)脱水 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	山内
4	子どもの急性期症状と看護(4)呼吸困難 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	山内
5	外来における看護 事前学修：[20分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[20分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	江本
6	入院している子どもと家族 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	江本
7	子どもの痛み 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	山内
8	けいれん・乳幼児突然死症候群 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	神谷
9	虐待と社会的養護 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	江本
10	子どもの権利 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	江本
11	生活習慣の自立と健康教育 事前学修：[30分]教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30分]授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	神谷

No	内容	形式	教員
12	子どもの感染症 事前学修：[30 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	未定
13	子どもの事故と救急 事前学修：[30 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	未定
14	慢性状態にある子どもと家族 事前学修：[30 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	神谷
15	隔離と活動制限 事前学修：[30 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・討論	神谷

■ 教科書

- ①筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
 ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■ 参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
 その他、随時授業で資料を配付する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施直後もしくは試験期間に解答の解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 定期試験 85%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～12:50 に各講義担当者の研究室で受け付ける。
 江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 神谷(441 研究室) 未定(研究室) 未定(研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
 既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

■ その他

HBDN251

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」擁護 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子

■ 授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族に対する私たちの役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面から考える。

■ 到達目標

1. 疾患や障がいもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 日本と世界の母子保健の動向を捉えることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開
・ Glexa 上に示す事前学修、講義(資料)と事後学修を通して理解を深める。
2. 参考資料の提示
・ 授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または Glexa 上の各講義(資料)に参考資料等を記す。
・ 各授業は、Glexa 発達看護学Ⅱ②のクラス(A クラスは 1M0601、B クラスは 1M0602)に講義日の 0:00 にアップロードされる。
・ 各授業は時間割通りの受講でなくてもよいが、出席期間内に課題が提出できるように各自で受講をする。
・ 講義(資料)等の公開期間は、令和2年度前期期間中とする。

【4月自宅学習課題】

子どもの病気(どのような病気や障害でも構わない)にまつわる記事を新聞の記事またはインターネットニュースで検索したものから一つ取り上げ、その記事の内容を述べるとともに、記事をふまえて子どもと家族への看護について考えたことを A4 サイズ2枚以内に記述する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
2	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
3	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
4	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
5	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
6	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
7	オリエンテーション／先天性の疾患を持つ子どもと家族(1) 事前学修：[30 分] WEB シラバスを読み、授業の目的・学習内容を把握する 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	神谷
8	先天性の疾患をもつ子どもと家族(2) 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	神谷

No	内容	形式	教員
9	先天性の疾患をもつ子どもと家族(3)と手術を受ける子どもと家族 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	神谷
10	障がいを持つ子どもと家族、在宅療養をする子どもと家族の看護 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	神谷
11	川崎病 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	山内
12	小児がんの子どもと家族 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型 と同時双方向型のミックス	山内
13	子どもの死 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型 と同時双方向型のミックス	山内
14	災害におけるこどもと家族の看護と子どもの心のケア 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	江本
15	小児保健(予防接種含む)／子どもと家族の健康に関する私たちの役割と課題 事前学修：[30 分] 該当する教科書の章やインターネットで公開されているガイドライン等を読み、ノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返して、ノートにまとめる	オンデマンド型	江本・鈴木

■ 教科書

・筒井真優美監修(2018)．小児看護学 第 8 版．日総研出版．

・筒井真優美監修(2017)．パーフェクト臨床実習ガイド小児看護 第 2 版．照林社．

※上記教科書が手元にない時の学修方法について

上記教科書は昨年度からの継続教科書である。手元に指定の教科書がなくても学修および課題に取り組めるように工夫して提示する。

■ 参考書、参考資料等

・ユニセフ協会著．子どもの権利条約カードブック．日本ユニセフ協会．

その他、随時授業で資料等を提示する。

■ フィードバックの仕方

・事前学修のフィードバックは講義(資料)を通じて行う。

・各回講義で行う小テストのフィードバックは 15 回の講義終了後に Glexa 上で解答と解説を行う。

・レポートのフィードバックは、全体を包括して提出期限後に Glexa 上のコンテンツ内で行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①」に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 自宅学習課題 10% 3. レポート 25% 4. 各回に行われる小テスト 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中に各授業担当者が E-mail で受け付ける。

江本 リナ emoto@redcross.ac.jp

山内 朋子 t-yamauchi@redcross.ac.jp

神谷 美帆 m-kamiya@redcross.ac.jp

鈴木 健太 k-suzuki@redcross.ac.jp

柴田 純子 j-shibata@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。
- ・ 出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件である。
- ・ 各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなす。

■ その他

HBDN301

発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○坂口 千鶴、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子

■ 授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある人とその家族を対象に、その人の生きてきた過程における顕在的・潜在的な能力が最大限に発揮されるよう看護のあり方について学ぶ。

■ 到達目標

1. 看護学における老い(Aging)の捉え方について説明できる。
2. 老年期にある人の健康と障害について説明できる。
3. 老年期にある人の価値観や信念を尊重する意味について説明できる。
4. 老年期にある人とその家族の関係性について説明できる。
5. 老年期にある人がおかれている日本の保健医療福祉システムについて説明できる。

■ 学習の進め方

AL 授業の前半は講義形式で行うが、後半は学生の疑問や意見を中心に学生間で討論できる時間を設定する。その際、高齢者が生きてきた過程、家族関係、社会的背景等についてリアルに学べる教材(映画、書籍、事例等)を用いる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション/老い(Aging)とは 事前学修：[30分] 教科書 p.7～11, 25～27 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
2	老年看護学における老年期の捉え方 事前学修：[30分] 教科書 p.27～30 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
3	老年期の健康と生活援助(1)－老年期における健康と生きがい－ 事前学修：[30分] 教科書 p.12～16, p.30～32 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
4	老年期の健康と生活援助(2)－パターンとしての生活行動と健康維持・増進①－ 事前学修：[30分] 教科書 p.16～21, p.32～35 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
5	老年期の健康と生活援助(3)－パターンとしての生活行動と健康維持・増進②－ 事前学修：[30分] 教科書 p.22～24, p.199～207 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
6	老年期看護学における倫理的課題(1)－高齢者の尊厳と意思決定－ 事前学修：[30分] 教科書 p.35～43 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
7	老年看護学における倫理的課題(2)－高齢者の終末期ケア－ 事前学修：[30分] 教科書 p.207～214 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口

No	内容	形式	教員
8	高齢者を取り巻く家族への看護(1)－高齢者の健康障害が家族に及ぼす影響と家族支援－ 事前学修：[30分] 教科書 p.269～287 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	太田
9	高齢者を取り巻く家族への看護(2)－高齢者を看取る家族への支援－ 事前学修：[30分] 教科書 p.287～292 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	坂口
10	高齢者を支える保健医療福祉制度(1)－医療保険制度と高齢者ケア－ 事前学修：[30分] 教科書 p.293～300 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	未定
11	高齢者を支える保健医療福祉制度(2)－介護保険制度と高齢者ケア－ 事前学修：[30分] 教科書 p.301～312 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	渡邊
12	医療を受ける高齢者への看護(1)－受療形態に講じた高齢者の看護－ 事前学修：[30分] 教科書 p.223～233 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	清田
13	医療を受ける高齢者への看護(2)－医療機関における慢性期にある高齢者の看護－ 事前学修：[30分] 教科書 p.313～316 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	清田
14	介護保険施設に暮らす高齢者の看護 事前学修：[30分] 教科書 p.316～319 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	渡邊
15	在宅高齢者の看護 事前学修：[30分] 教科書 p.321～329 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	未定

■ 教科書

川島みどり監修(2010). 老年看護学. 看護の科学社.

■ 参考書、参考資料等

参考資料については随時授業内で配布する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。レポートのフィードバックは、次年度前期科目の発達看護学Ⅲ②の第1回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、3年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、この科目をもとに、3年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)②の授業では、より具体的な看護実践について学ぶ。

■ 成績評価の仕方

1. 授業参加度 15 % 2. レポート 25 % 3. 筆記試験 60 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30～13:00 坂口(414 研究室)、清田(431 研究室)、松島・未定(450 研究室)

■ その他

HBDN252

発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○千葉 京子、坂口 千鶴、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子

■ 授業の目的

老年期にある人の加齢や疾患により生じた健康障害について理解し、老年期にある人がそれぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるための看護のあり方について考える。

■ 到達目標

1. 老年期にある人の加齢や疾患の特徴について説明できる。
2. 老年期にある人の加齢や疾患による変化について説明できる。
3. 老年期にある人が自らの健康を目指すうえでの障害について説明できる。
4. 老年期にある人の価値・信念について理解でき、抱えている倫理的課題について説明できる。
5. 老年期にある人の意思決定に基づいた実現可能な目標を設定し、生活の維持・再構成が行われるよう看護のあり方を説明できる。

■ 学習の進め方

遠隔授業による講義を行う。

1. 授業の展開：全 15 回のうち、1～8 回は自宅学修課題に取り組む。
2. 9～15 回の授業は、講義日 0：00 に公開される。
3. 9～15 回は講義を視聴し、その内容に関する疑問・意見・感想を 3 つ、学修用紙に記入し提出する。学修用紙の提出は、7 月 2 日(木) 23：59 までとする。
4. 9 回の講義でペーパーペイシエントとアセスメント記録用紙を提示する。各講義に沿って提示されるアセスメント項目について分析をすすめ、アセスメント記録用紙を作成する。アセスメント記録用紙の提出は、最終講義日の 1 週間後となる 7 月 2 日(木)23：59 までとする。

※教科書が手元にある学生は、事前学修として該当頁を読む。

【自宅学修課題】

- ①高齢者が呼吸器感染症を発症した場合、高齢者の特徴をふまえてのアセスメントの留意点と援助について記述する。
- ②上記の呼吸器感染症に対する予防として、清潔行動を促進する意義と教育を記述する。
- ①と②について A 4 用紙 2 枚程度にまとめる。

※出席の取り方

1. 1～8 回：自宅学修課題をディレクトリ「4月自宅学修課題」への提出をもって出席とみなす。
2. 9～15 回：講義を視聴後、学修用紙に講義内容に関する疑問・意見・感想を 3 つ記入、その提出をもって出席とする。学修用紙の提出期間は 7 月 2 日(木) 23:59 までとする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
2	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
3	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
4	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
5	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
6	自宅学修課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員

No	内容	形式	教員
7	自宅学修課題 Glaxa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
8	自宅学修課題 Glaxa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学修	老年看護学全教員
9	高齢者の生活と看護＜食べる・飲む＞(教科書範囲 45-63 頁) 高齢者の生活と看護＜排泄する＞(教科書範囲 63-78 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	千葉
10	高齢者の生活と看護＜感じる＞(教科書範囲 123-135 頁) 高齢者の生活と看護＜コミュニケーションする＞(教科書範囲 157-169 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	千葉
11	高齢者の生活と看護＜理解する＞(教科書範囲 135-156 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	千葉
12	高齢者の生活と看護＜活動する＞(教科書範囲 79-94 頁) 高齢者の生活と看護＜清潔を保持する＞(教科書範囲 179-191 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	池田・松島
13	高齢者の生活と看護＜動く・休む＞(教科書範囲 94-122 頁) 高齢者の生活と看護＜安全を維持する＞(教科書範囲 170-179 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	清田
14	医療を受ける高齢者への看護＜手術・リハビリテーション＞(教科書範囲 240-267 頁) 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型	坂口
15	医療を受ける高齢者への看護＜薬物療法＞(教科書範囲 233-240 頁) 高齢者の生活と看護＜セクシュアリティ＞(教科書範囲 192-199 頁) まとめ 事前学修：[40 分] 教科書が手元にあれば該当頁を読む 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	老年看護学全教員

■ 教科書

川嶋みどり監修 (2015). 老年看護学. 改訂版. 看護の科学社.

■ 参考書、参考資料等

参考図書は講義資料にて紹介する。

■ フィードバックの仕方

Glaxa にて実施した試験のフィードバックは、試験終了後に解説資料を Glaxa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

本授業は 3 年次の発達看護学実習Ⅲ(老年期の看護)[レベルⅢ] の履修要件となっている。

2 年次前期開講の「発達看護学概論」および後期開講の「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①」で学んだ内容に基づき展開する。

3 年次前期開講の「健康レベル別看護学演習Ⅱ」では、本授業で学んだ知識をもとに高齢者への看護技術を演習する。

■ 成績評価の仕方

1. 自宅学修課題 16 % (2 % × 8 回)
2. 学修用紙に記述した 3 つの疑問・意見・感想 14 % (2 % × 7 回)
3. アセスメント記録 20 %
4. 試験(選択問題・記述問題) 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

各回の講義終了後～翌週木曜日 23 : 59 までに、担当教員に質問メールを送信する。

千葉 chiba.redcross.ac.jp 坂口 c.sakaguchi@redcross.ac.jp

清田 a-kiyota@redcross.ac.jp 松島 f-matsushima@redcross.ac.jp

池田 m-ikeda@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

学修してきた知識や経験を活かし、授業に積極的に参加すること。

■ その他

HBDN302

プライマリーヘルスケア

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある教員：－

○石田 千絵、井口 理

■ 授業の目的

看護専門職としてプライマリーヘルスケアの概念を学んだうえで、在宅療養者・家族の特性と看護ニーズを理解し、在宅療養者を支える看護や地域包括ケアシステムの基本を学ぶ。

■ 到達目標

1. プライマリーヘルスケアの概念を説明できる。
2. 在宅療養者・家族の特性と看護ニーズについて説明できる。
3. 在宅療養者を支える訪問看護師と多職種の役割を理解できる。
4. 在宅療養を支える地域包括ケアシステムについて説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	プライマリーヘルスケアと在宅看護の社会背景・概要 事前学修：[15 分] プライマリーヘルスケアの概念について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
2	在宅療養を支える看護① 脳血管障害・リハビリと地域包括ケアシステム 事前学修：[15 分] 自宅改修と福祉用具について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
3	在宅療養を支える看護② 小児、難病・障がい 事前学修：[15 分] 家族看護の概要について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
4	在宅療養を支える看護③ 精神疾患 事前学修：[15 分] べてるの家の概要を調べて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
5	在宅療養を支える看護④ 訪問看護の魅力 事前学修：[15 分] 訪問看護の成立要件について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
6	在宅療養を支える看護⑤ 認知症、プライマリーヘルスケアと地域包括ケアシステム 事前学修：[15 分] 新オレンジプランについて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
7	在宅療養を支える看護⑥ 老衰・がんの終末期 事前学修：[15 分] がんのトータルペインについて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田、井口
8	在宅療養を支える看護⑦ 在宅における看護過程 事前学修：[15 分] 「自分らしさ」について考え、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義・演習	石田、井口

■ 教科書

1. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア、メディカ出版(最新版)
2. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術、メディカ出版(最新版)

■ 参考書、参考資料等

鈴木和子 渡辺裕子：家族看護学 日本看護協会出版会(最新版)
その他、適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験後に解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

3 年次以降の在宅看護学では本科目の知識が基礎となる。保健師教育課程を選択した場合には、訪問看護師との地域連携において重要な

関連科目となる。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、定期試験(80%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-13:00 石田(432 研究室)井口(〇〇研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. 試験はマークシート方式とする。(変更の際は、事前に伝える)。

■ その他

HBHN250

慢性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：－

○住谷 ゆかり、田中 孝美、本庄 恵子、工藤 有希、池田 圭子、河田 照絵

■ 授業の目的

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解するための概念について学ぶ。
2. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解し、慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて学ぶ。
3. 慢性疾患の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を理解し、長期にわたり様々な療養法を行っていく人々への看護の実践について理解を深める。

■ 到達目標

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて説明できる。
3. 慢性疾患をもつ人の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を説明できる。
4. 長期にわたり様々な療養法を行っていく慢性疾患をもつ人への看護支援について説明できる。
5. 慢性疾患をもちながら生きる人への看護支援を考察することができる。

■ 学習の進め方

AL

- ・教科書と配布資料に基づいた講義を通して、基礎的な知識を学修する。
- ・事例検討や実習体験等を学生間で共有することを通して、病いとともに生活する人々の立場に近づき、必要な看護ケアへの理解を深める。
- ・小テストの実施により、理解度を確認する。また、小テスト終了後は教科書、配布資料、参考資料、小テストの解説等を通して、知識を定着させる。
- ・授業終了後は授業の感想や意見、質問等を所定の用紙に記入して、授業内容の振り返りを行う。さらに、感想や意見、質問等に対する教員からのフィードバックを通して、学修を深める。

【授業の展開】

- ・Glexa を活用したオンデマンド型の授業とする。
- ・授業は、Glexa の各回に保存されているコンテンツを、必ず閲覧すること。
- ・第 4～13 回では小テストを実施する。
- ・各授業における課題や感想、意見等を期日までに提出することで「出席」とみなす。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア 糖尿病の病態生理、主な治療(食事療法、運動療法、薬物療法)、糖尿病をもつ人への看護について 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	住谷
2	内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア 糖尿病の病態生理、主な治療(食事療法、運動療法、薬物療法)、糖尿病をもつ人への看護について 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	住谷
3	消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア① クローン病及び潰瘍性大腸炎の病態の違いを踏まえた看護について 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	工藤
4	慢性疾患をもちながら生きるということ(病みの軌跡とケア) 内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 課題学修課題 1 で提示した内容 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	住谷
5	消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45 分] 課題学修課題 2 で提示した内容、教科書 258-287、293-304 ページを読み、消化器系機能障害、肝・膵機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	工藤

No	内容	形式	教員
6	造血器腫瘍をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 造血器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 346-351 ページを読み、防御機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	工藤
7	呼吸器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 呼吸器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 196-219 ページを読み、呼吸器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	工藤
8	運動器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 運動器系、自己免疫系の解剖生理や病態について復習する。教科書 410-446 ページを読み、運動機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	河田
9	循環器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 循環器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 220-257 ページを読み、循環器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	住谷
10	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45 分] 脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	田中
11	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45 分] 脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	田中
12	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 腎・泌尿器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 447-497 ページを読み、腎・尿路系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	池田
13	慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、慢性期に特徴的な概念や理念についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	田中
14	慢性疾患と共に生きる人の療養法と特徴 慢性期ケアとは 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、慢性疾患をもつ人の特徴や慢性期の捉え方についてノートにまとめる。 事後学修：[45 分] Glexa 内に提示する事後課題に取り組む。	オンデマンド型	本庄
15	慢性期ケアのまとめ 事前学修：[45 分] 各授業の資料やテキスト、フィードバック資料を読み返す。 事後学修：[45 分] 各授業の資料やテキスト、フィードバック資料を活用しながら復習する。	オンデマンド型	住谷・田中・本庄・工藤・池田・河田

■ 教科書

黒田裕子編(2013). 成人看護学(第 2 版). 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

1 年次の人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅳの教科書。他は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・授業内での学びや感想、意見を提出してもらい、授業後に資料等を通して個別もしくは全体にフィードバックする。
- ・小テストは、授業後に資料等を用いて解説を行う。
- ・定期試験は、試験終了後に資料等を用いて解説を行う。

※基本的に授業後 2 週間以内に Glexa を通して行う。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

発達看護学(成人期の看護)、急性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

- ・ 授業への取り組み(事前/事後課題・感想等の提出): 30 %
(第 1・2 回(事前課題): 4 点× 2 題、第 4~14 回(事後課題、感想など): 2 点× 11 回)
- ・ 小テスト: 30 %
(第 4~13 回: 3 点× 10 回)
- ・ 定期試験: 40 %(筆記試験、状況によっては、課題レポート)

注意: 2 / 3 以上の出席がないと定期試験受験資格はない

※ Glexa 内の得点は、あくまで参考得点であり、成績評価は上記を踏まえて総合的に判定する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講期間内に Glexa を通して適宜対応します。

住谷(442 研究室)、河田(446 研究室)、田中(449 研究室)、本庄(442 研究室)、工藤・池田(421 研究室)

■ 受講上の注意事項

Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡をしてください。

■ その他

HBHN200

急性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：－

○三浦 英恵、林 宗博、桐原 あずみ、池田 圭子、河田 照絵

■ 授業の目的

様々な疾患により侵襲的治療や検査を受ける人とその家族を援助するために、生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護支援方法について理解する。

■ 到達目標

1. 急激な身体侵襲を受けて急性期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 急性期にある人と家族の生命の維持・回復の促進に必要な看護の基礎的知識について説明できる。
3. 急性期にある人とその家族の回復過程に応じた看護支援を考案できる。

■ 学習の進め方

AL

- ・ Glexa を用いたオンデマンド型の授業を通して学修する。
 - ・ Glexa の急性期ケアの各ディレクトリにある教材に基づき、受講する。各ディレクトリの受講期間は 1 週間とする。
 - ・ ディレクトリによって、事前テストがある場合もあるが、学修を深めるために設定されたものであり、成績評価するものではない。
 - ・ 以上を通じて、様々な疾患を持ち様々な治療(手術等)を受ける患者と家族への理解、患者に必要な看護ケアへの理解を深める。
 - ・ 課題の提出や事後テストに取り組み、知識を定着させる。
 - ・ 各ディレクトリで出された質問や感想の紹介、補足説明などは、授業日から 2 週間以内に Glexa 内に提示する。
- これらを通して、授業内容の振り返りを行い、学修を深める。

★ Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	インターネット学習「ナースングチャンネル」にある周手術期看護の「術前編」「術中編」「術後編」を視聴する。①術前、術中、術後看護についてまとめ、②術後合併症を予防するためにできるケアについて考える。①②について、A4 用紙 3～5 枚程度で記述する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	河田
2	インターネット学習「ナースングチャンネル」にある周手術期看護の「術前編」「術中編」「術後編」を視聴する。①術前、術中、術後看護についてまとめ、②術後合併症を予防するためにできるケアについて考える。①②について、A4 用紙 3～5 枚程度で記述する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	河田
3	インターネット学習「ナースングチャンネル」にある周手術期看護の「術前編」「術中編」「術後編」を視聴する。①術前、術中、術後看護についてまとめ、②術後合併症を予防するためにできるケアについて考える。①②について、A4 用紙 3～5 枚程度で記述する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	河田
4	救急医療の実際 侵襲(外傷・感染症)やショックの病態・観察・治療管理、 救急医療の現況と急性期医療から医療全体の流れ 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	林・三浦
5	周手術期ケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題、事前テストに取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	河田
6	化学療法・放射線治療を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	池田
7	呼吸器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	桐原

No	内容	形式	教員
8	腎・泌尿器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	池田
9	生殖器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	桐原
10	消化器系の手術を受ける患者へのケア① 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	桐原
11	消化器系の手術を受ける患者へのケア② 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	桐原
12	循環器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	三浦
13	運動器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	三浦
14	脳神経系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] Glexa 内に提示する課題に取り組む 事後学修：[45 分] 配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する	オンデマンド型	三浦
15	急性期ケアのまとめ 事前学修：[45 分] 各授業の資料を読み返す。 事後学修：[45 分] 各授業の資料やフィードバック資料を活用しながら復習する。わからないことは Glexa の Board を活用しフィードバックを得る。	オンデマンド型	三浦・河田・桐原・池田

■ 教科書

黒田裕子編(2013). 成人看護学(第2版). 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

坂井建雄・岡田隆夫(2018). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(第10版). 医学書院.
その他、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

各クラス(回)で出された質問や感想の紹介、補足説明などは、授業日から2週間以内に Glexa 内に提示する。定期試験に関する解説、フィードバックは定期試験終了後に Glexa 内で提示する。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。

また、発達看護学(成人期の看護)、慢性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：60 %

自宅学習課題(7 点)

各クラス(回)での課題の提出や事後テスト(5 点× 10 回 = 50 点:林先生の回を除く)

感想・質問の提出(3 点：林先生)

2. 定期試験：40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：20～12：50。

三浦(444 研究室) 河田(446 研究室) 桐原(445 研究室) 池田(421 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

■ その他

HBHN201

緩和・終末期ケア

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある
教員：－

○吉田 みつ子、田中 孝美

■ 授業の目的

緩和ケア(パリアティブ・ケア)、終末期(エンド・オブ・ライフ)ケアに関する諸概念・諸課題について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

■ 到達目標

1. 緩和ケアに関わる諸概念等、援助の基本的な考え方などの知識を学び実践につなげることができる。
2. がん、慢性疾患等によって、患者や家族が抱える問題や苦痛について理解を深め、緩和ケア、終末期ケアの必要性を具体的な事例を通して、学ぶことができる。
3. 人間の尊厳と権利擁護、倫理的問題など、現代的な諸課題に対する看護実践のあり方や看護の役割などを考察することができる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「緩和・終末期ケア」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。教科書は生協に注文できます。授業内容を深めるために、購入することを勧めます。アプリをダウンロードし、ページにかざすと動画もみることができます。
5. 提示された課題(クイズへの回答や授業感想の提出)に取り組みます。
6. クイズへの回答、感想の提出は授業日から 2 週間以内に行ってください。2 週間を過ぎた場合、クイズに回答したり、課題を提出しても出席扱いにならないことがありますので、注意してください。
7. 教員は、課題提出を確認し、2 週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	https://www.dipex-j.org/ の乳がんの語り、前立腺がんの語り、慢性の痛みの語りの中からどの患者さんの語りでもよいので視聴し、あなた自身が考えたことについて、A 4 用紙 1～2 枚以内にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・田中
2	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・田中
3	同上 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉田・田中
4	概論、がん疾患の身体症状・精神症状と看護 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問を書き込んでください。	オンデマンド型	吉田
5	心理社会的側面のケア、スピリチュアルケア 意思決定支援とコミュニケーション 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問を書き込んでください。	オンデマンド型	吉田
6	家族ケア・遺族ケア 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問を書き込んでください。	オンデマンド型	吉田
7	非がん疾患の緩和ケア 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問を書き込んでください。	オンデマンド型	田中
8	在宅緩和ケア 事前学修：[30 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] 受講後に、感想・質問を書き込んでください。	オンデマンド型	田中

■教科書

ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケア 宮下光令編. メディカ出版. 2018.

■参考書、参考資料等

各回の授業時に紹介する

■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、二週間以内に Glexa ページでコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■他の授業科目との関連

4 年次総合実習において、緩和ケア領域の実習を希望する学生は必ず履修すること。

■成績評価の仕方

課題への取り組み：75 % (75 点 15 点 × 5 回) 確認テスト：25 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00：吉田・田中

■受講上の注意事項

この科目は、看護師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

■その他

HBHN301

健康レベル別看護学演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○住谷 ゆかり、三浦 英恵、田中 孝美、桐原 あずみ、河田 照絵、工藤 有希、吉良 理絵、池田 圭子、鬼頭 幸子、遠山 義人

■授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

■到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。
5. モニター心電図測定、12誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。

■学習の進め方

AL

1. 事前学習をふまえた授業の展開：オリエンテーションで提示する事前課題について、自己学習を行っていることを前提に授業をすすめる。重要なポイントを確認しながら理解を深めること。
2. 技術演習：患者および看護師それぞれの立場でケアを実施し、互いにフィードバックすることで理解を深める。
3. 自己学習：援助技術は自らの習得状況を把握し自己学習によって主体的に補うこと。オフィスアワーを活用する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・事前課題 事前学修：[60分] シラバスのスケジュールを確認し、各演習で学習する内容について教科書を読み、技術演習に必要な既習の知識をノートにまとめる 事後学修：[60分] 各演習内容の事前学習課題、指定図書・参考 VTR を確認し、学習に必要な資料を確認し、今後の演習に備える	講義等	担当者全員
2	輸液療法① 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 65-90 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
3	輸液療法② 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 65-90 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
4	輸液療法③(中心静脈注射等) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 91-104 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
5	術後ケア①(ドレッシング、ドレーン管理等) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 144-182 ページと付属 DVD を見て、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
6	術後ケア②(術後の観察等) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 183-192 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
7	術後ケア③(早期離床等) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 183-192 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
8	経管栄養法・血糖管理法・心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 163-186 ページ、② 97-126 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
9	経管栄養法・血糖管理法・心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 163-186 ページ、② 97-126 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
10	経管栄養法・血糖管理法・心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 163-186 ページ、② 97-126 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
11	経管栄養法・血糖管理法・心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 163-186 ページ、② 97-126 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
12	事例を用いた技術の実践① 事前学修：[60 分] 各演習内容について予習・復習したノートを読み返してのぞむ 事後学修：[60 分] 実施した演習項目について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する	演習	担当者全員
13	事例を用いた技術の実践② 事前学修：[60 分] 各演習内容について予習・復習したノートを読み返してのぞむ 事後学修：[60 分] 実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する	演習	担当者全員
14	呼吸器ケア(胸腔ドレーン) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 127-143 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員
15	呼吸器ケア(気管吸引法) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 50-62 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しながら事前学習課題をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する	演習	担当者全員

■ 教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2016)．写真でわかる臨床看護技術① アドバンス．インターメディカ．

本庄恵子・吉田みつ子監修(2016)．写真でわかる臨床看護技術② アドバンス．インターメディカ．

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修(2016)．写真でわかる基礎看護技術 アドバンス．インターメディカ．その他、適宜授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

1. 技術試験 40 % 2. 筆記試験 40 % 3. 授業への取り組み(看護師役・患者役の体験の共有・ディスカッション・振り返り等) 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。住谷(422 研究室) 河田(〇〇研究室) 田中(449 研究室) 三浦(444 研究室) 工藤・池田(421 研究室) 桐原(445 研究室)

適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので、是非活用してほしい。日時などの詳細は、授業で配布する資料を参照。

■ 受講上の注意事項

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

■ その他

HBHN251

健康レベル別看護学演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、加藤 千穂、千葉 真希、由利 紗織、藤田 恵理子、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子

■授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

■到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深めることができる。
2. 母性看護学：妊娠婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した摂食・嚥下ケア、移乗・移動動作と排泄ケアを実施できる。

■学習の進め方

1. 演習：授業の目的および到達目標を理解して、課題に取り組む。
2. 事前事後学修：援助技術は自らの修得状況を把握して、各領域で提示される資料を用いて、主体的に補う。

【課題・演習資料等の公開】

- ・各課題は、Glexa 健康レベル別看護学演習のクラス(A クラスは 1N0601、B クラスは 1N0602)に講義日(5月19日から毎週火曜日)0:00 にアップロードされる。
- ・各授業は時間割通りの受講でなくてもよいが、出席期間内に課題が提出できるように各自で受講をする。
- ・課題や演習資料等の公開期間は、令和2年度前期期間中とする。

【4月自宅学習課題】

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題をもつ人への看護援助を行うときに必要な具体的な配慮内容について、精神・母性・小児・老年の領域ごとに A4 用紙 1 枚程度にまとめる。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	健康レベル別看護学演習Ⅱ担当 教員全員
2	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	健康レベル別看護学演習Ⅱ担当 教員全員
3	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	健康レベル別看護学演習Ⅱ担当 教員全員
4	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	健康レベル別看護学演習Ⅱ担当 教員全員
5	小児看護学演習 事前学修：[30分] 小児オリエンテーション資料を読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	小児看護学担当 教員全員
6	老年看護学演習 事前学修：[30分] 老年オリエンテーション資料を読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	老年看護学担当 教員
7	小児看護学演習 事前学修：[30分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	小児看護学担当 教員全員
8	老年看護学演習 事前学修：[30分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	老年看護学担当 教員

No	内容	形式	教員
9	小児看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	小児看護学担当 教員全員
10	老年看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	老年看護学担当 教員
11	精神保健看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	精神保健看護学 担当教員全員
12	母性看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	母性看護学担当 教員全員
13	精神保健看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	精神保健看護学 担当教員全員
14	母性看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	母性看護学担当 教員全員
15	精神保健看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	精神保健看護学 担当教員全員
16	母性看護学演習 事前学修：[30 分] 事前に提示された資料を視聴もしくは読み、課題に取り組む準備をする 事後学修：[30 分] まとめた内容を読み返し、自己の課題を明確化する	オンデマンド型	母性看護学担当 教員全員

■ 教科書

領域毎に随時提示する。

精神保健看護学：武井麻子・小宮敬子他(2019)．系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学②精神看護の展開 第5版．医学書院．

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修(2020)．新訂版 写真でわかる母性看護技術 アドバンス．インターメディカル．

小児看護学：①筒井真優美監修(2018)．小児看護学 第8版．日総研出版．②筒井真優美監修(2017)．パーフェクト臨床実習ガイド

小児看護 第2版．照林社．

老年看護学：川嶋みどり監修(2015)．老年看護学 改訂版．看護の科学社．

■ 参考書、参考資料等

領域毎に随時提示する。

■ フィードバックの仕方

領域毎に提示された方法でフィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕と各発達看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

各領域 25%(演習への取り組み 10%、課題・レポート 15%)×4 領域 合計 100%

■ オフィスアワー・研究室等

健康レベル別看護学演習Ⅱ開講期間内および、指定された課題提出までの期間中に各演習担当者へ Email で行う。

■ 受講上の注意事項

- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や課題・資料の取得が済んだら速やかにログアウトすること。
- ・ 出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件である。
- ・ 各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなす。

■ その他

HBHN300

地域看護学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」連携 「2」実践 「3」関係 実務経験がある教員：－

○石田 千絵、吉川 悦子、月野木 ルミ、井口 理

■授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした地域看護における活動の場と看護職の役割を理解する。

■到達目標

1. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2. 看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
3. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
4. 諸外国の社会情勢と看護活動を理解し、考察することができる。

■学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康とは 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第5章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	石田
2	社会の変化と健康課題 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第4章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・演習	石田
3	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念① 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第1章、第10章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	吉川
4	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念② 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	月野木
5	地域看護活動の場と特性① 行政機関 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
6	地域看護活動の場と特性② 職域保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
7	地域看護活動の場と特性③ 学校保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
8	地域看護活動の場と特性④ 在宅療養 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
9	公衆衛生看護の対象① 母子保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
10	公衆衛生看護の対象② 成人保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	井口
11	公衆衛生看護の対象③ 高齢者保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	井口
12	公衆衛生看護の展開方法① 地域診断 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。授業で指定された宿題を実施する	講義・演習	月野木

No	内容	形式	教員
13	公衆衛生看護の展開方法② 施策化 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	月野木
14	国際協力と地域看護 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
15	健康危機管理 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田

■ 教科書

標美奈子他、標準保健師講座.1 公衆衛生看護学概論(第 5 版)医学書院 2019 年

■ 参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

2 年次以降で学習するプライマリーヘルスケア、在宅看護学など地域関連科目及び保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20 %)、定期試験(80 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50。

石田(432 研究室) 吉川(425 研究室) 月野木(433 研究室)井口(〇〇研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. 試験はマークシート方式とする(変更の際は、事前に伝える)。

■ その他

HBCH150

公衆衛生看護活動論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」実践 「3」連携 実務経験がある教員：－

○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子、井口 理、石田 千絵、

■ 授業の目的

あらゆるライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解する。

■ 到達目標

1. 母子、成人、高齢者、障害者(児)、精神、感染症など地域で生活する人々を対象とした保健活動とその活動を支える法的基盤について説明できる。
2. 地域の人々と協働して地域の健康課題を改善し、健康増進能力を高める保健師の支援について考えることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義のほか、資料や動画を利用し参加型学習を中心に展開し、知識と共に実践力を高める。
2. 参考資料の提示：学びを深められるよう、適宜参考資料や情報を提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：日本の公衆衛生看護活動の流れ 事前学修：[20分] 1年次の地域看護学の教科書や配布資料に目を通し、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	母子保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第1章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	月野木
3	母子保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	月野木
4	成人保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第2章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	湯浅
5	成人保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	湯浅
6	高齢者保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第3章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	井口
7	高齢者保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	井口
8	障害者(児)保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第5章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
9	障害者(児)保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川
10	精神保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第4章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川

No	内容	形式	教員
11	精神保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川
12	難病保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20 分] 教科書の第 6 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[20 分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	石田
13	難病保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	石田
14	感染症保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20 分] 教科書の第 7 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[20 分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	月野木
15	感染症保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	月野木

■教科書

中谷芳美、山口忍、奥野ひろみ他(2018)．標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動(第 4 版)医学書院.

■参考書、参考資料等

1. 厚生労働統計協会編、国民衛生の動向 2020/2021 年、厚生労働統計協会、2020、東京
2. 東京の母子保健(東京都福祉保健局)、URL http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/koho/tokyo_no_boshihoken.files/tokyonoboshihoken 発達看護学で使用した資料など。その他授業時に紹介する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後の解説講座を通じて、または、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて、採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はポータルで連絡するので希望者する場合は提示された時間に来ること。受講者人数によりいずれかの方法を選択するので、授業時間内にアナウンスする。

■他の授業科目との関連

この科目は保健師教育課程の選択必修科目であり、保健師教育課程の履修には、2 年次での単位修得が必要です。

■成績評価の仕方

1. 筆記試験 80 %
2. 授業への取り組み 20%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～12：50

吉川(425 研究室) 月野木(433 研究室)井口(4 ○研究室) 湯浅(445 研究室) 石田(432 研究室)

■受講上の注意事項

*この科目は保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

■その他

HBCH250

保健福祉行政論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」連携 実務
経験がある教員：－

○櫻山 豊夫

■授業の目的

公衆衛生の目的は、健康を社会全体にもたらすことであり、この授業ではそれを実践するための保健・医療・福祉行政のしくみについての理解を深めることを目的とする。

■到達目標

1. 健康の社会的決定要因について説明できる。
2. 保健医療福祉行政の理念としくみについて説明できる。
3. 公衆衛生全般について説明できる。
4. 衛生行政関連の法令や制度について説明できる。

■学習の進め方

1. 講義の展開
講義とディスカッションを通して保健福祉行政についての理解を深める。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、適宜、参考資料を提示する。
3. 教室外学習
事前学習で「自ら学ぶ」習慣を身につける。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、保健福祉行政概説 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、序章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書②を参照しておくことが望ましい。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
2	公衆衛生の歴史 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、1章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
3	保健福祉行政の歴史、新たな課題と政策の発展 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、1章、2章Aを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
4	保健、医療、福祉に係る、国の行政のしくみ 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章A・Bを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
5	保健、医療、福祉に係る、地方公共団体の行政のしくみ 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章A・Bを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
6	保健医療福祉の財政 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章Cを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
7	公衆衛生に関する国際的な活動 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章Dを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

No	内容	形式	教員
8	社会保障制度概論 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
9	年金保険制度、健康保険制度、その他の社会保障制度 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 C・D を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
10	地域保健の体系 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、4 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
11	保健師活動 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、2 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
12	健康危機管理 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば、参考書①などで、健康危機の概念についても予習しておくことが望ましい。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
13	医療提供体制と医療安全対策 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書①を参照しておくことが望ましい。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
14	医療計画 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B、5 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
15	保健福祉計画と評価 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、5 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

■ 教科書

藤内修二，他；標準保健師講座別巻 1「保健医療福祉行政論」(第 4 版)，医学書院。

■ 参考書、参考資料等

- ① 櫻山豊夫；知っておきたい医療監視・指導の実際，医学書院
- ② 栗原敏，他；医療入門—よりよいコラボレーションのために，医学書院
- ③ 宮崎美砂子，他；最新公衆衛生看護学 第 3 版 2020 年版 各論 2、日本看護協会出版会

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連します。

■ 成績評価の仕方

- 1. 授業への参加度 25 %
- 2. 筆記試験 75 %

■ オフィスアワー・研究室等

講義終了後、講義室前ラウンジにて個別の質問に対応します。

■ 受講上の注意事項

既習知識の確認をしながら進めますので、予習、復習をして主体的に授業に参加してください。

* この科目は、保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

■ その他
HBCH400

疫学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある教員：－

○川崎 洋平

■授業の目的

人間集団を対象として疾病の原因を解明し予防するための学問である疫学の考え方を学ぶ。

EBNにおいて根拠を与える疫学の方法について学ぶ。

集団の健康状態を把握するための指標について学ぶ。

■到達目標

1. 疫学に関する用語とその意味を正しく説明できる。
2. 疫学研究の方法を説明できる。
3. 疫学にあらわれる様々な指標の意味を説明し、計算できる。
4. 疫学データの解析結果を解釈できる。

■学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	疫学の基本概念(1)：疫学的な考え方 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
2	疫学の基本概念(2)：疫学の基本用語 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
3	疫学の基本概念(3)：疫学的な因果関係 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
4	疫学での指標(1)：疫病頻度の指標 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
5	疫学での指標(2)：暴露効果を表す指標 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
6	疫学での指標(3)：まとめ 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
7	疫学研究のデザイン(1) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
8	疫学研究のデザイン(2) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
9	疫学研究の質(1) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
10	疫学研究の質(2) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
11	疫学研究の質(3) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	臨床疫学と EBN (1) 事前学修：〔30分〕 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
13	臨床疫学と EBN (2) 事前学修：〔30分〕 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
14	臨床疫学と EBN (3) 事前学修：〔30分〕 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
15	疫学の総まとめ 事前学修：〔30分〕 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

■ 教科書

授業中に配布する資料

■ 参考書、参考資料等

大木 秀一(2011年). 看護疫学入門. 第2版. 医歯薬出版株式会社.

安武 繁(2016年). 事例問題から学ぶ看護疫学・保健統計学. 医歯薬出版株式会社.

山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に〇〇〇研究室にて、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

疫学は統計学を応用した学問であるので、保健統計学の学習内容に基づく。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、講義前後の時間、以下のオフィスアワーで受け付ける。

オフィスアワー：〇〇曜日〇〇時～〇〇時、〇〇〇研究室

■ 受講上の注意事項

疫学は保健師のみならず臨床看護師を目指す学生にとっても EBN を理解するために重要な科目である。

■ その他

HBCH251

在宅看護学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある教員：－

○石田 千絵、井口 理、湯浅 晶子、吉川 悦子、月野木 ルミ

■授業の目的

安心安全な在宅ケアの継続と生活の質的向上を目指し、在宅療養環境と療養者・家族のニーズに応じた具体的な看護実践の方法を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける関連機関・職種との連携のあり方や看護の役割を考える。

■到達目標

1. 看護の継続を可能とする在宅における看護技術を理解できる。
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる。
3. 療養者と家族の生活の質を高めるための看護技術を考えることができる。
4. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる。

■学習の進め方

AL

講義、演習、GW、発表

※原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexaでのオンデマンド型、TeamsやZoomを使用した同時双方向型またはその併用)で進めます

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、在宅における看護技術 事前学修：[30分] 教科書②の1章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田、井口
2	看護過程の展開① 在宅看護過程と家計図・エコマップ 事前学修：[15分] 家計図とエコマップについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義・演習	石田、井口
3	看護過程の展開② 在宅看護過程の特徴とケアマネジメント、演習のオリエンテーション 事前学修：[15分] 在宅におけるアセスメント項目について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 自分が担当する事例の疾患や家族特性について、理解を深める。	講義・演習	石田、井口
4	在宅療養生活を支える看護技術① コミュニケーションとユマニチュード 事前学修：[15分] 教科書②のP26-33について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田
5	在宅療養生活を支える看護技術② 環境整備 事前学修：[15分] 間取りと住宅改修について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 演習事例の居宅環境や間取りと住宅改修について検討する	講義・演習	井口
6	日常生活を支える看護技術① 事前学修：[30分] 教科書②のP56-89を読み、A4用紙2枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	井口
7	日常生活を支える看護技術② 事前学修：[15分] 教科書②のP48-53を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
8	療養を支える医療ケア① ICTを用いたコミュニケーション 事前学修：[15分] ICTを用いたコミュニケーションについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
9	療養を支える医療ケア② COPDと在宅酸素療法 事前学修：[15分] COPDと在宅酸素療法について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
10	ケアマネジメント演習① 演習の進め方の確認、実施 事前学修：[15分] 教科書①のケアマネジメントの概要について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 事例発表の準備を進める	講義・演習	石田、井口
11	マネジメント演習② 発表準備 事前学修：[15分] グループで作成した事例で使用可能な社会保障制度を調べる 事後学修：[30分] 配布資料や発表資料を作成する	演習・GW	石田、井口

No	内容	形式	教員
12	マネジメント演習③ 発表 事前学修：[15 分] パワーポイントでの発表の準備をする 事後学修：[30 分] 他の事例におけるケアマネジメントの理解を深める	発表	石田、井口
13	在宅療養を支える災害対策 事前学修：[30 分] 教科書②5章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
14	療養を支える医療ケア③ 事前学修：[30 分] 教科書②の P92-162 を読み、A4 用紙 2 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	石田
15	まとめ 事前学修：[30 分] 全ての配布資料を読み直す 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直し、学びを深める	講義・演習	石田、井口、TA

■ 教科書

1. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア、第 5 版 メディカ出版、2019 (2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書)
2. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 第 1 版、メディカ出版(2019) (2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書)

■ 参考書、参考資料等

なし。必要時、資料等を配布する。

■ フィードバックの仕方

演習はその場で講評する。

■ 他の授業科目との関連

プライマリヘルスケアの対象者を支える看護技術であるとともに、地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ－2〕の履修要件である。

■ 成績評価の仕方

演習と授業への取り組み 50%、定期試験 50%

■ オフィスアワー・研究室等

石田研究室(432)井口研究室()湯浅研究室(445) 授業開講日の 12:30～13:00

■ 受講上の注意事項

1. 授業日程と内容は変更することがある。変更時は、事前にメールなどで連絡する。
2. 定期試験は国家試験に準じた内容とし、マークシートで解答する。

■ その他

HBCH300

看護管理学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある教員：－

○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子

■授業の目的

看護の対象者となる人々に最も有効で良質な看護を提供するための「しくみ」について学び、その内容や方法についての理解を深める。

■到達目標

1. 看護管理の概念について説明することができる。
2. 看護をとりまく、保健・医療・福祉のしくみについて説明することができる。
3. 看護職の役割と機能について説明することができる。
4. 看護サービスを提供するための組織内のしくみについて説明することができる。
5. チームにおける看護と他職種との協働・連携について説明することができる。
6. 保健・医療・福祉の協働・連携について説明することができる。
7. 組織の一員として、自覚と責任ある行動をとり、自らの役割を果たす重要性について説明することができる。
8. 対象者のプライバシーや個人情報を保護するための情報管理について説明することができる。
9. 医療安全の基本的な考え方と看護師の役割について説明することができる。
10. 看護の質の向上に向けて看護師として専門性を発展させていく重要性について説明することができる。
11. 看護実践にデータを活用することの重要性について説明することができる。

■学習の進め方

講義・演習により進める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護をとりまく諸制度 事前学修：[90分] 教科書の1章を読み、看護管理とは何かをA4用紙1枚にまとめてくる。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
2	看護職の役割と機能 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
3	看護サービスの管理 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
4	他職種・他機関との協働・連携 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
5	社会人としての役割 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
6	情報管理 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
7	安全管理 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川
8	看護の質の向上に向けた活動 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	安部・高田・古川

■教科書

上泉和子他「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理」 最新版（医学書院）

■参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

授業中に教室で、担当教員が演習用紙を返却する。
試験の採点后 5 週間以内を目安に、試験問題の解説を掲示する。

■ 他の授業科目との関連

看護管理Ⅰ第1回「看護をとりまく諸制度」、第2回「看護職の役割と機能」等で触れた内容は看護関係法規で学びを深める。看護管理Ⅰ第3回「看護サービスの管理」で触れたマネジメントの理論は看護管理Ⅱで演習を用いて学びを深める。

■ 成績評価の仕方

定期試験(50%)、演習(50%)により評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業初日に各授業回のオフィスアワーの日時・場所が記載された資料を配布する。

■ 受講上の注意事項

なし

■ その他

HBME350

看護管理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－

○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子

■ 授業の目的

看護管理の科学的かつ実践的な知識を深め、看護単位の運営に関する諸原則を学び、質の高い看護実践を可能にするための「しくみ」を構築する方策について考える。

■ 到達目標

1. 管理者に必要な能力について説明し、現在の看護管理者のあり方について自分の考えを述べることができる。
2. 動機づけとは何かを定義し、動機づけ理論の1つを用いて、自分が体験した事例を説明することができる。
3. 意思決定の合理的なモデルと非合理的なモデルについて説明し、意思決定をする際にはどのようなことに留意するべきか自分の考えを述べることができる。
4. 経済学的視点からみた看護師の働き方の特性について説明し、看護学生が就職活動をする際に考慮する必要がある事項について自分の考えを述べることができる。
5. 対立について説明し、対立が起きたときの対処方法について自分の考えを述べることができる。
- 6.2 種類の交渉方法についてそれぞれ説明し、どちらがより効果的であるか自分の考えを述べることができる。
7. 代表的な看護ケア提供システムとその長所・短所について説明し、看護単位の特徴に基づき、どのような看護ケア提供システムが良いか自分の考えを述べることができる。
8. 日本の主な交代制勤務の方式をあげ、夜勤・交代制勤務に関する原則の必要性について自分の考えを述べることができる。
9. 組織文化と組織社会化とは何かについて説明し、新卒看護師の組織社会化を促進する方法について自分の考えを述べることができる。
10. チーム医療とは何かを説明し、チーム医療が成功するためには何が必要か自分の考えを述べることができる。
11. 医療の質評価の枠組みにおけるアウトカムについて説明し、看護サービスのアウトカム管理の展望について、自分の意見を述べることができる。
12. 日本における立法過程について説明し、看護政策の立案に参画するための方策について、自分の意見を述べることができる。
13. 現在、日本の看護職が直面している労働関連の問題を挙げ、その解決のためには何が必要か自分の考えを述べることができる。
14. 組織の変革の原因、種類、モデルについて説明し、変革を円滑に進めるためにはどうすればよいか自分の考えを述べることができる。

■ 学習の進め方

毎回、講義をもとにグループまたはペアによる事例検討、シミュレーション、ディスカッション等の演習を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	課題① 管理者の役割 ・外出せずに入手でき、管理者が主人公として描かれている、映画を1本、または小説を1冊読む - 映画の例： マネーボール(2011、ブラッド・ピット他)、日はまた昇る(2002、西田敏行他)、八甲田山(1977、高倉健他)、踊る大捜査線シリーズ等 - 小説の例： 池井戸潤、高杉良の小説など ・主人公が計画・組織化・指揮・統制をどのように行っていたか分析し、A4用紙1枚にまとめ、電子ファイルとして保存する。 参考文献： 「系統看護学講座統合分野看護の統合と実践①看護管理」(3年次の看護管理の教科書) pp.138-144 ・学習した内容は後日提出し、クラス内で共有・発表してもらう。 ・他者に見せる前提で資料を作成すること。 ・Glexaの「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の課題を行い、提出期限までに課題を提出する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	安部・古川・高田

No	内容	形式	教員
2	課題② 看護職の雇用とキャリア開発 ・現在から 100 歳までの私生活に関する計画(結婚、育児、介護等)と看護師としてのキャリアに関する計画を立て、A4 用紙 1 枚に年表としてまとめ、電子ファイルとして保存する。 ・内容はなるべく具体的に立て、月々どのくらいの収入があるのか、結婚、育児、進学等、ライフイベントにいくらかの資金が必要であり、どのようにその資金を調達するのかも考える。 ・学習した内容は後日提出し、クラス内で共有・発表してもらう。 ・他者に見せる前提で資料を作成する。 ・Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の課題を行い、提出期限までに課題を提出する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	安部・古川・高田
3	チーム医療とリーダーシップ 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
4	力関係と対立 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
5	問題解決と意思決定 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
6	コミュニケーションとネゴシエーション 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
7	動機づけ 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
8	組織風土と組織文化 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：授業中に提示された課題を行う。	オンディマンド型	安部・古川・高田
9	スケジュールリング 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型と双方向型のミックス	安部・古川・高田
10	ケア提供モデル 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型と双方向型のミックス	安部・古川・高田

No	内容	形式	教員
11	変革の管理 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
12	アウトカム管理 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
13	政策の立案 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田
14	人事・労務管理に関する法律と働き続けられる職場づくり変革の管理 事前学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	オンディマンド型	安部・古川・高田

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

適時掲示する

■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

看護管理学Ⅱでは、看護管理学Ⅰ第3回「看護サービスの管理」で触れたマネジメントの理論について学びを深める。看護関係法規で学んだ内容を実践に応用するための演習も行う。

■ 成績評価の仕方

自宅学習課題(16%)、事前課題(22%)、授業中の課題(37%)、事後課題(25%)により評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

質問等がある場合は、Glexa 掲載のガイダンス 1 ページ目にある担当教員のメールアドレスに連絡する。

■ 受講上の注意事項

なし

■ その他

HBME400

看護教育学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務経験がある教員：－

○佐々木 幾美、西田 朋子

■授業の目的

看護学教育とは何かを明確にすることから出発し、その目的を達成するための看護教育制度の現状と課題を理解する。また看護教育方法の基礎的な考え方を学び、自らが学んでいる看護学への教育的関心を高め、成長する力について考える。

■到達目標

1. 看護学教育の定義と目的・目標について説明できる。
2. 看護教育制度の現状について説明できる。
3. 大学教育拡充の要因について説明できる。
4. 看護学教育の課題について自分の考えが説明できる。
5. 「わかること」と「できること」について、具体的事例を挙げて自分の考えを説明できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、講義の最初または途中で、ワークシートの課題に取り組む中で問題意識を持ち、あるいは自分の体験と結びつけながら具体的に理解できるようにする。
2. ワークシートの記入：ワークシートの課題に取り組むことで講義の理解を深めるとともに、授業終了時に感想や意見を記入することで授業内容の振り返りができるようにする。次の授業の初めにそれらの紹介と補足説明によって、学習を深められるようにする。
3. グループワークへの参加：30分程度のグループワークで学生同士の意見交換を行い、自分の考えを整理する機会とする。
4. 参考資料の提示：配布資料に示した参考資料から興味関心のある内容について、学生自身で学びを深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護学教育とは 事前学修：[30分] 大学で看護を学ぶことについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。自己の今後のキャリアについて考える。	講義	佐々木
2	看護教育制度：看護基礎教育 事前学修：[30分] 看護大学、看護短期大学、看護専門学校の違いについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返し、各教育機関の違いを整理する。	講義	佐々木
3	看護教育制度：看護継続教育 事前学修：[30分] 看護師の資格取得後の学習の機会について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返し、資格取得後の学習の機会について整理する。	講義	佐々木
4	看護教育制度の現状と課題 事前学修：[30分] 前回までの授業から、看護教育制度の課題に対する自己の考えをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業でのGWや配布資料を読み返し、看護教育制度の課題について整理する。	講義、GW	佐々木
5	大学教育拡充の要因 事前学修：[30分] この30年間の看護系大学の数の推移について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返し、大学教育が拡充した要因と現状の課題について、整理する。	講義	佐々木
6	教えることと学ぶこと 事前学修：[30分] 自分が誰かに教えた経験について振り返り、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読みかえし、教えることと学ぶことについて整理する。	講義・ディスカッション	西田
7	「わかること」と「できること」 事前学修：[30分] 「わかっているができないこと」と「できているがわからないこと」の経験について振り返り、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返し、わかることとできることの関係について整理する。	講義・ディスカッション	西田

No	内容	形式	教員
8	看護学教育の課題と展望 事前学修：[30 分] 自分が教えることを想定した工夫について考え、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 看護学教育の課題と展望について整理する。	講義・GW	佐々木

■ 教科書

教科書は使用せず授業中にプリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■ フィードバックの仕方

ワークシートは原則として返却します。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に佐々木研究室にて、採点結果と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は将来、看護を教える際に必要となる基礎的な内容を取り上げます。4 年次に選択科目として開講される「看護教育方法」、「看護教育学Ⅱ」の基礎的科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 % 2. 定期試験 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。佐々木研究室(436 研究室)または西田研究室(435 研究室)。

■ 受講上の注意事項

授業中の私語は慎んで下さい。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

■ その他

HBME351

看護教育学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○西田 朋子

■授業の目的

日本の看護教育制度について、日本の学校教育制度、看護教育の歴史、諸外国の看護教育制度との比較からその特徴と課題について考察する。また、看護教育を具体化するための教育課程、看護教師論について学ぶ。

■到達目標

1. 諸外国の看護教育制度との比較から、日本の看護教育制度の特徴と課題を説明し、看護教育の発展を考察できる。
2. 看護教育の歴史の変遷を説明できる。
3. 看護教育課程の特徴とその作成過程を説明できる。
4. 看護教師の地位と役割、その教育制度について考察できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：講義とディスカッションおよびその発表から、現在の看護教育制度に関する理解を深め、考察する。
2. 演習を通して諸外国の看護教育制度を知る。
3. 参考資料の提示：授業内容をより理解できるように、配布資料には参考資料を提示する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：日本の看護教育の歴史 事前学修：[15分] 教育制度について関心のあるテーマを考え、A4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	西田
2	日本の学校教育制度と看護教育制度 事前学修：[15分] 看護教育学Ⅰの資料を読み返し、日本の看護教育制度についてA4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	西田
3	看護基礎教育と看護継続教育 事前学修：[15分] 看護教育学Ⅰの資料を読み返し日本の看護継続の教育制度についてA4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
4	諸外国の看護教育制度① 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
5	諸外国の看護教育制度② 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
6	諸外国の看護教育制度③ 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
7	諸外国の看護教育制度④ 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の看護教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の看護教育制度をまとめる	演習	西田
8	諸外国と日本の看護教育制度の比較・考察 事前学修：[30分] 15枚以内にまとめた発表資料を口頭で発表し、質疑応答の準備をしてA4用紙1枚程度にまとめておく 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	発表・討論	西田

No	内容	形式	教員
9	看護教育課程：カリキュラムの概念とカリキュラムを規定する要因 事前学修：[15 分] 日本の看護基礎教育課程がどのように規定されているか、配布した事前ワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
10	看護教育課程：さまざまなカリキュラム 事前学修：[15 分] 他の学校・養成所のカリキュラムを調べ、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
11	看護教育課程：カリキュラムの評価 事前学修：[30 分] 本学のカリキュラムを確認し、考えたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] これまで学習をした学校・養成所のカリキュラムのよいところや課題を考えまとめる	講義・討論	西田
12	看護教師論：看護教師に必要な資質と能力 事前学修：[15 分] これまで出会った看護教師からのかかわりを振り返り、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
13	看護教師論：看護教師の養成 事前学修：[15 分] 看護教育学 I の資料を読み返し、看護教師の資格要件を確認して配布したワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
14	日本の看護教育制度における課題と今後の展望 事前学修：[15 分] 学習者として看護教師の課題を考え、配布したワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
15	まとめ 事前学修：[15 分] 本科目を通しての学びを振り返り、配布したワークシートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、レポートを作成する	講義	西田

■教科書

特定のテキストは使用せず、授業時にプリントを配布する。

■参考書、参考資料等

看護行政研究会(2020)看護六法 その他の文献は適宜紹介する。

■フィードバックの仕方

レポート課題へのコメントを研究室で行う。返却時期はポータルで通知する。

■他の授業科目との関連

この科目は、看護教育学 I の内容をさらに発展させるとともに、新たな内容を組み込んだものとなっています。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：20 % 2. 演習の取り組み・成果発表：50 % 3. 課題レポート：30 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。西田研究室(435 研究室)。

■受講上の注意事項

この科目は、看護師等養成所の専任教員となる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。講義が主体の回でも、ディスカッションの時間を必ず設け、みなさんから寄せられた疑問を一緒に考えながら進めていきます。積極的な参加を期待します。

■その他

HBME450

看護教育方法

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○西田 朋子

■ 授業の目的

看護学教育における各専門領域で行われている教育実践の基礎的な「指導技術・教育方法」について学ぶ。

■ 到達目標

1. 主体的な学びを支援するような教育的関わりについて説明できる。
2. 学習指導法について学びを深め、具体的な展開方法を知る。
3. 臨地実習について自らの経験を振り返り、よりよい臨地実習指導のあり方を考察できる。
4. 教育評価について説明できる。
5. 自らが受けてきた看護教育を振り返り、教える立場から看護教育の発展について考察できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、具体的な事例や講義・演習・実習での体験を踏まえたディスカッションにより理解を深める。
2. ワークシートの活用：授業開始時に配布し、学生自身が自らの経験を振り返って記入することで、具体的な理解をしていく。また、授業終了後には授業を受けて気づいたこと等を記載することで、学習内容を深めていく。
3. 参考資料の提示：特定の教科書は使用しないが、毎回の授業内容に関する参考資料を提示し、個々の学生が主体的に学びを深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
2	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
3	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
4	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
5	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
6	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4用紙 1～2枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田

No	内容	形式	教員
7	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4 用紙 1～2 枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
8	看護技術が「できる」ようになるためには、①どのような学習環境があるとよいか、②どのような教えられ方が学習者にとってよいか、これまでの経験を振り返って A 4 用紙 1～2 枚程度にまとめてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	西田
9	看護学教育における看護教育方法：看護教育方法の概念と特徴 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業の特徴を振り返り A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
10	看護における教育的かかわり：主体的な学びの支援 事前学修：[15 分] これまで自分が主体的になれた授業について振り返り A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
11	学習指導法：教材研究／授業案の作り方／授業の展開 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業がどのように構成されていたか、学習者の視点で考えて A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
12	臨地実習指導： 実習の位置づけと意義、学習環境としての条件 事前学修：[15 分] これまで経験した実習を想起し、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
13	臨地実習指導： 実習指導の実際 事前学修：[15 分] これまで経験した実習を想起し、指導者と教員の連携について考えたことを A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
14	看護教育評価 事前学修：[15 分] 自分にとっての評価の意義を考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業の感想を A4 用紙半分にまとめる	オンデマンド型	西田
15	本科目のまとめ 事前学修：[15 分] 本科目での学びを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[120 分] レポートを作成する	オンデマンド型	西田

■ 教科書

特定の教科書は使用しないが、参考書籍を紹介する。

■ 参考書、参考資料等

毎回の資料に参考資料は提示する。

■ フィードバックの仕方

事前事後課題およびレポートに対するコメントを行う。

■ 他の授業科目との関連

看護教育学Ⅰの内容を発展させた内容となっています。これまでに、一般の教育学や心理学(学習心理に関する内容)を履修している方はその内容も復習しておくとともに理解が深まります。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50 % 2. 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa および大学のメール(t-nishida@redcross.ac.jp)に連絡をしてください。

■ 受講上の注意事項

オンデマンド型になりますが、Glexa の Forum および Board を使って学生同士のディスカッションをしていただきます。授業への取

り組みの評価としますので積極的に参加してください。

この科目は、看護師等養成所の専任教員になる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。

■ その他

HBME401

応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○安部 陽子、古川 祐子、高田 由紀子、塚田 信弘

■授業の目的

患者を志向した質の高い医療を提供するために、チーム医療に関する基本的知識、技能、態度を習得する。

■到達目標

1. チーム医療とは何か。チーム医療の目的を説明できる。
2. 各職種の専門性、役割及び責任を看護に関連づけて説明できる。
3. チーム医療における看護のあり方について考えることができる。

■学習の進め方

1. オムニバス形式
2. 授業の展開:講義を行うとともに、事例や実習などの体験を踏まえて学生がディスカッションする時間をもうける。
学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	課題① 「多職種探検」の事前学習 ・病院で働いている専門職を調べてワークブックに記述する ・実習で受け持ち患者等にケアを提供していた専門職について、だれがいつどこで何をどのように提供していたか等、気づいたこと、考えたこと、疑問に思ったことをワークブックに具体的に記述する。 ・「多職種探検チーム希望届」を提出する ・Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の課題を行い、提出期限までに課題を提出する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	古川・安部・高田
2	課題② 「多職種探検」の事前学習 ・自分が担当する専門職を確認し、その専門職の専門性、役割、責任について調べ、ワークブックに記述する。 ・担当する専門職者の専門性、役割及び責任に関する質問項目を3つ考え、ワークブックに記述する。 ・Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の課題を行い、提出期限までに課題を提出する。” 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	古川・安部・高田
3	チーム医療とは 事前学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	古川・安部・高田
4	チーム医療と医師 事前学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	塚田信弘
5	疾患と医療チーム 事前学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexaの「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	ゲストスピーカー

No	内容	形式	教員
6	医療と福祉のチームケア 事前学修：Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型	ゲストスピーカー
7	医療センターで「多職種探検」 事前学修：Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：「多職種探検」で担当する専門職・部門へインタビューを行い、その結果をワークブックにまとめる	オンディマンド型と双方向型のミックス	古川・安部・高田
8	チーム医療フォーラム/看護とインタープロフェSSIONAL・ワーク 事前学修：Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、事前課題を提出する。 事後学修：Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、事後課題を提出する。	オンディマンド型と双方向型のミックス	古川・安部・高田

■教科書

なし(オムニバス)

■参考書、参考資料等

- ・田村由美(2018). 新しいチーム医療 看護とインタープロフェSSIONAL・ワーク入門. 第1版. 看護の科学社
- ・上泉和子ほか 系統看護学講座 総合分野 看護管理 看護の統合と実践①. 医学書院(最新版)

■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

■他の授業科目との関連

看護関係法規で学習する医療関係資格法の実践的な理解につながる

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 「多職種探検」ワークブック 30 % 3. レポート評価 50 %
 レポートと共にワークブックを提出する

■オフィスアワー・研究室等

質問等がある場合は、Glexa 掲載のガイダンス 1 ページ目にある担当教員のメールアドレスに連絡する。

■受講上の注意事項

主体的な学習を期待する

■その他

HBAN400

応用看護学特論 I ②(リプロダクティブ・ヘルス)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○齋藤 英子

■ 授業の目的

リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている男女が共に持つ権利について理解する。さらにセクシュアルライツ、及びリプロダクティブ・ライツを確保していくために、現状から生じている問題点を明らかにする。また、女性が基本的権利と最高水準のリプロダクティブ・ヘルスケアを得られるよう、看護の立場から日常生活に応じた支援のあり方を追求する。

■ 到達目標

1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている全ての人が共に持つ尊厳と権利を倫理的な視点から考察できる。
2. 日本の周産期医療や現状から生じる課題について、国内外の動向・関連法規・政策・実情等をふまえ新たな視点を提案できる。
3. ひとりひとりの意見を尊重しながら、根拠を持って自分の意見を述べられる。
4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ観点から多様なニーズを理解し、看護者の役割を述べられる。

■ 学習の進め方

プレゼンテーションとディベート・討論を通して国内外の課題を見出します。授業参加前にテーマに関する国内外の状況を自分なりに調べ、自己の見解を頭の中にまとめておいてください。相対する意見について担当者がプレゼンテーションをして考察を深めます。プレゼンテーションは、4回のうちどれか1つを担当します。

プレゼンターは、作成したプレゼンの際の配布資料を、授業前々日までに指定する OneDrive の「プレゼン資料提出」フォルダの中へ保存するかメールで担当教員へ送付する。パワーポイントは 8 枚以内、Words は A4 で 2 枚以内にまとめる。配布資料には、写真は掲載しない。配布資料と発表資料は、完全に同じでなくとも良い。

教員は、授業前日に、プレゼンターが保管した資料を PDF 化して、受講生へ配布資料としてメールで配信する。

参加者は、事前にプレゼンテーション資料に目を通して、わからないことを調べて自分の意見をまとめる。

教員は、前日に受講生へメール連絡で URL (Room key) を知らせる。

参加者は、指定された Teams のお部屋へ授業開始時間に集合する。

授業時間内は、以下の運びで進める。

前回の学びのまとめと本日のトピックについて教員よりコメント(10 分)、プレゼンテーション(10 分× 2)、グループ討議(15 分)・全体討論(20 分)、教員よりコメント(10 分)

授業終了後に、GlexaBoard のトピック毎のスレッドへ本日の感想をアップロード する(次の授業開始 1 時間前まで)。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	テーマ 1「日本は親の育児休暇を義務化すべきである」 事後学修：指定したフォームもしくは OneDrive フォルダへ Word で提出	自宅学習	齋藤
2	テーマ 2「日本は頸がんワクチン接種を再開すべきである」 事後学修：指定したフォームもしくは OneDrive フォルダへ Word で提出	自宅学習	齋藤
3	オリエンテーション テーマ 1 と 2 で学んだことを発表・討議 事前学修：[30 分] この授業で学びたいことと、テーマ 1 で学んだことをまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する。	TEAMS 発表 討論	齋藤
4	テーマ 3「日本は出生前診断に基づく人工妊娠中絶を認めるべきである」 事前学修：[30 分] この授業で学びたいことと、テーマ 2 で学んだことをまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する。	TEAMS 発表 討論	齋藤
5	テーマ 4「日本は代理母出産や精子バンクを認めるべきである」 事前学修：[30 分] この授業で学びたいことと、テーマ 3 とで学んだことをまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する。	TEAMS 発表 討論	齋藤
6	テーマ 5「日本は男性助産師を認めるべきである」 事前学修：[30 分] この授業で学びたいことと、テーマ 4 とで学んだことをまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する。	TEAMS 発表 討論	齋藤
7	テーマ 6「日本は子どもを持つ外国人労働者/移民とその家族に日本国民と同等の権利を与えるべきである」 事前学修：[30 分] この授業で学びたいことと、テーマ 5 とで学んだことをまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する。	TEAMS 発表 討論	齋藤

■ 教科書

特に指定しない。

様々な媒体から国内外の動向・関連法規・政策・取り決め・実情等を調べること。

■ 参考書、参考資料等

参考資料は、プレゼンターが適切に引用をして紹介する。

■ フィードバックの仕方

教員のコメントは授業の最後と授業開始前に伝える。

みな学びのまとめは、Board を使って、授業後に共有する。

■ 他の授業科目との関連

リプロダクティブ・ヘルス関連科目(授業・演習・実習)、他関連科目、社会生活で学んだことに基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. プレゼンテーション 20%、2. 討論(論旨展開、態度) 30%、3. 学びのまとめ 20 %、4. ピア評価 10%、5. レポート 20%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①水曜日、② 12：10～12：50、③ 417 研究室・メール

■ 受講上の注意事項

積極的な授業参加を期待します。

- ・在宅学習において、Web 環境や音声機能に使いづらさがある方は、早目にメールでご相談ください。
- ・受講人数等により、多少、進め方を変更する可能性があります。ご理解ください。
- ・4 月の在宅課題については、大学の方針として Glexa 内での回収となりました。
5 月 20 日まで、1 回目と 2 回目の授業の箇所へ、提出できるようにしています。
テーマに沿って、ご投稿ください。
Forms へすでにご投稿いただいた方には、申し訳ないのですが、改めて Glexa 内へご投稿ください。
投稿すると、ご自身のポートフォリオになり、教員は、コメントを付して返却します。
- 4 月の在宅課題は、評価として含みます。
- ・5 月に予定していた 3 回分は時間通りの日程に開講できます。
残りの日程はみなさんの予定をふまえて決定します。

■ その他

HBAN400

応用看護学特論Ⅰ③(子どもの権利と家族)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子

■授業の目的

育児困難現象、児童虐待、キレる子ども、校内暴力などの子どもと家族をめぐる課題や、小児医療をめぐる課題が近年増加している。応用看護学特論Ⅰ③では、これらの実態を把握し、子どもの最善の利益を守るために看護師に求められている役割を探究する。

■到達目標

1. 子どもの最善の利益とは何かを理解することができる。
2. 子どもの最善の利益を守るための看護師の役割について考えることができる。

■学習の進め方

1. 授業の展開
 - ・授業の目的および到達目標を理解して、課題に取り組む(各回、A4用紙1枚程度にまとめる)。
2. 参考資料の提示
 - ・授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要またはGlexa上の各回に講義資料等を掲載する。
 - ・各回の課題および授業資料等は、Glexa「応用看護学特論Ⅰ③」1Q0300に、講義日にあたる日の0:00までにアップロードする。
 - ・授業資料等の公開は、令和2年度前期期間中とする。
3. 受講の仕方
 - ・繰り返し講義内容を視聴するなど、自分のペースで学修することが可能である。
 - ・授業期間内に課題を提出できるよう注意すること。

【4月自宅学習課題】

育児困難現象、児童虐待、キレる子ども、校内暴力、小児医療についてなど、現在起こっている子どもと家族に関する出来事について1つ取り上げ、その出来事は何か課題なのか、その課題に対して看護師の役割について考え、A4サイズ1枚以内で記述する(要表紙)。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
2	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
3	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
4	オリエンテーション 事前学修：[30分] 小児看護学領域が担当した講義や演習および実習記録を読みノートにまとめる 事後学修：[30分] オリエンテーション資料をよく読む	オンデマンド型	全員
5	“子どもを育てる”ってなんだろう？ 事前学修：[30分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業資料を読み返してノートにまとめる	オンデマンド型	全員
6	新型コロナウイルス感染症・非常事態宣言と子ども 事前学修：[30分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業資料を読み返してノートにまとめる	オンデマンド型	全員
7	子どもにとって“失敗する”ってなんだろう？ 事前学修：[30分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業資料を読み返してノートにまとめる	オンデマンド型	全員
8	入院する子どもの生活って？ 写真をみて考えよう！ 事前学修：[30分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業資料を読み返してノートにまとめる	オンデマンド型 と同時双方向型のミックス	全員

■教科書

授業内容に沿って随時資料を配布する。そのため、教科書は特に指定しない。

■参考書、参考資料等

スーザン・ファウンテン(1994). わたしの権利みんなの権利. 日本ユニセフ協会.
その他、開講時参考文献リストを配布し、随時授業で配布する。

■フィードバックの仕方

・課題のフィードバックは、全体を包括して提出期限後に Glexa 上で行う。

■他の授業科目との関連

2 年次前期に開講される「発達看護学概論」、2 年次後期に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①」、3 年次前期に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）②」より発展的な内容を扱うが、編入生の場合はこの科目を履修していなくても選択可能である。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 40%
2. 各回の課題 (4 月自宅学習を含む)60%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講期間中、質問は下記 E-mail で受け付ける。

江本 リナ emoto@redcross.ac.jp 山内 朋子 t-yamauchi@redcross.ac.jp
神谷 美帆 m-kamiya@redcross.ac.jp 鈴木 健太 k-suzuki@redcross.ac.jp
柴田 純子 j-shibata@redcross.ac.jp

■受講上の注意事項

- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。
- ・ 出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件である。
- ・ 各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなす。

■その他

HBAN400

応用看護学特論Ⅱ①(看護とメンタルヘルス)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子

■ 授業の目的

看護職の特有なメンタルヘルスの問題について探求し、それに対処するための方法について理解する。

■ 到達目標

1. 看護職のメンタルヘルスに影響を及ぼす社会的な状況について理解し、説明できる。
2. 感情労働やうつ、バーンアウトなど、メンタルヘルス上の具体的課題を見出すことができる。
3. リフレクションの概念やリエゾン精神専門看護師の役割といったメンタルヘルス上の問題に対処するための方法や制度について理解し、メンタルヘルス上の問題をもつ対象への支援に関心をもつことができる。
4. メンタルヘルスについてグループワークを通して学生同士で共に学びあい、成長し合う姿勢をもつことができる。

■ 学習の進め方

50 分程度の講義を行い、残りの時間で教員と学生とでグループ形式での討論を行い、メンタルヘルス上の問題について理解を深めるとともに、グループの中で表現すること、他者を理解することを、体験を通して学ぶ。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護職のメンタルヘルス 1 事前学修：[30 分] これまでの実習で精神的に疲れた体験について振り返り、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	鷹野
2	看護職のメンタルヘルス 2 事前学修：[30 分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習する	講義とグループワーク	鷹野
3	感情労働としての看護 1 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を事前に読み、要旨を A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	鷹野
4	感情労働としての看護 2 事前学修：[30 分] 感情労働に関する自己の体験を振り返り、A4 用紙 1 枚に記述する。 事後学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を再読し、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	鷹野
5	看護とリフレクション 1 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章 F2」を読み、グループワークのテーマを考える 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返す	講義とグループワーク	堀井
6	看護とリフレクション 2 事前学修：[30 分] 実習で気がかりな場面や出来事を A4 用紙 1 枚にまとめておく 事後学修：[30 分] 討議で気づいたことをまとめ、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀井
7	リエゾン精神専門看護師の役割 1 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 14 章」を読んでおく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	古城門
8	リエゾン精神専門看護師の役割 2 事前学修：[30 分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：[30 分] 今日の討論の内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	古城門

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」、医学書院。

学部 2 年次 (編入学部生は 3 年次)に購入した発行年のものを使用します。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子(2001)、感情と看護、第 1 版、医学書院。

パム・スミス著／武井麻子・前田泰樹監訳(2000)、感情労働としての看護、第 1 版、ゆるみ出版。

他にも随時、授業中に参考文献を示します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、後期授業開始日 10 月 5 日から 9 日までに、コメントを付したレポートの返却を鷹野研究室(248)にて行う。返却可能な時間はポータルにて連絡する。

■ 他の授業科目との関連

「精神保健看護学Ⅰ(理論)」(2 年次履修)、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」(3 年次履修)を基盤として、各自のレベルⅠ～Ⅲ実習での体験やこれまでの実習・臨床での体験の振り返りを行い、さらに理解や体験を深めていく科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50 % 2. レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12 : 30～13 : 00、18 : 00～18 : 30

鷹野朋実研究室(428)、堀井湖浪研究室(427)、古城門靖子研究室(412)

■ その他

HBAN401

応用看護学特論Ⅱ②(ホーリスティック・ナーシング)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○坂口 千鶴、千葉 京子

■ 授業の目的

ホーリスティック・ナーシングの理論的背景を理解し、環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等へのアプローチについて理解できる。

■ 到達目標

1. ホーリスティック・ナーシングの理論的背景について説明できる。
2. 環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等について説明できる。
3. 看護において活用できる具体的なホーリスティック・アプローチについて説明できる。
4. 将来的に看護の現場可能なホーリスティック・アプローチについて説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 第1回から第3回までの授業は自宅学習として課題に取り組み、質問等があればメールで確認する。
2. 第4回から第7回の授業では、ホーリスティック・ナーシングに関する理論、実際のアプローチについて説明し、アプローチに関するデモンストレーションを行う。学生も実際オンラインでデモンストレーションに参加し、学生間で質問や感想を共有する。
3. 第8回の授業の時間では、学生自身が関心のあるアプローチについて研究文献を検索し、内容を検討する時間とした。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	課題レポート：自粛生活におけるストレスマネジメントについて 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	坂口
2	課題レポート：自粛生活におけるストレスマネジメントについて 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	坂口
3	課題レポート：自粛生活におけるストレスマネジメントについて 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	坂口
4	オリエンテーション/ホーリスティック・ナーシングとは 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等について Glexa 上の Forum にアップする	オンデマンド型 講義・討論	坂口
5	タクティールケアの理論的背景と実際 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等について Glexa 上の Forum にアップする	オンデマンド型 講義・討論	千葉
6	回想法と音楽療法について 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をまとめる 事後学修：[30分] 疑問や意見について Glexa 上の Forum にアップする	オンデマンド型 講義・討論	坂口
7	音楽をめぐる語りの会 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	オンライン型の 演習	坂口
8	関心のあるホーリスティック・アプローチに関する文献の検討 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	坂口

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜参考文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、前期授業終了 1 ヶ月以内に、Glexa 上でコメント付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論、基礎看護学との関連があり、アプローチによっては実習の際に参考とすることも可能な学習内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 4 月自宅学習の課題レポート：自粛生活におけるストレスマネジメントについて、自らの生活の中での工夫も含めて、A4 用紙 2 枚程度にまとめる。・・・20 %
2. 研究文献のクリティーク：関心のあるアプローチに関する研究論文を 1 編以上読み、研究の目的、対象、方法、効果について調べ、A4 用紙 2 枚以上にまとめる。・・・40 %
3. Glexa 上の Forum に各アプローチに関する感想をまとめてアップする・・・40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業当日の 12:10～13:00 坂口(414 研究室)・千葉(429 研究室)

■ その他

HBAN401

国際看護学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長
実務経験がある教員：－

○赤井 智子、織方 愛、野口 眞貴子、橋爪 朋子

■ 授業の目的

実際に海外で看護活動を行う際に、現地の文化に沿ったケアを展開するための諸要件を理解する。

■ 到達目標

グローバルヘルスについて理解し、多様な文化環境下で提供できるケアについて考案できる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「国際看護学Ⅰ」に入り、フォルダを開きます。
3. 事前小テストを受講します。
4. PDF 資料や動画を視聴します。(講義は Glexa でのオンデマンド型で行います)
5. 事後小テストや事後課題に取り組みます。
6. 小テストへの回答、感想の提出は授業日から1週間以内に行ってください。1週間を過ぎた場合、小テストに回答したり、課題を提出した場合、出席扱いにはなっても20%減の点数になりますので注意してください。
7. 教員は、課題提出を確認し、2週間以内を目途に Glexa 上や次回授業内でコメントを返したり、小テストの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題：① WHO: Bringing health to life を視聴し、ここで示された内容のなかで示されている、生涯の健康のために WHO が実施していることを最低3つ、箇条書きにしてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	野口
2	自宅学習課題：②主要な健康指標(乳児死亡率・出生時平均余命・妊産婦死亡率・新生児死亡率・5歳未満児死亡率)の定義をA4用紙1枚にまとめる 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
3	自宅学習課題：① WHO: Bringing health to life を視聴し、ここで示された内容のなかで示されている、生涯の健康のために WHO が実施していることを最低3つ、箇条書きにしてください。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	野口
4	グローバルヘルス：健康指標から読み解く健康格差、SDGs・UHC 事前学修：[30分] SDGsについて文献で調べで説明できるようにノートにまとめる 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	織方
5	国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組み 事前学修：[30分] 事前小テストの受講 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	野口
6	国際看護活動の実践 事前学修：なし 事後学修：[135分] 課題レポートを作成する。リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井
7	多文化理解とは 事前学修：[15分] 事前小テストの受講 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井
8	多様な文化社会下での自己管理 事前学修：[15分] 事前小テストの受講 事後学修：[15分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井

■ 教科書

浦田喜久子編(2018). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第3版. 医学書院

浦田喜久子編(2019). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

Paul F. Basch 著(2001). バッシュ国際保健学講座. 初版. じほう.

デビットワーナー(2009). 医師のいないところで. 初版. 国際保健協力市民の会.

■ フィードバックの仕方

小テストの解説やリフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。

■ 他の授業科目との関連

国際看護学Ⅱ、国際看護学演習の学習基盤となる知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

1. 事前課題レポート 10 % 2. 小テスト(事前・事後)全 7 回 70 % 3. 事後課題レポート 20 %

★提出期限に遅れた場合は 20 %減点

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00

野口(403 研究室)、織方(554 研究室)、赤井(555 研究室)、橋爪(408 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。更に発展したい方は、国際看護学Ⅱも受講ください。

■ その他

HBID300

国際看護学Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：－

○織方 愛、赤井 智子、角田 敦彦、橋爪 朋子

■ 授業の目的

国際看護学Ⅰの学習を踏まえ、実際に国際看護を実践するための基本的な知識・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. グローバルヘルスにおける政治・経済・宗教・教育・疾病構造等、世界の健康課題の背景を理解する。
2. 保健指標・疾病構造・保健政策等からヘルスニーズを把握する。
3. 健康課題から、現在の課題と将来への展望について考えを深める。
4. 将来国際看護に携わるために必要な健康管理・危機管理の方法について学ぶ。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションの時間を設ける。
2. 授業終了後に配布する「リフレクションシート」に、学生がサマリーや質問を記入することで、主体的に学習が深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション:講義概要と導入 カントリープロフィール①講義 事前学修：[30分] 国際看護学Ⅰ「カントリープロフィール」の授業資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義	織方
2	国際看護活動におけるストレスケア 事前学修：[15分] 教科書 pp.223-246 に目をとおり A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義	赤井
3	国際看護活動の実際(事業管理・健康管理・危機管理) 事前学修：[15分] 日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードし海外生活の留意点について A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義	赤井
4	国家の安全保障と人間の安全保障 事前学修：[20分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義	角田・赤井
5	特別講義「健康と人間の安全保障」 事前学修：[20分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義	H.E.L.P. in Japan ※ 2020 講師・織方・赤井
6	人道支援の現場におけるリスクと危機管理 事前学修：[20分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	講義・討論	角田・宮崎・赤井
7	カントリープロフィール②グループワーク 事前学修：[20分] 発表資料を作成する 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する	演習・討論	織方
8	カントリープロフィール③成果プレゼンテーション 事前学修：[20分] 発表資料を作成する 事後学修：[20分] 討論をもとに資料を修正する	発表・討論	織方

■ 教科書

浦田喜久子編(2019)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第 4 版．医学書院．
浦田喜久子編(2018)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第 3 版．医学書院．

■ 参考書、参考資料等

David Werner, 川田いこひ原訳 シェア監訳 (2009)．医者のいないところで 村のヘルスケア手引書．非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会．

Richard Skolnik, 木原正博・木原雅子監訳 (2017)．グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向．メディカルサイエンスイン

ターナショナル。

日本国外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードすること

厚生労働省検疫所 海外で安全に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>

その他、随時授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

カントリープロフィールのプレゼンテーション・フィードバックは、授業最終回に行う。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に、554 研究室で解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

1. 国際看護学Ⅰの単位取得を履修要件とする。
2. 国際看護学演習履修者は、本科目を履修すること。

■ 成績評価の仕方

1. 課題の取り組み 50 %
2. レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00

織方(554 研究室)・角田(410 研究室)・赤井(555 研究室)

■ 受講上の注意事項

※ H.E.L.P. in Japan : Health Emergencies in Large Populations in JAPAN : 赤十字国際委員会(International Committee of the Red Cross (ICRC)、日本赤十字社、日本赤十字看護大学が企画する 10 日間の国際人道援助研修です。隔年開催で今年度は開催年に当たりますので、人道援助のスペシャリストである講師から、学生の皆さんにお話を頂く予定です。人道援助機関の研修の様子を知る良い機会となると存じます。

積極的に授業に参加し、どのようにグローバルヘルスに貢献していくかを学友と議論することを期待しています。

■ その他

HBID350

国際看護学演習

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：－

○織方 愛、内木 美恵

■ 授業の目的

国際看護学Ⅰ・Ⅱの学習を基礎に海外へ渡航し、現地の健康課題、提供される保健医療福祉看護について学ぶ。

■ 到達目標

1. 保健医療福祉看護システムの異なる国における健康課題を把握し、その国・地域の看護の役割・機能を理解する。
2. 海外での体験を通して、国際看護に必要な知識・技術・感性を身に付ける。
3. 現地における看護体験を他者に説明することができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：海外への渡航による演習となる。研修先はフィリピン等の開発途上国を検討中である。
2. 参考資料の提示：当該国に関する資料等を提示するので熟読し、事前準備を行う。
3. 演習前オリエンテーション：現地での演習プログラムの概要・健康管理・危機管理・渡航手続等のオリエンテーションを数回実施するので必ず出席すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 演習前オリエンテーション：事前に 2～3 回演習プログラムの概要・健康管理・危機管理・渡航手続等の説明を行う。
2. 演習日程：3 月中旬～下旬に 10 日間程度実施(2019 年度は 2020 年 3 月 8 日～14 日に実施)。
3. 演習内容：現地の保健医療制度、保健医療課題について学ぶ。姉妹赤十字社事業・現地大学の看護学生との交流・医療施設(病院・保健センター)見学を通じ、現地の健康課題へのアプローチ方法を学び、健康課題解決へ向けての考察を行う。
4. 演習費用：全額自己負担とする。2019 年度は航空券代金・宿泊費・3 食・専用車両付きで 20 万円前後(個人の通信費・飲食代金は除く)であったが、演習国・時期・参加人数により変動する。海外旅行保険加入は必須である。現地渡航に当たり、事前の予防接種を強く推奨する。
5. 履修学生は、承諾書(本人・保護者)を提出する。
6. 現地の治安状況によっては、演習開講・スケジュール変更がありうる。

■ 教科書

その都度提示する。

■ 参考書、参考資料等

David Werner、川田いこひ原訳 シェア監訳(2009)．医者のいないところで 村のヘルスケア手引書．非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会．

Richard Skolnik、木原正博・木原雅子監訳(2017)．グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向．メディカルサイエンスインターナショナル．

日本国外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードすること

厚生労働省検疫所 海外で安全に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>

その他、演習先国及び保健医療福祉看護状況に関する資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックの詳細は、後日ポータルで連絡し、3 月 31 日までに 554 研究室で返却する。

■ 他の授業科目との関連

本科目の履修要件は、①国際看護学Ⅰの単位取得・②国際看護学Ⅱの単位取得・③保護者の同意・④海外旅行傷害保険への加入である。

■ 成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 %
2. 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00

織方(554 研究室)・内木(406 研究室)・赤井(555 研究室)

■ その他

HBID351

災害看護論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○赤井 智子、野口 眞貴子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子

■授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

■到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字の果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：1学年を2クラスに分け講義形式で行う。
2. 映像シミュレーション：災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように適宜取り入れる。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	災害看護の歴史的発展と災害発生の現状・災害の定義 事前学修：[15分] 昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるように準備する 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する。	講義・討論	赤井、橋爪
2	災害看護の定義・災害サイクルに対応した災害看護活動・赤十字における災害救護活動の実際 事前学修：[120分] 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、家族と話し合った内容をA4用紙2枚以内にまとめる 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	講義	赤井、橋爪
3	災害医療とトリアージの原則・方法 事前学修：[30分] 2種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートに整理してくる 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	講義	織方、赤井、橋爪
4	災害と健康障害(放射能汚染を含む) 事前学修：[30分] 災害による健康障害の疾患について調べてノートにまとめる 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	講義・シミュレーション	織方、赤井、橋爪
5	防災対策の基本(自助・共助・公助) 事前学修：[15分] 自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートに整理してくる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	赤井、橋爪
6	災害看護と法律・制度 事前学修：[30分] 災害発生時の法律について興味のあるものについて調べ発言できるようノートにまとめる 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成する	講義	内木、赤井、橋爪
7	総合防災訓練への参加 事前学修：[30分] トリアージについて復習し提示された傷病者役の疾患について理解し演じる準備ができる 事後学修：[120分] 防災訓練参加後の課題レポートを作成する	学外演習・討論	赤井、織方、内木、野口、橋爪
8	総合防災訓練への参加 事前学修：[30分] トリアージについて復習し提示された傷病者役の疾患について理解し演じる準備ができる 事後学修：[120分] 防災訓練参加後の課題レポートを作成する	学外演習・討論	赤井、織方、内木、野口、橋爪

■教科書

浦田喜久子編 (2019) 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 第4版 医学書院

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは授業内で行う。

■他の授業科目との関連

看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害救援に欠かせない基本的な知識を学習します。

4年次の総合実習(救急看護)を希望する学生は、赤十字救急法(課外授業)を受講しておくこと。

■成績評価の仕方

1. 定期試験 60 % 2. 小テスト 20 % 3. 事前課題レポート 10 % 4. 防災訓練後課題レポート 10 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 16:00~17:00

内木(406 研究室)、織方(554 研究室)、赤井(555 研究室)、橋爪(〇〇〇研究室)

■受講上の注意事項

毎回リフレクションペーパーに授業内容の質問、疑問点などを記載していただき次の授業回でフィードバックをする双方向性の授業を展開します。総合防災訓練に参加し、課題レポートを提出していただきます。

■その他

HBID150

災害看護論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－

○赤井 智子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子

■授業の目的

1. 災害時要配慮者の理解と共に地域社会における防災ネットワークの重要性とその構築・活用方法について習得する。
2. 災害サイクル別における保健活動の役割、災害時における感染症の発生と対策、更に災害に関する倫理と法律について習得する。
3. 災害時における病院の危機管理体制と対応について学習する。

■到達目標

1. 災害時要配慮者の定義とその特性に応じた支援内容について説明できる。
2. 災害時ネットワークの活用において、地域社会との連携の実践について説明できる。
3. 災害時に発生しやすい疾病と、感染症対策の意義と方法について理解できる。
4. 災害時、被災者や救済者に関する倫理的配慮について理解できる。
5. 災害サイクル別における保健活動の意義と役割について説明できる。
6. 災害看護活動に関連する法律について説明できる。
7. 病院の危機管理体制・対応について理解する。

■学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「災害看護論Ⅱ」に入り、フォルダを開きます。
3. 事前小テストを受講します。
4. PDF 資料や動画を視聴します。(講義は Glexa でのオンデマンド型で行います)
5. 事後小テストに取り組みます。
6. 小テストへの回答、リフレクションペーパーの提出は授業日から1週間以内に行ってください。1週間を過ぎた場合、小テストに回答したり、課題を提出した場合、出席扱いにはなっても20%減の点数になりますので注意してください。
7. 教員は、課題提出を確認し、2週間以内を目途に Glexa 上や次回授業内でコメントを返したり、小テストの解答解説などのフィードバックを行います。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題：実家(自宅)がある地域の防災に関する情報を調べ、あなたの考えを述べなさい。A4用紙2枚以内, 要表紙 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	赤井
2	自宅学習課題：実家(自宅)がある地域の防災に関する情報を調べ、あなたの考えを述べなさい。A4用紙2枚以内, 要表紙 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	赤井
3	自宅学習課題：実家(自宅)がある地域の防災に関する情報を調べ、あなたの考えを述べなさい。A4用紙2枚以内, 要表紙 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	赤井
4	急性期・亜急性期における支援と看護の役割(避難所等) 事前学修：なし 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井
5	慢性期・復興期における支援と看護の役割(仮設住宅等) 事前学修：[15分] 事前小テストの受講 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	橋爪
6	静穏期における支援と看護の役割(病院防災含む) 事前学修：[15分] 事前小テストの受講 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井
7	災害看護学における倫理 事前学修：[15分] 事前小テストの受講 事後学修：[30分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	内木

No	内容	形式	教員
8	災害対応にかかわる職種間・組織間連携 事前学修：[15 分] 事前小テストの受講 事後学修：[30 分] 事後小テストの受講、リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井

■教科書

浦田喜久子他(2016). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第3版. 医学書院.
その他各プログラムに必要な資料を作成し授業で配布する。

■参考書、参考資料等

小原真理子(2012). 災害看護一心得ておきたい基本知識. 改訂 2 版. 南山堂.

■フィードバックの仕方

小テストの解説やリフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。

■他の授業科目との関連

災害看護論 I より発展的な内容を扱います。

■成績評価の仕方

1. 自宅学習課題 10 % 2. 小テスト(事前・事後)全 9 回 90 %

★提出期限に遅れた場合は 20 %減点

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 16:10~17:00

内木(406 研究室)、織方(554 研究室)、赤井(555 研究室)、橋爪(408 研究室)

■受講上の注意事項

オンデマンドによる配信です。2 週間視聴できます。

①事前小テスト：授業の 1 週間前(16:20)より配信。授業日前日 23:59 までに提出。

②事後小テスト：授業後(16:20or 17:50)より配信。次回授業日前日 23:59 までに提出。

④リフレクションペーパー：授業終了後(16:20)から次回授業の前日 23:59 までに提出。

★ 5/20、5/27 のみ水曜日 5 限となるため、小テストやリフレクションペーパーの提出期限に注意してください。

* この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

■その他

HBID400

災害看護活動論 I

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○赤井 智子、野口 眞貴子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子

■ 授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要とされる基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

■ 到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通して、状況の情報収集から必要な救護活動のアセスメントができる。
3. 避難所の運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. 広尾地区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害急性期に果たす役割を理解することができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. Glexa にアクセスします。
2. 「災害看護活動論 I」に入り、フォルダを開きます。
3. オンデマンドの授業では PDF 資料や動画を視聴します。
4. Teams の授業日は Glexa 上にある URL 等からアクセスします。
5. 授業では、個人課題やグループワーク課題を Web を利用し行います。
6. 小テストは授業内で行います。
7. リフレクションペーパーの提出は授業日から 1 週間以内に行ってください。
8. 教員は、課題提出を確認し、2 週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、次の授業でフィードバックを行います。

【授業の構成】

- ・ Glexa による遠隔授業（オンデマンド型）第 1 回、第 2 回
- ・ Teams による遠隔授業（同時双方向型）第 3 回、第 4 回、第 5 回、第 6 回、第 7 回
- ・ 演習（遠隔）：夏の集中補講予定（第 8～11 回、第 12～15 回）それぞれ 1 日で 4 コマずつ行います

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、目標設定の個人ワーク、グループ分け 事前学修：[15 分] Google map、ストリートビューの操作を確認しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	オンデマンド型	赤井
2	災害図上訓練(DIG) I 講義 事前学修：[15 分] Google map、ストリートビューの操作を確認しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーの作成をする	オンデマンド型	赤井
3	災害図上訓練(DIG) II 地域探索(個人ワーク) 事前学修：[15 分] 第 2 回資料のグループワークの進め方、第 3 回資料の災害図上訓練(実践編)個人作業用 を読んでおく。Google map、ストリートビューの操作を確認しておく。 事後学修：[45 分] 個人ワークで MAP づくりの続きを行う。リフレクションペーパーを作成する。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	赤井・野口・内 木・織方・橋爪
4	災害図上訓練(DIG) II (GW ①) 事前学修：[30 分] 個人ワークの Map づくりを仕上げる 事後学修：[45 分] GW でディスカッションした内容をグループでまとめる。(Map 作り、強み・弱みなど授業内で終わらなかったものを仕上げる)リフレクションペーパーを作成する。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	赤井、野口、内 木、橋爪
5	災害図上訓練(DIG) II (GW ②) 事前学修：[30 分] GW ①でディスカッションした内容をグループでまとめる(授業時間内で終わらなかったものを作成) 事後学修：[45 分] 想定事例の課題をもとに、エリアの強み・弱みを検討したものを追加記入し作成(授業時間内に終わらない場合)。リフレクションペーパーを作成する。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	赤井、野口、内 木、橋爪

No	内容	形式	教員
6	災害図上訓練(DIG) Ⅲ-① グループ発表 事前学修：[30 分] GW で仕上げた① MAP と②「強み・弱み」の資料を作成する。③余裕があれば災害想定についてもまとめる。 事後学修：[120 分] 状況により、実際に自分の足でまちを歩いてみる。リフレクションペーパーを作成する。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	赤井、野口、内木、織方、橋爪
7	災害図上訓練(DIG) Ⅲ-② グループ発表 事前学修：[30 分] GW で仕上げた① MAP と②「強み・弱み」の資料を作成する。③余裕があれば災害想定についてもまとめる。 事後学修：[15 分] 状況により、実際に自分の足でまちを歩いてみる。リフレクションペーパーを作成する。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	赤井、野口、内木、織方、橋爪
8	救護技術演習 I-① 規律行動訓練等 事前学修：[15 分] Glexa に UP している資料を読み演習の内容をイメージできる 事後学修：[15 分] 演習で実施されていた内容を資料を見ながら復習する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
9	救護技術演習 I-② 無線機、自家発電機の取り扱い等 事前学修：[15 分] I-①で学んだものを復習しておく 事後学修：[15 分] I-②で学んだものを復習しておく	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
10	救護技術演習 I-③ 担架、簡易ベッド等 事前学修：[15 分] I-②で学んだものを復習しておく 事後学修：[15 分] I-③で学んだものを復習しておく	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
11	救護技術演習 I-④ 救護テントの設営等、小テスト 事前学修：[15 分] I-③で学んだものを復習しておく 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する。小テストで間違った部分を復習し正しい知識で覚える。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
12	救護技術演習 II-① 総合演習 事前学修：[15 分] 救護技術演習 I で学んだことを資料を見ながら確認しておく 事後学修：なし	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
13	救護技術演習 II-② 総合演習 事前学修：[15 分] 救護技術演習 I で学んだことを資料を見ながら確認しておく 事後学修：なし	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
14	救護技術演習 II-③ 総合演習 事前学修：[15 分] 救護技術演習 I で学んだことを資料を見ながら確認しておく 事後学修：なし	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪
15	救護技術演習 II-④ 総合演習 まとめ 小テスト 事前学修：[15 分] 救護技術演習 I で学んだことを資料を見ながら確認しておく 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する。小テストで間違った部分を復習し正しい知識で覚える。	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	日赤東京都支部・赤井・橋爪

■ 教科書

各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

発表のフィードバックは、授業の中で行っていく。小テストは授業内でフィードバックしていく。学生同士の相談広場(Forum)にて質問についてのフィードバックを適宜行う。

■ 他の授業科目との関連

1 年次の災害看護論Ⅰで学んだ「災害急性期看護の基本」、4 年次で学ぶ災害看護論Ⅱの「地域で暮らす被災者の支援のあり方」、2 年次後期で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「被災者と救済者のこころのケア」、3 年次で学ぶ「被災者の健康生活の支援」が、演習を通して災害急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本活動論に関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 小テスト or 課題レポート 40 % (技術演習) 2. 課題の取り組み (個人 30 %・グループ 30 %) 60 %

★提出期限に遅れた場合はそれぞれ 20 % 減

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 17:00～18:00

野口(403 研究室)、内木(406 研究室)、織方(554 研究室)、赤井(555 研究室)、橋爪(408 研究室)

■ 受講上の注意事項

【出席の確認】

- ・リフレクションペーパーの期限内の提出 (授業終了後～翌火曜日 13 時まで)
- ・Teams の場合は、参加の確認

【配信のタイミング】

- ・基本的には Glexa は時間割の時間から配信開始。オンデマンドで 1 週間配信 (翌週の火曜日 13 時まで)
- ・Teams 使用の場合はオンタイムで予定授業時間に実施

【救護技術演習について】

- ・Covid-19 の状況をみながら、最終的に実施するかどうか決定します。
夏に集中補講として実施します。

【IT 環境に問題がある学生】

- ・事前に IT 環境に問題のある学生は科目担当教員まで連絡をしてください。

連絡がない場合は、出席がカウントできない場合があります。

■ その他

HBID200

災害看護活動論Ⅱ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○織方 愛、赤井 智子、内木 美恵、橋爪 朋子

■ 授業の目的

防災・被災対応の意味や基盤となる知識について学ぶ。その一環として、避難所・仮設住宅における生活の視点、起きやすい健康課題とその予防について、具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 防災・被害対応の意味、危機管理対応について理解する。
2. 避難所の目的や立ち上げに関連する行政の役割やシステムについて説明できる。
3. 避難所の特徴や避難所生活が被災者の心身に及ぼす影響について説明できる。
4. 被災者の生活の視点から捉えた避難所・仮設住宅における生活支援の必要性について説明できる。
5. 演習を通して、避難所の設営に必要な人材や資機材、被災者同士の協働のあり方について考察できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義と演習、毎回 2 コマ続きの授業を 8 回行う。
2. 講習：日本赤十字社高齢者の健康生活支援講習の受講。
3. 演習：避難所および仮設住宅で生活する人びとへの支援

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[15 分] 昨年度の災害を一つ選び被災地域について調べ、発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	講義・演習	織方・橋爪
2	被災地域の特性と看護の役割 事前学修：[15 分] 2011 年東日本大震災の被災地域の特性について発表できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	講義・演習	織方・橋爪
3	被災者特性に応じた災害看護の展開(乳幼児・妊産婦・高齢者・障がい者・外国人) 事前学修：[15 分] 慢性疾患をかかえた被災者に起こりうる問題について発表できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	講義・演習	織方・橋爪
4	避難所における生活とは 事前学修：[15 分] 災害看護論Ⅰで学習した避難所に関する法律について復習し発表できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	講義・演習	橋爪・織方
5	避難所生活シミュレーション 事前学修：[15 分] 避難所で生活中的被災者について具体的な出来事を調べ A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	演習	橋爪・織方
6	避難所および仮設住宅で生活する人びとへの支援 事前学修：[15 分] 仮設住宅で生活中的被災者について具体的な出来事を調べ A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成する	講義	内木・橋爪
7	赤十字健康生活支援講習①：高齢者の健康と安全 事前学修：[15 分] 講習教本の(高齢者の健康と安全)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	演習・発表・討論	内木・橋爪
8	赤十字健康生活支援講習②：高齢者の健康と安全 事前学修：[15 分] 講習教本の(高齢者の健康と安全)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東京都支部・赤井・橋爪

No	内容	形式	教員
9	赤十字健康生活支援講習③：日常生活における介護 事前学修：[15 分] 講習教本の(日常生活における介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
10	赤十字健康生活支援講習④：日常生活における介護 事前学修：[15 分] 講習教本の(日常生活における介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
11	赤十字健康生活支援講習⑤：移動・食事・排泄・着替え 事前学修：[15 分] 講習教本の(移動・食事・排泄・着替え)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
12	赤十字健康生活支援講習⑥：移動・食事・排泄・着替え 事前学修：[15 分] 講習教本の(移動・食事・排泄・着替え)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
13	赤十字健康生活支援講習⑦：清潔・認知症高齢者の介護、学科検定 事前学修：[15 分] 講習教本の(清潔・認知症高齢者の介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
14	赤十字健康生活支援講習⑧：清潔・認知症高齢者の介護、学科検定 事前学修：[30 分] 講習教本に目を通し学科検定試験で合格できるよう準備をする 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする	講義・演習・試 験	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪
15	コースサマリー 事前学修：[30 分] 事後学修：[15 分]	講義・演習	日本赤十字社東 京都支部・赤井・ 橋爪

■教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■参考書、参考資料等

小原真理子 (2010). 演習で学ぶ災害看護. 第 1 版. 南山堂.

■フィードバックの仕方

プレゼンテーションについては授業中にフィードバックを行う。また、小テストは授業中後半に解説を行う。

■他の授業科目との関連

災害看護活動論Ⅱでは災害看護活動論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 課題レポート 60 % 2. プレゼンテーション 30 % 3. 小テスト 10 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 16：00～17：00

織方(554 研究室)・内木(406 研究室)・赤井(555 研究室)・橋爪(〇〇研究室)

■受講上の注意事項

赤十字健康生活支援講習 (受講料別途 1,000 円程度・第 2 回で徴収)の全日程出席者には「健康生活支援員」の受験資格が与えられる。
最終日に行う認定試験に合格すると、日本赤十字社より「健康生活支援員」の資格が認定され、認定証が授与される。

■その他

HBID250

災害看護活動論Ⅲ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－

○織方 愛、内木 美恵、赤井 智子、橋爪 朋子

■ 授業の目的

災害中長期において起きやすい健康および生活に関する問題、対応について学ぶ。被災者および救護者に対する「こころのケア」の必要
性と共に、時期的変化をふまえた「こころの状態」について理解し、基本的なコミュニケーションの方法について具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 被災者の危機的状況と心の反応を時期的変化と共に説明できる。
2. こころのケアとは何か、こころのケアの効果と実施上の基本原則について説明できる。
3. こころのトリアージの必要性およびこころのトリアージの分類について説明できる。
4. 災害中長期における被災者の生活の場の特性と被災者のニーズについて理解する。
5. こころのケアを展開する生活の場についての具体的な方法を演習で展開できる。
6. 遺族及び救護者のこころのケアについて討論を展開し、考察展開できる。
7. 救護者のこころのケアについて、その必要性と具体的な方法について説明できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義と演習、基本的に毎回2コマ続きの講義・ディスカッションを行う。
2. 講義：こころのケアの概論と被災者・救護者・遺族へのこころのケア

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己学修課題 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
2	自己学修課題 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
3	自己学修課題 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
4	自己学修課題 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
5	自己学修課題 事前学修：[15 分] なし 事後学修：[15 分] なし	自宅学習	織方
6	自己学修課題 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	織方
7	コースオリエンテーション・被災者のこころのケア 事前学修：[15 分] 災害看護論Ⅰ 授業資料に目をとおり A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	オンデマンド型	織方
8	全体 日本赤十字社救護班の活動 ゲストスピーカー：今井家子様・山本富美子様 事前学修：[15 分] 災害看護論Ⅰ 授業資料に目をとおり A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み 返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方

No	内容	形式	教員
9	整体 日本赤十字社救護班の活動 ゲストスピーカー：今井家子様・山本富美子様 事前学修：[15 分] 第 7・8 回の配布資料を読み興味のある関連した内容を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
10	整体 日本赤十字社救護班の活動 ゲストスピーカー：今井家子様・山本富美子様 事前学修：[15 分] 第 7・8 回の配布資料を読み興味のある関連した内容を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
11	遺族のこころのケア 事前学修：[15 分] 映画「遺体」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめる。 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
12	遺族のこころのケア 事前学修：[15 分] 映画「遺体」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめる。 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
13	大森赤十字病院医療救護所立ち上げ訓練への参加(被災者のこころのケア) 6 月 6 日(土)または 6 月 13 日(土)(いずれかだが未定) 事前学修：[15 分] 金田和子氏のテキスト(事前に配布)を読み、全体について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
14	大森赤十字病院医療救護所立ち上げ訓練への参加(被災者のこころのケア) 6 月 6 日(土)または 6 月 13 日(土) 事前学修：[15 分] 金田和子氏のテキスト(事前に配布)を読み、全体について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方
15	コースサマリー・防災訓練参加後のデブリーフィング 事前学修：[15 分] Glexa ページの資料を読んで課題に取り組んでください。 事後学修：[30 分] Forum 上で学生同士のディスカッションを行う、授業の配布資料を読み返しリフレクションペーパーを提出する	オンデマンド型	織方

■ 教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子編(2018)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第 3 版．医学書院

浦田喜久子編(2019)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第 4 版．医学書院

斉藤仁(2008)．看護師金田和子と救護班．インターメディカ

飯塚訓(1998)．墜落遺体．講談社

君塚良一(2013)．遺体 明日への十日間．ポニーキャニオン(DVD)

■ フィードバックの仕方

課題レポートのフィードバックは、Glexa 上でレポートにコメントする形で行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 災害看護論Ⅰの単位取得を履修要件とする。
2. 災害看護活動論Ⅲでは災害看護活動論Ⅰ・Ⅱの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

事前学修課題 20 %，ディスカッション 25 % (Forum 投稿)，事後学修課題(リフレクションペーパー) 25 %，課題レポート 30 %＝合

計 100 %

■ オフィスアワー・研究室等

時間：授業開講時間内(14：40～17：50 もしくは 16：10～17：50)

場所：Glexa の Forum に投稿する(あなたが疑問に思うことを共有すると、全員の学びになりますので是非共有して下さい)

■ その他

HBID301

看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探究 実務経験がある
教員：○

○川原由佳里、吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、住谷ゆかり、河田照絵、桐原あずみ、工藤有希、池田圭子、西田朋子、内木美恵、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、湯浅晶子、高田由紀子、池田良輔子、内藤なづな、柴田純子

■ 授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的な関わりを通して、個々人の必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助の方法を学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の、援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

■ 学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を1～2名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2021年1月12日(火)～1月22日(金)

実習場所：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院

実習時間：8時30分～16時00分

*実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。

*なお、レベルⅠ実習の一部として、2020年8月6日(木)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る。」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの学習が土台になります。レベルⅠ実習履修に必要な科目の試験受験資格を有していること(「履修の手引き」の実習について：履修要件科目を参照のこと)

■ 成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接35点、学習体験発表10点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時の課題を含む)・カンファレンスへの参加度35点、課題レポート20点 合計100点で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。 各施設責任者(各研究室)*各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

■ 受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できませんので注意してください。

■ その他

HBNP150

看護援助論実習〔レベルⅡ〕

単位：5 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：○

○三浦英恵、○吉田みつ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、住谷ゆかり、河田照絵、桐原あずみ、工藤有希、池田圭子、西田朋子、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、高田由紀子、内藤なづな、松島史絵、鈴木健太

■ 授業の目的

健康障害をもつ人を対象とし、援助的人間関係を発展させる。

看護過程を用いて対象となる人を全体論的に捉え、対象者の健康にかかわる能力が発揮されるよう、看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者との援助的人間関係を発展させる。
2. 対象者を尊重し、権利と尊厳を守るための課題に気づくことができる。
3. 看護アセスメントを行い、全体像を捉える。
4. 看護援助を計画することができる。
5. 援助を対象者の状況に合わせて実施し、考察することができる。
6. 対象者をとりまく人々と連携し、より良い方策を考えることができる。
7. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深める。

■ 学習の進め方

1. 事前学習・学内学習

オンデマンド型のオリエンテーション時に、実習の概要および事前学習課題について説明するため、実習開始前に事前学習を行う。実習の開始前や期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な事前知識や技術を学び、実習に生かすようにする。看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導を受けることができるため学習状況に合わせて主体的に活用する。

2. 学内実習(対面/遠隔)

オンデマンド型・同時双方向型のオンライン環境および対面において実習を進める。

患者 1 事例を担当し、看護過程を用いて看護援助の検討を行う。

視覚的教材を作成を用いて、できるだけ場面を想像しながら対象者の理解と看護援助を思考していくことができるようにする。

実習は記録物、視覚教材、ロールプレイ、カンファレンスを通して対象を理解し、援助的人間関係を発展させながら、患者一人ひとりに合わせた看護を実施し振り返りを行う中で学びを深める。

毎日開催されるカンファレンスでは、グループダイナミクスを生かし、学びを共有し深める。

事例の中で、医療安全や多職種連携など実習目標に合わせた取り組みなども学習できるようにする。

3. ケース発表・レポート

ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。

レポートでは、ケース発表を発展させる形で学びを深める。

4. 評価面接

学生が記載した自己評価表をもとに、学生と教員とで WEB を介した評価面接を行う。

実習での学びと課題について振り返る機会とする。

5. 事後学習

カンファレンス・ケース発表・評価面接を通して得た学びや自己の課題を整理し、今後の学習につなげる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：5 週間

実習形態：学内実習(遠隔あるいは対面)

担当教員：教員 1 名につき 1 グループ 6～7 名を担当し、直接、実習指導を行う。

臨床指導者：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院の看護部の皆様、指導者の皆様から情報提供、助言を得る機会を設ける。

■ 教科書

吉田みつ子・本庄恵子編著(2017)．写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス．インターメディカ．

■ 参考書、参考資料等

川島みどり監修(2007)．学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．医学書院．

守田美奈子監修(2016)．写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス．インターメディカ．

■ フィードバックの仕方

1. 全体評価のフィードバックは、WEB での最終面接にて自己評価表を確認しながら行う。
2. 実習記録やレポートのフィードバックは、Glexa を通してコメントを付した実習記録の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。看護援助論Ⅰ(看護過程)で用いた書式にて、受け持ち患者の看護過程を展開する。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像検討・ケース発表 20 % 2. ケースレポート 20 % 3. 自己評価による実習達成度 35 % 4. 実習への取り組み(出席状況含む) 25 %

■ オフィスアワー・研究室等

5 週間の中で、各週に自己学習日を設けており、その日はオフィスアワーとする。具体的な時間と方法は、実習開始後に担当教員より提示する。尚、実習全般に関する相談は、三浦(444 研究室：h-miura@edcross.ac.jp)、吉田(448 研究室：yoshida@redcross.ac.jp) まで、連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

■ その他

HBNP200

精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：○

○鷹野朋美、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな

■ 授業の目的

精神保健上の問題を抱えている個人を対象に、その人となりや生活上の文脈において理解することを主眼として、自らをケアの道具として最大限に生かし、対象とかかわることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象の理解：対象の性格・人柄・価値観・認知のパターンなどを、その人の生活史や家族背景とのつながりから、理解できる。
2. 「生きにくさ」と「レジリエンス」の理解：その人が日常生活を送る上で、どのような問題を抱えているのか、それがどのような「生きにくさ」として体験されているのかを理解できる。
3. かかわりと参加：自分のかかわりの意味を考えながら、その人の日常生活に参加することができる。
4. 振り返りと言語化：かかわりの中で生じる自分の感情や考えを振り返り、ことばにして記録し、吟味できる。
5. 治療的環境の理解：自分の治療的環境の一部として存在していることを意識して行動することができる。

■ 学習の進め方

1. 病棟実習：入院中の患者を、原則として 1 人受持ち、患者の日常生活に参加しながらかかわり、患者理解、自己理解を深める。
2. ケース発表・レポート：ケース発表では、患者とのかかわりのプロセスを振り返って報告し、ディスカッションによって深める。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で、文献を用いて考察し、体験を深める。

【事前学修】下記の課題 1 と 2 について記述し、実習初日に教員に提出すること。

課題 1. ①精神保健福祉法に定める入院形態、②統合失調症と気分障害の主要症状、③抗精神病薬の種類と作用・有害反応、について A4 用紙 2～3 枚程度にまとめる。

課題 2. 実習において患者とどのようにかかわってみたいかを A4 用紙 1 枚にまとめる。

【事後学修】実習を振り返り「学生とのかかわりを通して見えてきた患者の生きにくさとレジリエンス」をテーマとしてクリニカルレポートを作成し、提出する。

なお、事前学修、事後学修については、実習オリエンテーション時に詳しく説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月から 2 月にかけて、2 週間行う。実習場所：井之頭病院(三鷹市)、青木病院(調布市)、成増厚生病院(板橋区)、根岸病院(府中市)、三恵病院(東村山市)、多摩中央病院(多摩市)。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座 精神看護学 [1] [2]、医学書院。(2 年次に購入した版、発行年のものを使用する)

■ 参考書、参考資料等

治療や薬物療法に関する図書については、実習前オリエンテーションにて提示する。

■ フィードバックの仕方

クリニカルレポートは、実習終了後 2～3 ヶ月以内に、コメントをつけて各担当教員から返却する。返却の連絡は、学生宛にポータルとメールにて行うので、担当教員の指示に従って指定の場所に取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、授業科目として、精神保健看護学Ⅰ、精神保健看護学Ⅱ、疾病の成立と回復の促進Ⅳ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの全ての科目の修了試験受験資格を有していることが精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕実習の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

実習への取り組み 45 %、実習記録 20 %、ケース発表 10 %、レポート 25 %。ただし欠席は 2 日以内であること。遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とみなす。

■ オフィスアワー・研究室等

実習前でもそれぞれの教員の研究室で相談に応じる。鷹野研究室(428)、堀井研究室(427)、古城門研究室(412)、堀川研究室(未定)、内藤研究室(未定)。実習中は必要なとき、遠慮せず声をかけてもらいたい。実習時間後に実習場の教員控え室で話を聞くこともできる。

■ 受講上の注意事項

実習の成果ではなく、どれだけ自分が対象にコミットできたか、その結果どれだけ自己理解・対象理解が進んだかのプロセスが重要である。そのためのサポート資源として教員を活用してほしい。

■ その他

HBNP300

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある教員：○

○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織

■ 授業の目的

妊娠・分娩・産褥期にある母親・子ども・父親/パートナーとその家族の健康問題を、ライフサイクルの視点と社会生活を営む人としての視点から理解し、対象の価値観を尊重し、かつ安全なケアを保証するとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. ライフサイクルの視点から周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)を位置づけ、対象者を捉えることができる。
2. 周産期における対象者の健康レベルを生理的、心理・社会的な特性を踏まえて明確にし、健康の保持・増進を促すよう関わることができる。
3. 対象者の価値観を尊重し、安全で納得のいく出産体験の保証や、対象が新しい生命を家族の一員として迎え、慈しみ育てられるような関わりを学ぶことができる。
4. 社会生活を営む対象者の援助を通して、保健・医療・福祉・その他関連領域の専門家と連携し、協働による援助のあり方を考えることができる。
5. 対象者と密接に関連する社会状況の変化を捉え、well-being の視点から周産期における看護の役割を考えることができる。

■ 学習の進め方

1. 病産院での実習：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU をめぐり、周産期における女性と新生児・父親/パートナーへの看護を学ぶ。産科棟では産褥早期の母親と新生児を 1 組受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行なう。
2. 学内学習：実習期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な知識や技術を学び、実習に活かせるよう、学生は実習室や図書館等を活用し、自己学習を行なう。また、看護過程の展開にあたっての個別指導やグループ指導を受けることができるので、自己の学習状況に合わせて主体的に活用し学習を進めること。
3. カンファレンス：日々のテーマカンファレンスでは、周産期の看護に関連するトピックスについてグループで話し合い、実習での学習体験を深める。
4. ケース発表・レポート：ケース発表では、産科棟での看護過程に焦点を当てて発表し、学びを共有する。レポートでは、各実習場での学習を通して学生個々にテーマを設定して考察する。
5. 評価面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行なう。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2 週間

実習施設：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、葛飾赤十字産院、横浜市立みなと赤十字病院

実習場所：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU

実習時間：原則として 8:00～16:00 (又は 8:30～16:30)であるが、実習施設、実習場所にて異なる。

※詳細については、実習要項を参照のこと。

■ 教科書

平澤美恵子・村上睦子監修(2017)．写真でわかる母性看護技術アドバンス．インターメディカ．

■ 参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①②)の講義資料、演習資料、および教科書を活用する。

教科書は森恵美他(2016)系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 13 版 母性看護学 2. 医学書院である。

■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にフィードバックを行う

■ 他の授業科目との関連

1. 看護援助論実習(レベルⅡ)に合格していること
2. 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、看護援助論Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有していること

■ 成績評価の仕方

実践内容 30 %、実習記録 30 %、ケース発表 10 %、最終レポート 10%、発達看護学実習Ⅰ個人評価表 20 %とする。詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12：10-13：00、③新田(451 研究室)、加藤(433 研究室)、東(430 研究室)、塚本(423 研究室)、藤田

(421 研究室)、千葉(〇〇研究室)、新任助教(〇〇研究室)各実習担当教員が主に対応する。

■ 受講上の注意事項

1. 欠席 2 日以上の場合は再履修、遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とする。
2. 新生児やハイリスク児と関わるため、健康管理には十分留意する。
3. 自己の感性や生命に対する畏敬の念を高め、看護者としての倫理的な視点を養うことを期待する。

■ その他

HBNP301

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」関係 実務経験がある教員：○

○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子

■ 授業の目的

乳児・幼児・学童・思春期にある子どもとその家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が人間として尊重され、その人らしく生き生きと生活できるように、それぞれの健康レベルに応じた援助を考える。

■ 到達目標

1. 子どもとその家族(成長発達、生活状況、健康状態)を理解するとともに、子どもと家族を取り巻く環境を認識し、その影響を考察することができる。
2. 子どもと家族の健康の保持、増進、回復のために、適切な情報を収集、分析し、既存の知識・技術を発展させ援助することができる。
3. 子どもと家族のニーズに応じて、子どもと家族の尊厳と権利を擁護した援助を実践することができる。
4. 他領域の専門家と協力する重要性を認識し、調整的な機能を理解し、説明することができる。
5. 変化する社会に応じた小児看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. オリエンテーション：同時双方向型で、実習内容および各フィールドのオリエンテーションを行う。
2. 病棟実習：患者(ペーパーペイシエント)を受け持ち、看護過程を展開し、看護援助を考察する。カンファレンスでは、子どもと家族とかかわってみて感じたこと、考えたことをグループ内で共有し、看護援助の方法や子どもと家族の理解につなげる。
3. 学内技術実習：学内での対面授業もしくは同時双方向型で、技術獲得の実習を行う。
4. 小児地域実習：乳児院、小児科外来、クリニック、フィールドワーク実習をオンデマンド型もしくは同時双方向型で行う。カンファレンスは同時双方向型で行い、各フィールドの役割や意義について学びを共有し、子どもと家族を取り巻く環境について理解を深める。
5. ケース発表：病棟実習中の学びを振り返り、子どもと家族の特性と対象の個性について学びを共有する。
6. 実務経験のある教員による指導：各実習フィールドの実習指導者または Teaching Assistant (TA) が、実習生へカンファレンスなどでの指導を担う。実習指導者または TA は実習フィールドなどに勤務している実務経験豊富な看護師とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：2 週間
2. 実習場所：オンデマンド型、同時双方向型、オンデマンド型と同時双方向型ミックス、フィールドワークおよび対面授業で行う。
※詳細は、初日オリエンテーション資料および実習要項を参照のこと。

■ 教科書

筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第 8 版. 日総研.

筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却は、Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

履修については、履修の手引きに記載されている履修要件を確認すること。

この科目の履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること。疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論(小児期)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有すること。

この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。

■ 成績評価の仕方

1. 自己評価 30%
2. 実習の記録&レポート 50%
3. 実習への取り組み 20%

※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習開講期間内に、担当教員へ Email で行う。

■ 受講上の注意事項

・自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。

※詳細は、初日オリエンテーション資料、実習要項を参照のこと。

■ その他

HBNP302

発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある教員：○

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子

■ 授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある個人とその家族を対象とし、対象の顕在的・潜在的能力が最大限に発揮されるよう、看護援助を実践できる。

■ 到達目標

1. 老年期にある人を、環境との相互作用によって変化する個別的で複雑な発達の過程であると捉えることができる。
2. 老年期にある人の加齢および疾患などにより生じた健康障害について説明できる。
3. 老年期にある人が、それぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるよう、看護援助を実践することができる。
4. 老年期にある人とその家族を、常に相互作用し合いながら変化する一つのシステムとして捉えることができる。
5. 老年期にある人がおかれている我が国の保健医療福祉システムについて説明できる。

■ 学習の進め方

1. 施設実習：入所中の高齢者を原則として 1 名受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行う。看護師として高齢者への看護実践能力を身につけるため、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、受け持った高齢者の健康や生活に関する情報をもとにアセスメントを行い、健康問題を明らかにし、高齢者の意思、価値観、日常生活を尊重した看護援助を実施する。
 2. ケース発表・レポート：ケース発表では実習での自らの看護について振り返り考察する。レポートでは、発表での他者からの質問、意見をもとにさらに内容を深め発展させる。
 3. 評価面接：学生の自己評価表をもとに学生と教員との個別面接を行い、実習での学びと課題について振り返る。
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月～翌年 2 月までの間で 2 週間行う。

実習場所：日本赤十字社総合福祉センター(千葉・清田)、介護老人保健施設ばらの園(未定・坂口)、介護老人保健施設グリーンポート(未定・坂口)、介護老人福祉施設きのこ南麻布(松島)

*詳細は実習要項を参照のこと

■ 教科書

川島みどり監修 老年看護学 看護の科学社

■ 参考書、参考資料等

老年看護学で配布された資料等

■ フィードバックの仕方

最終の実習記録やレポートのフィードバックについては、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が 3 月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

疾病の成り立ちと回復の促進、発達看護学概論(老年期)、発達看護学Ⅰ①、②、健康レベル別看護学演習Ⅱ(老年看護学)の全科目の終了試験受験資格を有することで実習が可能となり、その後 4 年次で行われる看護学総合実習(老年看護学)につながる。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への参加と態度 20 %
2. 発表 10 %
3. ケースレポート 20 %
4. 自己評価表 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

自己学習日の木曜日 12:30-13:00 坂口(414 研究室)、千葉(429 研究室)、清田(431 研究室)、松島・未定(450 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションを連絡なしに欠席した場合、原則として実習をすることはできない。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に取り組むこと。
3. 学外実習での基本的マナー(実習開始時刻、服装、挨拶等)を遵守し、節度を持って主体的に実習すること。

■ その他

HBNP303

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：3 単位 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」成長 実務経験がある
教員：○

○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳栄、住谷ゆかり、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、桐原あすみ、高田由紀子、工藤有希、細野知子、吉良理絵、池田圭子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈

■ 授業の目的

成人期にある人々の健康にかかわる能力が発揮されるように、対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者をライフサイクルの中に位置づけ、常に発達する存在として捉えることができる。
2. 成人期にある個人の健康レベルを踏まえて、身体的、心理的、社会的に捉えることができる。
3. 計画した看護援助を、対象者の状況に合わせて実施し、評価することができる。
4. 成人期にある個人の意思を尊重し、専門職者としての行動をとることができる。
5. 対象者をとりまく人々と連携し、看護の場で生じる様々な葛藤を建設的に解決するよう努力する。
6. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深めることができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学習・学内学習

オリエンテーション時に、実習概要および学習課題について説明する。実習目標を達成するために、看護過程の準備を行い、実習計画の立案や実習に必要な知識、技術に関する事前学習を行う。学内学習では、看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導の場を設けているので、学習状況に合わせて主体的に活用する。

2. 遠隔実習

患者を原則として 1 名担当し、看護過程を用いて対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を検討する。対象者のケアを通して、チーム医療の一員として、看護ケアに取り組むことをめざす。

3. ケース発表・レポート

ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で学びを深める。

4. 評価面接

学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

5. 事後学習

オンライン実習・カンファレンス・ケース発表・評価面接を通して得た学びや自己の課題を、実習ポートフォリオや技術体験録を活用して整理し、今後の学習につなげる。

看護師に必要な能力を身につけるため、実務経験のある教員の指導と実習指導者による助言の下、担当患者のアセスメントをし、看護計画を立案する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 週間

実習場所：学内実習(遠隔)

(詳細は実習要項を参照のこと)

■ 教科書

吉田みつ子・本庄恵子編著(2017)．写真でわかる実習で使える看護技術 アドバンス [DVD 付] 学生・指導者が、一体となってケアを展開するために！ 初版 インターメディカ．

■ 参考書、参考資料等

川島みどり監修(2007)．学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．初版 医学書院．

守田美奈子監修(2016)．写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス．初版 インターメディカ．

■ フィードバックの仕方

教員は評価面接において、実習目標の達成度を判定し、評価のフィードバックを行う。実習記録、ケースレポートのフィードバックは、実習評価がすべて終了した後、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。具体的な時期は、担当教員から別途連絡する。

■ 他の授業科目との関連

4 年次前期の応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)を履修することが望ましい。

レベルⅢ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像ケアプラン検討・ケース発表 20% 2. ケースレポート 20% 3. 実習への取り組み・カンファレンスへの参加度 30% 4. 実習目標達成度 30%

■ オフィスアワー・研究室等

実習中に設けてある学内演習・学習もしくは自己学習日はオフィスアワーとする。具体的な時間と場所は、実習開始後に担当教員より提示する。尚、実習全般に関する相談は、本庄(442 研究室)、三浦(444 研究室)まで、連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

■ その他

HBNP400

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（精神保健看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」連携 実務経験がある教員：○

○鷹野朋美、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな

■ 授業の目的

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ(根拠)について理解する。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察する。

■ 到達目標

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ(根拠)について理解できる。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察できる。

■ 学習の進め方

看護師に必要な能力を身につけるため、精神障害者地域リハビリテーションの実務家である精神保健福祉士、保健師の指導の下、精神障害者のリハビリテーションのための援助活動に参加する。

1. 事前学修
 - ・ 障害者総合支援法の中に、障害者の地域生活を支援するサービスにはどのようなものがあるのかを調べて、A4 用紙 2 枚にまとめる。
 - ・ 自分が実習する施設は、障害者総合支援法の中でどのように位置づけられているのか、その施設の目的や特徴は何かを調べ、A4 用紙 2 枚にまとめる。
2. 施設での実習
 - ・ ひとつの施設につき学生 2～4 人のグループに分かれ、3 日間、実習する。
 - ・ 施設で実施されるプログラムに参加しながら、メンバーやスタッフとの交流を図る。
3. カンファレンス
 - ・ それぞれの施設での体験について報告し、体験の共有と深化を図る。文献を用いてそれをさらに深める。
4. 事後学修
 - ・ 学んだことを文献を用いてさらに深めレポートにまとめる。(詳しくは実習要項を参照すること)

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間

実習場所：おおば福祉会(障害者総合支援法、就労継続支援 B 型)、あとりえふぁんとむ(同法、就労継続支援 B 型)、Navio けやき(同法、就労継続支援 B 型)、せせらぎ(同法、地域活動支援センター)・青桐茶房(同法、地域活動支援センター)、ストライドクラブ(同法、就労移行・継続支援 B 型、クラブハウスモデル)、巣立ち会(同法、就労継続支援 B 型)のいずれかの施設にて実習する。各施設の詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学〔1〕精神看護の基礎」第 5 版、医学書院、2019。

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学〔2〕精神看護の展開」第 5 版、医学書院、2019。

※ 2 年次に購入したものを使用する予定である。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、実習終了から 4 週間後に、実習担当教員の研究室にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが履修条件である。精神保健看護学実習(レベルⅢ)を発展させた内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への取り組み 30 %
2. カンファレンスへの取り組み 20 %
3. 事前学習 10 %
4. 実習記録 20 %
5. レポート 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

学内実習日の 12：30～13：00、18：00～18：30。鷹野研究室(428)、堀井研究室(427)、古城門研究室(412)、堀川研究室()、内藤研究室()。

■ 受講上の注意事項

病棟実習を踏まえて、障害者が地域生活を送るために、どのような工夫をしているのか、またどんな支援を受けているのかを、実際の体験を通して、理解を深めてください。

■ その他

HBNP304

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（母性看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」擁護 実務経験がある教員：○

○井村真澄、新田真弓、齋藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織

■ 授業の目的

- ・生活の場を病院や施設を含む地域全体を単位として捉え、健康課題をもつ個人、家族、集団について、それぞれの特徴を理解する。
- ・多様な社会資源やそのネットワーク状況を理解し、地域におけるケアシステムおよび施設と自宅との継続支援のあり方を考える。

■ 到達目標

1. 地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族を対象とし、その健康をライフサイクルの視点と生活者の視点から理解する。
2. 様々な社会的背景や健康状態にある母親と子ども、父親/パートナーとその家族を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
3. 母親と子ども、父親/パートナーとその家族への支援に際し、活用できる社会資源やそのネットワークの状況を理解し、施設と自宅との継続支援のあり方を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学習：全体オリエンテーションにて、事前課題資料を配布し、子育て経験のある女性の気持ちや、周産期、育児期に関連した法律や制度、実習施設のある地域の育児支援等について整理し理解を深める。事前課題は実習 3 週間前に提出し、実習前週の金曜日に担当教員から返却される。
2. 産科外来・母乳外来：発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)での学習を踏まえ、母親と子ども、父親/パートナーとその家族との関わりを通じて対象特性を理解し、地域でより健康的に生活するための支援について理解する。
3. 医療連携・患者支援推進室：入院中あるいは外来通院中の母親と子ども、父親/パートナーとその家族への退院に向けた支援の実際を見学実習する。病院における医療連携・患者支援推進室の位置づけ、機能を理解する。
4. 産後ケアハウス：入所中の母親と子どものケア、施設で実施されるプログラム、施設的环境整備(掃除・洗濯・炊事など)を実習する。病院と自宅をつなぐケアハウスの位置づけ、地域で期待される施設の役割や関連施設(保育園等)の実際や機能を理解する。地域で生活を営む人としての母親と子ども、父親/パートナーとその家族が、既習の母子保健に関連する制度や法律、政策などをどのように活用しながら妊娠期・育児期を送っているのかについて、実習を通じて学び考察する。
5. 実習の振り返り・カンファレンス：施設毎に日々の実習の振り返りおよびカンファレンスを行う。『各自の実習目標に沿って体験を振り返り、地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族への健康促進を促す援助』について考え、意見交換を通じて実習体験を共有し学びを深める。
6. 実習報告会：全施設で実習した学生の学びを共有する。実習目標に則して『実習体験を振り返り、地域社会において母親と子ども、父親/パートナーとその家族が抱える課題と看護のあり方』について地域特性や施設特性を踏まえて体験を共有し意見交換を通じて学びを深める。
7. 課題レポート：実習体験より捉えた現代社会における母親と子ども、父親/パートナーとその家族に関連した課題を 1 つ取り上げて説明し、看護者として期待される支援のあり方について文献を用いて考察する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習施設：日本赤十字社医療センター(産科外来、医療連携・患者支援推進室)、武蔵野赤十字病院(産科外来、母子保健相談室)、とよくら産後ケアハウス、ウパウパ産後ケアハウス
2. 学生は、上記実習施設のうち、2 施設で実習する。1 施設につき、学生 1～2 名のグループに分かれて実習する。
3. 実習期間：1 週間 *詳細は実習要項参照のこと

■ 教科書

森恵美他(2019). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 13 版 母性看護学 2. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)の授業資料や健康レベル別演習Ⅱの資料を活用する。

■ フィードバックの仕方

全体評価のフィードバックは、最終の実習記録返却時に、コメントを付した実習記録自己評価表の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)等での学習内容を発展させた内容を扱います。

レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の受験資格を有していることが履修の要件となります。

■ 成績評価の仕方

実習内容(実習への取り組み、カンファレンスの参加度など) 30 %、事前学習課題 10 %、実習記録 20 %、課題レポート 20 %、個人評

価表 20 % 計 100 %

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12 : 10-13 : 00、③新田(451 研究室)、加藤(433 研究室)、東(430 研究室)、塚本(423 研究室)、藤田(421 研究室)、千葉(〇〇研究室)、新任助教(〇〇研究室)。実習担当教員の研究室にて対応する。

■ その他

HBNP304

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（小児看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある教員：○

○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子

■ 授業の目的

子どもの身体的・精神的・社会的な成長発達の状態を捉えた上で、社会で生活する子どもと家族の育児状況を理解し、健康増進のための適切な援助を考える。

■ 到達目標

1. 社会で生活する子どもとその家族の生活状況、健康状態を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会や小児保健医療制度を理解し、説明することができる。
3. 小児保健医療福祉チームにおける看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. オリエンテーション：同時双方向型で、実習内容のオリエンテーションを行う。
2. 実習：看護実践の実際にふれること、課題学修実習、フィールドワーク実習をオンデマンド型もしくは同時双方向型で行う。カンファレンスは同時双方向型で行い、看護師の役割について考え、小児保健、小児科外来、乳児院に関連のある法律や制度の内容について学びを共有し、子どもと家族を取り巻く環境について理解を深める。
3. カンファレンス：医療保健福祉のチームにおける看護師の役割と法律や制度についての学びを共有する。
4. 実務経験のある教員による指導：実習フィールドの実習指導者または Teaching Assistant (TA) が、実習生へカンファレンスなどでの指導を担う。実習指導者または TA は実習フィールドなどに勤務している実務経験豊富な看護師とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：1 週間
2. 実習場所：オンデマンド型、同時双方向型、オンデマンド型と同時双方向型ミックス、フィールドワークおよび対面授業で行う。
※詳細は、初日オリエンテーション資料および実習要項を参照のこと。

■ 教科書

筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第 8 版. 日総研.

筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却は、Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが必須である。この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。

この科目は、発達看護学概論(小児期)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕の内容をもとに、地域で生活する子どもと家族に焦点を当てた実習である。

■ 成績評価の仕方

1. 自己評価 50 %
 2. 実習の記録&レポート 30 %
 3. 実習への取り組み 20 %
- ※詳細は、実習要項、評価表を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習開講期間内に、担当教員へ Email で行う。

江本：emoto@redcross.ac.jp

山内：t-yamauchi@redcross.ac.jp

神谷：m-kamiya@redcross.ac.jp

鈴木：k-suzuki@redcross.ac.jp

柴田：j-shibata@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

・自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。

※詳細は、初日オリエンテーション資料、実習要項を参照のこと。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（老年看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある教員：○

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子

■ 授業の目的

地域で生活する高齢者個人、その家族、それらの集団を対象とし、人々の健康を生活者の視点から捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. 通所施設における高齢者とスタッフ・高齢者同士の関わりについて説明できる。
2. 高齢者が地域で生活を継続するための通所施設と自宅の連携のあり方について説明できる。
3. 高齢者にとっての通所施設への参加の意味について説明できる。
4. 高齢者の家族にとっての通所施設の役割について説明できる。
5. 高齢者と家族を取り巻く社会環境や介護保険制度等について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 初日の学内演習：老年看護学領域を希望した学生を対象に実習のオリエンテーションを行い、その後、学生は実習に関連した重要事項のレポート作成に取り組む。
2. 看護師に必要な在宅で暮らす高齢者への看護実践に関する能力を身につけるために、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、実習に関する重要事項に基づきながら、通所施設のプログラムに参加する。
3. 実習の学びをもとに、地域で暮らす高齢者への支援について検討し、発表資料を作成する。作成した資料をもとにグループで発表し、ディスカッションを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間

実習時間：原則として 8:10～16:00

実習施設：日本赤十字社 総合福祉センター 通所施設（デイケアとデイサービスの 2 施設のうちの 1 施設）（千葉・清田・松島・未定・坂口）

*詳細は実習要項を参照して下さい。

■ 教科書

川島みどり監修(2010). 老年看護学. 看護の科学社.

■ 参考書、参考資料等

老年看護学の授業で配布した資料等

■ フィードバックの仕方

最終の実習記録とレポートのフィードバックについて、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が3月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学概論（老年期）、発達看護学Ⅲ①、②、健康レベル別看護学演習、発達看護学Ⅲ実習（老年期の看護）（レベルⅢ）の内容をもとに、地域で生活する高齢者に焦点を当てた実習内容となる。なお、地域看護学、在宅看護学の終了試験受験資格を有することが必要である。

■ 成績評価の仕方

1. 実習の参加態度 20 %
2. 学内学習記録（重要項目レポート）10 %
3. 臨地実習記録（行動計画、参加したプログラム、カンファレンス）40 %
4. 発表資料 10 %
5. レポート 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

学内演習日木曜日、金曜日の 12:30～13:00 坂口(414 研究室)、千葉(429 研究室)、清田(429 研究室)、松島・未定(450 研究室)

■ その他

HBNP304

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」変化 「3」連携 実務経験がある教員：○

○石田千絵、月野木ルミ、吉川悦子、湯浅晶子、井口理

■ 授業の目的

個々の健康を生活者の視点からとらえ、地域で生活する個人、家族、集団、それらを取り巻く地域を対象とした看護活動を展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶとともに、基礎的な実践能力を習得する。

■ 到達目標

1. 疾病や障害を持つ人とその家族を地域の生活者としてとらえ、療養者とその家族に必要な看護を考えることができる。
2. 地域における、保健・医療・福祉サービスとそれらの連携について理解し、看護の役割を認識することができる。
3. 地区踏査と既存の資料から地域の強みと弱みを抽出し、療養者の暮らしと看護の役割を考察する。

■ 学習の進め方

臨地の実習施設は、訪問看護ステーションであり、訪問場面の見学、看護過程の展開を行う。

また、実習地域の地区踏査を行い、事前学習の資料と統合し、地域の特性(強み・弱み)をまとめ、学内の報告会で発表する。

そのため、事前学習として、地域の概要を調べる、実習目標を明確にして臨むなどに関わる事前学習課題を設けている(オリエンテーションで説明する)。また、事後学習では、実習での学びと地域の特性(強み・弱み)を統合し、報告会に向けた準備を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習は、4 年次の 6 月～10 月までの期間に行う。オリエンテーションは別途行う。詳細は、実習要項・オリエンテーション等にて通知する。

■ 教科書

適宜、掲示する。

■ 参考書、参考資料等

厚生労働統計協会編、国民衛生の動向 2019/2020 年、厚生労働統計協会、2019、東京

■ フィードバックの仕方

実習記録は、4 年次末に返却する。

■ 他の授業科目との関連

履修要件：地域看護学および在宅看護学の修了試験受験資格を有する。

■ 成績評価の仕方

1. 事前課題レポート 10 点
2. 実習への取り組み 30 点
3. 実習記録 30 点
4. 実習後レポート 20 点
5. 地区診断の課題の取り組み状況と学内報告会発表 10 点

なお、欠席、遅刻・早退、実習態度は、その都度、減点する。

■ オフィスアワー・研究室等

各オリエンテーションおよび報告会の実施日の 12：30～13：00。

実習期間中は、教員が実習先の訪問看護ステーションにいくため、連絡・相談はメールや電話で行う。

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションの参加、事前課題の提出は、実習の前提条件となるので留意する。
2. 担当教員および学務課に最新の連絡先を届けて、実習に臨む。
3. 交通事故に留意し、緊急時は実習指導者、教員、事務、警察に適宜連絡する。

■ その他

HBNP401

看護学総合実習

単位：3単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：○

○川原由佳里、○吉田みづ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、住谷ゆかり、工藤有希、桐原あずみ、池田圭子、○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織、○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子、○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子、○石田千絵、吉川悦子、月野木ルミ、井口理、湯浅晶子、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、高田由紀子、○野口真貴子、内木美恵、織方愛、赤井智子、橋爪朋子

■ 授業の目的

- (1) 地域社会で生活する対象を全体論的に把握し、より望ましい健康や問題解決に向けて総合的な看護実践を行う。
- (2) 看護実践場面における現象を倫理的視点から考察する。
- (3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携などを通じた、良質で総合的な看護実践を展開する。
- (4) エビデンスに基づいた看護実践を通して、看護の専門的な役割・機能を探究し、看護の概念や自己の看護観をより深く吟味する。

■ 到達目標

- (1) 対象にとってのウェルネス(Wellness)を目指し、対象を全体論的に捉え、看護援助を実践することができる。
- (2) 看護実践場面における倫理的課題に着目し、対応策を検討することができる。
- (3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携に参加し、看護の調整的な機能や連携機能に携わることができる。
- (4) 看護におけるマネジメント、医療安全などの視点から、看護の質保証に向けた取り組みを学ぶことができる。
- (5) 看護実践を通して看護の専門性を探究することができる。
- (6) これまでの実習経験を応用し、自立した実践や主体的な学習に取り組むことができる。
- (7) 既習の理論・概念および文献を応用し、看護の概念や自己の看護観を吟味することができる。

■ 学習の進め方

4年次実習要項をよく確認する他、実習担当教員の指導を受けながら学修を進める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2020年10月19日(月)～11月6日(金)

実習施設：基礎・成人看護学、精神保健看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、地域看護学、国際・災害看護学の領域のいずれかの領域で総合実習を行う。各領域で指定された実習施設でそれぞれ実習を行う。

実習時間：8時30分～16時30分を原則とする。但し、実習場所によって変更することができる。

実習方法：年度始めのガイダンス期間中に実施する総合実習オリエンテーションで、各領域の総合実習の目的、特徴などについて説明を行う。その説明内容をもとにした学生の希望によって、各領域に分かれて実習を行う。

詳細は4年次実習要項を参照。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

4年次実習要項。その他、必要場合は実習担当教員から指示する。

■ 他の授業科目との関連

看護学総合実習はこれまでの実習を踏まえた4年間の総仕上げの実習となる。レベルⅠ～Ⅳまでの全ての実習、履修の手引きに記載された各実習の履修要件となる全ての講義・演習科目に関連する。

■ 成績評価の仕方

出席日数、実習への取り組み、実習記録、ケース発表(学習体験発表)、レポート、評価表等を参考にして教員が総合的に評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

実習を行う領域が決定後、担当教員に確認する。

■ 受講上の注意事項

- * 実習領域及び実習施設は希望通りにいかない場合もあること。
- * 詳細は、年度始めのガイダンス期間中に実施する総合実習オリエンテーションや実習要項で確認すること。

■ その他

HBNP450

研究方法論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある教員：－

○江本 リナ、遠藤 公久、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、織方 愛、加藤 千穂、鷹田 佳典、堀川 英起

■授業の目的

- ・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
- ・看護現象を探求し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究課題に関して、社会の動向を踏まえた文献検討のスキルを身につける。

■到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセス、主な方法論的アプローチについて説明できる。
2. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
3. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

■学習の進め方

1. 看護研究に取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究(文献)を調べる(文献検索)。
3. 入手した研究(文献)をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する(文献検討)。
4. オフィスアワーを利用して、文献検索や文献検討のアドバイスを受ける。
5. 授業終了後、文献検討レポートを Glexa 上に提出する。

【授業の受け方】

1. 授業の展開
 - ・ Glexa 上に示す事前学修、講義(資料)と事後学修を通して理解を深めること。
2. 参考資料の提示
 - ・ 授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または Glexa 上の各講義(資料)に参考資料等を掲載する。
 - ・ 各授業の内容は、Glexa「研究方法論Ⅰ」(Aクラスは1M0601)(Bクラスは1M0602)に、講義日の0:00までにアップロードされる。
 - ・ 各授業は、時間割通りの受講でなくても構わないが、授業期間内に課題が提出できるように各自で受講すること。
 - ・ Glexaに掲載する講義(資料)等は、令和2年度前期が終了するまで公開する。好きなときに、何度でも見直すことができる。自分のペースで学ぶこと。

【4月自宅学習課題】

- ①看護・医療・健康に関連し、関心のあるテーマを2つ挙げ、②それぞれの理由を記し、A4用紙1枚にまとめる。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
2	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
3	自宅学習課題 Glexa に提出 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	全員
4	オリエンテーション／看護研究とは－研究の概念と基本的ステップの理解 事前学修：[30分] 研究テーマとして関心のあることをノートにまとめる 事後学修：[30分] 基本ステップをノートにまとめる	オンデマンド型	江本
5	量的研究①：量的研究とは 1 事前学修：[30分] 量的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 仮説と変数に関する事後課題に取り組む	オンデマンド型	遠藤(公)
6	量的研究②：量的研究とは 2 事前学修：[30分] 量的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：[30分] 量的研究デザインに関する事後課題に取り組む	オンデマンド型	遠藤(公)

No	内容	形式	教員
7	量的研究③④：量的研究の実際 1・2 事前学修：[30 分] 量的調査方法についてノートにまとめる、量的調査の分析方法についてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 測定尺度に関する事後課題に取り組む、質問紙調査に関する事後課題に取り組む	オンデマンド型	遠藤 (公)
8	文献検索のオリエンテーション・文献検討とは／文献検討レポートの書き方 事前学修：[30 分] 文献検討とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討に関する事後課題に取り組む	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	山内
9	文献を用いるということ／研究テーマの絞り込み／研究方法を考える 事前学修：[30 分] 関心のある文献を 1 つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	オンデマンド型	江本
10	質的研究①②：質的研究とは・質的研究の進め方 事前学修：[30 分] 質的研究とは何かを調べてノートにまとめる、質的研究のテーマをノートにまとめる 事後学修：[30 分] 関心のあるテーマに関する事後課題に取り組む、質的研究に関する事後課題に取り組む	オンデマンド型	江本
11	文献検索・文献検討：ステップ 1 事前学修：[30 分] 自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検索を行う	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス・演習	全員
12	文献検索・文献検討：ステップ 2 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	オンデマンド型・演習	全員
13	文献検索・文献検討：ステップ 3 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	オンデマンド型・演習	全員
14	文献検索・文献検討：ステップ 4 事前学修：[30 分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス・演習	全員
15	文献検索・文献検討：ステップ 5 事前学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討レポートを作成して提出する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス・演習	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・各回講義で小テストが行われる場合、フィードバックは 15 回の講義終了後に Glexa 上で解答と解説を行う。
- ・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目「研究方法論Ⅱ」の第 1 回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目の学習内容の理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を行う。
- ・本科目の単位修得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%
2. 文献検討レポート 80%

■ オフィスアワー・研究室等

演習に関する質問は Glexa に設定する Board、または Teams による同時双方向型オフィスアワーで受け付ける。

授業開講期間中に個別に相談や質問したい場合は、下記 E-mail で質問を受け付ける。

江本 リナ emoto@redcross.ac.jp

遠藤 公久 k-endo@redcross.ac.jp
坂口 千鶴 c.sakaguchi@redcross.ac.jp
川崎 修一 s.kawasaki@redcross.ac.jp
山内 朋子 t.yamauchi@redcross.ac.jp
清田 明美 a-kiyota@redcross.ac.jp
古城門 靖子 y-furukido@redcross.ac.jp
緒方 愛 a-ogata@redcross.ac.jp
加藤 千穂 c-kato@redcross.ac.jp
鷹田 佳典 y-takata@redcross.ac.jp
堀川 英起 h-horikawa@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

- ・ 授業への取り組みと文献検討レポートを合わせて 59 点以下の場合には、再試験(レポート)対象となる。
- ・ Glexa の同時ログイン数上限に考慮し、授業概要の確認や各授業の受講が済んだら速やかにログアウトすること。
- ・ 出席が 2/3 以上であることが、成績評価を受ける要件である。
- ・ 各回の授業の課題に取り組むことを前提に、出席とみなす。

■ その他

HBRE300

研究方法論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」擁護 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○江本 リナ、遠藤 公久、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、織方 愛、加藤 千穂、鷹田 佳典、堀川 英起

■ 授業の目的

- ・看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

■ 到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。
4. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. グループ単位で研究計画書作成の演習を行う。
2. 担当教員のオフィスアワーを利用して、研究計画書作成にあたってのアドバイスを受ける。
3. 作成した研究計画書は、研究計画書作成ステップ3～4の期間中で必ず1回以上、ステップ7～8の期間中で必ず1回以上、担当教員と面接し、アドバイスを基に修正を行う。
4. 担当教員にオフィスアワー以外で相談に行く際には、事前に教員の予定を相談する。
5. 1月に開催される卒業研究合同発表会に参加し、研究に関する質疑応答を体験する。少なくとも1コマ分出席し、感想文を当日17時までにレポートボックスへ提出する。
6. 研究計画書作成ステップ2の後、第1回目の研究計画書を授業概要に記載されている日時までにレポートボックスへ提出する。
7. 研究計画書作成ステップ10の後、最終版の研究計画書を授業概要に記載されている日時までにレポートボックスへ提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	文献検討レポート返却／授業オリエンテーション／研究計画書とは／研究計画書作成について 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：[30分] グループで研究テーマを討議する	講義・演習・GW・討議	江本
2	質的研究①：分析方法 事前学修：[30分] 質的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：[30分] グループによるインタビュー結果から逐語録を作成する	講義・演習・GW・討議	江本
3	研究計画書作成：ステップ1 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] グループで研究テーマを討議して絞り込みを行う	演習・GW・討議	全員
4	研究計画書作成：ステップ2 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] グループで研究テーマ・研究目的・研究の意義を検討してレポートにまとめて提出する(第1回目の研究計画書提出)	演習・GW・討議	全員
5	質的研究②：分析の実際 事前学修：[30分] グループでのインタビュー結果から逐語録を作成する 事後学修：[30分] 逐語録を読み込んで分析したことを書き込む	講義・演習・GW・討議	江本
6	研究者の倫理／看護研究における倫理的配慮 事前学修：[30分] 看護研究文献に記載された倫理的配慮を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] グループで倫理的配慮を討議してノートにまとめる	講義・演習・GW・討議	江本
7	研究計画書作成：ステップ3／第1回目の研究計画書返却 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] グループで研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	講義・演習・GW・討議	全員

No	内容	形式	教員
8	研究計画書作成：ステップ 4 事前学修：[30 分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をグループで検討してレポートにまとめる	演習・GW・討論	全員
9	研究計画書作成：ステップ 5 事前学修：[30 分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画をグループで討議してレポートにまとめる	演習・GW・討論	全員
10	研究計画書作成：ステップ 6 事前学修：[30 分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画をグループで討議してレポートにまとめる	演習・GW・討論	全員
11	研究計画書作成：ステップ 7 事前学修：[30 分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画書をグループで作成する	演習・GW・討論	全員
12	研究計画書作成：ステップ 8 事前学修：[30 分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画書をグループで作成する	演習・GW・討論	全員
13	卒業研究合同発表会への参加 事前学修：[30 分] 発表会の抄録集を読む 事後学修：[30 分] 感想文を記載して提出する	討論	全員
14	研究計画書作成：ステップ 9 事前学修：[30 分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画書をグループで作成する	演習・GW・討論	全員
15	研究計画書作成：ステップ 10 事前学修：[30 分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究計画書をグループで作成して提出する(最終版の研究計画書提出)	演習・GW・討論	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・提出された第 1 回目の研究計画書のフィードバックは、研究計画書作成ステップ 3 の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。
- ・卒業研究合同研究発表会の感想文のフィードバックは、授業の最終回まで、あるいは 4 年次 4 月までに、コメントを付した資料の返却を通じて行う。
- ・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4 年次の 4 月に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。
- ・本科目の単位取得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(卒業研究合同発表会の感想文含む) 20%、研究計画書 80%

■ オフィスアワー・研究室等

研究計画書作成の演習時間、および、その日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、遠藤(公)(404 研究室)、千葉(京)(429 研究室)、堀井(427 研究室)、山内(443 研究室)、織方(554 研究室)、加藤(433 研究室)、遠藤(花)(401 研究室)、鷹田(410 研究室)

■ その他

HBRE350

研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：集中 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－

○川崎 洋平

■ 授業の目的

看護研究に必要な統計手法に関して、実際のデータを用いて解析方法について学ぶ。

統計ソフト SPSS の使用法を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトを用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特徴を説明できる。
2. 研究目的とデータの性質に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトの出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：統計手法の講義と統計ソフト SPSS を利用した実データの解析演習を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データの型から適切な統計処理を学ぶ・基礎統計量と区間推定 事前学修：[30分] 量的研究のテーマを考え、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
2	2つの母平均の差の検定、ウィルコクソンの順位和検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
3	対応のある2つの母平均の差の検定、ウィルコクソンの符号付順位検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
4	1元配置の分散分析と多重比較、クラスカル・ウォリスの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
5	共分散分析、2元配置の分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
6	独立性の検定、2つの母比率の差の検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
7	単回帰分析、重回帰分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
8	主成分分析、判別分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

1. 授業中に配布する資料。

■ 参考書、参考資料等

1. 石村 貞夫・石村 光彦郎(2018年). SPSS による統計処理の手順. 第8版. 東京図書株式会社
2. 山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に407研究室にて、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)は保健統計学の学習内容の理解に基づき、実際に解析を実行できるになるための内容を扱う。
2年次開講科目「情報科学」を事前に履修しておくことが望ましいが、未履修でも構わない。

■ 成績評価の仕方

定期試験 70%、授業への取り組み 30%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、講義前後の時間、以下のオフィスアワーで受け付ける。

■ 受講上の注意事項

卒業研究の計画書作成を意識して受講することが望ましい。

■ その他

HBRE401

研究Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある教員：－

○全教員

■授業の目的

学生個々が関心のある研究テーマを探究するための研究計画書を作成する。

■到達目標

- 1) 自己の関心のある看護や人間に関する現象を明らかにすることができる。
- 2) 関連する文献を検討し、自己の研究テーマを明確化することができる。
- 3) 研究テーマを科学的に探究するための方法を検討できる。
- 4) 研究を実施するにあたって必要な倫理的配慮を検討できる。
- 5) 規定の執筆要領に従い、計画書を作成することができる。

■学習の進め方

- 1) 「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の単位修得見込者は、3年次の1・2月中に希望する研究テーマと領域等を学務課に提出する(指導教員・領域は3月下旬に発表される)。
- 2) 学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰ・Ⅱの授業内容を復習し要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 自己の研究テーマを検討する	発表・討論	全教員
2	研究疑問や関心のある現象の明確化 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
3	研究テーマの検討と絞込み 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
4	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
5	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
6	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
7	文献検討のまとめ・研究の方向性の検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
8	研究方法の検討：デザインの選択 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
9	研究方法の検討：研究場所・参加者・参加者の募り方 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
10	研究方法の検討：データ収集・分析方法 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
11	研究方法の検討：倫理的配慮 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
12	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
13	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
14	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
15	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 研究計画書の提出に向けて準備をする	発表・討論	全教員

■ 教科書

各担当教員の指示による

■ 参考書、参考資料等

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照(配布資料含む)

■ フィードバックの仕方

後期に、指導教員よりコメントを付した研究計画書の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」(いずれも 1 単位・必修)の単位を修得していることが条件である。「研究Ⅰ」に続いて「研究Ⅱ」を履修する場合、教員の指導のもとに夏季休業(前期)にデータ収集を実施する計画を立案し、実施することができる。

■ 成績評価の仕方

評価は作成された研究計画書にて行う。研究計画書は所定の期日までに学務課(レポートボックス)に提出する。提出が遅れた場合は原則として単位認定の対象とならない(9 月卒業者は別途、提出期限を設ける)。評価は指導教員が以下の観点で行う。①研究の着眼点、意義、必要性 ②研究課題に対する研究方法の適切性 ③研究の独自性・独創性 ④研究計画書の形式と論理性・明瞭性・簡潔性 ⑤研究に取り組む積極性・主体性 など

■ オフィスアワー・研究室等

指導教員の決定後に確認する。

■ 受講上の注意事項

「研究Ⅰ」に要する費用はすべて学生の個人負担である。

■ その他

HBRE400

研究Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある教員：－

○全教員

■授業の目的

「研究Ⅰ」で作成した研究計画書に基づいて、教員の指導のもと、学生個々が関心のある研究テーマを探索し、研究論文を作成することを目的とする。

■到達目標

- 1) 研究計画書に基づき、研究フィールドを開拓し、研究参加者を募ることができる。
- 2) 研究テーマに沿って必要なデータを収集することができる。
- 3) 研究テーマに沿って収集したデータを分析し、解釈することができる。
- 4) 明らかになった研究結果を既存の知識と関連づけることができる。
- 5) 規定の執筆要領に従い、研究論文を作成することができる。

■学習の進め方

- 1) 3年次の2月中に学務課に希望する研究テーマ・領域等を提出する際、「研究Ⅰ」に継続して「研究Ⅱ」を履修するかどうかを届け出る。「研究Ⅰ」と「研究Ⅱ」の指導教員は原則として同じ教員が担当する。
- 2) 4年次の4月の履修登録期間中に正式な「研究Ⅱ」の履修届を学務課に提出する。ただし4年次前期の「研究Ⅰ」を履修してみて「研究Ⅱ」の履修を取りやめる場合、また4月の時点で「研究Ⅱ」の履修届を出していないが追加履修を希望する場合、後期の履修登録期間中に履修の取り消しあるいは履修届の手続きをすることができる(※いずれの場合も必ず事前に指導教員と相談の上で決定すること)。
- 3) 学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 研究Ⅰのコメントを参考に研究計画書を修正する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
2	研究フィールド・参加者の募集 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
3	データ収集：観察法・面接法・質問紙等の検討 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
4	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
5	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
6	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
7	データ分析：データの整理・分析方法の検討 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
8	データ分析：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
9	データ分析：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
10	データ分析：実施 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
11	研究結果の考察 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
12	研究論文の作成：結果の記述 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
13	研究論文の作成：考察他 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
14	研究論文の作成：抄録の作成 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
15	研究論文の作成：論文を整える 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に論文提出の準備をする	発表・討論	全教員

■ 教科書

各担当の指示による

■ 参考書、参考資料等

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照(配布資料含む)

■ フィードバックの仕方

「研究Ⅱ」の評価後にコメントを付した研究論文の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「研究Ⅰ」を履修していることが条件である。

■ 成績評価の仕方

評価は作成された研究論文にて行う。研究論文は所定の期日までに学務課に提出する。なお、提出が遅れた場合は、原則として単位認定の対象とならない(9月卒業者は別途、提出期限を設ける)。評価は指導教員が以下の観点で行う。①データ収集の適切性 ②データ分析の適切性 ③論文の形式および論理性・明瞭性・簡潔性④研究に取り組む積極性・主体性 など

■ オフィスアワー・研究室等

各指導教員に確認する。

■ 受講上の注意事項

「研究Ⅱ」に要する費用はすべて学生の個人負担とする。

■ その他

HBRE450

公衆衛生看護活動展開論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務経験がある教員：－

○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子

■ 授業の目的

学校保健、産業保健について、歴史、理念と目的、制度とシステム、活動の実際と課題を学ぶ
地域で生活する住民を取り巻く生活環境の特徴と健康・生活との関係、課題と対策を学ぶ

■ 到達目標

1. 学校・産業保健活動の歴史、理念と目的、法規や制度を説明できる
2. 公衆衛生看護活動の展開ツールとしての保健指導、家庭訪問、健康教育の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる

■ 学習の進め方

授業の展開：講義・演習を通して意見交換を行い、学校保健、産業保健の保健師活動について学習する
保健指導、家庭訪問は事例を用いた演習を行う
健康教育は企画書の作成や健康教育企画の実際の進め方について学習する

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	学校保健活動(理念と歴史、制度とシステム) 事前学修：[20分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	産業保健活動 1(歴史と理念、目的、制度とシステム) 事前学修：[20分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
3	産業保健活動 2(活動の実際と課題) 事前学修：[20分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	講義	吉川
4	公衆衛生保健活動のツール①事例に基づく保健指導演習 事前学修：[40分] 提示された事例について事前に保健指導計画を立案する 事後学修：[40分] 提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	演習	湯浅
5	公衆衛生保健活動のツール②家庭訪問の目的・対象・技術 事前学修：[20分] 教科書の該当ページを、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 提示された事例について事前に家庭訪問計画を立案する	講義	月野木
6	公衆衛生保健活動のツール③家庭訪問演習 事前学修：[20分] 家庭訪問計画に基づく技術項目について、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 家庭訪問記録を作成する	演習	月野木・湯浅・吉川
7	公衆衛生保健活動のツール③家庭訪問演習 事前学修：[20分] 家庭訪問計画に基づく技術項目について、A 4用紙 1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 家庭訪問記録を作成する	演習	湯浅・月野木・吉川
8	健康教育の基本(企画書の作成、実際の進め方) 事前学修：[20分] 提示された課題に沿った資料について自分の意見をまとめておく 事後学修：[40分] 提示された課題に沿った資料を作成し、提出する	講義・演習	月野木・吉川・湯浅

■ 教科書

標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動(2019)・第4版・医学書院
標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術(2019)・第3版・医学書院
厚生労働統計協会. 国民衛生の動向 vol.67 No.9 2020/2021(2020)

■ 参考書、参考資料等

標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論・医学書院・1年次に購入した教科書を使用
必要時追加資料を配布。文部科学省、厚生労働省、日本学校保健会、日本看護協会等 HP も参考にすること。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは授業時間内にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。
試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィード

バック実施可能な時間はポータルで連絡するので希望者する場合は提示された時間に事前アポイントを取ったうえで来ること。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の必修科目

■ 成績評価の仕方

定期試験(70 %)、授業・演習への取り組み(30 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50

吉川(425 研究室) 月野木(433 研究室) 湯浅(445 研究室)

■ 受講上の注意事項

* この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ その他

HBPN350

公衆衛生看護管理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある教員：－

○吉川 悦子、石田 千絵、月野木 ルミ

■ 授業の目的

保健師活動における公衆衛生看護管理の目的と展開方法についてとりあげる。地域住民の健康向上、地域の健康課題解決のための思索家のプロセスについて基本的な枠組みを理解し、公衆衛生看護管理における保健師の役割を考える。

■ 到達目標

- ・地域住民の健康向上を実現するための公衆衛生看護管理の目的と展開方法、健康危機管理、地域ケアシステムにおける保健活動について説明ができる。
- ・保健師が有する管理機能について理解し、説明できるとともに、公衆衛生看護管理における保健師に必要とされる態度や姿勢について考察できる。
- ・地域の健康課題を解決するために必要なPDCAサイクルを説明でき、地域の諸資源を活用しながらネットワークを構築し、住民や地域の諸資源と共同する能力について考察できる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
 2. 「公衆衛生看護管理論」に入り、フォルダを開きます。
 3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
 4. 教科書の関連部分を読みます。教科書は1年時(または編入3年次)に購入していますので、そちらを使います。
 5. 提示された課題(ミニレポート)に取り組み、Report機能を使用して提出します。
 6. 課題の提出は授業日から2週間以内に行ってください。2週間を過ぎた場合、課題を提出しても出席扱いにならないことがありますので、注意してください。
 7. 事前課題や課題については、教員が2週間以内にGlexa上でコメントを返します。
- 学生が自ら考え、学びを深めることができるように、事例検討や課題に対する意見交換を取り入れる。保健師活動は法律に則って実施されることが多いため、日頃より新聞やニュースを見て、社会情勢の変化や国の動きに関心を持つとよい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コミュニティアセスメント(地区診断)の基本的知識 地域診断に必要な保健統計の知識 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[20分] 授業の配布資料を読み返しワークブックを適宜修正する	[講義]	吉川・月野木
2	コミュニティアセスメント(地区診断) ワークブックを活用し、実習区の保健統計情報について調べてまとめる。ワークブックを作成する。	自宅学習	吉川・月野木
3	公衆衛生看護管理の実践①新型コロナウイルス対策等に関するレポート新型コロナウイルスに対する国(厚生労働省、国立感染症研究センター)、東京都、区等のホームページを確認し、下記のレポートを作成する。 1) 新型コロナウイルスの臨床症状 2) 4月中の東京都の流行状況と特徴 3) 対象対象(例、若者、高齢者、病院、企業、学校、乳幼児など自由に設定)を自分で1つ設定し、その対象に向けての感染症予防対策について、自分の考えとその理由を記述してください。 4) 下記の内容について調べて簡明瞭にまとめる。 A. 積極的疫学調査(根拠法令、主な調査内容) B. 指定感染症(根拠法令、主な内容) C. 東京都の感染症指定医療機関名	自宅学習	吉川・月野木
4	公衆衛生看護管理の実践②母子保健関連事業の概要まとめ 以下の母子保健関連事業の根拠法令、事業概要などを所定の書式にそってまとめてください。 ① 4か月児健診② 1歳6か月児健診③ 3歳児健診④ 母親学級(または両親学級)⑤ 乳幼児経過観察健康診査⑥ 乳幼児発達健康診査	自宅学習	吉川・月野木
5	公衆衛生看護管理の目的と機能 事前学修：[10分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[20分] ミニレポートを作成し提出する	オンデマンド型	吉川

No	内容	形式	教員
6	地域ケアシステムの構築と保健師活動 事前学修：[10 分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] ミニレポートを作成し提出する	オンデマンド型	吉川
7	健康危機管理と保健師活動① 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	同時双方向型	石田
8	健康危機管理と保健師活動② 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A 4用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 課題レポートを作成して提出する	同時双方向型	石田

■ 教科書

標準保健師講座 公衆衛生看護学概論 (2018)・第 4 版・医学書院 1 年次に購入した教科書を使用

■ 参考書、参考資料等

荒賀直子、後閑容子編集. 公衆衛生看護学.jp (最新版)インターメディカル

エリザベス T アンダーソン編、金川克子、早川和夫監訳、コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際第 2 版、医学書院

佐伯和子編(2018)地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第 2 版 医歯薬出版株式会社

金川克子・田高悦子編(2011)地域看護診断 第 2 版 東京大学出版会

その他、必要時授業で紹介する

■ フィードバックの仕方

課題レポートいずれも Glexa のレポート機能を使って提出。フィードバックは、レポート提出後 3 週間以内に、Glexa 上でコメントを返す。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連します。

■ 成績評価の仕方

自宅課題学習①、②、web 授業後のレポート 各 20% (計 80%)

健康危機管理と保健活動の授業時の課題レポート 20%

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa 上の Boad 機能を使用して、Web 授業について質問事項があれば記載する。(5 月 22 日まで書き込みがあった内容については返信する)

吉川研究室(425 号室) 月野木研究室(424 研究室)石田研究室(432 号室)

■ 受講上の注意事項

* 本科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ その他

HBPN400

公衆衛生看護方法論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」成長 実務経験がある教員：－

○月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子

■ 授業の目的

公衆衛生看護技術のうち、健康教育の展開の上で必要な知識・技術を習得する

■ 到達目標

- ①健康教育の目的と意義について理解できる
- ②健康教育に活用できる理論および必要な技術について理解できる
- ③これまで学んだ知識、技術を用いて、集団を対象とした健康教育を学内で実施できる

■ 学習の進め方

講義、演習で授業を進める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義およびオリエンテーション ・健康教育の目的と意義、健康教育に活用できる理論、必要な技術(評価含む)を理解する ・演習オリエンテーション 事前学修：[30分] 教科書等で、関心のある健康教育テーマについて考える 事後学修：[60分] 授業の配布資料や健康教育テーマに関する情報を集め、個人で企画案を作成する	講義	月野木
2	企画書の作成1 演習オリエンテーション テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を作成する 事前学修：[60分] 健康教育の目的、目標、評価について、自分なりの企画書を作成する 事後学修：[60分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する	演習	月野木、吉川、湯浅
3	企画書の作成2 ・テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を完成する ・指導案・媒体案の作成を開始する 事前学修：[60分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する 事後学修：[60分] グループ内で討議した企画書を完成し、指導案・媒体に関する資料等を調べまとめる	演習	月野木、吉川、湯浅
4	指導案・媒体案の作成① 指導案の作成、媒体案の下書きを行う。 事前学修：[90分] 計画した企画書に基づき、必要な情報を調べる 事後学修：[90分] 指導案・媒体案の作成を進める	演習	月野木、吉川、湯浅
5	指導案・媒体案の作成② ・指導案の作成・媒体案を完成させ、担当教員に確認してもらう ・予演会に向けて、健康教育実施のメンバーの動きなどの運営方法の確認を行う 事前学修：[90分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[90分] 指導案・媒体案の修正と健康教育の練習	演習	月野木、吉川、湯浅
6	予演会および修正 ・予演会での指摘を踏まえた指導案・媒体案の修正を行う ・発表会に向けた練習を行う 事前学修：[90分] 効果的なプレゼンテーションについて確認する 事後学修：[90分] 予演会の振り返りと発表準備	演習	月野木、吉川、湯浅
7	発表会 事前学修：[60分] 発表練習を行う 事後学修：[60分] 発表会の振り返りと評価の実施を行う	演習	月野木、吉川、湯浅

No	内容	形式	教員
8	発表会および評価、まとめ 発表会を受けて、健康教育全体の評価を行い、健康教育実施報告書を作成する。 事前学修：[60 分] 発表会での講評、企画書および教科書を参考に、評価方法を確認しまとめる 事後学修：[90 分] グループで実施した健康教育の評価および報告書作成を完成させる。	演習	月野木、吉川、湯浅

■教科書

標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論、医学書院、最新版

標準保健師講座2 公衆衛生看護技術、医学書院、最新版

標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、最新版

■参考書、参考資料等

国民衛生の動向、厚生労働統計協会、最新版

■フィードバックの仕方

個人で作成したレポート(企画案)は、4年生公衆衛生看護実習オリエンテーション時にて、コメントを付けたレポートの返却を行う。グループで行った健康教育の評価は、予演会および発表会後の教員講評を通じて行う。

■他の授業科目との関連

保健師選抜学生は必須科目である。

■成績評価の仕方

1. 個人レポートとグループレポート(50 %) 2. 演習への参加状況・発表会評価(50 %)に加えて授業態度をふまえて評価する。

■オフィスアワー・研究室等

昼休み 月野木(424)、吉川(425)、湯浅(445)、その他、随時電子メールで質問を受け付ける

■受講上の注意事項

タイトなスケジュールの中で、健康教育を作成・学内発表しますので、計画的かつ主体的に受講することが望ましいです

■その他

HBPN351

公衆衛生看護活動論演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－

○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子、石田 千絵

■授業の目的

公衆衛生看護の対象である地域に顕在・潜在化している健康課題について、既存の資料を用いてアセスメント、計画立案を行う一連の過程を通じて、地域診断の実際を体験する。公衆衛生看護実習での実習地区に対する地域看護診断での学びを通し、地域住民の生活に密着し、地域を支援する保健師の機能と役割について学ぶ。

■到達目標

1. 地域診断の目的を理解し、地域診断に用いる理論について説明できる。
2. 既存の統計資料、地区踏査などから収集した情報をアセスメントし、地域の健康課題を抽出することができる。
3. 既存の資料を用いて地域の社会資源や保健事業についてまとめ、地域の健康課題に対して保健師として今後必要な対策について考えることができる。
4. 地域保健活動の手法としての健康診査の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる。

■学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
 2. 「公衆衛生看護活動論演習」に入り、フォルダを開きます。
 3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
 4. 教科書の関連部分を読みます。教科書は「地域看護学」で使用した教科書を使います。
 5. ワークブックは3年次春休みの課題としてすでにポータルサイトを通じて学生に配信しているファイルを各自がダウンロードして使用します。または紙媒体で3年次後期に配布したものを使用しても良いです。
 6. 実習配置についてもすでに3年次3月にポータルサイトを通じて配信した配置表を確認して自分が実習に行く区を把握してください。
 7. 実習に行く地域の情報を行政資料、ホームページ、地区踏査等により収集・整理し、地域診断を行ない、地区診断ワークブックを作成してください。
 8. Teams の設定は担当教員が行うので、使用したい日時について事前に教員あてに連絡してください。
 9. 授業の終わりにボードで実施したこと、質問事項をグループごとに記入してください。質問が記載されている場合は、次の授業前までにボードで回答または全員にメールで回答します。
 10. 自宅学習課題については、対面での授業開始後に担当教員が直接確認してコメントを返します。
- 実習に行く地域の情報を行政資料、ホームページ、地区踏査等により収集・整理し、地域診断を行ない、地区診断ワークブックを作成する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	地区診断演習 (個人ワークによるワークブックの作成) コミュニティのコア、サブシステムの情報について、インターネットから入手できる各種統計資料、区の事業計画から地域における健康に関連する現状について情報収集したものを基に、アセスメントする 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉川・月野木・湯浅
2	地区診断演習 (個人ワークによるワークブックの作成) コミュニティのコア、サブシステムの情報について、インターネットから入手できる各種統計資料、区の事業計画から地域における健康に関連する現状について情報収集したものを基に、アセスメントする 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉川・月野木・湯浅
3	地区診断演習 (個人ワークによるワークブックの作成) 地域における健康に関連する現状と課題の明確化(ワークブック P25-27)に向けた検討 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉川・月野木・湯浅
4	地区診断演習 (個人ワークによる実習地区全体のアセスメント) 地域における健康に関連する現状と課題の明確化(ワークブック P25-27) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉川・月野木・湯浅

No	内容	形式	教員
5	地区診断演習 (個人ワークによる実習地区全体のアセスメント) コミュニティアズパートナーモデルに基づく情報収集、地域の特徴の把握から、気になる項目についてアセスメントし、統合する。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	吉川・月野木・湯浅
6	地区診断演習 グループワークによる実習地区全体のアセスメント 事前学修：[20 分] ワークブックの内容を再度確認し、記載不十分な個所を追記しておく 事後学修：[30 分] グループワークで得た情報をワークブックに追記しまとめる	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
7	地区診断演習 グループワークによる実習地区全体のアセスメント 事前学修：[20 分] ワークブックの内容を再度確認し、記載不十分な個所を追記しておく 事後学修：[20 分] グループワークで得た情報をワークブックに追記しまとめる	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
8	地区診断演習 グループワークによる実習地区全体のアセスメント 事前学修：[30 分] ワークブックの内容を再度確認し、記載不十分な個所を追記しておく 事後学修：[30 分] グループワークで得た情報をワークブックに追記しまとめる	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
9	地区診断演習 実習区全体のアセスメントと発表資料の作成 事前学修：[20 分] 健康課題について考えワークブックにまとめておく 事後学修：[20 分] グループワークで得た情報をもとに健康課題を修正する	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
10	地区診断演習 実習区全体のアセスメントと発表資料の作成 事前学修：[20 分] 健康課題を導く統計情報についてワークブックから情報を整理する 事後学修：[20 分] 発表資料に必要なデータや情報を整える	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
11	地域診断演習 (発表資料の準備と予演会) 事前学修：[20 分] 修正すべき点について追加した情報を収集する 事後学修：[20 分] 発表資料に必要なデータや情報を整える	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
12	地域診断演習 (発表資料の準備と予演会) 事前学修：[20 分] 修正すべき点について追加した情報を収集する 事後学修：[20 分] 修正した内容にしたがって資料を作成し、提出する	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
13	地域診断演習 (発表資料の準備と予演会) 事前学修：[20 分] 修正すべき点について追加した情報を収集する 事後学修：[20 分] 質疑応答や助言を受けた箇所について修正する	同時双方向型	吉川・月野木・湯浅
14	地域診断報告会 事前学修：[20 分] 発表資料の最終チェックや発表の練習を行う 事後学修：[20 分] 質疑応答や助言を受けた箇所について修正する	同時双方向型	全員
15	地域診断報告会 事前学修：[20 分] 発表資料の最終チェックや発表の練習を行う 事後学修：[30 分] 演習を通して学修が不足していた箇所について復習をおこなう	同時双方向型	全員

■ 教科書

標美奈子 標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 (2018) 第 4 版 医学書院

中村裕美子 標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 (2019) 第 3 版 医学書院

厚生労働統計協会 国民衛生の動向 vol.66 No.9 2019/2020 (2019)

■ 参考書、参考資料等

エリザベス T アンダーソン編、金川克子、早川和夫監訳、コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際第 2 版、医学書院

佐伯和子編 (2018) 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第 2 版 医歯薬出版株式会社

金川克子・田高悦子編 (2011) 地域看護診断 第 2 版 東京大学出版会

公衆衛生看護学実習地域の行政資料各種 (統計資料、報告書、地図、広報等) 厚生労働統計協会

国民の福祉と介護の動向、保険と年金の動向 統計局や東京都福祉保健局 HP の各種統計データなど

■ フィードバックの仕方

地区診断に関するフィードバックは地域診断予演会と報告会の際、教員からコメントを返す。

乳幼児健診の演習については、実習期間中に実施した学生は実習先指導保健師より、学内実習中に実施した学生については担当教員より、演習実施後に直接コメントを返す。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連する。

■ 成績評価の仕方

授業・演習・発表への取り組み(30%)

レポート・発表成果(70%) ワークブック(個人としての評価)ならびに PPT 資料(グループとしての評価)

■ オフィスアワー・研究室等

質問、相談事項は、授業回ごとに設置したに Glexa のボードに記載するか担当教員へメールにて連絡する
もしくは教員との Teams 面談(要予約)

■ 受講上の注意事項

* この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ その他

HBPN401

公衆衛生看護活動論演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」成長 実務経験がある教員：－

○月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子、石田 千絵

■ 授業の目的

さまざまなライフステージ、健康レベルにある個人・家族・集団を対象とした健康教育を展開するために必要な知識と方法について理解するとともに、具体的な実践の技術を習得する。

■ 到達目標

1. 地域特性や公衆衛生上の課題に気づき、論理的に説明できる。
2. 対象となる人々の特性に合わせた健康教育を考案できる。
3. 集団を対象とした健康教育の企画から評価までのプロセスを実践できる。
4. 住民の立場から健康上の課題と保健行動を考え、健康教育のあり方を検討できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：演習を通して、集団を対象とした健康教育方法について学習する。
2. 演習を通して、保健師としての健康教育を企画、実施・評価の在り方について学ぶ。また、発表会では参加住民として健康教育を受けることで、保健師・住民双方の立場から効果的な健康教育のあり方について学ぶ。
3. オンライン(同時双方向：teams等)で行う。ネット環境が難しい場合は、担当教員と事前相談する。
4. 各演習のさ行目標を参照に、進捗に応じて、メールやオンラインを用いて教員に確認してもらいながら進める。日時は演習内で行い、教員に時間調整のお願いを行う(リーダー)
5. 予演会や教員に確認してほしい場合は、事前に企画書・シナリオ・媒体草案を電子メール等で送付する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、 企画書の作成①対象者や地域特性の分析	自宅学習	月野木
2	企画書の作成②対象者や地域特性の分析	自宅学習	月野木・吉川他
3	企画書の作成③企画案の作成	自宅学習	月野木・吉川他
4	企画の作成④企画案の完成 担当教員の確認後、指導案・媒体案の作成を開始する	自宅学習	月野木・吉川他
5	指導案・媒体案の作成①	自宅学習	月野木・吉川他
6	指導案・媒体案の作成② 事前学修：[120分] 作成に必要な情報収集を行う 事後学修：[120分] 指導案・媒体案の作成を進める	同時双方向型	月野木・吉川他
7	指導案・媒体案の作成③ 事前学修：[120分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[120分] 指導案および媒体案の作成の作成を進める	同時双方向型	月野木・吉川他
8	指導案・媒体案の作成④ 担当教員に指導案・媒体案を確認してもらった上で、さらなる改善を進める 事前学修：[120分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[120分] 教員の指摘事項について確認・修正を行う	同時双方向型	月野木・吉川他
9	指導案・媒体案の作成⑤ 事前学修：[120分] 指導案・媒体案の修正を行う 事後学修：[60分] 健康教育発表にあたり、役割分担などを確認する	同時双方向型	月野木・吉川他
10	指導案・媒体案の作成⑥ 事前学修：[120分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する	同時双方向型	月野木・吉川他
11	指導案・媒体案の作成⑦ 事前学修：[120分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60分] 指導教員の指摘事項を受けて修正を行う	同時双方向型	月野木・吉川他
12	予指導案・媒体案の作成⑧ 事前学修：[120分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60分] 指導教員の指摘事項を受けて修正する	同時双方向型	月野木・吉川他

No	内容	形式	教員
13	予指導案・媒体案の作成と練習 事前学修：[120 分] 発表会に向けて練習する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を修正する	同時双方向型	月野木・吉川他
14	健康教育 発表会 事前学修：[120 分] 発表会に向けて練習する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を修正する	同時双方向型	月野木・吉川他
15	健康教育の発表会・評価・報告書作成 事前学修：[120 分] 発表会に向けて練習を行う 事後学修：[60 分] 実施報告書を作成し、実習での健康教育本番に向けてさらなるブラッシュアップを行う。	同時双方向型	月野木・吉川他

■ 教科書

- ・標準保健師講座 1. 公衆衛生看護学概論、医学書院、最新版
- ・標準保健師講座 2. 公衆衛生看護技術、医学書院、最新版
- ・標準保健師講座 3. 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、最新版
- ・厚生労働統計協会:国民衛生の動向 最新版

■ 参考書、参考資料等

授業にて資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

演習中および演習後、作成した企画書・指導案・媒体についての講評を指導教員より口頭やコメントを付けたレポート返却をメールを通じて行う

■ 他の授業科目との関連

実習で地域住民を対象に実践する健康教育について演習を行う。
保健師教育課程の科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 授業・演習への取組み 60 %
2. レポート・演習成果資料 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:00～13:00。

月野木(433 研究室) 吉川(425 研究室) 湯浅(445 研究室) 石田(432 研究室)

■ 受講上の注意事項

*この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ その他

HBPN402

公衆衛生看護学実習

単位：5単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」連携 「3」変化 実務経験がある教員：－

○石田 千絵、月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子、井口 理

■ 授業の目的

地域で生活する個人・家族や集団、地域社会を対象とした健康の保持・増進のための公衆衛生看護実践について学びを深める。

地域で生活する人々の生活と健康を支える地域の保健医療福祉システムにおける特別区保健所等の特性および機能を理解し、多職種・多機関による連携について理解を深める。さらに、行政機関における保健師の役割と機能について学習する。

■ 到達目標

1. 地域で生活する個人および家族、集団、組織を対象とした看護実践を支える地域の保健医療福祉に関する制度やしきみ、諸資源を理解する。
2. 地域診断のプロセスを通じて、地域で生活する個人・家族、集団、地域社会のニーズや健康課題を明らかにし、対象の健康を支えるための公衆衛生看護活動を計画・実施・評価する。
3. 地域で生活する個人・家族、集団の健康課題の解決のために用いられる手法(家庭訪問、健康教育、健康相談、地区組織活動等)の実際を経験し、特別区保健所等の保健師の役割と機能を理解する。

■ 学習の進め方

1. 事前学習：実習開始前に各種オリエンテーション(全体・施設別等)を受ける。実習地域の地域診断・実習中の参加事業についての事前学習などをすすめて、各自の実習目標をたてる。実習施設への事前訪問を行い、実習スケジュールの確認と健康教育実施のための事前見学・相談をする。
2. 臨地実習：実習先保健所・保健センター等の管轄内における各種事業への参加、家庭訪問・相談対応、健康教育等の体験等を重ね、地域における保健活動について学びを深める。
3. カンファレンス・報告会：実習中及び終了後にカンファレンスや報告会を行い、学びの共有や定着をはかる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：5週間

実習場所：東京都特別区内の保健所、保健センター等

■ 教科書

適宜、掲示する。

■ 参考書、参考資料等

実習先行政の保健所事業概要、各種統計資料、広報、報告書等(HP、実習先より借用など)

東京の母子保健、母子健康手帳、発達・精神保健看護学各教科書

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連する。

■ 成績評価の仕方

1. 実習の取り組み：実習施設事前訪問、地区踏査、健康教育展開、実習態度、カンファレンス、報告会など(80点)
2. 実習記録：健康教育、家庭訪問、地域診断に関連する記録、事業概要記録、実習記録(10点)
3. レポート(10点)

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の12:30－12:50、担当教員の研究室

■ 受講上の注意事項

原則として、オリエンテーションを遅刻・欠席したものは履修することができない。

*この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ その他

HBP403

科目一覧

★赤十字概論★（○角田 敦彦）	1
★赤十字国際活動論★（○角田 敦彦）	3
★赤十字国際活動論演習★（○角田 敦彦）	5
★哲学と倫理★（○榊原 哲也）	6
★生命倫理★（○榊原 哲也）	9
★心理学Ⅰ★（○遠藤 公久）	11
★心理学Ⅱ★（○遠藤 公久）	13
★心理学Ⅱ★（○遠藤 公久）	15
★教育学概論★（○渋谷 真樹）	17
★現代教育論★（○渋谷 真樹）	19
★身体運動論Ⅰ（理論）★（○梅澤 佳子）	21
★身体運動論Ⅱ（実技）★（○伊藤 麻希）	23
★身体運動論Ⅱ（実技）★（○白井 美穂）	25
★生活環境論★（○石田 千絵、井口 理、湯浅 晶子、吉川 悦子、月野木 ルミ）	27
★障がい論★（○坂口 千鶴、鷹野 朋実、堀井 湖浪、山内 朋子、井口 理、湯浅 晶子、神谷 美帆、池田 良輔子）	29
★社会学Ⅰ★（○鷹田 佳典）	31
★社会学Ⅱ★（○鷹田 佳典）	33
★社会保障論★（○奥貫 妃文）	35
★家族社会学★（○三具 淳子）	37
★世界の文化と宗教★（○佐藤 眞）	39
★国際関係論★（○角田 敦彦）	41
★日本国憲法★（○吉田 直正）	43
★医療と文化★（○鈴木 勝己）	45
★数学Ⅰ★（○川崎 洋平）	47
★数学Ⅱ★（○川崎 洋平）	49
★生物学Ⅰ★（○水野 壮）	51
★生物学Ⅱ★（○宮崎 正峰）	53
★化学Ⅰ★（○三好 洋）	56
★化学Ⅱ★（○三好 洋）	58
★情報学概論★（○鷹田 佳典、川崎 洋平）	60
★情報科学★（○逸見 功）	62
★保健統計学★（○川崎 洋平）	64
★日本語の表現★（○越後 敬子）	66
★英語 R1-1 ★（○川崎 修一）	68
★英語 R1-1 ★（○太田 祐子）	70
★英語 R1-2 ★（○遠藤 花子）	72
★英語 R1-2 ★（○川崎 修一）	74
★英語 W1-1 ★（○佐藤 眞）	76
★英語 W1-1 ★（○ Marta Pijanowska）	79
★英語 W1-2 ★（○佐藤 眞）	81
★英語 W1-2 ★（○ Marta Pijanowska）	83
★英語 LS1-1 ★（○ Benjamin Tutcher）	85
★英語 LS1-1 ★（○ Sam Bamkin）	87
★英語 LS1-1 ★（○ Marta Pijanowska）	89
★英語 LS1-2 ★（○ Benjamin Tutcher）	91
★英語 LS1-2 ★（○ Sam Bamkin）	93
★英語 LS1-2 ★（○ Marta Pijanowska）	95
★英語 R2-1 ★（○皆川 健次郎）	97
★英語 R2-1 ★（○野村 美由紀）	99
★英語 R2-2 ★（○野村 美由紀）	101
★英語 W2-1 ★（○関田 誠）	103
★英語 W2-1 ★（○川崎 修一）	105
★英語 W2-2 ★（○遠藤 花子）	107
★英語 W2-2 ★（○遠藤 花子）	109

★英語 LS2-1 ★ (○川崎 修一)	111
★英語 LS2-2 ★ (○川崎 修一)	113
★英語文献を読むⅠ★ (○川崎 修一)	115
★英語文献を読むⅡ★ (○遠藤 花子)	117
★中国語Ⅰ★ (○神谷 智幸)	119
★中国語Ⅱ★ (○神谷 智幸)	122
★フランス語Ⅰ★ (○西脇 雅彦)	124
★フランス語Ⅱ★ (○西脇 雅彦)	126
★基礎ゼミⅠ★ (○角田 敦彦、渋谷 真樹、川崎 修一、逸見 功、井上 明宏、川崎 洋平、鷹田 佳典、越後 敬子、宮崎 正峰、白井 美穂、佐藤 眞)	128
★基礎ゼミⅠ★ (○遠藤 公久)	130
★基礎ゼミⅡ★ (○川崎 修一)	132
★基礎ゼミⅡ★ (○遠藤 花子)	134
★基礎ゼミⅡ★ (○井上 明宏)	136
★基礎ゼミⅡ★ (○角田 敦彦)	138
★基礎ゼミⅡ★ (○川崎 洋平)	140
★基礎ゼミⅡ★ (○鈴木 勝己)	142
★基礎ゼミⅡ★ (○越後 敬子)	144
★基礎ゼミⅡ★ (○三好 洋)	146
★基礎ゼミⅡ★ (○鷹田 佳典)	148
★基礎ゼミⅡ★ (○水野 壮)	150
★基礎ゼミⅡ★ (○渋谷 真樹)	152
★基礎ゼミⅡ★ (○遠藤 公久)	154
★人体の構造と機能Ⅰ(解剖と生理①)★ (○井上 明宏)	156
★人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)★ (○井上 明宏)	158
★人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)★ (○菅田 晴夫)	161
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ(病理学総論、内分泌・代謝、消化器)★ (○井上 明宏、吉田 英雄、日吉 徹、高屋 和彦)	163
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)★ (○井上 明宏、出雲 雄大、石橋 由孝)	165
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、感覚器)★ (○井上 明宏、河村 直洋、大谷 隼一、田中 滋之、伊藤 英也、井桁 之総、舟木 俊成、物部 寛子、今門 純久)	167
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(内科学、外科学、検査学)★ (○井上 明宏、石田 禎夫、石川 晃、高屋 和彦、石橋 由孝、山田 学、増田 亮、永岡 栄、中原 さおり、今井 庸子、壺岐 聖子、山田 哲久)	169
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(内科学、外科学)★ (○井上 明宏、石田 禎夫、鈴木 毅、壺岐 聖子、石川 晃、小林 城太郎、永岡 栄、安藤 常浩、國頭 英夫)	171
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)★ (○梅野 充)	173
★薬理学★ (○吉見 猛)	175
★リハビリテーション医学★ (○森本 正、長 晶子、安藤 慧二、樋口 晶)	177
★遺伝と遺伝カウンセリング★ (○守田 美奈子、笠井 靖代、納富 理絵)	179
★栄養学★ (○齋藤 沙織)	181
★ラボラトリー・プラクティス★ (○壺岐 聖子、裴 有安、石橋 雪乃、青木 由美子、積田 雅央、網野 彩、富田 健一郎、松尾 梢恵、用具 恭子、昆 雅士、今井 一仁、菅野 恵子、桑原 麻樹、平石 直己)	183
★看護学概論Ⅰ★ (○川原 由佳里)	185
★看護学概論Ⅱ(看護倫理含)★ (○吉田 みつ子、樋口 佳栄、細野 知子、川原 由佳里、吉良 理恵、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈)	187
★看護関係法規★ (○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子)	189
★看護の歴史★ (○川原 由佳里)	191
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★ (○堀川 英起、堀井 湖浪、藤川 あや、池田 良輔子、柴田 純子、内藤 なづな、赤井 智子)	193
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人)	195
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理恵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人)	197
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈)	200
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★ (○細野 知子、樋口 佳栄、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、吉田 みつ子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈)	203
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★ (○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、吉良 理絵、工藤 有希、桐原 あずみ、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人)	205

★看護援助論Ⅰ(看護過程)★(○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、吉良 理絵、桐原 あずみ、住谷 ゆかり、工藤 有希、池田 圭子、高田 由紀子、鬼頭 幸子、遠山 義人、河田 照絵、橋爪 朋子)	207
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★(○千葉 京子)	212
★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★(○清田 明美)	214
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★(○清田 明美)	216
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★(○山内 朋子)	218
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★(○新田 真弓)	221
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★(○古城門 靖子)	223
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★(○鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起)	225
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★(○堀井 湖浪、鷹野 朋実、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな)	228
★発達看護学概論★(○江本 リナ、千葉 京子、山内 朋子)	230
★発達看護学(成人期の看護)★(○本庄 恵子、三浦 英恵)	232
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)★(○新田 真弓、加藤 千穂、井村 真澄、藤田 恵理子、千葉 真希、由利 紗織)	234
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)★(○加藤 千穂、新田 真弓、井村 真澄、藤田 恵理子、千葉 真希、由利 紗織)	237
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★(○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子)	240
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★(○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子)	242
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)★(○坂口 千鶴、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子)	245
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)★(○千葉 京子、坂口 千鶴、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子)	247
★プライマリーヘルスケア★(○石田 千絵、井口 理)	250
★慢性期ケア★(○住谷 ゆかり、田中 孝美、本庄 恵子、工藤 有希、池田 圭子、河田 照絵)	252
★急性期ケア★(○三浦 英恵、林 宗博、桐原 あずみ、池田 圭子、河田 照絵)	255
★緩和・終末期ケア★(○吉田 みつ子、田中 孝美)	257
★健康レベル別看護学演習Ⅰ★(○住谷 ゆかり、三浦 英恵、田中 孝美、桐原 あずみ、河田 照絵、工藤 有希、吉良 理絵、池田 圭子、鬼頭 幸子、遠山 義人)	259
★健康レベル別看護学演習Ⅱ★(○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、松島 史絵、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、加藤 千穂、千葉 真希、由利 紗織、藤田 恵理子、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子)	262
★地域看護学★(○石田 千絵、吉川 悦子、月野木 ルミ、井口 理)	264
★公衆衛生看護活動論★(○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子、井口 理、石田 千絵、)	266
★保健福祉行政論★(○櫻山 豊夫)	268
★疫学★(○川崎 洋平)	271
★在宅看護学★(○石田 千絵、井口 理、湯浅 晶子、吉川 悦子、月野木 ルミ)	273
★看護管理学Ⅰ★(○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子)	275
★看護管理学Ⅱ★(○安部 陽子、高田 由紀子、古川 祐子)	277
★看護教育学Ⅰ★(○佐々木 幾美、西田 朋子)	280
★看護教育学Ⅱ★(○西田 朋子)	282
★看護教育方法★(○西田 朋子)	284
★応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)★(○安部 陽子、古川 祐子、高田 由紀子、塚田 信弘)	287
★応用看護学特論Ⅰ②(リプロダクティブ・ヘルス)★(○齋藤 英子)	289
★応用看護学特論Ⅰ③(子どもの権利と家族)★(○江本 リナ、山内 朋子、神谷 美帆、鈴木 健太、柴田 純子)	291
★応用看護学特論Ⅱ①(看護とメンタルヘルス)★(○鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子)	293
★応用看護学特論Ⅱ②(ホーリスティック・ナーシング)★(○坂口 千鶴、千葉 京子)	295
★国際看護学Ⅰ★(○赤井 智子、織方 愛、野口 眞貴子、橋爪 朋子)	297
★国際看護学Ⅱ★(○織方 愛、赤井 智子、角田 敦彦、橋爪 朋子)	299
★国際看護学演習★(○織方 愛、内木 美恵)	301
★災害看護論Ⅰ★(○赤井 智子、野口 眞貴子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子)	302
★災害看護論Ⅱ★(○赤井 智子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子)	304
★災害看護活動論Ⅰ★(○赤井 智子、野口 眞貴子、内木 美恵、織方 愛、橋爪 朋子)	306
★災害看護活動論Ⅱ★(○織方 愛、赤井 智子、内木 美恵、橋爪 朋子)	309
★災害看護活動論Ⅲ★(○織方 愛、内木 美恵、赤井 智子、橋爪 朋子)	311
★看護援助論実習【レベルⅠ】★(○川原由佳里、吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、住谷ゆかり、河田照絵、桐原あずみ、工藤有希、池田圭子、西田朋子、内木美恵、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、湯浅晶子、高田由紀子、池田良輔子、内藤なづな、柴田純子)	314
★看護援助論実習【レベルⅡ】★(○三浦英恵、○吉田みつ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、住谷ゆかり、河田照絵、桐原あずみ、工藤有希、池田圭子、西田朋子、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、高田由紀子、内藤なづな、松島史絵、鈴木健太)	316

★精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕★（○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな）	318
★発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕★（○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織）	319
★発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕★（○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子）	321
★発達看護学Ⅲ（老年期の看護）実習〔レベルⅢ〕★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子）	322
★健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕★（○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳栄、住谷ゆかり、織方愛、赤井智子、橋爪朋子、桐原あずみ、高田由紀子、工藤有希、細野知子、吉良理絵、池田圭子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈）	323
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（精神保健看護学）★（○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな）	325
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（母性看護学）★（○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織）	327
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（小児看護学）★（○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子）	329
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（老年看護学）★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子）	331
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅱ★（○石田千絵、月野木ルミ、吉川悦子、湯浅晶子、井口理）	332
★看護学総合実習★（○川原由佳里、○吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、住谷ゆかり、工藤有希、桐原あずみ、池田圭子、○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、塚本恵弥、藤田恵理子、千葉真希、由利紗織、○江本リナ、山内朋子、神谷美帆、鈴木健太、柴田純子、○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、松島史絵、池田良輔子、○石田千絵、吉川悦子、月野木ルミ、井口理、湯浅晶子、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、高田由紀子、○野口眞貴子、内木美恵、織方愛、赤井智子、橋爪朋子）	333
★研究方法論Ⅰ★（○江本 リナ、遠藤 公久、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、織方 愛、加藤 千穂、鷹田 佳典、堀川 英起）	334
★研究方法論Ⅱ★（○江本 リナ、遠藤 公久、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、織方 愛、加藤 千穂、鷹田 佳典、堀川 英起）	337
★研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）★（○川崎 洋平）	339
★研究Ⅰ★（○全教員）	341
★研究Ⅱ★（○全教員）	343
★公衆衛生看護活動展開論★（○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子）	345
★公衆衛生看護管理論★（○吉川 悦子、石田 千絵、月野木 ルミ）	347
★公衆衛生看護方法論★（○月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子）	349
★公衆衛生看護活動論演習Ⅰ★（○吉川 悦子、月野木 ルミ、湯浅 晶子、石田 千絵）	351
★公衆衛生看護活動論演習Ⅱ★（○月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子、石田 千絵）	354
★公衆衛生看護学実習★（○石田 千絵、月野木 ルミ、吉川 悦子、湯浅 晶子、井口 理）	356